朝日町文化体育センター第１体育館
外壁改修工事

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118(代)

設計
一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当
一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日	R8.3
図面名称	表紙	縮尺	－
図面番号	Ａ－００		

◆　図面リスト

種別	No.	図面名称	種別	No.	図面名称	種別	No.	図面名称	種別	No.	図面名称	種別	No.	図面名称
意匠 （第１体育館）	A-01	図面リスト	電気設備	E-01	電気設備　特記仕様書１									
	A-02	建築特記仕様書１		E-02	電気設備　特記仕様書２									
	A-03	建築特記仕様書２		E-03	第１体育館　分電盤結線図１（改修後）									
	A-04	建築特記仕様書３		E-04	第１体育館　分電盤結線図２（改修後）									
	A-05	建築改修特記仕様書１		E-05	第１体育館 電灯・コンセント・電動カーテン設備１階平面図（改修後）									
	A-06	建築改修特記仕様書２		E-06	第１体育館　電灯・情報通信・放送・監視カメラ 電気時計・電動カーテン設備２階平面図（改修後）									
	A-07	付近見取図・配置図		E-07	第１体育館　分電盤結線図１（改修前）									
	A-08	第１体育館仕上表		E-08	第１体育館　分電盤結線図２（改修前）									
	A-09	第１体育館改修前１階平面図		E-09	第１体育館 電灯・呼出設備１階平面図（改修前）									
	A-10	第１体育館改修後１階平面図		E-10	第１体育館 電灯・情報通信・監視カメラ・電気時計設備２階平面図（改修前）									
	A-11	第１体育館改修前２階平面図		E-11	第１体育館 TV共同受信・監視カメラ設備３階平面図（改修前・改修後）									
	A-12	第１体育館改修後２階平面図												
	A-13	第１体育館改修前３階平面図												
	A-14	第１体育館改修後３階平面図												
	A-15	第１体育館改修前屋根伏図												
	A-16	第１体育館改修後屋根伏図												
	A-17	第１体育館改修前天井伏図												
	A-18	第１体育館改修後天井伏図												
	A-19	第１体育館改修前１階平面図（外壁仕様）												
	A-20	第１体育館改修後１階平面図（外壁仕様）												
	A-21	第１体育館改修前２階平面図（外壁仕様）												
	A-22	第１体育館改修後２階平面図（外壁仕様）												
	A-23	第１体育館改修前立面図１												
	A-24	第１体育館改修後立面図１												
	A-25	第１体育館改修前立面図２												
	A-26	第１体育館改修後立面図２												
	A-27	第１体育館改修前立面図３												
	A-28	第１体育館改修後立面図３												
	A-29	第１体育館改修前立面図４												
	A-30	第１体育館改修後立面図４												
	A-31	第１体育館改修前断面図												
	A-32	第１体育館改修後断面図												
	A-33	第１体育館改修前断面詳細図１												
	A-34	第１体育館改修後断面詳細図１												
	A-35	第１体育館改修前断面詳細図２												
	A-36	第１体育館改修後断面詳細図２												
	A-37	第１体育館改修前部分詳細図（ポーチ・屋外階段）												
	A-38	第１体育館改修後部分詳細図（ポーチ・屋外階段）												
	A-39	第１体育館改修前部分詳細図（テラス・屋外階段）												
	A-40	第１体育館改修後部分詳細図（テラス・屋外階段）												
	A-41	第１体育館改修前部分詳細図（機械置場・屋外階段）												
	A-42	第１体育館改修後部分詳細図（機械置場・屋外階段）												
	A-43	第１体育館改修前部分詳細図（ギャラリーホール・客席）												
	A-44	第１体育館改修後部分詳細図（ギャラリーホール・客席）												
	A-45	第１体育館建具表符号図												
	A-46	第１体育館建具表１												
	A-47	第１体育館建具表２												
	A-48	第１体育館笠木詳細図１												
	A-49	第１体育館笠木詳細図２												
	A-50	第１体育館鉄骨詳細図												
	A-51	サイン・カーテン符号図												
	A-52	サイン詳細図・カーテンリスト												
	A-53	外壁詳細図１（外壁-A・B）　［参考図］												
	A-54	外壁詳細図２（外壁-C）　［参考図］												
	A-55	防水詳細図　［参考図］												
	A-56	仮設計画図　［参考図］												

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118(代)

設計
一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当
一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	年月日	図面番号
朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	R8.3	Ａ－０１
図面名称：図面リスト	縮尺：－	

仕 様 書

Ⅰ 工事概要

1．工事名称　朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事

2．工事場所
3．建物概要

地名　朝日町越　地内		敷地面積	38,075.60 m2
都市計画区域　⊙内（・市街化区域　・市街化調整区域　⊙その他）　・外			
用途地域	指定なし	防火地域	指定なし
構造	RC造一部鉄骨造	階数	３階建
建築面積	4,876.10 m2	延べ面積	5,850.88 m2　（第１体育館床面積）
屋根仕上	立平葺き・塩ビシート防水		
外壁仕上	t0.4カラーSGL鋼板スパンドレル・立平張り、アクリルシリコン樹脂系仕上塗材		
建築物の用途（建築基準法）	観覧場（第１体育館）		
耐火建築物等の別　⊙耐火建築物　・準耐火建築物（・イ　・ロ－１　・ロ－２）　・その他			
最高高さ 19.200m	最高軒高さ 19.000m	居室床高さ	105 cm
基礎形式　独立基礎		地盤の設計長期許容支持力度	KN/m2
垂直積雪量　1.5 m			
耐震安全性の分類（官庁施設の総合耐震・対津波計画基準）	構造体　・Ⅰ類　⊙Ⅱ類　・Ⅲ類　（重要度係数　・1.5　⊙1.25　・1.0）		
	建築非構造部材　⊙Ａ類（出入口扉除く）　・Ｂ類		
	建築設備　・甲類　⊙乙類		

4．工事範囲　朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事一式

Ⅱ 建築工事仕様

1．共通仕様

（１）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和７年版」（以下「標仕」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和７年版」（以下「改修標仕」という。）による。

（２）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

2．特記仕様

（１）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

（２）特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。

⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

⊙印と※印の付いた場合は、共に適用する。

章	項目	特記事項
1-1 一般共通事項 1		

① 工事実績情報の登録
適用する　（「工事カルテ受領書」の写しを提出）

② 下請関係の適正化
本工事を下請けに付す場合は、「建設工事の下請関係の適正化に関する留意事項」を遵守すること。

③ 請負代金内訳書の提出
受注者は、請負代金内訳書を作成し、工事請負契約締結後７日以内に発注者に提出すること。

④ 個人情報の取扱い
「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-47個人情報取扱特記事項による。

⑤ 環境への配慮

(1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上げ塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③ 接着剤は可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

(2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。
① 建築基準法施行令第20条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
② 建築基準法施行令第20条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
③ 建築基準法施行令第20条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
④ 建築基準法施行令第20条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

⑥ 材料の品質等

(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
(2) 商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督員の承諾を受ける。
(3) 標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
(4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されてことを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。ただし、製造業者等が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。
① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。
② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③ 安定的な供給が可能であること。
④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。
(5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料
無収縮グラウト材、乾燥式保護材、既製調合モルタル、既製調合目地材、錠前類、クローザ類、自動扉機構、自閉式上吊り引戸機構、防水剤、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、移動間仕切、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、エポキシ樹脂、ポリマーセメントモルタル
床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、ルーフドレン、吸水調整材、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、可動間仕切、トップライト、鋳鉄製ふた

⑦ 地場産品の優先使用等

※ 地場産品の優先使用
受注者は、工事に使用する資材等について、品質が水準以上であり、かつ価格が適正である場合には県内地場産品（建設資材又は製品等で、県内で最終製造工程が施されたもの又は県内に本社本店を置く取扱業者から調達したものをいう。）を優先使用するものとする。
※ 県内企業の優先選定等
受注者は、工事に係る下請契約又は資材等納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は富山県内に本社・本店を置くものの中から選定するよう努めなければならない。

⑧ 発生材の処理等

※発生材は構外搬出処分とし、その費用も含め元請業者自らの責任において適正に処理するものとする。
※舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収し、適正に処理する。
・現場説明書による
※運搬、処分委託契約書の写しの提出
※マニフェスト管理一覧表の提出
・マニフェスト（A票、B2票、D票、E票）の写しの提出
・引渡しを要するもの（　　　）
・再利用を図るもの（　　　）
・特別管理産業廃棄物の種類（　　　）
・同上処理方法（　　　）
・分別を図るもの（　　　）
・再資源化を図るもの（　　　）

⑨ 解体工事等

・再資源利用計画書等作成及び提出
・建設リサイクル法対象工事
・特定建設資材廃棄物の種類：
・再資源化施設の場所：

10 電気保安技術者
※適用する

11 監督職員事務所
・設ける（規模：　　m2程度）
・

⑫ 工事用水
構内既存の施設　※利用できない　⊙利用できる（※有償　・無償）

⑬ 工事用電力
構内既存の施設　※利用できない　⊙利用できる（※有償　・無償）

⑭ 工事用仮設物
構内設置　・できる　・できない

⑮ 施工機械
「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-33環境対策に記載の排出ガス対策型建設機械及び低騒音型・低振動型建設機械を使用するものとする。

⑯ 現場代理人の工事現場における常駐を要しない期間
次のいずれかに該当し、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認めた場合には、工事現場における常駐を要しない期間として取り扱う。
(1) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
(2) 工事の全部の施工を一時中止している期間
(3) 上記に掲げる期間のほか、工事現場において作業等がおこなわれていない期間

⑰ 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間
次のいずれかに該当し、かつ、その期間が書面により明確となっている場合については、専任を要しない。
(1) 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間
(2) 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
(3) 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間
(4) (1)又は(2)に類した理由で、工事が不稼働である期間
(5) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間

⑱ 安全教育・訓練の実施
労働安全衛生法等に基づき行う日々の安全教育のほか、すべての作業員を対象に、工事現場に即した安全教育・訓練等を、月当たり半日以上の頻度で実施するものとする。
「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-29　工事中の安全確保

⑲ 調査・試験に対する協力
※公共工事労務費調査等の対象工事となった場合は、監督職員の指示により必要な協力をしなければならない。(富山県土木工事共通仕様書 1-1-1-13)
・本工事は、工事費積算のより一層の適正化を図ることを目的とした「共通費実態調査」の対象工事である。作成した調査票は監督職員に提出すること。

⑳ 工事特性・創意工夫社会性等の実施
受注者は、工事施工において、施工条件等への対応や自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完成時までに「富山県請負工事成績評定要領第4第7項に定める様式により提出することができる。

㉑ 暴力団関係者から不当な介入を受けた場合の措置
受注者は、本工事を施工するに当たり、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否し、不当な介入があった時点で速やかにその旨を監督職員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。また、下請業者に対しては、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合には速やかにその旨を報告するよう指導し、下請業者から報告を受けた受注者は、速やかにその旨を監督職員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。

㉒ 低入札となった場合における技術者の増員等
1 工事に係る入札の結果、調査基準価格に満たない価格をもって入札をした者が受注者となった場合における技術者の配置については、次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ次に定めることによる。
(1) 建設業法の規定により技術者の専任配置が義務付けられる工事の場合
専任配置が義務付けられている技術者とは別に、同法の規定により監理技術者の配置が義務付けられる工事にあっては監理技術者の資格を有する者を、それ以外の工事にあっては主任技術者になり得る資格を有する者を１人、専任にて配置するものとする。この場合において、これらの工事に配置する技術者は、受注者と３ヶ月以上の雇用関係がある者に限る。
(2) 建設業法の規定による技術者の専任配置が義務づけられていない工事の場合
同法の規定により配置が義務付けられている技術者を、専任にて配置するものとする。
2 1の(1)により別に配置される技術者は、監理技術者等を補助し、監理技術者等と同様の職務を行うものとする。
3 工事に係る入札の結果、調査基準価格に満たない価格をもって入札した者が受注者となった場合下記試験項目の試験頻度を２倍とする。

工　事	試験項目（「標仕」項目）
地業工事	・ｾﾒﾝﾄﾐﾙｸの根固め液及び杭周囲固定液の管理試験（4.3.4） ・ｽﾗﾝﾌﾟ、空気量、塩化物量、強度試験（4.5.3）
鉄筋工事	・圧接完了後の試験（5.4.10）
ｺﾝｸﾘｰﾄ工事	・ｽﾗﾝﾌﾟ、空気量、塩化物量、強度試験（6.9.2）（6.9.3）（6.9.4）（6.9.5）
鉄骨工事	・溶接部の試験（7.6.12） ・ｽﾀｯﾄﾞ溶接後の試験（7.7.6）
石工事	・引抜き耐力の確認試験（10.2.2）
ﾀｲﾙ工事	・接着力試験（11.1.7）
金属工事	・引抜き耐力の確認試験（14.1.3）
ﾕﾆｯﾄ及びその他工事	・引抜き耐力の確認試験（20.2.4）
舗装工事	・CBR、締固め度、厚さ、切取り、抽出試験（22.2.5）（22.3.5）（22.4.6）（22.5.6）（22.6.6）（22.7.6）

23 間接工事費等の調整について
本工事は、富山県が先行発注した下の工事（以下、「現工事」という。）と当該追加工事の設計額の合計額より定まる率によって算定した諸経費等から、現工事にかかる諸経費等を控除した額で調整した金額とする。
工事番号：　　　工事名：　　　工事

㉔ 総合評価方式
※ 受注者は、実際の施工に際しては、事前に提出し適正とされた技術資料（技術提案書又は簡易な施工計画）の内容を履行すること。
※ 受注者は、事前に提出した総合評価方式に係る技術資料に記載した配置予定技術者を配置しなければならない。
※ 上記２項目を履行できない場合及び受注者が事前に提出した総合評価方式に係る技術資料に記載した内容に虚偽の報告があった場合においては、富山県公共工事総合評価方式施行要領に基づき工事成績の減点（標準型においては、工事成績の減点及び違約金の徴収）をすることがある。
・本工事は「登録基幹技能者の配置」を活用した試行工事であり、受注者は、下記工種において登録基幹技能者を配置する場合は、あらかじめ施工計画書により、登録者情報や配置予定期間、作業内容等を発注者に報告することとし、配置予定期間及び完成検査時において、発注者による履行の確認を行うこととする。なお、履行が確認できない場合、富山県公共工事総合評価方式試行要領に基づき工事成績の減点をすることがある。
対象工種　・○○工　・□□工　・△△工
・この工事は「下請負契約における県内企業の活用」を評価の対象とした試行工事である。施工時及び完成検査時において、発注者による履行の確認を行うこととする。なお、受注者の責に帰すべき理由により、入札時の申請に反して、施工時に県内企業の活用ができなかった場合には、工事成績評定点を３点減点する。

25 特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置
本工事において、建設業法第26条第３項ただし書きの適用を受ける監理技術者（以下、「特例監理技術者」という。）の配置を行う場合は、以下の(1)から(9)の要件を全て満たさなければならない。
(1) 建設業法第26条第３項ただし書きによる監理技術者の職務を補佐する者（以下、「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。
(2) 監理技術者補佐は、１級建築施工管理技士補及び１級建築施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定種目は、特例監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。
(3) 監理技術者補佐は、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。
(4) 同一の特例監理技術者を配置できる工事は、同時に２件までとする。ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるもの（当初の請負契約以外の請負契約が随意契約により締結される場合に限る。）については、これら複数の工事を一つの工事とみなす。
(5) 兼務する工事が特例監理技術者としての職務を適正に遂行できる範囲内にあること。なお、範囲については、工事現場が同一の土木センター、事務所管内にあること。
(6) 特例監理技術者が兼務できる工事は、24時間体制での応急処理工や緊急巡回等が必要な工事以外の工事でなければならない。
(7) 特例監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行しなければならない。
(8) 特例監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。
(9) 監理技術者補佐が担う業務について、明らかにすること。
本工事の監理技術者が特例監理技術者として兼務することとなる場合、上記(1)から(9)の事項について確認できる書類を提出すること。
本工事において、特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は適切にコリンズ(CORINS)への登録を行うこと。

㉖ 完成図等
※着工時製本　（・原図版　１部　・縮小版　版　５部　）
※完成図製本（黒表紙）　（・原図版　１部　・縮小版　版　５部　）
※完成図ＣＡＤデータ　（※ＣＤ－Ｒ等　１　部　）
・施工図
・保全に関する資料
⊙竣工写真（アルバム）

㉗ 工事写真

写真種別	撮影箇所数	提出規格	拡張子	構　成	備考
着工前写真	適正数	L版程度	PDF	※着工前と完成を対比したもの	デジタルカメラは130万～300万画素
施行中写真	適正数	－	JPEG	－	
竣工時	内部10か所 外部15か所 ﾄﾞﾛｰﾝ5か所	カラー	JPEG	※アルバム３部 ※DVD-ROM３部	デジタルカメラは2000万画素以上

※撮影アングルは監督職員の指示による。
※竣工アルバムは印画紙を使用し、出力解像度は原寸300dpi以上とする。製本方法は、印画紙の裏面どうしを貼り付けた中折れ包み製本、又はフォトブックアルバムとする。
※竣工写真の電子データ（DVD-ROM）の提出形式
内部、外部及びドローン写真の内、監督職員の指示する主要なカットはA3サイズ（長辺4960pixel）のJPEG形式（圧縮最高画質）とし、その他のカットはキャビネサイズ（長辺2880pixel）のJPEG形式（圧縮最高画質）とする。
※竣工写真として不要なものは電子データの消去、修正を行う。
竣工写真撮影業者
※建築写真専門の撮影業者で監督職員の承諾を受けた者

㉘ 施工図等の取扱い
施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

㉙ 電子納品
※電子納品対象工事
以下の示す書類を電子納品する。
※工事写真　・施工計画書　・完成図(CADデータ)　・参考図(ラスターデーター)

㉛ 快適な仮設トイレの設置工事
本工事は、建設現場をより働きやすい環境に改善するため、受注者が希望すれば、快適に使用できる仮設トイレ（洋式ﾄｲﾚ・快適ﾄｲﾚ）を設置することができる工事である。
快適な仮設ﾄｲﾚの設置工事の実施にあたっては、『「快適な仮設ﾄｲﾚの設置工事」についてのお知らせ』によるものとする。このお知らせは、下記富山県のﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞから入手できる。
(https://www.pref.toyama.jp/1510/sangyou/nyuusatsu/koukyoukouji/kj00017588.html)

32 週休2日制モデル工事
週休２日制ﾓﾃﾞﾙ工事の実施にあたっては、「週休２日制ﾓﾃﾞﾙ工事（営繕工事）試行要領」（令和４年７月　富山県土木部）に基づくものとする。この試行要領は、下記富山県のﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞから入手できる。(https://www.pref.toyama.jp/1508/kendodukuri/toshikeikaku/kenchiku/kj00021742.html)
※週休２日制モデル工事【発注者指定型】
本工事は、発注者が週休２日の実施を受注の条件とするものである。
・週休２日制モデル事業【受注者希望型】
本工事は、受注者が工事着手日前に、発注者に対して、工事打合せ簿にて週休２日に取り組む旨を協議したうえで取り組むものである。
・週休２日制モデル事業ではない
ただし、受注者から希望があり、発注者と協議が整った場合は、週休２日制モデル事業【受注者希望型】と同様の取扱いができる。

33 余裕期間制度
・フレックス方式対象工事
(1) 本工事は、円滑な工事施工体制の確保を図るため、全体工期の範囲内で受注者が工事の始期及び終期を設定することができる工事であり、富山県土木部所管建設工事に係る余裕期間制度（ﾌﾚｯｸｽ方式）試行要領に基づき実施するものとする。
(2) 工事の始期は、契約締結日の翌日から○年○月○日まで、工事の終期は、○年○月○日までとする。
(3) 受注者は、工事の始期後14日以内に施工計画書を発注者に提出するものとする。
(4) 受注者は、受注時のｺﾘﾝｽﾞ(COMRINS)への登録については、工事の始期後10日（休日を除く。）以内に登録するものとする。
(5) 受注者は、工事の始期後に速やかに、退職金制度届出書を発注者に提出するものとする。
(6) 余裕期間内に行う資機材の準備及び、技能労働者の手配などの準備等に必要な現地への立入り（工事着手以外の行為とする）については、発注者に了解を得るとともに関係法令等に基づく必要な手続きを行うものとする。
(7) その他この特記仕様書に記載のないことについては、富山県土木部所管建設工事に係る余裕期間制度（ﾌﾚｯｸｽ方式）実施要領によるものとする。
・発注者指定方式対象工事
(1) 本工事は、出水期や厳冬期などにより工事期間や工事の始期が限定されるという施工条件のもとで、円滑な工事施工体制の確保し、発注業務の計画的な履行と平準化を図るため、全体工期内で発注者が余裕期間と実工期を指定する富山県土木部所管建設工事に係る余裕期間制度（発注者指定方式）試行要領に基づき実施するものとする。
(2) 工事の始期は、○年○月○日とする。
(3) 受注者は、工事の始期後14日以内に施工計画書を発注者に提出するものとする。
(4) 受注者は、受注時のｺﾘﾝｽﾞ(COMRINS)への登録については、工事の始期後10日（休日を除く。）以内に登録するものとする。
(5) 受注者は、工事の始期後に速やかに、退職金制度届出書を発注者に提出するものとする。
(6) 余裕期間内に行う資機材の準備及び、技能労働者の手配などの準備等に必要な現地への立入り（工事着手以外の行為とする）については、発注者に了解を得るとともに関係法令等に基づく必要な手続きを行うものとする。
(7) 低入札価格調査等により、発注者が指定する工事の始期以降に契約を締結することとなった場合には、余裕期間を適用しないものとする。
(8) その他この特記仕様書に記載のないことについては、富山県土木部所管建設工事に係る余裕期間制度（発注者指定方式）実施要領によるものとする。

34 建設現場の遠隔臨場に関する試行工事
本工事は、受発注者の移動時間の削減のため、「建設現場の遠隔臨場に関する試行要領（令和５年４月富山県土木部）」の内容に従い、実施することができる。

1-2 一般共通事項 2

① 適用基準等
※建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修　令和４年版)
※国土交通大臣官房官庁営繕部「営繕工事写真撮影要領（平成28年度版）による工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編　平成30年版」
※富山県電子納品運用ガイドライン（案）［建築工事編］（令和５年４月）
・建築物解体工事共通仕様書・同解説　国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和４年版）

② 適用区分
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
・地区の区分に応じた風速（Vo(m/sec)）　※３０　・３２
・地表面粗度区分　・Ⅰ　・Ⅱ　※Ⅲ　・Ⅳ
※積雪荷重　※多雪区域

③ 施工条件
施工時間、工程、安全対策、工事用道路、仮設設備等は監督職員と協議する。

④ 建築材料等
※本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上のものとする。ただし、同等以上とする場合は、監督職員の承諾を受ける。
使用する建築材料等に「富山県グリーン購入調達方針」で定めるものがある場合には、それに適合するものとする。
・本工事で使用する下記の品目については、公共工事における富山県認定リサイクル製品利用方針において優先利用グループに区分されている製品を利用する。
ただし、その製品の入手が困難な場合は、監督職員と協議し、通常製品（新材で製造された製品）へ変更できるものとする。

工種	品目	規格

・「公共工事における富山県認定リサイクル製品利用方針」に基づき、パイロット工事として下記の製品を利用する。

工種	品目	規格	製品名

⑤ 技能士

適用工事種別	技能検定の職種
仮設工事	⊙とび作業
土・地業工事	・ウェルポイント工事作業
鉄筋工事	・鉄筋施工（・鉄筋施工図作成作業　・鉄筋組立て作業）
コンクリート工事	・型枠工事作業　・コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	・とび作業　・鉄工（・構造物鉄工作業　・構造物原図作業）
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事	・ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業 ・ｴｰｴﾙｼｰﾊﾟﾈﾙ工事作業
防水工事	・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄﾄｰﾁ工法防水工事作業 ・塗膜防水工事作業（・ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系　・ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系） ⊙ｼｰﾄ防水工事作業（・合成ｺﾞﾑ系　⊙塩化ﾋﾞﾆﾙ系） ・ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業　・ｾﾒﾝﾄ系防水工事作業　・FRP防水工事作業
石工事	・石材施工(石張り施工)
タイル工事	・タイル張り作業
木工事	・大工工事作業
屋根及びとい工事	⊙内外装板金作業　・ﾀﾞｸﾄ板金作業　・かわらぶき作業
金属工事	・鋼製下地工事作業
左官工事	・左官作業　・樹脂接着剤注入工事作業
建具工事	・ﾋﾞﾙ用ｻｯｼ施工作業　・自動ﾄﾞｱ施工作業　・ｶﾞﾗｽ工事作業
カーテンウォール工事	・金属製ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事作業　・ｶﾞﾗｽ工事作業
塗装工事	・建築塗装作業
内装工事	・床仕上げ工事作業（・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系　・ｶｰﾍﾟｯﾄ系　・木質系） ・鋼製下地工事作業　・ﾎﾞｰﾄﾞ仕上げ工事作業 ・表装作業　・壁装作業　・吹付け硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱工事作業
ユニット及びその他工事	⊙ｶｰﾃﾝ工事作業
排水工事	・建築配管作業
舗装工事	・溶融ﾍﾟｲﾝﾄﾊﾝﾄﾞﾏｰｶｰ工事作業　・加熱ﾍﾟｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ工事作業
植栽及び屋上緑化工事	・造園工事作業
解体工事	⊙解体工事施工技士

⑥ 技術検査
土木部建築工事監督要領による。

⑦ 室内空気中の化学物質の濃度測定
施工完了時に室内空気中の揮発性有機化合物等の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、報告書を提出する。
測定する箇所数：１箇所（第２体育館　体育室）
測定箇所：※監督職員の指示による。　・図示
室内濃度測定対象物質：※ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン
・パラジクロロベンゼン（学校施設の場合）
測定方法

	ホルムアルデヒド	その他の揮発性有機化合物
採取	ジニトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着/溶媒抽出法	固相吸着/溶媒抽出法
分析	高速液体クロマトグラフ（ＨＰＬＣ）	ガスクロマトグラフ法

採取法：パッシブ型採取機器により行う。

⑧ 設備工事との取合い
設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。

⑨ 設計ＧＬ
※図示　・設計ＧＬ＝現状ＧＬ

2 仮設工事

① 足場その他
内部足場　種別　・脚立、足場板等
外部足場　種別　※枠組足場　⊙くさび緊結式足場　・単管本足場　・（　　　）
外部足場の設置に当たっては、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省　基発第0424001号平成21年4月24日）」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」の別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
防護ｼｰﾄ等による養生　※設置する（⊙養生ｼｰﾄ　・ﾈｯﾄ状養生ｼｰﾄ　・防音ｼｰﾄ　・防音ﾊﾟﾈﾙ　・　）
なお、出入口等の上部は必要に応じて防護棚を設ける。
・設置しない
材料、撤去材等の運搬　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種

② 既存部分の養生（改修工事の場合）
既存部分の養生方法　※ﾋﾞﾆｰﾙｼｰﾄ等　・
既存家具等の養生方法　※ﾋﾞﾆｰﾙｼｰﾄ等　・
既存ブラインド、カーテン等の養生方法及び保管場所　・行う（図示）
固定された備品、机・ロッカー等の移動　・行う（図示）

3 仮設間仕切り（改修工事の場合）
仮設間仕切り等の種別

種　別	下　地	仕上げ材（厚さmm）	充填材（mm）	塗　装
・Ａ種	※軽量鉄骨	※せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（※9.5　・　）	厚さ（　）	※無し
※Ｂ種	・木造	・合板（※９　・　）		・片面
・Ｃ種	単管	・防炎シート		
仮設扉	※木製扉 ・	・合板張り程度	・行う （厚さ　）	※無し ・片面

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118（代）

設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	年月日	図面番号
朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	R8.3	Ａ－０２
図面名称：建築特記仕様書１	縮尺：－	

3 土工事

① 埋戻し及び盛土の材料及び工法等

種別　・A種　※B種　・C種　・D種　・建設汚泥から再生した処理土
六価クロム溶出試験　・行う　・行わない

② 建設発生土の処理

・ 現場内で処理
・ 構内指示の場所に堆積
・ 構内指示の場所に敷き均し
⊙ 場外に搬出し、関係法令に従い適切に処理する。
なお、処理にあたっては「建設発生土情報交換システム」を活用する。
構外指定場所に搬出後　※堆積　・敷き均し
受入場所：
受入時間帯：　時　分～　時　分
仮置き等：
搬出調書を監督職員に提出する

4 地業工事

⑤ 砂利地業に使用する砂利

※再生クラッシャラン　・切込砂利及び切込砕石

6 床下防湿層

施工範囲　※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）
防湿工法　※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上　・

5 鉄筋工事

① 鉄筋の種類

種類の記号	呼び径（mm）
・SD295	※D16以下
・SD345	※D19以上
・	

2 溶接金網

種類の記号、網目の形状、寸法及び鉄線の径は、構造特記仕様書及び図示による。

③ 鉄筋の継手

呼び名19mm以上の柱、梁の主筋　※ガス圧接継手　・機械式継手　・重ね継手

④ 鉄筋の最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは目地底から算定する。
・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

施工箇所	標仕表5.3.5の値に加える寸法（mm）
柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面	※10

5 機械式継手

適用箇所、性能、種類、工法、品質の確認方法及び不良となった継手の修正方法等は図示による。

⑥ 各部配筋

※構造特記仕様書及び構造図による。　⊙各部配筋参考図による。

6 コンクリート工事

① コンクリートの種類

コンクリートの使用骨材による種類
※普通コンクリート　・軽量コンクリート

② コンクリートの使用材料、施工条件、要求性能等による種類

コンクリートの使用材料、施工条件、要求性能等による種類

適用	種類	適用箇所	特記事項
・	寒中コンクリート		適用期間（　　）
・	暑中コンクリート		構造体強度補正値(S)の値　※6N/mm2　・
・	マスコンクリート		セメントの種類（　　） 混和剤（　　） スランプ（　　）
・	無筋コンクリート		スランプ（　　）
・	流動化コンクリート		

③ コンクリートの設計基準強度

コンクリートの設計基準強度は、構造特記仕様書及び構造図による。

④ コンクリートの類別

※Ⅰ類　・Ⅱ類

⑤ 気乾単位容積質量

※2.3t/m3程度　・

⑥ コンクリートの仕上り

打放し仕上げ　種別　・A種　※B種　・C種
仕上りの平たんさ　種別　・a種　※b種　・c種

⑦ セメントの種類

※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。
・高炉セメントB種
・シリカセメント
・フライアッシュセメントB種
・普通エコセメント

⑧ 骨材の種類

アルカリシリカ反応性による区分
・A
・B（※コンクリート中のアルカリ総量Rt＝3.0kg/m3 以下）
※監督職員との協議による。

⑨ 混和材料

混和剤及び混和材の種類は、構造特記仕様書及び構造図による。

10 構造体強度補正値

構造体強度補正値(S)　※標仕表(6.3.2) による。
ただし、普通ポルトランドセメントを用いるコンクリートでは、以下の補正値適用期間を使用することができる。

打設日	7月14日～9月2日	3月10日～7月13日 9月3日～11月19日	11月20日～3月9日
補正値	6N/mm2	3N/mm2	6N/mm2

⑪ 養生期間

※セメントの種類が普通エコセメントの場合は、次による。　・（　　）日以上

⑫ 型枠

以下の事項は、図示による。
1) 外部に面するコンクリート打放し仕上げの打増し厚さ
2) ひび割れ誘発目地の位置、形状及びり法
せき板の材料は、次による。
※合板（※12mm　・　mm）・床型枠用鋼製デッキプレート　・メッシュ型枠
・断熱材兼用型枠（適用個所及び品質等は標仕19章９節断熱・防露による）
・MCR工法用シートの使用（打増し厚さ　・20mm　打増し範囲　・図示による）
せき板、支柱の存置期間は、標仕表(6.8.2)、標仕表(6.8.3)による。
なお、セメントの種類が普通エコセメントの場合は、次による。

	存置期間中の平均気温	施工箇所 せき板の存置期間	支柱の存置期間	
		基礎、梁側、柱、壁	スラブ下	梁下
コンクリートの材齢による場合(日)	15℃以上	・（　　）以上	・（　　）以上	・（　　）以上
	5℃以上	・（　　）以上	・（　　）以上	・（　　）以上
	0℃以上	・（　　）以上	・（　　）以上	・（　　）以上
コンクリートの圧縮強度による場合	―	圧縮強度が5N/mm2以上となるまで	圧縮強度が設計基準強度(Fc)の85%以上又は12N/mm以上であり、かつ、施工中の荷重及び外力について、構造計算により安全であることが確認されるまで	圧縮強度が設計基準強度以上であり、かつ、施工中の荷重及び外力について、構造計算により安全であることが確認されるまで

7 鉄骨工事

① 鉄骨製作工場

・監督職員の承諾する製作工場
・建築基準法第77条の45第１項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた（株）日本鉄骨評価センター及び㈳全国鉄骨評価機構（旧(社)全国鐵構工業協会）の「鉄骨製作工場の性能評価基準に定める「　グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場

2 施工管理技術者

※適用する

3 鋼材

鋼材の材質、形状及び寸法は、構造特記仕様書及び構造図による。

4 高力ボルト

以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。
1) ボルトの区分及び径
2) すべり係数試験の実施、試験方法等

⑤ 普通ボルト

ボルト及びナットの材料等は、構造特記仕様書及び構造図による。

⑥ 縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。
高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ボルト径、ゲージ等

7 溶融亜鉛めっき高力ボルト

セットの種類　・１種（F8T）相当
摩擦面の処理
※　ブラスト処理(表面粗度50μmRz以上)　・リン酸処理
摩擦面の確認方法
・　図示　・　試験片によるすべり耐力試験

8 アンカーボルト

以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。
1) ﾎﾞﾙﾄの材質・種類、ねじの公差域ｸﾗｽ、仕上げの程度、縁短距離、ﾎﾞﾙﾄ間隔、ｹﾞｰｼﾞ等
2) 構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状及び寸法
3) 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法

9 デッキプレート

以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。
1) 工法の種別
2) デッキプレートの材質、形状及び寸法
3) 鉄骨部材への溶接方法
4) 耐火認定の有無

⑩ 工作図

増築工事等を含め、既存建築物と取合う箇所がある場合は、現場実測の上作成を行う。

11 鉄骨の仮組

・　行わない　・　行う
仮組を行う範囲及び確認方法等は、図示による。

⑫ 溶接接合

以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。
1) 開先の形状
2) スカラップの形状
3) エンドタブの切除の有無及び適用箇所

⑬ 溶接条件

入熱、パス間温度の溶接条件
適用箇所　・図　示
・ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
・

鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入熱(KJ/cm)	パス間温度(℃)
400 N 級鋼	JIS Z 3211 YGW－11, 15 YGW－18, 19 JIS Z 3214 YGA－50W, 50P	40 以下	350 以下
490 N 級鋼	JIS Z 3211 YGW－11, 15 YGW－18, 19	40 以下 30 以下	350 以下 250 以下
	JIS Z 3214 YGA－50W, 50P	40 以下	350 以下
520 N 級鋼	YGW－18, 19	30 以下	250 以下

ただし、
・400N級鋼のSTKR・BCR及びBCPの作業条件は、YGW-11、15で入熱30KJ/cm以下、パス間温度250℃以下、YGW-18、19での作業条件は入熱40KJ/cm以下、パス間温度350℃以下とする。
・490N級鋼のSTKR・BCPの作業条件は、YGW-18、19で入熱30KJ/cm以下、パス間温度250℃以下とする。
上記の溶接条件以外による場合は、監督職員と協議する。

14 溶接部の試験

溶接部の外観試験
平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等
・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による
・抜き取り検査①　※抜き取り検査②

JASS 6 付則 6［鉄骨精度検査基準］の付表3「溶接」に関する試験方法等
・JASS 10.4［受入検査］e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標仕7.6.13による補修を行い、再試験する。

完全溶込み部の超音波探傷試験　※行う　・行わない
・工場溶接の場合
AOQL　※4.0%　・2.5%
検査水準　※第６水準　・図示
・工事現場溶接の場合
AOQL　※4.0%　・2.5%

⑮ 錆止め塗装

塗料　屋外　※A種（JISK5674 1種）　・B種
屋内　※A種（JISK5674 1種）　・B種
工程　見掛かり（※A種　・B種）　見隠れ（・A種　※B種）

16 耐火被覆

種別		適用箇所	所要性能
・ラス張りモルタル塗り			
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール		
	・半乾式吹付けロックウール		
	・湿式ロックウール		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板		
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール		

17 軽量形鋼構造

ボルトの接合方法は構造特記仕様書及び構造図による。

18 溶融亜鉛めっき

亜鉛めっきの種別	材料	適用部位
A種（HDZT 77）	最低板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板	
B種（HDZT 63）	最低板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板	
C種（HDZT 49）	最低板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板 普通ボルト、ナット類、アンカーボルト類	

外観検査　※行う　・行わない
めっき付着量の検査　※行う　・行わない

9 防水工事

⑦ シーリング

下表以外は、標仕表9.7.1による

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
図示	

接着性試験
※簡易接着性試験　・引張接着性試験　（施工対象部位　　）

13 屋根及びとい工事

① 長尺金属板葺

屋根葺形式	長尺金属板の種類	板厚（mm）
・心木なし瓦棒葺　⊙立平葺 ・蟻掛葺　・横葺　・	※塗装ステンレス鋼板　・ ・塗装溶融亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 ・	※0.4 ・

下葺材料　（　・　ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940　⊙　改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ下葺材　）
建築基準法に基づき定まる風圧力の（　・　1　・　1.15　・　1.3　）倍の風圧力に対応した工法
横葺きの場合のけらば納め　・つかみ込み納め　・けらば包み納め

2 折板葺

形　式	・重ね形　※はぜ締め形　・かん合形
形状（mm）　山高（　　）　山ピッチ（　　）　板厚※0.6　・0.8	
材　料 （規格等）	※塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 ・
軒先面戸板	※有り　・無し
断　熱　材	※有り（種別：　　厚さ：　mm）・無し
耐火性能	※30分耐火　・無し

建築基準法に基づき定まる風圧力の（　・　1　・　1.15　・　1.3　）倍の風圧力に対応した工法
耐雪性能に適した工法　・適用する　・適用しない
雪止め　・設置する（施工箇所　・図示による　・　　）　・設置しない

3 粘土瓦葺

形状による区分	寸法による区分	製法による区分	備考
※J形	※53A	・ゆう薬がわら	色調（　　）
・S形	・49A　・49B	・いぶしがわら	
・F形	・40	・無ゆうがわら	役物瓦（図示）

建築基準法に基づき定まる風圧力の（　・　1　・　1.15　・　1.3　）倍の風圧力に対応した工法
JIS 5208に基づく凍害試験等棟　・行う　・行わない
※硬質着色塩化ビニル管（・VP　・RF-VP　）
・配管用鋼管
・表面処理鋼板　規格（　　）　裏表の塗膜の種類（　　）

④ とい

14 金属工事

① あと施工アンカー

引抜き耐力試験　※適用する　・適用しない

② アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

種別	色合い	施工箇所
・AB－1種	無着色	
⊙AB－2種	・ブラウン系	
	・ブラック	
	・ステンカラー	
・		

3 鉄鋼の亜鉛めっき

表面処理方法	種別	施工箇所
溶融亜鉛めっき	・A種	
	・B種	
	・C種	
電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

④ 軽量鉄骨天井下地

屋外の場合の形式及び寸法　※下表以外は、標仕14.4.3及び標仕表14.4.2による

施工箇所	下地材の間隔（mm） 野縁受、吊りﾎﾞﾙﾄ、ｲﾝｻｰﾄ 中央部	周辺部	野縁

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法
天井下地材における耐震性・耐風圧を考慮した補強　・行う（補強箇所　※図示）
天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合の補強　※標仕14.4.4(8)(ｱ)及び(ｲ)による　・図示
天井のふところが３mを超える場合の補強　※図示
※アルミニウム製　・

⑤ 金属成形板張り（天井）

形状	製法	板幅(mm)	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面処理
⊙ﾊﾟﾝﾄﾞﾙ形	・押出し ・ロール				・BB-1種
・パネル形	※プレス ・				・BB-2種（・ｱﾉﾊﾞｰ ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ・ﾌﾞﾗｯｸ系 ・ｽﾃﾝｶﾗｰ）
					・AC-1種
					・AC-2種（・ｱﾉﾊﾞｰ ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ・ﾌﾞﾗｯｸ系 ・ｽﾃﾝｶﾗｰ）
					・C種

7 アルミニウム製笠木

オーブン形式アルミニウム製笠木の種類

種類	呼称肉厚（mm）	表面処理及び色合い	固定間隔・方法
・100形	1.5以上	種別（　　）種 着色・ｱﾉﾊﾞｰ ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ　・ﾌﾞﾗｯｸ系 ・ｽﾃﾝｶﾗｰ	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法
・250形	1.6以上		
・300形	1.8以上		
・350形	2.0以上		
・			

隅角部及び突当り部等の役物は笠木本体製造所の仕様による。

15 左官工事

① モルタル塗り材料

既製目地材の適用　※図示

2 床コンクリートの直均し仕上げ

下表以外は標仕表6.2.5及び標仕15.3.2による

施工箇所	平たんさ（mm）	備考
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ（支柱調整式）範囲	1mにつき10以下	

3 セルフレベリング材

・せっこう系　・セメント系

4 ロックウール付け

厚さ　mm

⑤ 仕上塗材仕上げ

種類	呼び名	仕上げの形状等
⊙薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｓｉ ・可とう形外装薄塗材Ｓｉ ・外装薄塗材Ｅ ・可とう形外装薄塗材Ｅ ・防水形外装薄塗材Ｅ ・外装薄塗材Ｓ ・内装薄塗材Ｃ ・内装薄塗材Ｌ ・内装薄塗材Ｓｉ ・内装薄塗材Ｅ ⊙ふっ素樹脂系多意匠装飾仕上塗材	・砂壁状　・さざ波状 ・ゆず肌状（・吹付け　・ローラー塗り） ⊙平坦状 ・凸凹状（・吹付け　・こて塗り） ・着色骨材砂壁状（・吹付け　・こて塗り） ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく 吸放湿性　・適用する　・適用しない
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材Ｃ ・外装厚塗材Ｓｉ ・外装厚塗材Ｅ ・内装厚塗材Ｃ ・内装厚塗材Ｌ ・内装厚塗材Ｇ ・内装厚塗材Ｓｉ ・内装厚塗材Ｅ	・吹放し　・凸部処理　・平坦状 ・凸凹状　・ひき起こし　・かき落とし ・ 吸放湿性　・適用する　・適用しない 上塗材　・適用する　・適用しない
・複層仕上塗材	・可とう形複層塗材ＣＥ ・複層塗材Ｓｉ ・複層塗材Ｅ ・複層塗材ＲＥ ・防水形複層塗材ＣＥ ・防水形複層塗材Ｅ ・防水形複層塗材Ｅ（透湿型） ・防水形複層塗材ＲＥ ・	・ゆず肌状　・凸部処理　・凹凸状 耐候性　・1種　・2種　※3種 上塗材 溶媒　※水系　・溶剤系 樹脂　※アクリル系　・ポリウレタン系 外観　※つやあり　・つやなし ・メタリック 防水形複層塗材Ｅ（透湿型）を使用する場合の所要量 ※メーカー推奨塗布量による
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材	砂壁状
	・こて塗用軽量塗材	平たん状

防火材料の指定　※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。

16 建具工事

1 見本の製作等

・建具見本の製作　（建具番号：　　）
・特殊な建具の仮組（建具番号：　　）
※防火戸の指定及び防犯建物部品の適用は、建具表による。

2 アルミニウム製建具

外部に面する建具の性能値等
種別　・A種　・B種　・C種　・D種　・E種　・建具表による
枠見込み（mm）　※建具表による　（　・　mm）
防音アウトセット、断熱ドアセット、耐震ドアセットの適用及び等級は、建具表による。
結露水の処理方法、水切り板、ぜん板等　※図示

表面処理

施工箇所	種別	色合い等
外部建具	※ BB-1種	無着色
	・ BB-2種	※標準色（・ｱﾉﾊﾞｰ　・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ）
	・	・
内部建具	※ AC-1種	無着色
	・ AC-2種	※標準色（・ｱﾉﾊﾞｰ　・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ）
	・	・

3 網戸

防虫網
網の種別　※合成樹脂製　・ガラス繊維入り合成樹脂製　・ステンレス製（SUS316）

5 鋼製建具

簡易気密型ドアセットの性能の適用は建具表による
外部に面する建具の耐風圧性（・S－4　・S－5　・S－6）
鋼板類の厚さ（１枚の戸の有効開口幅950mm、又は 有効高さ2,400mmを越える場合）

鋼板

材料	メッキ付着量	厚さ
・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板）	※Z12又はF12	・
・JIS G 3317（溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板	※Y08	・

※　下表以外は標仕表16.4.2による

区分		使用箇所	厚さ(mm)
窓	枠類	外部の下枠、水切り板	2.3
出入口	枠類	外部に面するスイングドアの建具	2.3
	戸	中骨	2.3

6 鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセットの性能の適用は建具表による
鋼板　※ 亜鉛めっき鋼板　・ ビニル被膜鋼板　・ カラー鋼板
鋼板の厚さ　・標仕表16.5.1による。
召合せ、縦小口包み板の材質　※鋼板　・ ステンレス鋼板　・ アルミニウム合金

9 建具用金物

建具用金物は、下記以外については、建具表による。
マスターキー　※製作する　・製作しない
その他の鍵　※各室3本1組　・
鍵箱　※有り　・無し

⑭ ガラス

ガラスの種類、品質、厚さ等は、建具表による
ガラス留め材

建具の種類	材種
アルミニウム製	※シーリング材　・ガスケット（ＦＩＸ部はシーリング材）
鋼製及び軽量鋼製	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材
樹脂製	※シーリング材　・ガスケット

ただし、防火戸は建築基準法に基づく規定に定められたもの又は認定を受けた条件による
板ガラスをはめ込む溝の大きさ
※建具製造所の仕様による。ただし、強化ガラス及び倍強度ガラスを使用する場合は性能値等が確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。
熱線反射ガラスの映像調整　※行わない　・行う（建具表による）

⑯ ガラス用フィルム

種類	記号	日射調整	張り面	性能値
・衝撃破壊対応対応ｶﾞﾗｽ飛散防止ﾌｨﾙﾑ	・GI-1	・あり（・SC-1-A ・SC-1-B ・SC-1-C ・SC-1-D ・SC-1-E） ・なし	※内張り ・ ※内張り ・	
・層間変位破壊対応ｶﾞﾗｽ飛散防止ﾌｨﾙﾑ	・GD-1			
・日射調整ﾌｨﾙﾑ ⊙断熱ﾌｨﾙﾑ	・SC-1-A ・SC-1-B ・SC-1-C ・SC-1-D ・SC-1-E		※内張り ・	

品質　JIS A5759による

株式会社 鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118（代）

設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日	R8.3	図面番号
図面名称	建築特記仕様書２	縮尺	－	Ａ－０３

18 塗装工事

① 材料

防火材料　※屋内の壁及び天井仕上げ材は、防火材料とする。
・次の箇所を除き、防火材料とする。（箇所：　　）

② 素地ごしらえ

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※Ａ種　・Ｂ種
	透明塗りの場合	・Ａ種　※Ｂ種
鉄鋼面		・Ａ種　・Ｂ種　※Ｃ種
亜鉛めっき面		・Ａ種　・Ｂ種
モルタル面、プラスター面		・Ａ種　※Ｂ種
コンクリート面（DP以外）、ALCパネル面		・Ａ種　※Ｂ種
押出成形セメント板面及びコンクリート面（DP）		・Ａ種　・Ｂ種
せっこうボード面及び その他ボード面	目地：継ぎ目処理工法	※Ａ種　・Ｂ種
	目地：継ぎ目処理工法以外	・Ａ種　※Ｂ種

③ 錆止め塗料塗り

錆止め塗料の種類　※JIS K 5674　・

下地面	塗装の種類	錆止め塗料の種別	錆止め塗料塗りの工程
鉄鋼面	SOP	A種	見え掛り：A種　見え隠れ：B種
	DP	C種及びD種	表18.3.4
	EP-G	・A種　※B種	見え掛り：A種　見え隠れ：B種
亜鉛めっき面	SOP	※A種　・B種	鋼製建具等：A種　左記以外：B種
	DP	B種	表18.3.6
	EP-G	C種	鋼製建具等：A種　左記以外：B種

④ 塗装

塗装の種類		種別	塗料の種類
⊙合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り（SOP）	木部屋外	※Ａ種　・Ｂ種	※1種　・2種
	木部屋内	・Ａ種　※Ｂ種	※1種　・2種
	鉄鋼面	・Ａ種　※Ｂ種	※1種　・2種
	亜鉛めっき鋼面	──	※1種　・2種
・クリヤラッカー塗り（CL）		・Ａ種　※Ｂ種	──
・アクリル樹脂非水分散型塗料塗り（NAD）		・Ａ種　※Ｂ種	──
⊙耐候性塗料塗り（DP）	鉄鋼面	──	上塗り等級（　　）級
	亜鉛めっき鋼面	──	上塗り等級（　　）級
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・Ａ種　・Ｂ種 ・Ｃ種	上塗り等級（　　）級
⊙つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り（EP-G）	ｺﾝｸﾘｰﾄ面、せっこうボード面等	・Ａ種　※Ｂ種	──
	屋内の鉄鋼面	・Ａ種　※Ｂ種	──
・合成樹脂エマルションペイント塗り（EP）		・Ａ種　※Ｂ種	──
・ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）		Ａ種　※Ｂ種	──

・ステイン塗り（・ピグメントステイン塗り　・オイルステン塗り（OS））
・木部保護塗料塗り（WP）（屋外に限る）　・Ａ種　※Ｂ種　──
CL塗り4種の工程２の適用　・適用する（・溶剤系着色剤　・油性染料着色剤）　・適用しない
UC塗り の工程１の着色の適用　・適用する　・適用しない
オイルステイン塗りの工程等（　　）

19 内装工事

① ビニル床シート張り

種類	厚さ（mm）	色柄	備考
※ＦＳ	※2.0	※無地　・マーブル柄　・柄物	
・			

特殊機能（・帯電防止　・耐動荷重性　・防滑性　・耐薬品性）
工法　※熱溶接工法　・突付け（施工箇所：　　）

④ ビニル幅木

高さ（mm）　※60　・75　・100

⑤ カーペット敷き

防炎性能は、消防法で定める防炎性能を有し、登録されているものとする。
⊙タイルカーペット

種別	パイル形状	敷き方 平場	敷き方 階段部分	施工箇所
※第一種	※ループパイル			
・第二種	・カットパイル			

見切金物及び押さえ金物の材質、種類及び形状は、図示による。

7　フローリング張り

単層フローリング

品名	工法	厚さ(mm)	大きさ(mm)	樹種	仕上塗装等
・フローリングボード１等	・釘どめ工法（根太張り）	15	板幅：75以上 板長さ：400以上	※なら ・ひのき	・塗装品 ・無塗装品
	・釘どめ工法（直張り）	12以上			
	・接着工法	8以上			
・フローリングブロック１等	・接着工法	・			
・モザイクパーケット1等	・接着工法	・		・	

⑩ せっこうボードその他のボード張り

種類	JISの記号	厚さ（mm）、規格等
⊙硬質木毛セメント板	HW	・15　・20　・25
・普通木毛セメント板	NW	・15　・20　・25
・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ	MDF	・
・パーティクルボード		・
⊙けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ２（無石綿） ・
・ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ（※9　・12　・　　） ・凹凸タイプ（※12　・15　・　　）
・せっこうボード	GB-R	・9.5　・12.5(不燃)　・15.0(不燃)
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	・9.5(不燃)　化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）
・シージングせっこうボード	GB-S	・9.5　・12.5（（個）不燃）
・強化せっこうボード	GB-F	※12.5（不燃）・15.0（不燃）
⊙化粧せっこうボード	GB-D	・9.5　・12.5（不燃）　幅440mm程度、専用下地付 模様　※トラバーチン　・木柾目　・木板目
・メラミン樹脂化粧板		JIS K6903による　厚さ1.2
・難燃合板		
・		
・		

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材　※適用する　・適用しない
せっこうボードの目地工法等
目地工法の種類　・継目処理工法　・突付け工法　・目透し工法
エッジの種類　・テーパーエッジ　・ベベルエッジ　・スクェアエッジ

⑬ 断熱材

種類	発泡材の種類	種類	厚さ(mm)	施工箇所
⊙ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材	・	⊙3号	⊙70	⊙外壁
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材（ｽｷﾝなし）	・	・		・
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・	・	・
⊙フェノールフォーム断熱材（3種2号除く）	・	⊙1種2号Ｃ　Ⅱ	⊙30、45	⊙外壁、外壁
・現場発泡断熱材	・	・	・	・
・	・	・	・	・

20 ユニット及びその他工事

1　フリーアクセスフロア

施工箇所	構法	仕上寸法（mm）	仕上り高（mm）	許容水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500 ・		・1.0Ｇ ・0.6Ｇ	・3.000N ・5.000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500 ・		・1.0Ｇ ・0.6Ｇ	・3.000N ・5.000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット

寸法精度　※ 標仕20.2.2(2)(ｵ)(a)～(c)による
スロープ及びポーダー　※製造所の標準仕様（ただし、構成材は共仕による）　・図示
コンセント等の取付け対応　※製造所の標準仕様（コンセント本体は別途設備工事）
コンセントの箇所数　※10～15m に１箇所程度
配線取出しパネル　フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合　※20～30%
※配線取り出し開口：40mm×80mm 程度の開口　・
空調用吹き出しパネル　※無し　・有り（※固定式　・可変式　：施工箇所は図示）

2　可動間仕切

構造形式、構成基材、パネル表面仕上げ、パネル内建具形状については、建具表による。
遮音性能（db/500Hz）
・0　・12　・20　・28　・36
ホルムアルデヒド放散量 JIS A 6512によりＦ☆☆☆

3　移動間仕切

構造形式、操作方法、パネル表面材及び仕上げ、厚さについては、建具表による。
遮音性能（db/500Hz）
・36未満　・36以上
ハンガーレールの取付け下地補強
※取付け全重量の５倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。
ドアクローザー、丁番、錠前、上げ落し　※標仕 16章 8節 の建具用金物に対応する材質　・図示

4　トイレブース

パネル表面材、金物（脚部、ドアエッジ、笠木形状）については、建具表による。
ホルムアルデヒド放散量 JIS A 6512によりＦ☆☆☆

6　手すり

手すり　・ステンレス製　SUS304
表面処理　・屋内（※HL　・　）　・屋外（・　）
・鋼製
表面処理　溶融亜鉛めっき　種別（　）種
・アルミ製
表面処理　種別（　）種　色合い　・標準色（　）　・特注色（　）
手すりの握り部分

種別	施工箇所
※集成材クリアラッカー仕上げ（市販品　径　約45mm、又は 約60mm）	
・ステンレスパイプ（ＨＬ仕上げ）	
・鋼製パイプ（・ＥＰ－Ｇ　・ＳＯＰ）	
・ビニル製ハンドルレール	

⑧ 表示

⊙衝突防止表示　※図示による　・SUS製　径30mm
・法令に基づく表示（非常用進入口等）　※消防法に適合する市販品による
⊙室名札、ピクトグラフ、案内板等　※図示による

12　ブラインドボックス及びカーテンボックス

材料
・集成材（仕上げ：　　）
・アルミニウム製　押出し型材（市販品）
種別・BB－１　・BB－２（色合い：・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）
・図示
溝幅×深さ（mm）

使用区分	溝幅×深さ（mm）
・横形ブラインド	※　120×150　・90×150　・
・縦形ブラインド	※　120×80　・150×80　・
・カーテン（又はレース共）	※　150×80　・180×80　・
・カーテン＋横形ブラインド	※　180×150

13　ロールスクリーン

操作方法	スクリーンの種類	品質等
・ブルコード式（ストッパー付）	・無地	
・ワンタッチチェーン式	・柄物	
・チェーン式	・遮光タイプ	
・電動式	・	

⑭ カーテン及びカーテンレール

以下の事項は、図示による。
・施工箇所、形式、開閉操作方式
・きれ地の種別、品質、特殊加工等
・ひだの種類

15　ピクチャーレール

レール　材質　・アルミニウム製（シルバー）
形式　先付け天井埋込型（見切縁兼用）
ランナー　材質　本体：真鍮性　フック：ステンレス製（可動式）
耐荷重　25kg程度/個
個数　2個/レール1m

⑯ 天井点検口

目地形状	適用箇所	寸法（mm）
額縁タイプ	下記以外全て	・450×450
目地タイプ	※図示 ・天井仕上げ材がＤＲの範囲	・600×600 ・

17　床点検口

材質	形式	寸法（mm）	備考
※ アルミ製	・一般型	※　600×600	※　鍵付き
・ステンレス製	※ 密閉型 ※屋内外用	・450×450	
・鋼製	・結露防止型 ・屋内用	・	

18　収納家具、書架・物品棚

	主要構造部材の材料	備考（品質）
・収納家具	・鋼製 ・木製	JIS S1033（ｵﾌｨｽ用収納家具）による
・書架 ・物品棚	・鋼製 ・	JIS S 1039（書架物品棚）による種類 書架　（・1種　・2種　・3種） 物品棚（・5種　・6種　・7種）
・移動式書架・物品棚	・図示 ・	

※形状、寸法は図示による

19　くつふきマット

材質（受枠共）、形状、寸法は図示による

20　流し台ユニット

種類	寸法（Ｌ＝　mm）	適用内容	規格・品質等
・流し台	※1200　・1500　・1800	トラップ付き 天板ステンレス製	※優良住宅部品 （ｾｸｼｮﾅﾙｷｯﾁﾝⅠ型）
・コンロ台	※600　・700	ﾊﾟｯｸﾎﾞｰﾄﾞ　※有り 天板ステンレス製	・ ※市販品
・つり戸棚	※1200　・900　・600		
・水切り棚	※1200　・900	ｽﾃﾝﾚｽ製　※１段式	

その他寸法（Ｄ及びＨ）は、図示による

21　屋内掲示板

枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発泡シート張り

22　洗面カウンター

材種　・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）　・人工大理石（仕様は図示）
奥行き（mm）　・約450　・約600

25　止水板

形状　・差込式　・据置式　・壁張り式
施行箇所　※図示

26　敷地境界石標

※コンクリートブロック製の市販品程度　・かこう岩（文字記号等入り）

27　旗竿

材質　※アルミニウム合金製
形式　※テーパー型　・同一断面型
地上高さ（m）　・6　・8　・10　・12　・
操作方法　※ハンドル式　・ロープ式
固定方法　・埋込式　・ベース式　・バンド式
受金物　材種　ステンレス製SUS304

28　フェンス

・耐雪型　・一般型
・ビニル被覆エキスパンドフェンス　・樹脂塗装メッシュフェンス　・鋼管フェンス
・アルミフェンス

29　屋外掲示板

照明器具（　※有り　・無し　）　施錠（　※有り　・無し　）

30　車止め支柱

・ステンレス製（上下式鎖内蔵型、反射テープ付き、φ114.3mm、t2.5mm、H=GL＋700mm）
※スプリング付　・スプリング無し
・図示
※バリアフリー対応

31　EXP.J金物

材質	クリアランス	耐火性能	備考
※ アルミニウム製	・50　・100	※有り（　　）	
・ ステンレス製	・150	・無し	

32　鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	JISによる種類	備考
・ 鋼製書架 ・ 鋼製物品棚	JIS S1039の規格による	・１種　・２種　・３種 ・４種　・５種　・６種	

※形状、寸法は図示による

33　プレキャストコンクリート

コンクリートの設計基準強度
※水セメント比55%以下、単位セメント量最小値300kg/m3を満足する調合強度
・図示
配筋及び取付方法
※図示

34　間知石及びｺﾝｸﾘｰﾄ間知ブロック積み

材種　※花こう岩　・凝灰岩
質量区分　・Ａ　・Ｂ
積み方　※谷積み　・布積み
目塗り　※図示　・伸縮目地（材種：　厚さ：　）

35　鏡

取付箇所、寸法及び取付方法
※図示
厚さ(mm)

36　誘導用、注意喚起用床材

視覚障害者用タイル

適用箇所	種類	寸法（mm）	厚さ	色彩
屋内	・塩化ビニル系	※300×300	・7	※黄色
	・磁器又はせっ器タイル	・	・	・
屋外	・コンクリート系			※黄色
	・レジンコンクリート系	※300×300		・
	・磁器又はせっ器タイル	・		

形状
※ﾌﾞﾛｯｸﾊﾟﾀｰﾝはJIS T9251による

21 排水工事

1　排水管

排水管用材料

材種	管の種類	管形状（接合方法）
※遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管（※１種　・２種）	B形（ゴム接合）
・硬質ポリ塩化ビニル管	※VP　・VU　・RF-VP　・RS-VU	接着接合

基床の厚さ及び種類　※図示　・
地業に用いる材料　※標仕(21.2.1)(7)(7)及び(ｲ)　・図示

2　側塊、排水桝等

形状及び寸法　※図示　・
地業に用いる材料　※標仕(21.2.1)(7)(7)及び(ｲ)　・図示

3　ふた

鋳鉄製ふた

種類	適用荷重	鍵	備考
・水封形 ・簡易密閉形（パッキン式） ・密閉形（テーパー・パッキン式） ・中ふた付密閉形	・Ｔ－　２用 ・Ｔ－　６用 ・Ｔ－２０用	・有り ・無し	左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会 SHASE-S209による

グレーチングふた

材質	形式	種類	適用荷重	ﾒｯｼﾊﾟｰﾋﾟｯﾁ	亜鉛めっき（付着量）	上面形状
・鋼製 ・ステンレス製	※受枠付き ・ ボルト固定 ※無し ・図示	・溝ふた用 ・桝ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用	・歩行用 ・Ｔ－　２用 ・Ｔ－　６用 ・Ｔ－１４用 ・Ｔ－２０用	※細目 ※普通目	・ ・	※平形 ※凹凸形

4　街きょ、縁石、側溝

・縁石　・Ｌ型側溝　・Ｕ形側溝　・Ｕ形側溝ふた
形状及び寸法　※図示　・
地業に用いる材料　※標仕(21.2.1)(7)(7)及び(ｲ)　・図示
砂利地業の厚さ　※100(mm)　・図示

5　材料

コンクリート基礎等に用いる材料　※標仕(6.14)、設計基準強度18N/mm2とする。
ただし、コンクリートが簡易な場合の調合（容積比）
セメント１：砂２：砂利４程度とする。
・図示
埋戻し土　※Ｂ種　・図示

22 舗装工事

1　路床

路床の材料

種別	形式	厚さ(mm)
・盛土	・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 ・建設汚泥から再生した処理土	※図示 ・
・凍上抑制層	・再生クラッシャラン　・クラッシャラン　・切込砂利 ・	※図示 ・
・フィルター層	・川砂、海砂又は良質な山砂（75μmふるい通過量6%以下）	※図示 ・

路床安定処理の適用　※なし　・あり（※添加材による安定処理　・　）
種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントB種
・高炉セメントB種　・生石灰（　）　・消石灰（　）
・固化材（・セメント系　・石灰系　）
添加量　kg/m3（目標CBR　※3以上　・　）
・ジオテキスタイルによる安定処理　・行う　・行わない
ジオテキスタイルの品質
単位面積質量　・60g/m2以上　・
厚さ（mm）　・0.5～1.0　・
引張り強さ　・98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・
透水計数　・1.5x10^-1　cm/sec以上　・

2　路床試験

・路床土の支持力比試験　※行う（※乱した土　・乱さない土）　・行わない
・路床締固の度の試験　※行う　・行わない
・砂の粒度試験　※行う　・行わない
・現場ＣＢＲ試験　・行う　・行わない
・安定処理土のＣＢＲ試験　・行う　・行わない
・六価クロム溶出試験　・行う　・行わない

3　路盤

材料　・砕石　（・クラッシャラン　・粒度調整砕石）
・再生材（・クラッシャラン　・粒度調整砕石）
・クラッシャラン鉄鋼スラグ
・粒度調整鉄鋼スラグ
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ
厚さ　※図示による
路盤の締め固め度試験　※行う　・行わない

4　アスファルト舗装

・アスファルト舗装（表層及び基層の厚さは図示による）
材料　アスファルト　※再生アスファルト　・ストレートアスファルト
骨材　※道路用砕石　・アスファルトコンクリート再生骨材
配合（加熱アスファルト混合物の種類）

区分	地域	種類
表層	※一般地域	※密粒度アスファルト混合物（13） ・細粒度アスファルト混合物（13）
	・寒冷地域	※密粒度アスファルト混合物（13F） ・細粒度ギャップアスファルト混合物（13F）

シールコート　※行わない　・行う（施工範囲：　）
アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う

5　コンクリート舗装

舗装の構成及び厚さ　※図示　・
材料　コンクリート　※標仕表22.5.1による　・
早強セメント　※使用しない　・使用する
注入目地材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ
コンクリート版厚さの試験　※行わない　・行う

6　カラー舗装

・カラー舗装（表層及び基層の厚さは図示による）

舗装の種類		部位	車道部の基層	
※加熱系	・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	・車道部 ・歩道部	※無し	・有り
・常温系	・		※無し	・有り

常温系カラー舗装の着色部の下部　・アスファルト舗装　・コンクリート舗装
材料　加熱系混合物に添加する材料　・着色骨材（　）　・自然石（　）
配合　結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量　・
樹脂系混合物、ニート工法及び塗布工法の配合等　・

7　透水性及び排水性アスファルト舗装

・透水性アスファルト舗装（表層及び基層の厚さは図示による）
・排水性アスファルト舗装（表層及び基層の厚さは図示による）

区分	種類	材料
表層	・排水性舗装用アスファルト混合物	・ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型 ・
基層	・加熱アスファルト混合物等（密粒アスファルト混合物）	・再生アスファルト ・ストレートアスファルト

舗装の平坦性　※著しい不陸がないもの
アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない

8　ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装

種類	寸法（mm）	厚さ（mm）	目地材	表面加工
※普通平板（N） ・透水平板（P）	※300角 ・	※60	※砂 ・モルタル	・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し

ｸｯｼｮﾝ材　・砂　・空練りモルタル　・30
仕上り面の平坦性　※歩行に支障となる段差がないものとし、ｺﾝｸﾘｰﾄ平板間の段差は3mm以内

・インターロッキングブロック舗装

種類	施工箇所	曲げ強度	厚さ(mm)	横断面勾配	表面加工及び色彩等
※普通タイプ ・誘導、注意喚起用タイプ ・透水性タイプ ・保水性タイプ ・植生タイプ	※車道部 ※歩道部 ・	5N/mm2以上 3N/mm2以上 ・	80 60 ・	2％ 1.5～2％ ・	※標準タイプ ・表面化粧タイプ 誘導、注意喚起用は黄色とする

目地材　※砂

区分	部位	厚さmm	種類
ｸｯｼｮﾝ材	・車路、駐車場	20	砂
	・歩行者用通路	30	
フィルター層		100	川砂、海砂又は良質な山砂（75μmふるい通過量6%以下）

・ジオテキスタイルの敷設位置
※図示　・敷砂層と路盤の間　・フィルター層と路床の間
・ジオテキスタイルの敷設位置
ジオテキスタイルの品質
単位面積質量　・60g/m2以上　・
厚さ（mm）　・0.5～1.0　・
引張り強さ　・98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・
透水計数　・1.5x10^-1　cm/sec以上　・
舗装の割付　・ヘリンボンボンド　（・45°　・90°）
仕上り面の平坦性　※歩行に支障となる段差がないものとし、ブロック間の段差は3mm以内
・舗石舗装

種類	厚さ（mm）	施工方法	基層
※小舗石（花こう岩）	※80～100　・	※うろこ張り	※コンクリート舗装
・	・	・	・アスファルト舗装

目地材　※モルタル　・

区分	種類	厚さmm	備考
ｸｯｼｮﾝ材	※砂　・空練りモルタル	30	
基層	・コンクリート版	70	
	・再生粗粒度アスファルト混合物（20）	50	

コンクリート版は、コンクリート舗装による。
加熱アスファルト混合物は、アスファルト舗装による。
仕上り面の平坦性　※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内

9　砂利敷き

・Ａ種　・Ｂ種

10　区画線

路面表示用塗料

規格番号	種類	施工時の条件	適用	寸法（mm）	色彩
JIS K5665	・１種	常温	液状	幅　※150	※白
	・２種	加熱		・	・黄
	※３種１号	溶融	粉体状	厚さ　※1.0	

低揮発性有機溶剤型の路面表示用水性塗料

株式会社 鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118(代)

設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日	R8.3	図面番号
図面名称	建築特記仕様書３	縮尺	－	Ａ－０４

3 防水改修工事

③ 合成高分子系ルーフィングシート防水

種別	施工箇所	新規防水層の種別 厚さ（mm）	脱気装置	改修用ドレン
⊙ＰＯＳ ・Ｓ４Ｓ		・Ｓ－Ｆ１（※1.2　・　） ・Ｓ－Ｆ２（※2.0　・　） ・Ｓ－Ｍ１（※1.5　・　） ⊙Ｓ－Ｍ２（※1.5　・　）	・設ける ⊙設けない	⊙設ける ・設けない
・Ｓ３Ｓ		・Ｓ－Ｆ１（※1.2　・　） ・Ｓ－Ｆ２（※2.0　・　）	・設ける ・設けない	
・Ｍ４Ｓ		・Ｓ－Ｍ１（※1.5　・　） ・Ｓ－Ｍ２（※1.5　・　）	・設ける ・設けない	
・ＰＯＳＩ ⊙Ｓ４ＳＩ ・Ｓ３ＳＩ ⊙Ｍ４ＳＩ		・ＳＩ－Ｆ１（※1.2　・　） ・ＳＩ－Ｆ２（※1.5　・　） ・ＳＩ－Ｍ１（※1.5　・　） ⊙ＳＩ－Ｍ２（※1.5　・　）	・設ける ⊙設けない	⊙設ける ・設けない

SI-M1及びSI-M2の場合の防湿用フィルム　（・設置する　　・設置しない）

屋内防水

種別	施工箇所	保護層 平場のモルタル塗り 塗り厚さ	・床塗り工法	・下地モルタル塗り	立上り部の保護モルタル塗り厚さ
・Ｓ－Ｃ1	・	・	※標仕15.3.5 (2)(ｲ)及び(ｳ)に準ずる ・	※標仕15.2.5 1(4)(ｱ)に準ずる ・	※7mm以下 ・

屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ　・
固定金具の材質及び寸法形状
　※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの片面又は両面に樹脂を積層加工した鋼板
脱気装置の種類及び設置数量
　種類　・　　※ルーフィングシート製造所の指定による
　設置数量　・　個/㎡　※ルーフィングシート製造所の指定による
仕上塗料塗り（Ｓ－Ｆ１，ＳＩ－Ｆ１，Ｓ－Ｍ１，ＳＩ－Ｍ１の場合）
　・シルバー　・カラー　　使用量　※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ製造所の仕様による　・
新規防水層の使用分類　※非歩行　・軽歩行
機械式固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
断熱材の材料、厚さ
　・接着工法　※改修標仕3.5.2(3)(ｴ)(b)による
　・
　（厚さ）・25mm　・
　・機械的固定工法　※改修標仕3.5.2(3)(ｴ)(a)による
　・
　（厚さ）・25mm　・
既存下地がＰＣコンクリート部材下地及びＡＬＣパネル下地で種別S-C1の場合の処理
　目地処理（※接着工法　・　　）　※図示
PC部材の入隅部の増張り（種別S-F1、SI-F1の場合）　・行う（幅　mm程度）　・行わない

④ 塗膜防水

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料塗り
・ＰＯＸ ⊙Ｐ１Ｘ		※Ｘ－１　⊙Ｘ－２ ・Ｘ－１Ｈ　・Ｘ－２Ｈ	・製造所の仕様による
・Ｌ４Ｘ		・Ｘ－１　※Ｘ－２ ・Ｘ－１Ｈ　・Ｘ－２Ｈ	
・Ｐ１Ｙ ・Ｐ２Ｙ		※Ｙ－２	保護層 ・有　・無

改修用ドレン（ＰＯＸ工法の場合）　・設ける　・設けない
既存塗膜防水層表面仕上げ塗装の除去（Ｌ４Ｘ工法の場合）　・行う　・行わない
脱気装置の種類及び設置数量
　種類　・　　※主材料製造所の指定による
　設置数量　・　個/㎡　※主材料製造所の指定による

⑤ シーリング

改修工法の種類	施行箇所
・ｼｰﾘﾝｸﾞ充填工法	
⊙ｰﾘﾝｸﾞ再充填工法	
・拡幅ｼｰﾘﾝｸﾞ再充填工法	
・ブリッジ工法	

ﾎﾞﾝﾄﾞﾌﾞﾚｰｶｰ張り及びｴｯｼﾞﾝｸﾞ材張り（ﾌﾞﾘｯｼﾞ工法の場合）　・適用する
シーリング材の種類及び施工箇所
　※下表以外は、改修標仕　表3.7.1を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

接着性試験
　※簡易接着性試験　・引張接着性試験（対象施工部位　　）
撤去既存シーリングの処理
　事前調査等
　　現場においてサンプルを採集し、専門分析機関で分析を行う。
　　採取個所　※外壁目地　・建具周囲目地　・図示
　　採取個所数　・部材が異なる毎に１箇所　・図示
　　分析によりＰＣＢの含有が確認された場合は施工調査等を行い、適切に処理を行う。
　施工調査等
　　調査範囲　※今回改修工事範囲全て　・図示
　　調査内容　シーリング使用部位及び長さの確認
　　施工範囲と工事管理区分の確認
　　仮設計画
　　廃棄物等の搬出方法

⑥ とい

といその他の材種
　・配管用鋼管　※硬質着色塩化ビニル管　（・VP　・RF-VP　）
ルーフドレンのその他の材種

種別	材種	
⊙ろく屋根用（⊙縦型　⊙横型）		
・バルコニー用		
・バルコニー中継用		

とい受金物及び足金物　※改修標仕　表3.8.2による　・

7 アルミニウム製笠木

アルミニウム製笠木の種類

種　類	板厚（mm）	表面処理及び色合い	固定間隔	下地補修
ｵｰﾌﾞﾝ形式 ・押出250形	1.6以上	・Ａ-1種　・Ａ-2種 ・Ｂ-1種　・Ｂ-2種 ・Ｃ-1種　・Ｃ-2種 ・Ｄ種	建築基準法に基づく指定する条件により定める	※行う（図示） ・行わない
ｵｰﾌﾞﾝ形式 ・押出300形	1.8以上			
ｵｰﾌﾞﾝ形式 ・押出350形	2.0以上			
ｵｰﾌﾞﾝ形式 ・板材折曲げ形	※2.0以上 ・　以上	・ブラウン系　・ブラック ・ステンカラー		
ｼｰﾙ形式 ・板材折曲げ形	※2.0以上 ・　以上			

既存笠木等の撤去　・行う（範囲　※図示　・　　）
板材折曲げ形ｱﾙﾐﾆｳﾑ笠木の取付工法
　笠木の固定金具　　※図示

4 外壁改修工事

① 施工数量調査

調査範囲　※外壁改修範囲（第２体育館のみ）　・図示の範囲
　　・既存外壁仕上げ材等撤去後の躯体面（仕上げ材等撤去範囲）
調査内容
　ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
　モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。
　コンクリート表面のはがれ及びひび割れを壁面に表示する。
　塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びひび割れを壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
調査報告書の部数　※２部

4-1 外壁改修工事共通事項

① 改修使用材料

ポリマーセメントモルタル

項　目	曲げ強さ(N/mm2)	圧縮強さ(N/mm2)	接着強さ(N/mm2) 標準時	湿潤時	低温時
性　能	6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

表面状態	だれの下がり量は5mm以内かつ、ひび割れの発生がないこと。
透水性	裏面の濡れ、水滴の付着がないこと。
その他	1）　均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2）　高分子ｴﾏﾙｼｮﾝは、常温常湿において製造後６ヶ月保存しても変質しないこと。

ポリマーセメントスラリー

項目	注入性 広がり速度(cm/s)	注入性 粘調整(粘調係数)	保水性(保水係数)	長さ変化率(収縮)(%)	引張り接着性(28日材齢)(N/mm2)	曲げ性能(28日材齢)(N/mm2)	吸水性(72時間)(%)	耐久性(劣化曲げ強さ)(N/mm2)
品質	3 以上	0.05～1.00	0.35～0.55	3 以下	0.5 以上	5.0 以上	15 以下	5.0 以上

吸水調整材

項　目	全固形分（%）	吸水量（g）	接着強度（N/mm2）	界面破断率（%）
品質・性能	表示値±1%以内	30分間で1g以下	0.98以上	50以下

　均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

既調合モルタル

項　目	保水率（%）	単位容積質量(kg／ｌ)	接着強さ(N/mm2) 標準時	温冷繰返し後	長さ変化率(%)	曲げ強さ(N/mm2)
品質・性能	70.0以上	1.8以上	0.6以上	0.4以上	0.2以下	4.0以上

アンカーピン
　材質　※ステンレスSUS304、呼び径４mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
注入口付アンカーピン
　材質　※ステンレスSUS304、呼び径外径６mm

4-2 コンクリート打放し仕上げ外壁改修工事

① ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法

注入工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（ml/m）
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※130
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70
	0.5以上～1.0以下	※150～250	※130

　注入状況の確認（コア抜取り）
　　※行わない　・行う
　抜取り部の補修方法　・図示
　　※充填工法（・ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ　・ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ）

・Ｕカットシール材充填工法

充填材料	種　別	備　考
・シーリング材	※１成分形又は２成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う　・行わない
・可とう性エポキシ樹脂	JIS A 6024による	

・シール工法
　シール材料
　　・パテ状エポキシ樹脂
　　・可とう性エポキシ樹脂

② 欠損部改修工法

※充填工法
　充填材料
　　⊙エポキシ樹脂モルタル
　　・ポリマーセメントモルタル

4-3 モルタル塗り仕上げ外壁改修工事

① 既存モルタル塗りの撤去

・行う（※全面　・図示の範囲）
　撤去部分の補修は、３．欠損部改修工法による

② ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法

注入工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（ml/m）
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※130
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70
	0.5以上～1.0以下	※150～250	※130

　注入状況の確認（コア抜取り）
　　※行わない　・行う
　抜取り部の補修方法　・図示
　　※充填工法（・ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ　・ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ）

・Ｕカットシール材充填工法

充填材料	種　別	備　考
・シーリング材	※１成分形又は２成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う　・行わない
・可とう性エポキシ樹脂	JIS A 6024による	

・シール工法
　シール材料
　　・パテ状エポキシ樹脂
　　・可とう性エポキシ樹脂

③ 欠損部改修工法

⊙充填工法
　充填材料　⊙エポキシ樹脂モルタル　・ポリマーセメントモルタル
・モルタル塗替え工法
　塗替え材料　・現場調合材料（ｾﾒﾝﾄは標仕6.3.1による）　・既調合材料（　　）
　仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置
　　※ステンレス製アンカーピンを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、ステンレスラス等を張る。
　　・図　示
　既製目地材　・適用する　（形状　※図示　・　　）

④ 浮き部改修工法

改修工法の種類	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの本数 一般部	指定部	注入口の箇所数 一般部	指定部	注入量(箇所/ml)
⊙アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・			※25 ・
⊙アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・
・アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・			※25 ・
・注入口付アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・
・注入口付アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・
・充填工法					
・モルタル塗替え工法					

4-5 塗り仕上げ外壁改修工事

① 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整

既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法

工　法	処理範囲	下地ひび割れ部等の補修
・サンダー工法	・図示　※既存仕上面全体	・ひび割れ部改修工法
・高圧水洗工法	・図示　※既存仕上面全体	・浮き部改修工法
・塗膜はく離剤工法	・図示　※既存仕上面全体	・欠損部改修工法
⊙水洗い工法	・図示　※既存仕上面全体	

② 下地調整材

※下地調整塗材
　・ポリマーセメントモルタル（4-1.1による）

③ 仕上げ塗材仕上げ

種類、仕上げの形状、工法

種　類	呼び名	仕上げの形状
⊙薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｓｉ ・可とう形外装薄塗材Ｓｉ ・外装薄塗材Ｅ ・可とう形外装薄塗材Ｅ ・防水形外装薄塗材Ｅ ・外装薄塗材Ｓ ⊙アクリルシリコン樹脂系仕上塗材 ⊙ふっ素樹脂系多意匠装飾仕上塗材	・砂壁状 ・ゆず肌状（・ﾛｰﾗｰ　・吹付） ・さざ波状 ・着色骨材砂壁状（・吹付　・こて） ・凹凸状 ⊙グラニュール ⊙フラット
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材Ｃ ・外装厚塗材Ｓｉ ・外装厚塗材Ｅ	・吹放し　・凸部処理　・平たん状 ・掻き落とし ・凹凸状（・こて　・ﾛｰﾗｰ）　・ひき起し
・複層仕上塗材	・複層塗材ＣＥ ・複層塗材ＲＥ ・複層塗材Ｓｉ ・複層塗材Ｅ ・可とう形複層塗材ＣＥ ・防水形複層塗材ＣＥ ・防水形複層塗材ＲＥ ・防水形複層塗材Ｅ ・防水形複層塗材Ｅ（透湿型）	・ゆず肌状　・凸部処理　・凹凸状 耐候性　※耐候形３種 上塗材 溶媒　※水系　・溶剤系　・弱溶剤系 樹脂　※アクリル系 外観　※つやあり　・つやなし ・メタリック 防水形複層塗材Ｅ（透湿型）を使用する場合の所要量　※メーカー推奨所要量による
・可とう系改修用仕上塗材	・可とう系改修塗材Ｅ ・可とう系改修塗材ＲＥ ・可とう系改修塗材ＣＥ	・平たん状　・さざ波　・ゆず肌状 耐候性　※耐候形３種 上塗材 溶媒　※水系　・溶剤系　・弱溶剤系 樹脂　※アクリル系 外観　※つやあり　・つやなし ・メタリック

防火材料　・建築基準法に基づく指定又は認定を受けた材料とする。

4 マスチック塗材仕上げ

種別　・Ａ種　・Ｂ種

5 外壁用塗膜防水材塗り

外壁用塗膜防水塗り
　仕上げの形状　・　　工法　・
　外壁用仕上塗材の耐候性　※JIS A 6909 の耐候性1種相当　・
　　下地挙動緩衝材の適用　・適用する　・適用しない
　　吹付け工法の模様材の種類　・　　・所要量　　[kg/㎡]
　　外壁用仕上塗料の種類　・　　・所要量　　[kg/㎡]

5 建具改修工事

① 改修工法

改修工法	適用箇所
⊙かぶせ工法	※建具表による
⊙撤去工法	※建具表による

② ガラス用フィルム

種類	記号	日射調整	その他性能等
・ 衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	※ GI-1（内張り） ・ GI-2（外張り）	・ あり ・A　・B　・C	
・ 層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・ GD-1（内張り） ・ GD-2（外張り）	・D　・E ・ なし	
・ 日射調整フィルム ⊙ 断熱フィルム	※ SC-1（内張り） ・ SC-2（外張り）	・A　・B　・C ・D　・E	
・			

品質　JIS A 5759による。

6 内装改修工事

① 基本要求品質

特記以外の建物内部に使用するユニット及びその他工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料のホルムアルデヒドの放散量
　※規制対象外　・第三種

② 改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲
　※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
　・図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
　※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
　・図示の範囲
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
　※既存のまま
　・図示の範囲

③ 既存床の撤去、下地補修

ビニル床シート等の除去　　※仕上げ材のみ（接着剤とも）
　　・下地モルタルとも（※図示の範囲　・除去範囲全て）
合成樹脂塗り床材の除去工法　・機械的除去工法　・目荒工法
改修後の床の清掃範囲　　※改修箇所の室内

④ 既存壁の撤去、下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
　※図示
　・モルタル塗り
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置　　・適用する（範囲は図示）
　※ｽﾃﾝﾚｽ製ｱﾝｶｰﾋﾟﾝを、縦横 200mm 程度の間隔に打ち込み、ｽﾃﾝﾚｽﾗｽ等を張る。
　・図示

5 軽量鉄骨天井下地

既存の埋込インサート　　・使用する　・使用しない
あと施工アンカーの引抜き試験　・行う　・行わない
　荷重　・400N
　箇所数　・当該階において３箇所程度　　・図示
天井下地材における耐震性を考慮した補強　　・行う　　補強箇所　※　図示
　　補強方法　※　図示

株式会社 鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118(代)

設　計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担　当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日 R8.3	図面番号
図面名称	建築改修特記仕様書１	縮　尺 －	Ａ－０５

7 塗装改修工事

① 材料

建物内部に使用するユリア樹脂等を用いたホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種
防火材料　※屋内の壁及び天井仕上げ材は、防火材料とする。
・次の箇所を除き、防火材料とする。（箇所：　　）

② 下地調整

塗替えＲＢ種の場合の既存塗膜の除去範囲
※劣化部分は除去、活膜部分は残す　・図示　・

下地面の種類	下地調整の種別		ひび割れ部の補修（補修方法等は図示）
	塗替え	新規	
木部	※ＲＢ種　・	・ＲＡ種　・ＲＢ種	
鉄鋼面	※ＲＢ種　・	※ＲＡ種	
亜鉛めっき面	※ＲＢ種　・	※ＲＡ種	
亜鉛めっき面（鋼製建具）	※ＲＢ種　・	※ＲＣ種	
モルタル面、プラスター面	※ＲＢ種　・	・ＲＡ種　・ＲＢ種	・行う　・行わない
コンクリート面（DP以外）、ALCパネル面	※ＲＢ種　・	※ＲＡ種	・行う　・行わない
押出成形セメント板	・ＲＡ種　・ＲＢ種 ・ＲＣ種	・ＲＡ種　・ＲＢ種	・行う　・行わない
コンクリート面（DP）	・ＲＢ種　・ＲＣ種	※ＲＡ種	・行う　・行わない
せっこうボード面及び その他ボード面	※ＲＢ種　・	・ＲＡ種　・ＲＢ種	

3 素地ごしらえ

下　地　面　等		種　別
木部	不透明塗料塗りの場合	※Ａ種　・Ｂ種
	透明塗りの場合	・Ａ種　※Ｂ種
鉄鋼面		・Ａ種　・Ｂ種　※Ｃ種
亜鉛めっき面		・Ａ種　・Ｂ種
モルタル面、プラスター面		・Ａ種　※Ｂ種
コンクリート面（DP以外）、ALCパネル面、		・Ａ種　※Ｂ種
押出成形セメント板面		・Ａ種　※Ｂ種
せっこうボード面及び	目地：継ぎ目処理工法	※Ａ種　・Ｂ種
その他ボード面	目地：継ぎ目処理工法以外	・Ａ種　※Ｂ種

4 錆止め塗料塗り

錆止め塗料の種類　※JIS K 5674　・

塗装面			塗料	工程
鉄鋼面	EP-G以外	塗替え	※Ａ種	※Ｃ種　・
		新規鉄鋼面見え掛り	※Ａ種	※Ａ種　・
		新規見え隠れ	※Ａ種	※Ｂ種　・
	EP-G	塗替え	※Ｂ種	※Ｃ種　・
		新規鉄鋼面見え掛り	※Ｂ種	※Ａ種　・
		新規見え隠れ	※Ｂ種	※Ｂ種　・
亜鉛めっき面	EP-G以外	塗替え	※Ａ種　・Ｂ種	※Ｃ種　・
		新規鉄鋼面見え掛り	※Ａ種　・Ｂ種	※Ａ種　・
	EP-G	塗替え	※Ｃ種	※Ｃ種　・
		新規鉄鋼面見え掛り	※Ｃ種	※Ａ種　・

⑤ 塗装

塗装の種類	塗装面	工程	
		塗替え	新規
⊙合成樹脂調合ペイント塗り（SOP） 塗料の種別 ※１種　・２種	木部屋外	※Ｂ種　・	※Ａ種
	木部屋内	※Ｂ種　・	※Ｂ種
	鉄鋼面	※Ｂ種　・	※Ｂ種　・Ａ種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※Ａ種　・	※Ｂ種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具以外）	※Ｂ種　・	※Ｂ種
・クリヤラッカー塗り（CL）		※Ｂ種　・Ａ種	※Ｂ種　・Ａ種
・アクリル樹脂非水分散型塗料塗り（NAD）		※Ｂ種　・Ａ種	※Ｂ種　・Ａ種
⊙耐候性塗料塗り（DP）	鉄鋼面　上塗り等級（　）級	・	※Ａ種
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級（　）級	・	※Ａ種
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面		
⊙つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（EP-G）	ｺﾝｸﾘｰﾄ面等	※Ｂ種　・	※Ｂ種　・Ａ種
	屋内の木部	※Ｂ種　・	※Ａ種
	屋内の鉄鋼面	※Ｂ種　・	※Ｂ種　・Ａ種
	屋内の亜鉛めっき鋼面	※Ｂ種　・	※Ｂ種　・Ａ種
・合成樹脂エマルションペイント塗り（EP）		※Ｂ種　・	※Ｂ種
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り（EP-T）		※Ｂ種　・	※Ｂ種　・Ａ種
⊙ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）		※Ｂ種　・Ａ種	※Ｂ種　・Ａ種
・ステイン塗り　（・ﾋﾟｸﾞﾒﾝﾄｽﾃｲﾝ塗り　・ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗り）		・	・
・木部保護塗料塗り（WP）		※Ｂ種　・Ａ種	※Ｂ種　・Ａ種

EP-G塗り（ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、ﾌﾟﾗｽﾀｰ面、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面）の塗替えの場合のしみ止め
※改修標仕 表7.9.1の工程１の下塗りをしみ止めシーラーとする　・
EP塗りの塗替えの場合のしみ止め
※改修標仕 表7.9.1の工程１の下塗りをしみ止めシーラーとする　・

8-1 耐震改修工事以外

① あと施工アンカーの材料

あと施工アンカーの材料
・金属拡張アンカー
セット方式　※本体打込み式改良型
※接着系アンカー
セット方式　※カプセル方式（・回転打撃型　・打込み型）
・注入方式（・現場調合型　・カートリッジ型）
接着剤の品質　※有機系　・無機系
アンカー筋の種類
・改修標仕 表8.2.1の異形棒鋼　・全ねじボルト
既存コンクリートの不良個所の確認
※アンカー施工部位の既存コンクリートは目荒し後、目視及び打診により状況を確認し、じゃんか等不良個所を発見した場合には、監督職員と協議すること。

9 環境配慮改修工事

① 石綿含有建材の除去

※ 石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。
貸与資料（　　）

・分析による石綿含有建材の調査
分析方法 ※　定性分析はJIS A1481-1又はJIS A1481-2
定量分析はJIS A1481-3又はJIS A1481-4による。
分析結果については、監督職員に報告すること。

材 料 名	採取場所	箇所数	分析方法
			※ 定性分析　・ 定量分析
			※ 定性分析　・ 定量分析
			※ 定性分析　・ 定量分析

石綿粉じん濃度測定
※行う　測定室（　　）

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）
・	測定１	処理作業前	処理作業室内	・各1点　・各2点　・各3点
・	測定２		施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点
・	測定３	処理作業中	処理作業室内	・各1点　・各2点　・各3点
・	測定４		ｾｷｭﾘﾃｨｰｿﾞｰﾝ入口	・各1点　・各2点
・	測定５		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	・集じん・排気装置各１点 ・各1点
・	測定６		施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点
・ ・	測定７ 測定８	処理作業後（隔離シート撤去前）	処理作業室内 施工区画周辺又は敷地境界	・各1点　・各2点 ・4方向各1点
・	測定９	処理作業後シート撤去後１週間以降	処理作業室内	・各1点　・各2点　・各3点
・	測定１０		調査対象室外部の付近	・各1点　・各2点

測定方法
・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定 4 ・測定 5	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)
・測定 4　・ ・測定 5	25	5	30
・測定 ・	47	10	120
・測定 ・	47	10	240
・測定 ・			

石綿含有建材の処理
・ 石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲　・ 図示による　・
除去工法　※改修標仕 9.1.3 (2) (7)による
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止　※ 湿潤化　・固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・ 埋立処分（管理型最終処分場）
・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
（いずれも処分場はあらかじめ監督職員の承諾を受ける。）

・ 石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲　・ 図示による　・
除去工法　・粉砕して除去　・手ばらし
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止　※ 湿潤化　・固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・ 埋立処分（管理型最終処分場）
・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
（いずれも処分場はあらかじめ監督職員の承諾を受ける。）

⊙ 石綿含有成型板（下地調整材を除く）の除去
除去対象範囲　⊙ 図示による　・
隔離養生方法　・ 図示による　・
除去した石綿含有成形板の処分
・ 石綿含有せっこうボード
※ 埋立処分（管理型最終処分場）
⊙ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
・ 埋立処分（安定型最終処分場）
・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
（いずれも処分場はあらかじめ監督職員の承諾を受ける。）

・ 石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去
除去対象範囲　・ 図示　・
着手前の試験施工　※行う　・行わない
除去工法
・集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法
・集じん装置併用手工具ケレン工法
・集じん装置付き高圧水洗工法（15MPa以下、30～50MPa程度）
・集じん装置付き超高圧水洗工法（100MPa以上）
・剥離剤併用超音波ケレン工法
・剥離剤併用手工具ケレン工法
・剥離剤併用高圧水洗工法（30～50MPa程度）
・剥離剤併用超高圧水洗工法（100MPa以上）
・超音波ケレン工法（HEPAフィルター付き掃除機併用）
(1) 施工区画を明確に定め、水滴飛沫などによる汚れを防止するためにプラスチックシート等による養生を行うこと。
(2) 作業区画や立入禁止範囲を明確に定め、石綿くずや石綿を含有する飛沫の飛散等を防止するために、作業区画の床面及び壁面に（必要に応じて天井にも）プラスチックシート等による養生を行うこと。
(3) 剥離剤を使用する工法では、ジクロロメタン等の有害性の高い化学物質を使用しない。
剥離剤使用量　０．６～１．０kg/㎡
(4) 水を使って除去する工事の場合には、未処理の廃水が流出・地下浸透しないようすべて回収しなければならない。回収した廃水は、凝集沈殿後に上澄み水をろ過処理する等により、適切に処理した上で放流すること。

除去した石綿含有仕上塗材の処分
・ 埋立処分（安定型最終処分場）
・ 埋立処分（管理型最終処分場）
・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
（いずれも処分場はあらかじめ監督職員の承諾を受ける。）

石綿含有建材除去後の仕上げ工事　・図示　・

2 ﾘﾌﾗｸﾄﾘｰｾﾗﾐｯｸﾌｧｲﾊﾞｰの処理

施工調査
※ﾘﾌﾗｸﾄﾘｰｾﾗﾐｯｸﾌｧｲﾊﾞｰ含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりﾘﾌﾗｸﾄﾘｰｾﾗﾐｯｸﾌｧｲﾊﾞｰを含有している建築材料等の使用の有無について調査する。
調査範囲　※図示
貸与資料　（　　）
除去処理対象物
除去対象範囲　※図示
除去方法　※図示
処分　※埋立処分（安定型最終処分場）

3 ガラス改修工事

複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
・建具表による
断熱性による区分
・T1　・T2　・T3　・T4　・T5　・T6
日射取得性、日射遮へい性による区分
・G　・S
乾燥気体の種類
・空気　・

④ 断熱・防露改修工事

断熱材は、原則として「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」における特定調達品目を使用する。
ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種

種　類	発泡材の種類	種　類	厚さ(mm)	施工箇所
⊙ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材	・	⊙3号	⊙70	⊙外壁
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材（ｽﾁﾝなし）	・	・保温板(2種b) ・保温板(3種b)	・25 ・25	・ ・
・硬質ウレタンフォーム断熱材	※A種		・	・
・ポリエチレンフォーム断熱材	・	・	・	・
⊙フェノールフォーム断熱材（3種2号除く）	・	⊙1種2号C　Ⅱ	⊙30、45	⊙外壁、外壁
・		・	・	・

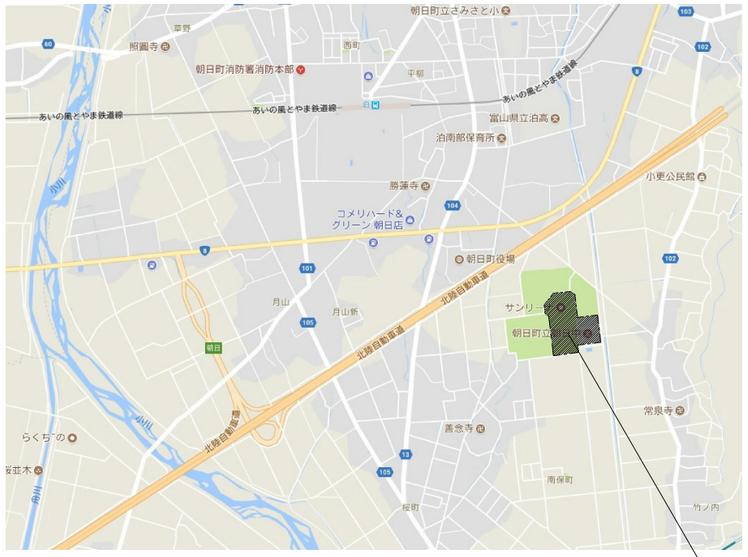
工　法	・断熱材現場発泡工法
断熱材の種類	※A種１又はA種1H　・B種
厚さ(mm)	・２５　・３０　・
施行箇所	※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフドレイン周りの床板下等、部分的に後張りとしなければならない箇所 ・図示 ・

・断熱材後張り工法
断熱材の種類（　　）
断熱材の厚さ（　　）

株式会社 鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118(代)

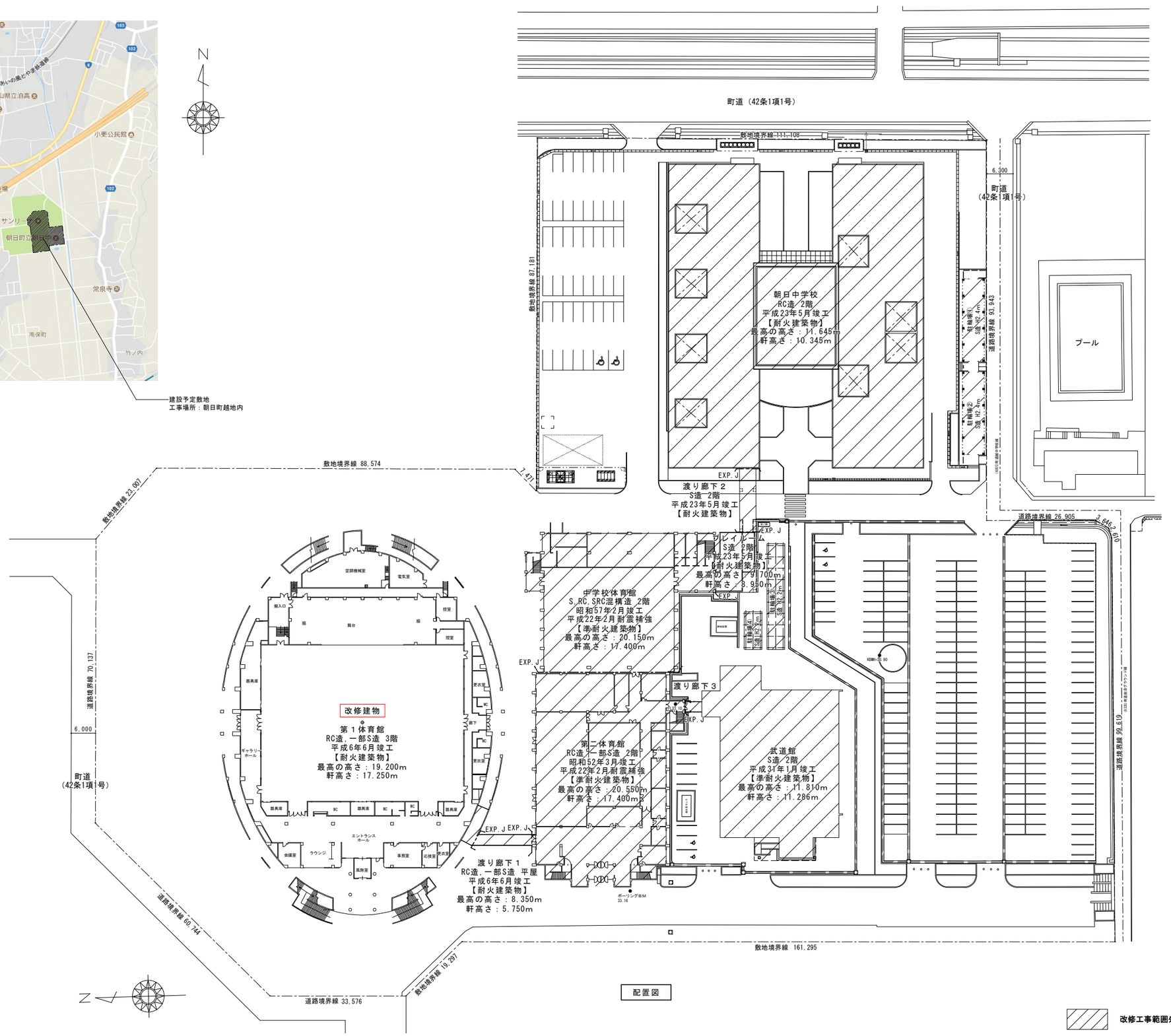
設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称　朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事
年月日　R8.3
図面名称　建築改修特記仕様書２
縮尺　－
図面番号　Ａ－０６



付近見取図

建設予定敷地
工事場所：朝日町越地内



配置図

改修工事範囲外

【棟面積表】

（単位：㎡）

	床面積				建築面積
	既設				既設
	1階	2階	3階	延べ面積	
朝日町武道館（渡り廊下３含む）	1,161.71	1,008.49		2,170.20	1,219.86
第１体育館	4,061.23	1,389.19	400.46	5,850.88	4,876.10
渡り廊下１	80.39			80.39	44.89
第２体育館	1,668.42	1,656.33	424.96	3,749.71	1,755.63
中学校体育館	1,294.54	1,294.54		2,589.08	1,346.07
渡り廊下２・プレイルーム	81.44	199.94		281.38	199.94
朝日町中学校	2,623.56	2,344.60		4,968.16	3,171.67
計	10,971.29	7,893.09	825.42	19,689.80	12,614.16
合計	19,689.80				12,614.16

【別棟面積表】

	床面積	建築面積
駐輪場①	108.87	108.87
駐輪場②	108.87	108.87
駐輪場③	90.72	90.72
駐輪場④	30.24	30.24
合計	338.70	338.70

【敷地内建物面積表】

	床面積				建築面積
	1階	2階	3階	延べ面積	
朝日町武道館	1,161.71	1,008.49	0.00	2,170.20	1,219.86
サンリーナ・朝日町中学校等	9,809.58	6,884.60	825.42	17,519.60	11,394.30
駐輪場（４棟）	338.70	0.00	0.00	338.70	338.70
合計	11,309.99	7,893.09	825.42	20,028.50	12,952.86

※面積の変更はなし

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118(代)

設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称　朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事

図面名称　付近見取図・配置図

年月日　R8.3

縮尺　A1:1/ 500　A3:1/1000

図面番号　Ａ－０７

外　部　仕　上

屋根・防水

屋根 ［既存のまま］	既存の上、t0.4カラーSGL立平葺き+改質アスファルトルーフィング+ t12構造用合板+t25フェノールフォーム断熱材+t1.2金属タルキ@450 軒先唐草・ケラバ唐草・水切り：t0.4カラーSGL加工 【参考：セキノ興産　ニューS&W工法、立平ロック20型（可変式）】 【参考：旭化成　ネオマフォーム】
防水・立上り ［既存のまま］	既存の上、塩ビシート機械的固定工法（SD-1仕様） t25×2ポリスチレンフォーム断熱材 一部：下地t0.8補強鋼板 【参考：ロンシール工業　SD-1 UD仕様】
笠木 ［既存のまま］	塩ビシート防水巻上げ
ルーフドレン ［既存のまま］	横引きドレン150Φ　鋳鉄製 高排水マス150Φ、掃除口、ソケット 【参考：セキスイ　陸屋根高排水システム】 改修用ドレン100Φ　鋳鉄製
竪樋	VU75Φ 【参考：セキスイ　カラーパイプ・ファインメタリック】 SGP100Φ、一部撤去、ドレン穴埋め
タラップ	取外し・再取付
テラス吹抜 屋根新設	t0.4カラーSGL立平葺き+改質アスファルトルーフィング+ t18硬質木片セメント板+C-100x50x20x2.3@455 軒先唐草・ケラバ唐草・水切り：t0.4カラーSGL加工 軒樋：GL鋼板W113*H67　　竪樋：GL60Φ 【参考：タニタハウジング　HAC06号/丸たてどい】 30分耐火構造（屋根） 耐火構造認定番号：FP030RF-1763-2（1）
テラス立上り 改修	防水押さえモルタル撤去 防水押さえモルタル復旧、伸縮目地@2000 塗膜防水X-2
防水-1 （２階風除室上）	既存の上、塩ビシート機械的固定工法（S-M2） 入隅部：補強鋼板 【参考：ロンシール工業　210UD仕様】

外壁（改修前）

外壁-A	コンクリート打放し
外壁-B	コンクリート打放し+2-ASE
外壁-C	50角磁器質タイル貼 コンクリート下地
外壁-D	t60押出成型セメント板+2-ASE 鉄骨下地 ※t60押出成型セメント板（アスベスト含有　レベル3）
外壁-E	t60押出成型セメント板+50角磁器質タイル貼 鉄骨下地 ※t60押出成型セメント板（アスベスト含有　レベル3）
外壁-F	t2.0アルミパネル張り 鉄骨下地
外壁-F内部吹抜	鉄骨下地既存のまま 下部t1.6エキスパンドメタル取外し・再取付 室外機撤去
機械置場 アルミルーバー	取外し・再取付
階段床タイル	100角磁器質タイル貼撤去
階段手すり	40φ壁付けSUS製、取外し・再取付
手すり	既存のまま、一部撤去
テラス床	インターロッキング舗装
機械置場床	押さえコンクリート
ポスト受口	取外し・再取付
室外機	取外し・再取付
換気フード	取外し・再取付
TVアンテナ	撤去
軒裏-D	FK6.0目透し張り+リシン吹付 ※FK6.0（アスベスト含有　レベル3）
軒裏-H	コンクリート打放し

外壁（改修後）

躯体共通	アンカーピンニング部分・全面エポキシ樹脂注入工法 浮き部：ピンニング（16本/㎡）併用エポキシ樹脂注入 クラック部：注入処理・コーキングの上エポキシ樹脂モルタル補修 欠損部：充填工法・エポキシ樹脂モルタル
外壁-A1	t0.4カラーSGL鋼板スパンドレル張り（働き巾320）+透湿防水シート 樹脂胴縁18×45+下地調整 土台水切（捨て見切共）、外壁見切縁、オーバーハング水切 中間水切、縦見切、開口部水切等 【参考：セキノ興産　BLアートサイディング　320タイプ】
外壁-A2	t0.4カラーSGL鋼板スパンドレル張り（働き巾320）+透湿防水シート 樹脂胴縁18×45+t30フェノールフォーム断熱材+下地調整 土台水切（捨て見切共）、外壁見切縁、オーバーハング水切 中間水切、縦見切、開口部水切等 【参考：旭化成　ネオマフォーム】
外壁-B1	t0.4カラーSGL鋼板立平張り（働き巾300）+透湿防水シート 樹脂胴縁18×45+下地調整 土台水切（捨て見切共）、外壁見切縁、オーバーハング水切 中間水切、縦見切、開口部水切等 【参考：セキノ興産　タテヒラウォール300】
外壁-C1	アクリルシリコン樹脂系仕上塗材+ピンネット工法 専用アンカー+ガラスメッシュ+下地調整［タイル面］ 【参考：東邦レオ　エクセルピンネット工法】
外壁-C2	アクリルシリコン樹脂系仕上塗材+ガラスメッシュ t70EPS+下地調整 タイル面：ピンネット工法+専用アンカー+ガラスメッシュ 【参考：東邦レオ　RC用湿式外断熱システム　エコサーム】
外壁-D	ふっ素樹脂系仕上塗材+下地調整 【参考：エスケー化研　ベルアートF　フラット仕上】
外壁-E	t2.0アルミパネル張りDP+下地調整
外壁-D内部吹抜	下部t1.6エキスパンドメタル取外し・再取付、DP 上部t1.6エキスパンドメタル（メッキ）新設 鉄骨下地高圧洗浄
機械置場 アルミルーバー	取外し・再取付、DP+下地調整
笠木	既存立上りの上、t0.4カラーSGL鋼板笠木W250～600新設 野地板、捨て笠木共
竪樋	VU75Φ：既存のまま SGP100Φ：DP+下地調整
軒裏共通	既存軽量鉄骨天井下地に腐食・欠損等が見られる部分は撤去及び 下地補強を行うこと
軒裏-A	アルミスパンドレル（下地再利用） 【参考：三協アルミスパンドレルMF-100目地なし】
軒裏-B	t18硬質木片セメント板+浸透性撥水材塗布（下地再利用） 【参考：ニチハ　センチュリーボード】
軒裏-C	FK8.0+DP（下地再利用）
軒裏-D	アクリルシリコン樹脂系仕上塗材（下地再利用）
軒裏-E	ふっ素樹脂系仕上塗材（下地再利用）
廻り縁	アルミ目地タイプ（既製品）
下がり壁見切	アルミ（既製品）
天井点検口 （軒天用）	アルミ製目地タイプ
軒天ルーバー	亜鉛メッキ鋼板下地材ルーバー+DP 25型Sバー@75、ハンガー、耐風圧クリップ、吊金具 【参考：桐井製作所　Mルーバー】
テラス床	インターロッキング舗装高圧洗浄+目地詰め
階段床タイル	300×600磁器質タイル貼新設 【参考：LIXILマイクロガードフロアスーパーグレイズ サイドウォーク】
機械置場床	押さえコンクリート高圧洗浄
手すり	DP+下地調整
照明BOX	アルミチャンネル40×30
シーリング （サッシ廻り）	開口部見切縁廻りシーリング新設、MS-2 サッシ周囲再充填工法、MS-2

内　部　仕　上

共通事項
　図中の【参考】と記載があるものは同等品とし、
　商品・ﾒｰｶｰを特定するものではない。
　内部仕上げ部分、天井裏等には全てＦ☆☆☆☆建材を用いること。
　天井裏は全て不燃材とし不燃区画とする。
　EPS、PS等は全て不燃材とし不燃区画とする。

ユニット工事
　遮光カーテン　　【参考：サンゲツ　ミュンヘンS】
　電動カーテンレール　【参考：タチカワブラインド　ホームタコス　ティエルモ】

機械設備工事
　エアータオル　　【参考：TOTO　TYC420W】
　ウォシュレット　　【参考：TOTO　TCF5534AU】
　自動水栓　　【参考：TOTO　TLE32SS3A】

塗装工事
　※工事に先だち塗板見本を提出して監督員の承認を得る事。
　※特記無き限り、内部見え掛かり鉄部は全てSOP塗を施すこと

外部	・DP(A種)	ﾌｧ素樹脂3分艶	（鉄部）
	・VP	5分艶	（竪樋）
	・EP	艶消し	（軒天）
内部	・CL	2回塗	（木部）
	・EP-G	5分艶	（壁・柱）
	・EP	艶消し	（天井・梁型）
	・UC	3分艶	（一般家具・造作家具）
	・SOP	5分艶	（鉄部面）

表示略号

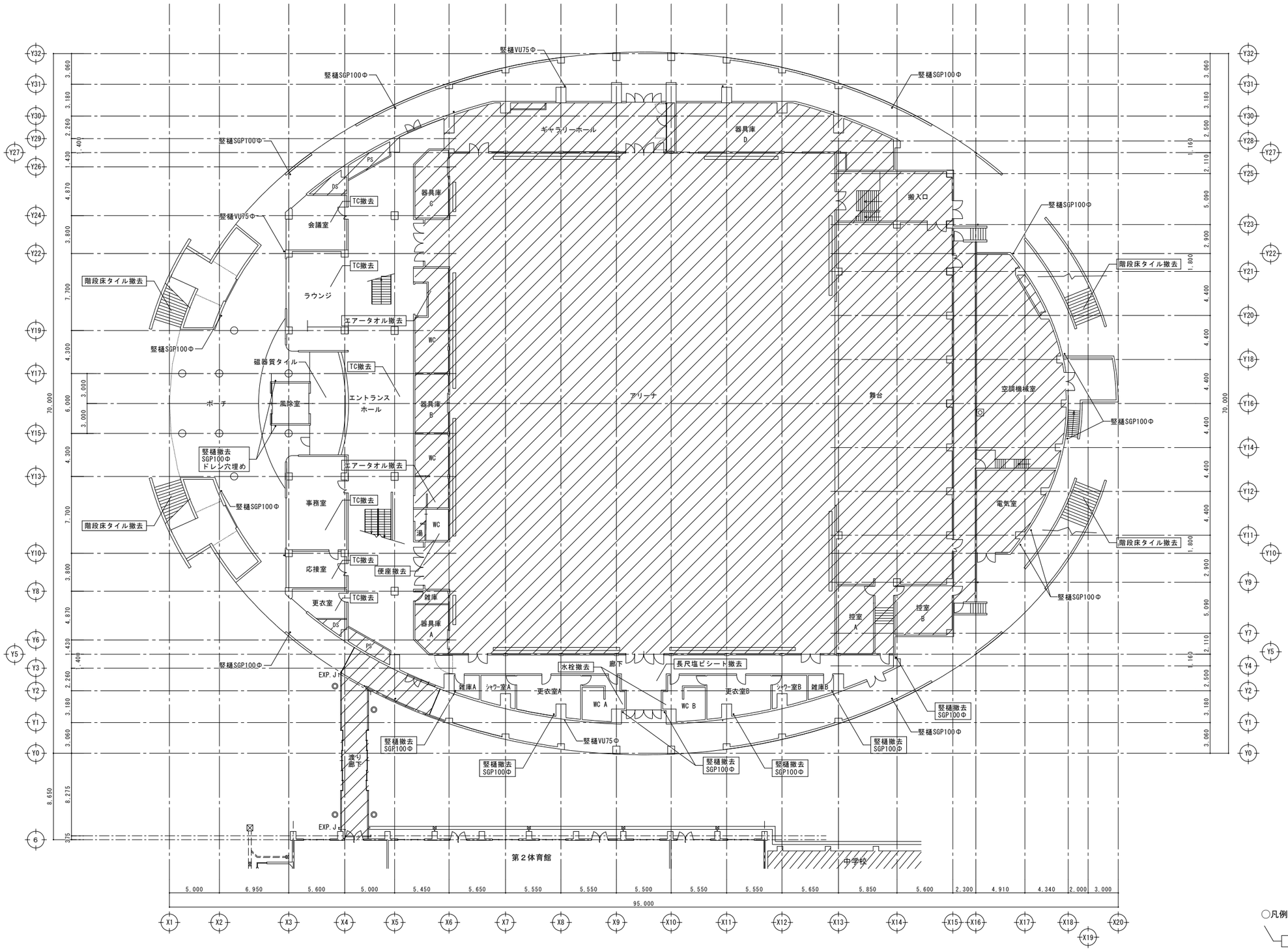
RC	床	標仕表6.2.5および標仕15.4.1～3 （床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ）による	防水種別	
			AS	アスファルト防水
RC（　）	壁	コンクリート打放し（種別）	R-AS	改質アスファルトシート防水
	天井	標仕表6.2.4及び表6.2.5による	P	塗膜防水
CB	コンクリートブロック積み		S	シート防水
PC	プレキャストコンクリート			
ALC	軽量気泡コンクリートパネル		塗料凡例	
ECP	押出成形セメント板		SOP	合成樹脂調合ペイント塗り
LGS	軽量鉄骨下地		CL	クリヤラッカー塗り
GB-R	せっこうボード		NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（屋内）
GB-S	シージングせっこうボード		DP	耐候性塗料塗り
GB-F	強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ		EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り
GB-R-H	硬質せっこうﾎﾞｰﾄﾞ		EP	合成樹脂エマルションペイント塗り
GB-D	化粧せっこうボード（トラバーチン模様）		EP-T	合成樹脂エマルション模様塗料塗り
GB-DW	化粧せっこうボード（木目）		UC	ウレタン樹脂ワニス塗り
GB-NC	不燃積層せっこうボード		OS	オイルステイン塗り
GB-P	吸音用孔あきせっこうボード		WP	木材保護塗料塗り
GB-L	せっこううボード		AC	アクリル樹脂ワニス塗り
FK	0.8けい酸カルシウム板（タイプ2）		EP-M	多彩模様塗料塗り
FK-P	吸音用孔あき無石綿セメントけい酸カルシウム板		MST	マスチック塗材塗り
FB	硬質吸音フェルトボード		F-BE	フッ素樹脂焼付け塗装
化粧FK	化粧ケイカル板		U-BE	ウレタン樹脂焼付け塗装
DR	ロックウール化粧吸音板		A-BE	アクリル樹脂焼付け塗装
DR(軒天)	ロックウール化粧吸音板（軒天井用）		2-ASE	アクリルシリコン樹脂エナメル塗
FRG	繊維混入せっこうボード			
HW	硬質木毛セメント板		内装制限凡例	
NW	普通木毛セメント板		不共	下地共不燃材
SW	特殊木毛セメント板		不	不燃材
PF板	押出法ポリスチレンフォーム断熱材		準共	下地共準不燃材以上
RW	ロックウールガラスクロス張り		準	準不燃材
RW-F	ロックウール吸音フェルト		難	難燃材以上
RW-B	ロックウール吸音ボード		壁不	壁不燃材以上
GW	グラスウールガラスクロス張り			
GW-F	グラスウール吸音フェルト			
GW-B	グラスウール吸音ボード		耐火壁遮音A	LGS+GB-F12.5+12.5(両面)GW32K50充填
TS	単層床シート（発泡層なし）			1時間耐火：FP060NP-0175
FS	複層床シート（発泡層なし）		耐火壁A	LGS+GB-F12.5+12.5(両面)
HS	発泡複層床シート			1時間耐火：FP060NP-0174
TT	単層ビニル床ﾀｲﾙ			
FT	複層ビニル床タイル		不燃・準不燃認定番号	
TC	タイルカーペット		GB-R　9.5/12.5	準不燃　QM-9828　/　不燃　NM-8619
VB	ビニル幅木		GB-S　9.5/12.5	準不燃　QM-0898　/　不燃　NM-9639
WB	木製幅木		GB-F　12.5/15/21	不燃　NM-8615
MO	モルタル塗り		GB-D　9.5/9.5	準不燃　QM-0524　/　不燃　NM-1864
FA	フリーアクセスフロア		GB-DW　9.5/12.5	準不燃　QM-9824　/　不燃　NM-0127
EPS	ビーズ法ポリスチレンフォーム		GB-NC　9.5	不燃　NM-0441
VP	硬質塩化ビニル管（一般管）		GB-P　9.5	準不燃　QM-9827
VU	硬質塩化ビニル管（薄肉管）		GB-L　9.5	不燃　NM-8617
RD	ルーフドレン		GB-R-H 9.5/12.5	不燃　NM-9645 ・ NM-1139
材質種別			DR	不燃　NM-8599
ST	鋼製		FK	不燃　NM-8578
AL	アルミ製		FRG	不燃　NM-2286
SUS	ステンレス製		HW	準不燃　QM-9701
V	ビニル製		NW	準不燃　QM-9701
W	木製		SW	不燃　NM-0234
			OSB	不燃　NM-3851
LGS仕様	間仕切壁下地　LGS90,65		一般塗料	不燃　NM-8585 / 準不燃　QM-9816
	ふかし壁下地　LGS50			難燃　RM-9364
	天井下地　LGS19（内部）25（外部）			

区分	室　名	床仕上高さ（FL±）	床 下地	床	巾木	巾木 H	壁 下地	壁	GW充填	廻り縁	天井 下地	天井	天井 CH	t100GW敷き込み	備考
1階	アリーナ	±0	S	鋼製床下地H900 t15耐水合板+t18カバ桜フローリング+UC　［既存のまま］	木製	100	LGS	上部：黒寒冷紗+t9有孔シナ合板+UC 下部：t15合板+t15難燃材木質フローリング+UC　［既存のまま］		塩ビ	ｱﾙﾐ	軽量天井材　［既存のまま］	13,800～ 12,500		遮光カーテン、電動カーテンレール撤去・新設
	エントランスホール ラウンジ	±0	MO	既存TC撤去 t6.5TC貼替え	VB	60	RC LGS	既存のまま、下地調整+EP-G		塩ビ	RC LGS	既存のまま、下地調整+EP-G 既存のまま	3,500～ 3,000		手すりSOP、屋内消火栓SOP
	事務室・会議室 応接室・更衣室	±0	MO	既存TC撤去 t6.5TC貼替え	VB	60	RC LGS	既存のまま、下地調整+EP-G		塩ビ	RC LGS	既存のまま、下地調整+EP-G 既存のまま	3,000		
	廊下	±0	MO	既存長尺塩ビシート撤去 t2.0長尺塩ビシート貼替え	VB	60	RC LGS	既存のまま、下地調整+EP-G		塩ビ	RC LGS	既存のまま、下地調整+EP-G 既存のまま	3,000		
	雑庫A・B	±0	MO	t2.0長尺塩ビシート　［既存のまま］	VB	60	RC LGS	内装用吹付タイル　［既存のまま］		塩ビ	LGS	既存天井材撤去 GB-D9.5	2,700		エアータオル（4台）・便座（2組）・水栓撤去（2組）
	WC,更衣室	±0	MO	t2.0長尺塩ビシート　［既存のまま］	VB	60	RC LGS	内装用吹付タイル　［既存のまま］		塩ビ	LGS	DR　［既存のまま］	2,700		エアータオル（4台）・ウォシュレット（2組）・自動水栓新設（2組）
2階	廊下 （ジョギングロード）	±0	MO	既存長尺塩ビシート撤去 t4.5長尺塩ビシート貼替え	VB	60	RC LGS	既存のまま、下地調整+EP-G		塩ビ	RC LGS	既存のまま、下地調整+EP-G 既存のまま	3,000		手すりSOP、屋内消火栓SOP

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118(代)

設　計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担　当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日	R8.3
図面名称	第１体育館仕上表	縮　尺	NO SCALE
図面番号	Ａ－０８		



○凡例

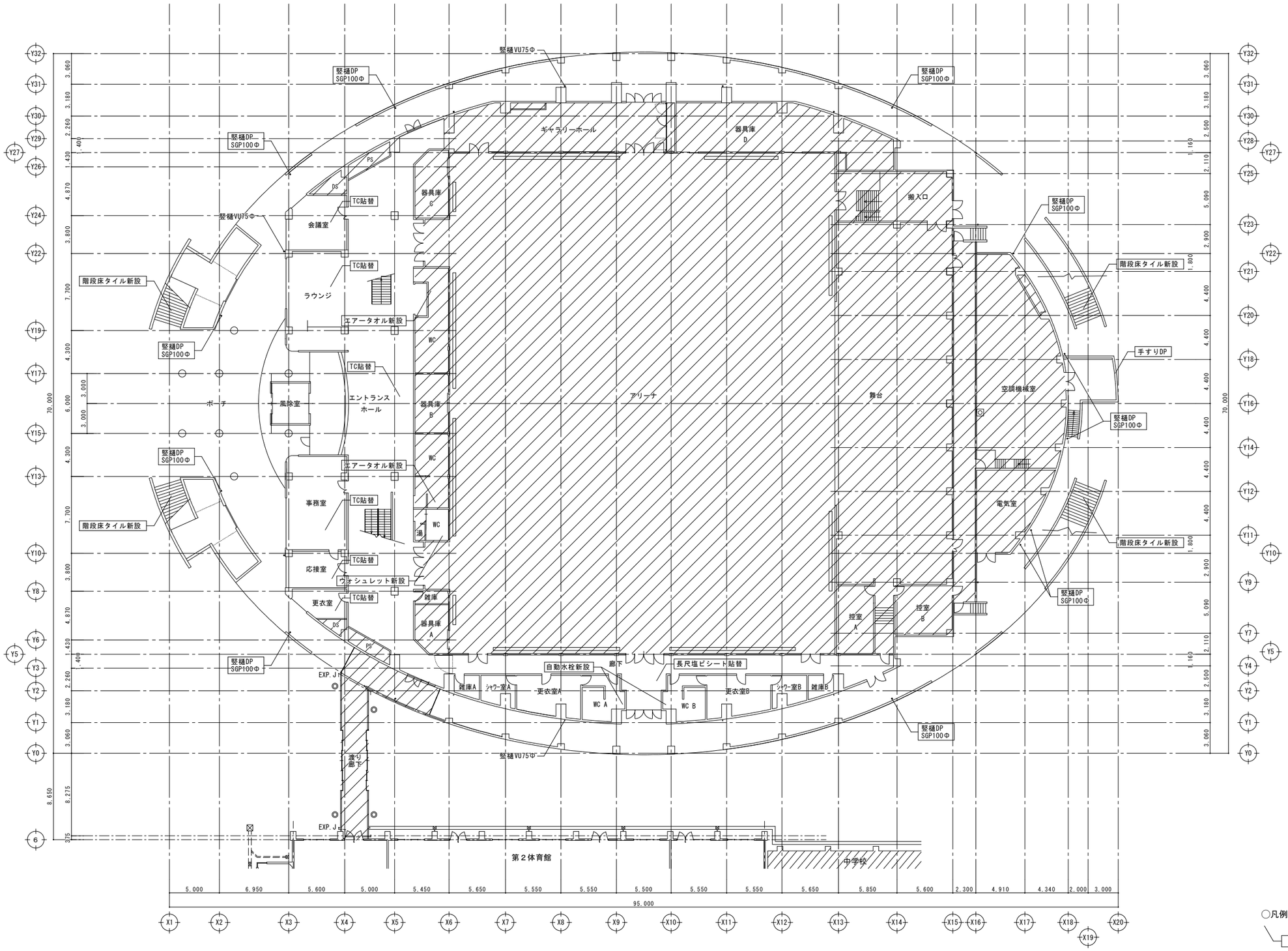
今回工事改修範囲を示す

改修範囲外を示す

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118(代)

設計	一級建築士登録第261836号	酒井　武志
担当	一級建築士登録第362594号	江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日	R8.3
図面名称	第１体育館改修前１階平面図	縮尺	A1:1/200 A3:1/400
		図面番号	A－09



○凡例

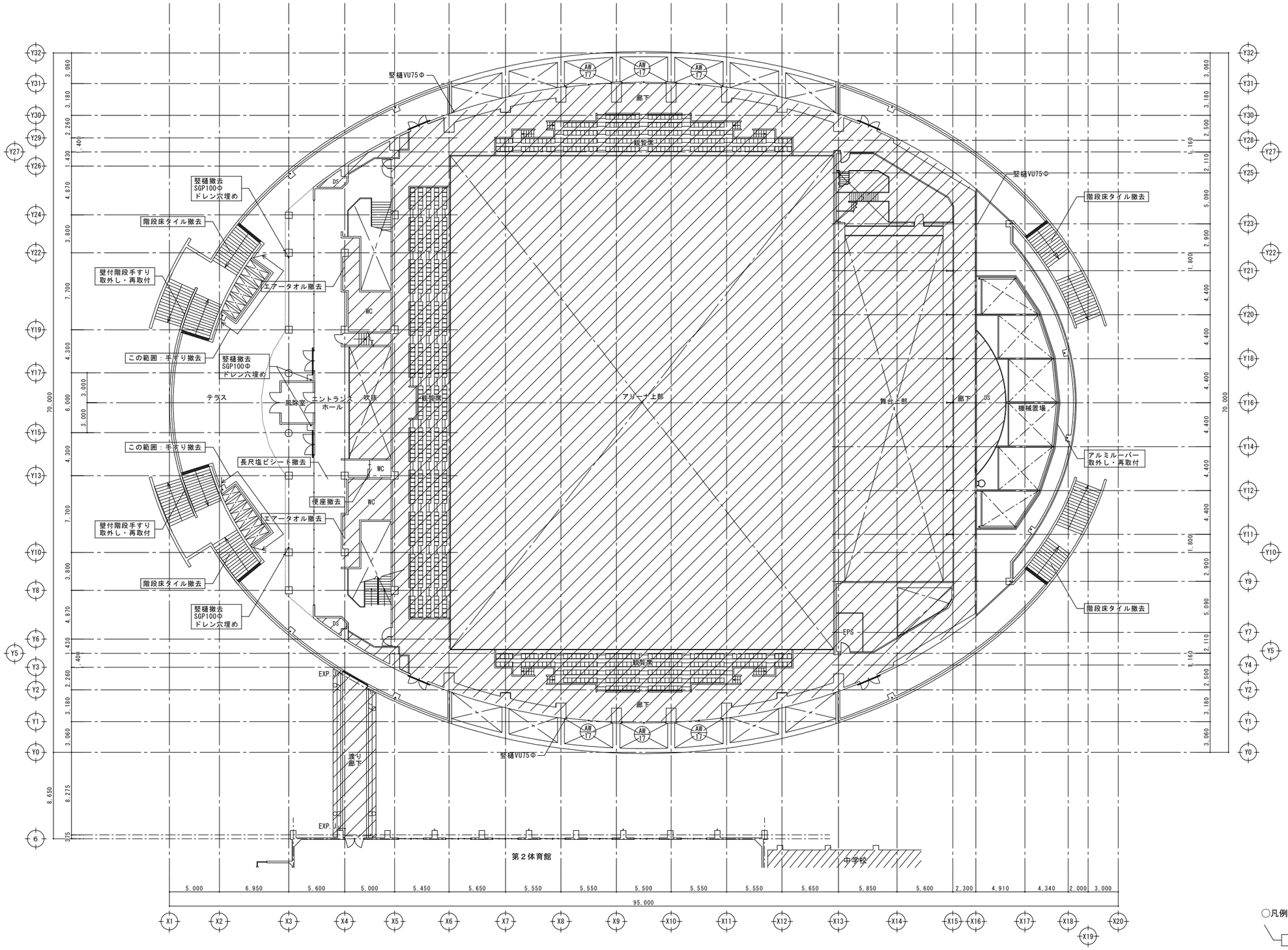
今回工事改修範囲を示す

改修範囲外を示す

株式会社 鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118(代)

設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日	R8.3
図面名称	第１体育館改修後１階平面図	縮尺	A1:1/200 A3:1/400
図面番号	Ａ－１０		



○凡例

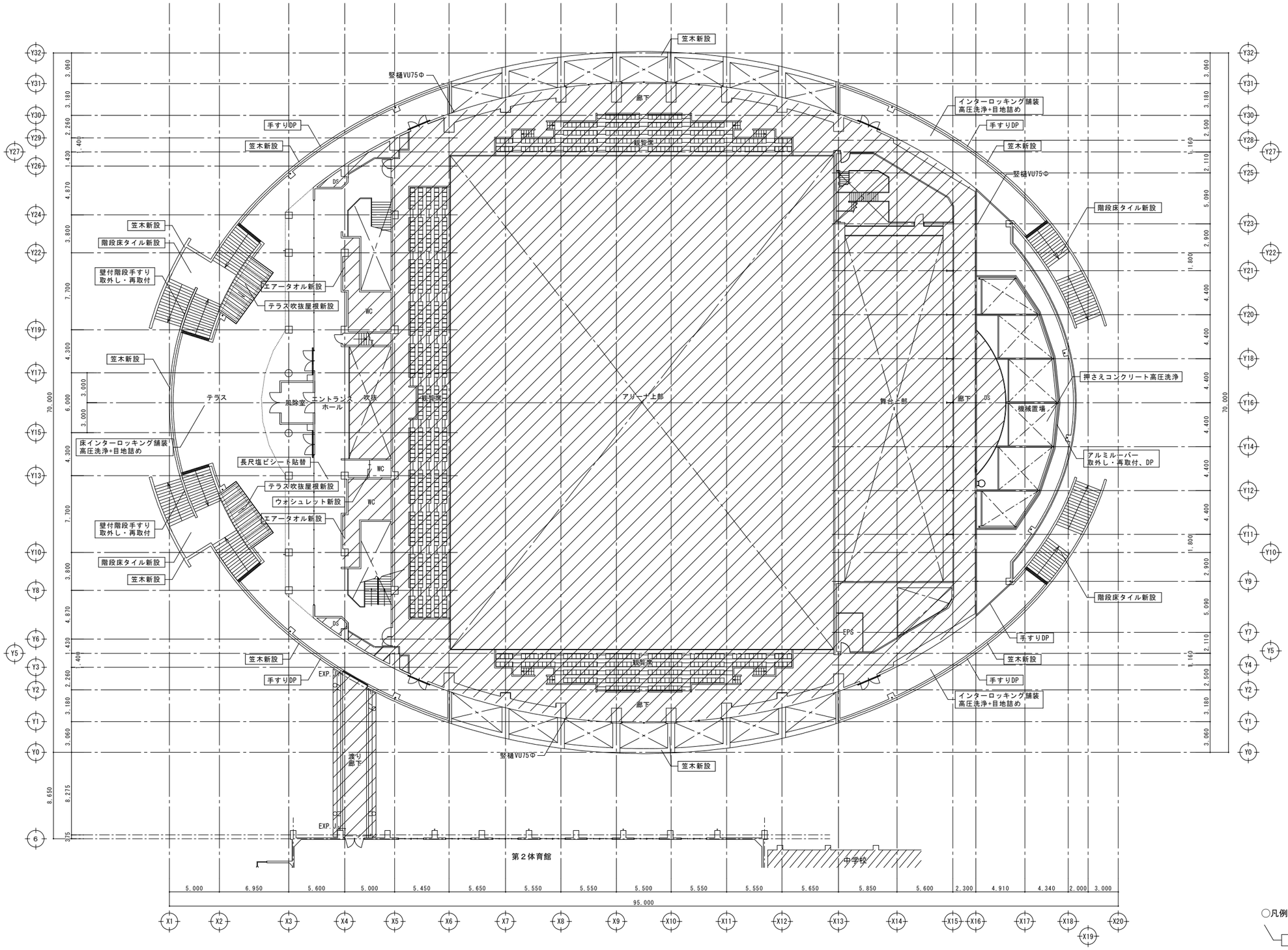
今回工事改修範囲を示す

改修範囲外を示す

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118（代）

設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日 R8.3
図面名称	第１体育館改修前２階平面図	縮尺 A1:1/200 A3:1/400
図面番号	Ａ－１１	



○凡例

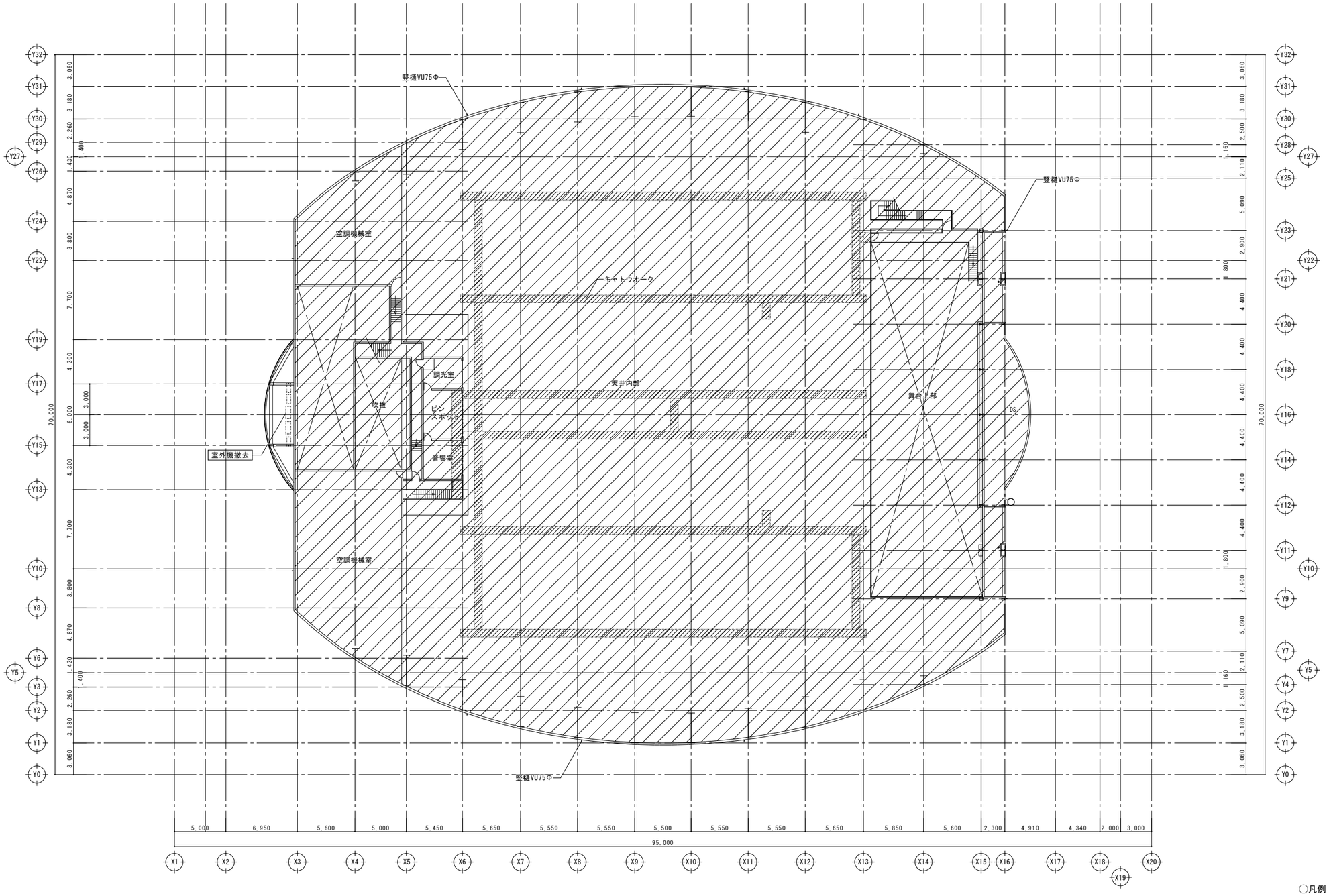
今回工事改修範囲を示す

改修範囲外を示す

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118（代）

設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事
年月日	R8.3
図面名称	第１体育館改修後２階平面図
縮尺	A1:1/200 A3:1/400
図面番号	A－12



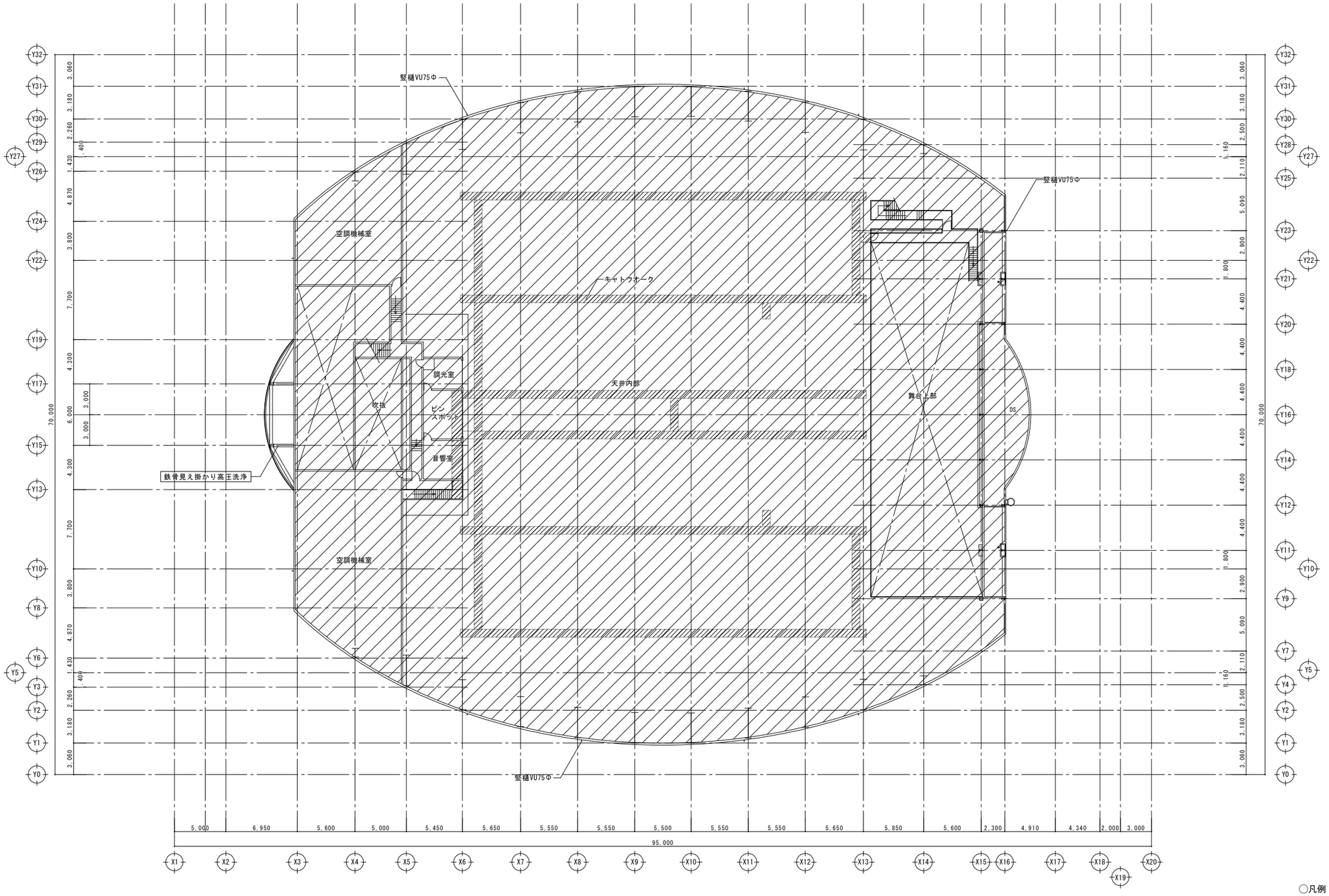
○凡例

今回工事改修範囲を示す

改修範囲外を示す

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118(代)

設計 一級建築士登録第261836号 酒井 武志	工事名称 朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日 R8.3	図面番号
担当 一級建築士登録第362594号 江端 雄也	図面名称 第１体育館改修前３階平面図	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	A－13



○凡例

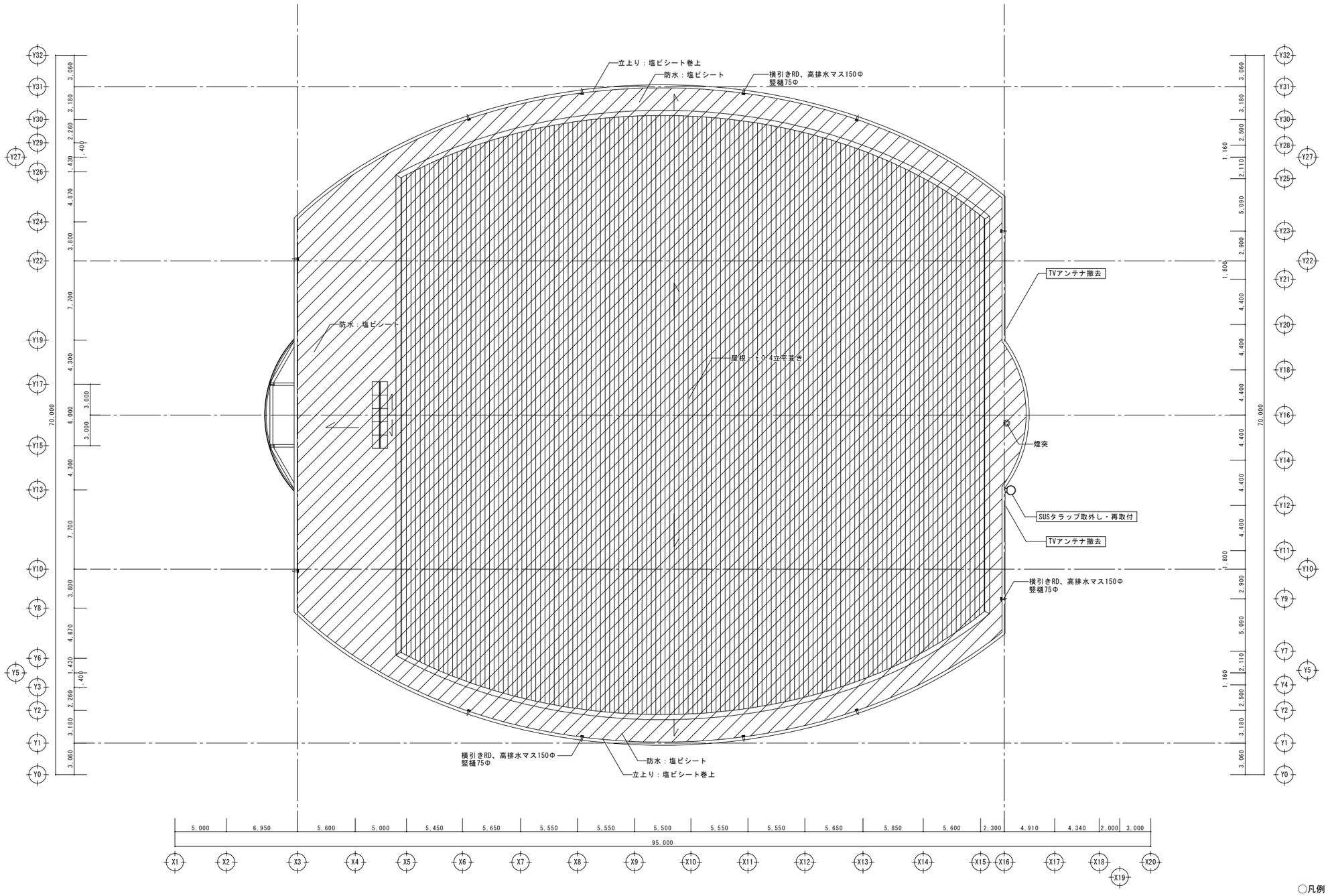
今回工事改修範囲を示す

改修範囲外を示す

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118(代)

設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日	R8.3
図面名称	第１体育館改修後３階平面図	縮尺	A1:1/200 A3:1/400
図面番号	A－14		



○凡例

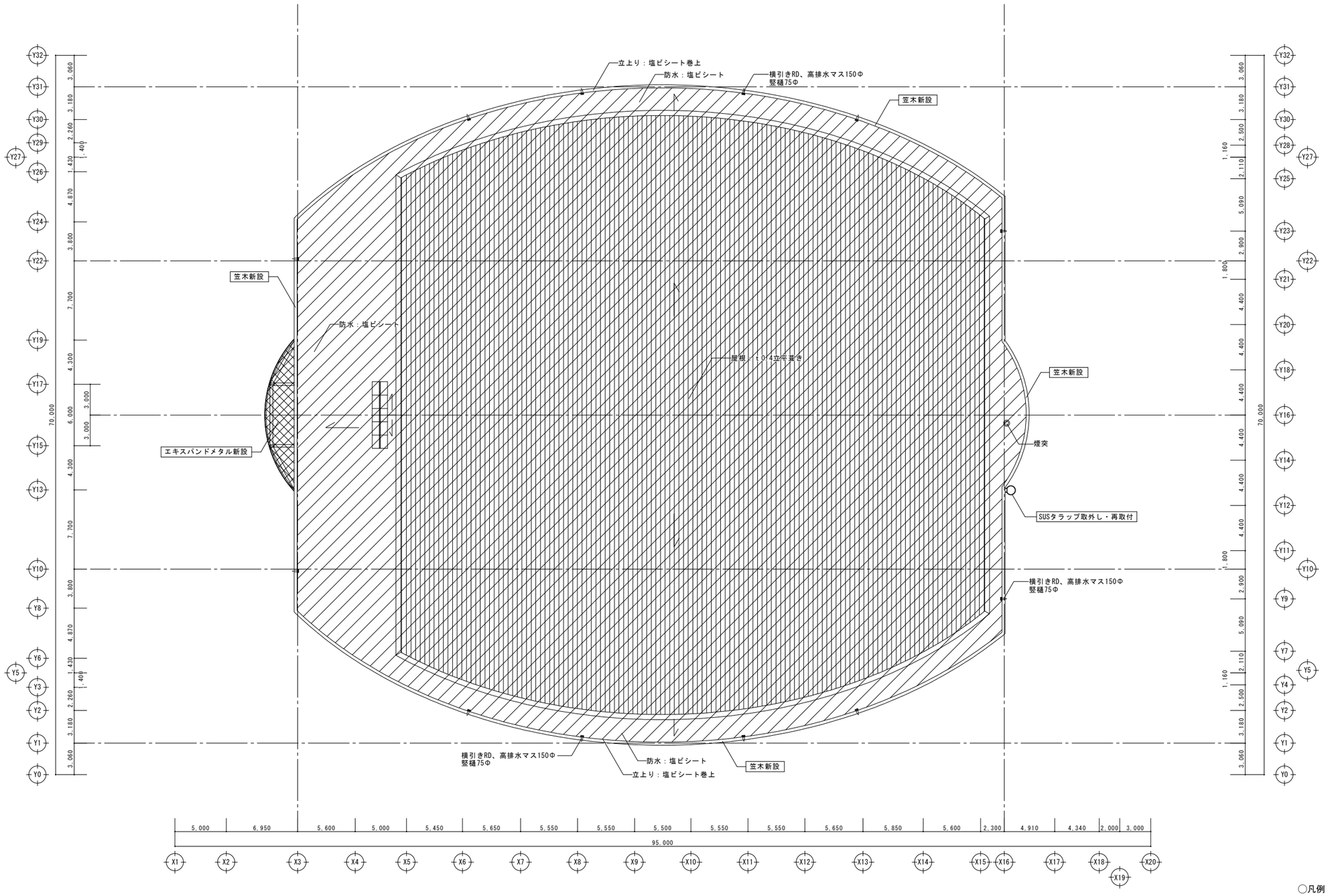
今回工事改修範囲を示す

改修範囲外を示す

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118（代）

設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事
年月日	R8.3
図面名称	第１体育館改修前屋根伏図
縮尺	A1:1/200 A3:1/400
図面番号	A－15



○凡例

今回工事改修範囲を示す

改修範囲外を示す

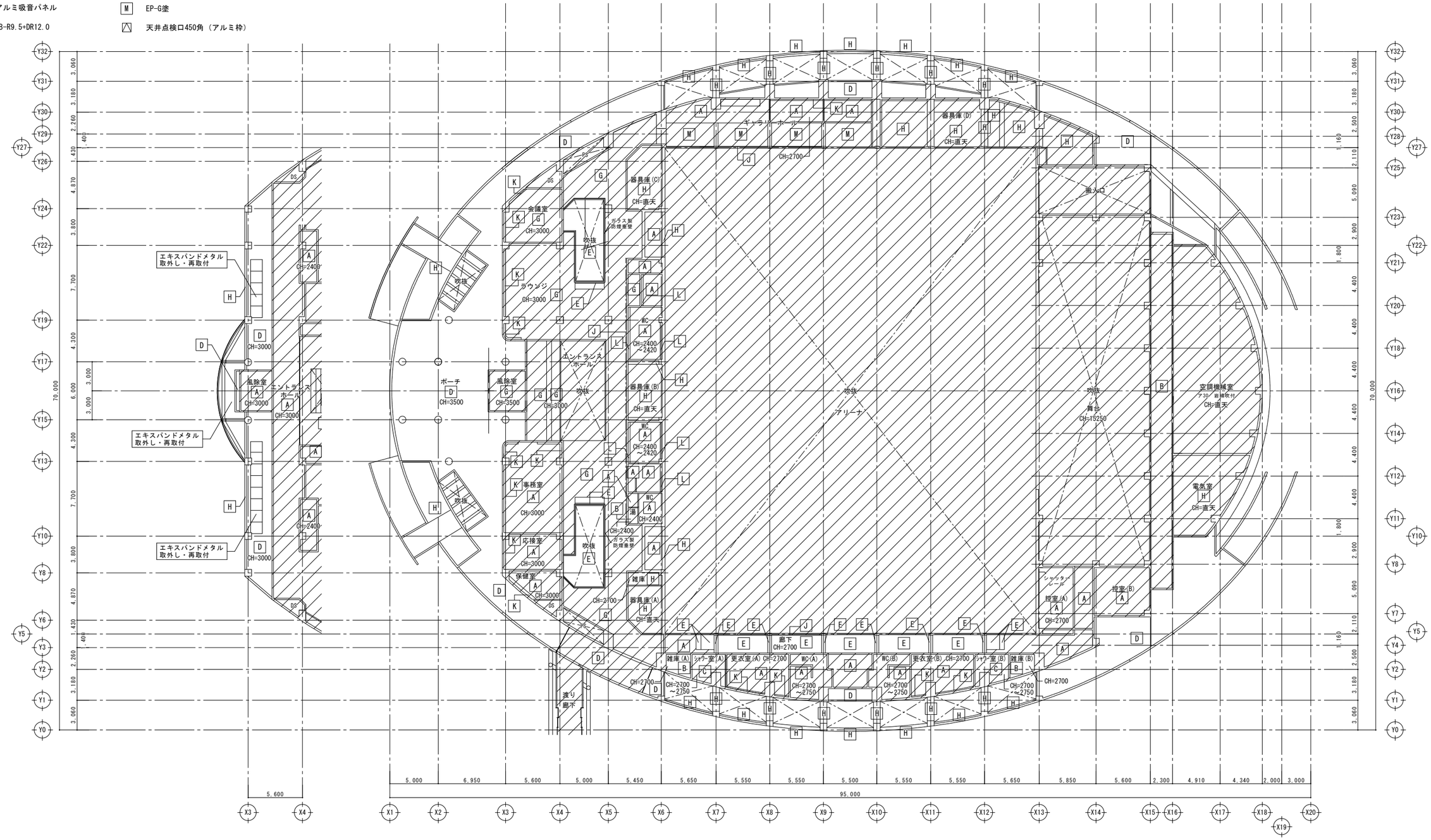
株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118（代）

設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事
年月日	R8.3
図面名称	第１体育館改修後屋根伏図
縮尺	A1:1/200 A3:1/400
図面番号	A－16

天井仕上（改修前）

A	GB-R9.5+DR9.0	H	コンクリート打放し
B	GB-D9.5	I	鉄骨表し
C	バスリブ	J	ピクチャーレール
D	FK6.0目透し張り+リシン吹付	K	カーテンBOX
E	内装用吹付タイル	L	照明BOX
F	アルミ吸音パネル	M	EP-G塗
G	GB-R9.5+DR12.0	△	天井点検口450角（アルミ枠）



2階天井伏図

1階天井伏図

改修範囲外を示す

株式会社 鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118（代）

設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日	R8.3
図面名称	第１体育館改修前天井伏図	縮尺	A1:1/200 A3:1/400
図面番号	A－17		

天井仕上（改修前）

A	GB-R9.5+DR9.0	H	コンクリート打放し
B	GB-D9.5	I	鉄骨表し
C	バスリブ	J	ピクチャーレール
D	FK6.0目透し張り+リシン吹付	K	カーテンBOX
E	内装用吹付タイル	L	照明BOX
F	アルミ吸音パネル	M	EP-G塗
G	GB-R9.5+DR12.0		

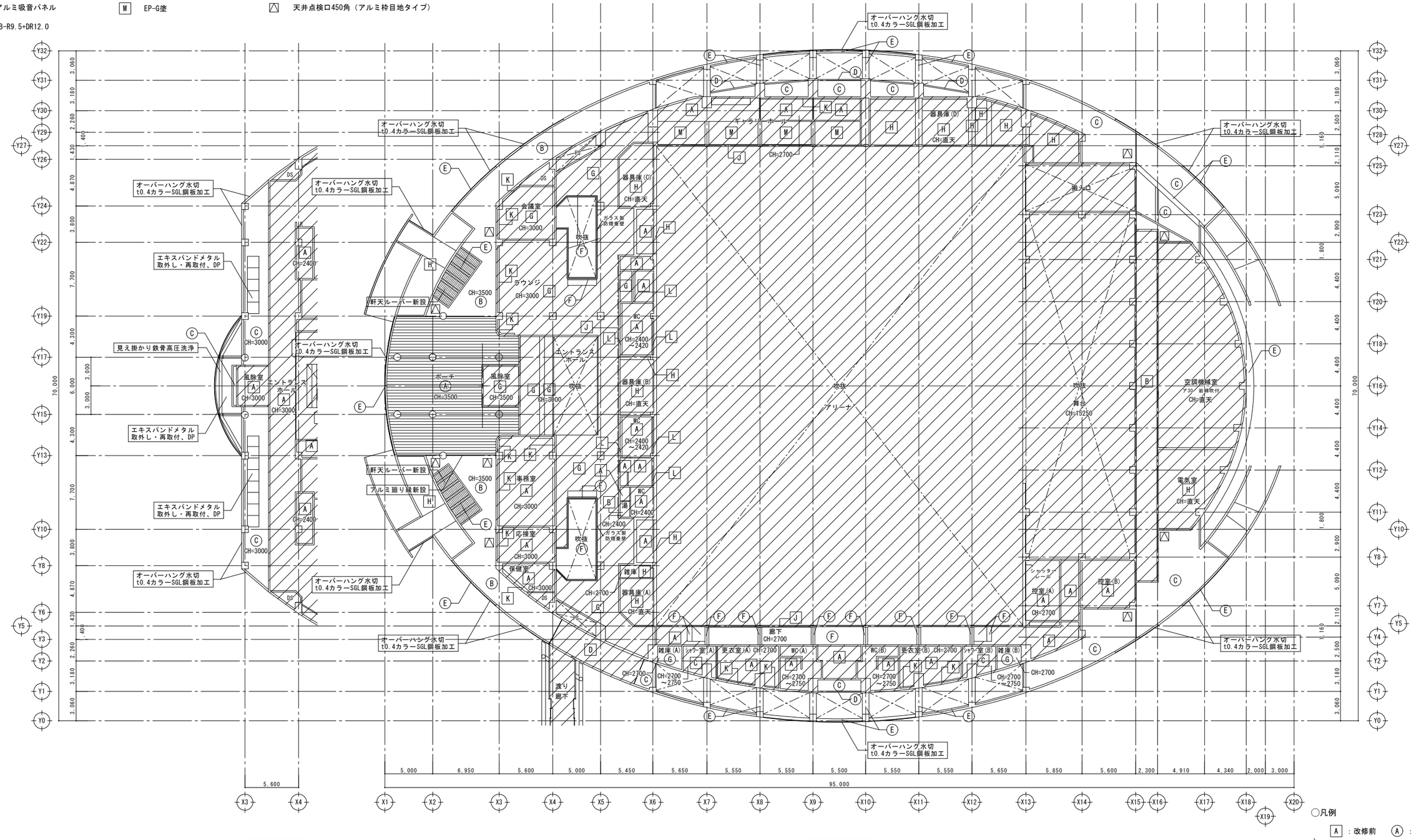
天井仕上（改修後）

【外部】

- Ⓐ アルミスパンドレル　（下地再利用）
- Ⓑ t18硬質木片セメント板+浸透性撥水材塗布　（下地再利用）
- Ⓒ FK8.0+DP　（下地再利用）
- Ⓓ アクリルシリコン樹脂系仕上塗材　（下地再利用）
- Ⓔ ふっ素樹脂系仕上塗材　（下地再利用）
- △ 天井点検口450角（アルミ枠目地タイプ）

【内部】

- Ⓕ 下地調整+EP-G　（下地再利用）
- Ⓖ GB-D9.5　（下地再利用）



2階天井伏図

1階天井伏図

○凡例

A：改修前　Ⓐ：改修後

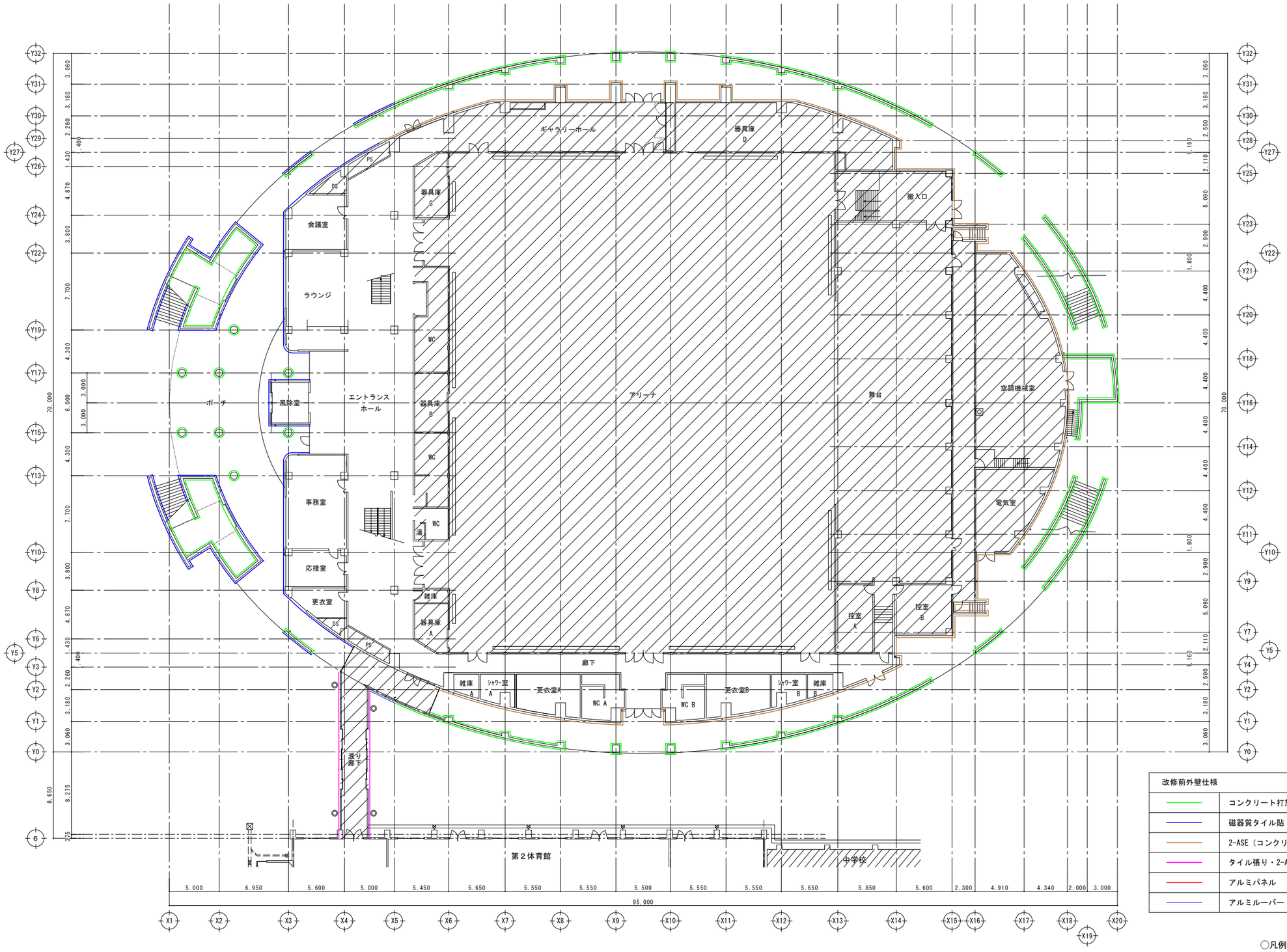
今回工事改修範囲を示す

改修範囲外を示す

株式会社 鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118（代）

設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日	R8.3
図面名称	第１体育館改修後天井伏図	縮尺	A1:1/200 A3:1/400
図面番号	A－18		



改修前外壁仕様	
	コンクリート打放し
	磁器質タイル貼（コンクリート下地）
	2-ASE（コンクリート下地）
	タイル張り・2-ASE（ECP下地）
	アルミパネル
	アルミルーバー

○凡例

改修範囲外を示す

株式会社 鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118(代)

設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

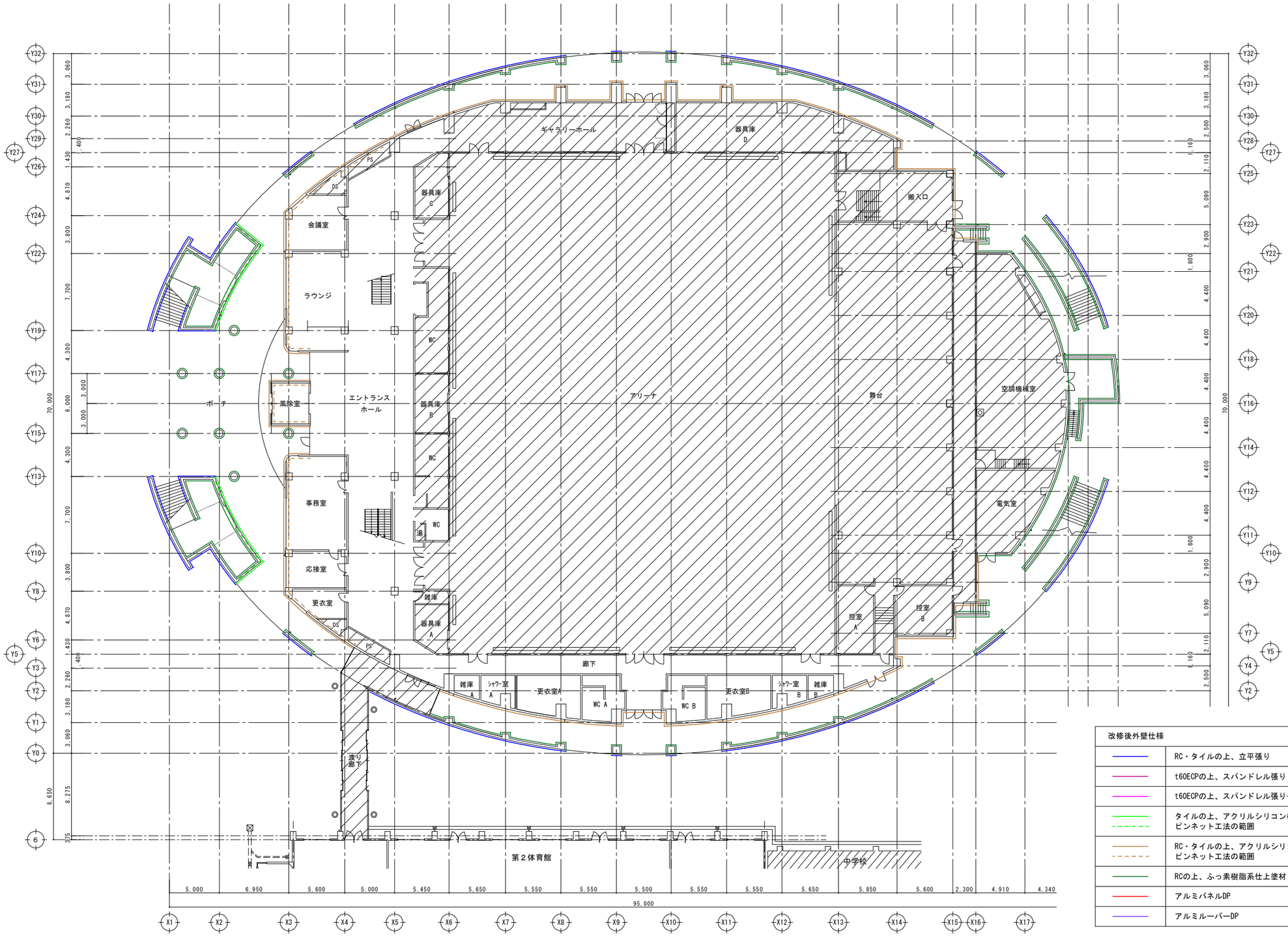
工事名称　朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事

図面名称　第１体育館改修前１階平面図（外壁仕様）

年月日　R8.3

縮尺　A1:1/200　A3:1/400

図面番号　Ａ－１９



改修後外壁仕様	
	RC・タイルの上、立平張り
	t60ECPの上、スパンドレル張り
	t60ECPの上、スパンドレル張り+フェノールフォーム断熱材
	タイルの上、アクリルシリコン樹脂系仕上塗材 ピンネット工法の範囲
	RC・タイルの上、アクリルシリコン樹脂系仕上塗材+EPS ピンネット工法の範囲
	RCの上、ふっ素樹脂系仕上塗材
	アルミパネルDP
	アルミルーバーDP

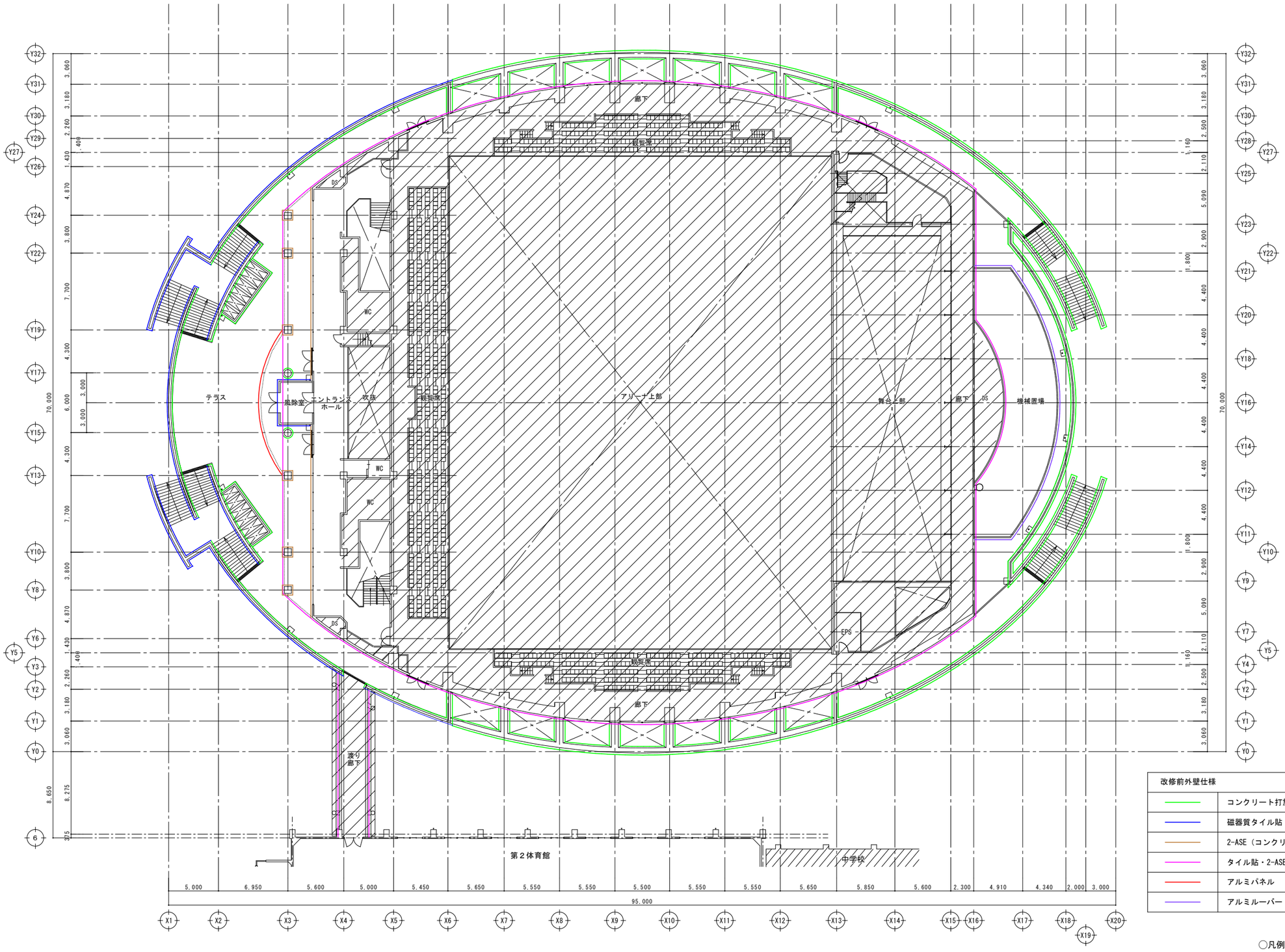
○凡例

改修範囲外を示す

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076)421-9118(代)

設計	一級建築士登録第261836号	酒井　武志
担当	一級建築士登録第362594号	江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日	R8.3
図面名称	第１体育館改修後１階平面図（外壁仕様）	縮尺	A1:1/200 A3:1/400
図面番号	Ａ－２０		



改修前外壁仕様	
	コンクリート打放し
	磁器質タイル貼（コンクリート下地）
	2-ASE（コンクリート下地）
	タイル貼・2-ASE（ECP下地）
	アルミパネル
	アルミルーバー

○凡例

改修範囲外を示す

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118（代）

設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

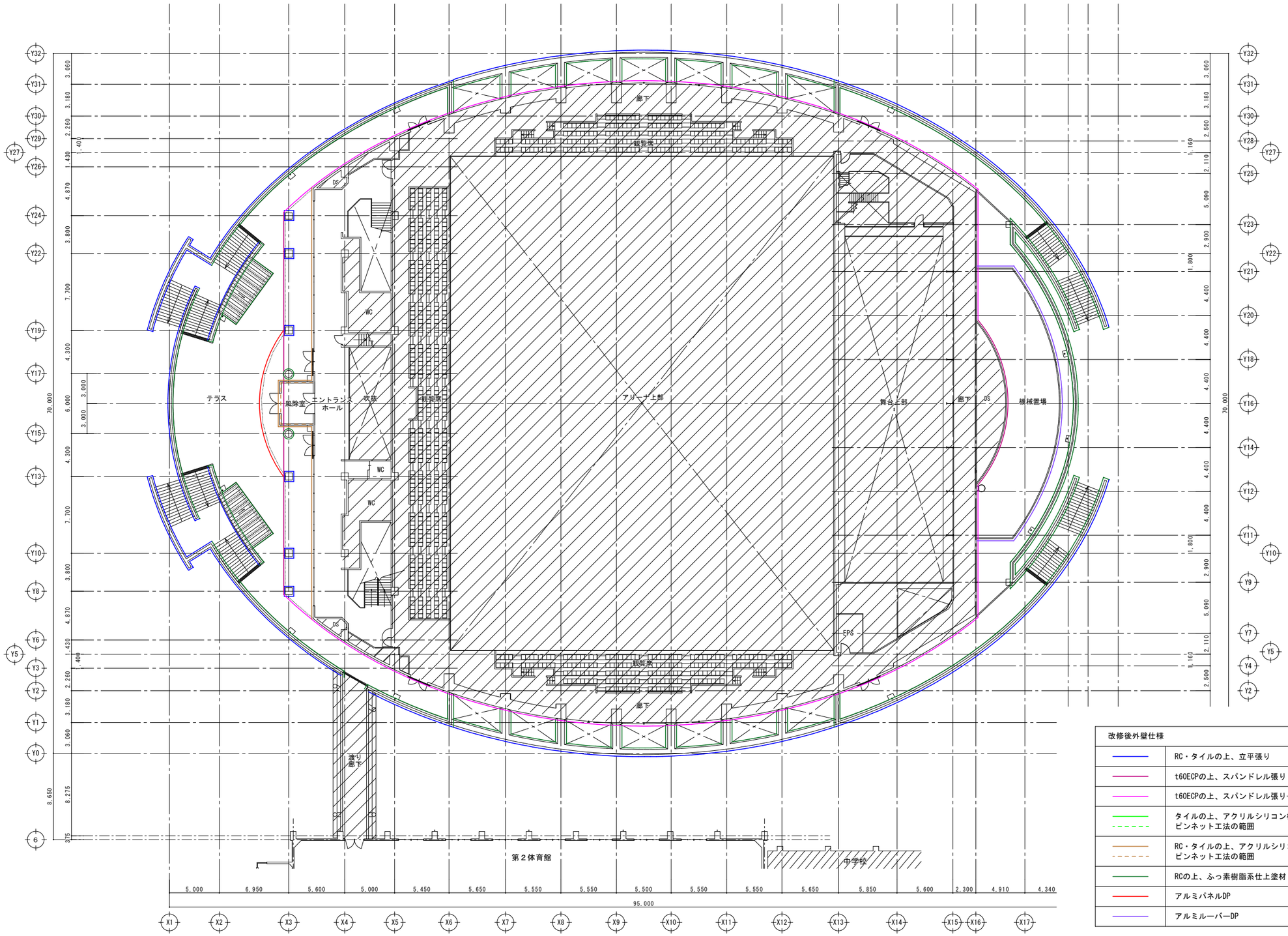
工事名称　朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事

年月日　R8.3

図面名称　第１体育館改修前２階平面図（外壁仕様）

縮尺　A1:1/200　A3:1/400

図面番号　Ａ－２１



改修後外壁仕様	
	RC・タイルの上、立平張り
	t60ECPの上、スパンドレル張り
	t60ECPの上、スパンドレル張り+フェノールフォーム断熱材
	タイルの上、アクリルシリコン樹脂系仕上塗材 ピンネット工法の範囲
	RC・タイルの上、アクリルシリコン樹脂系仕上塗材+EPS ピンネット工法の範囲
	RCの上、ふっ素樹脂系仕上塗材
	アルミパネルDP
	アルミルーバーDP

○凡例

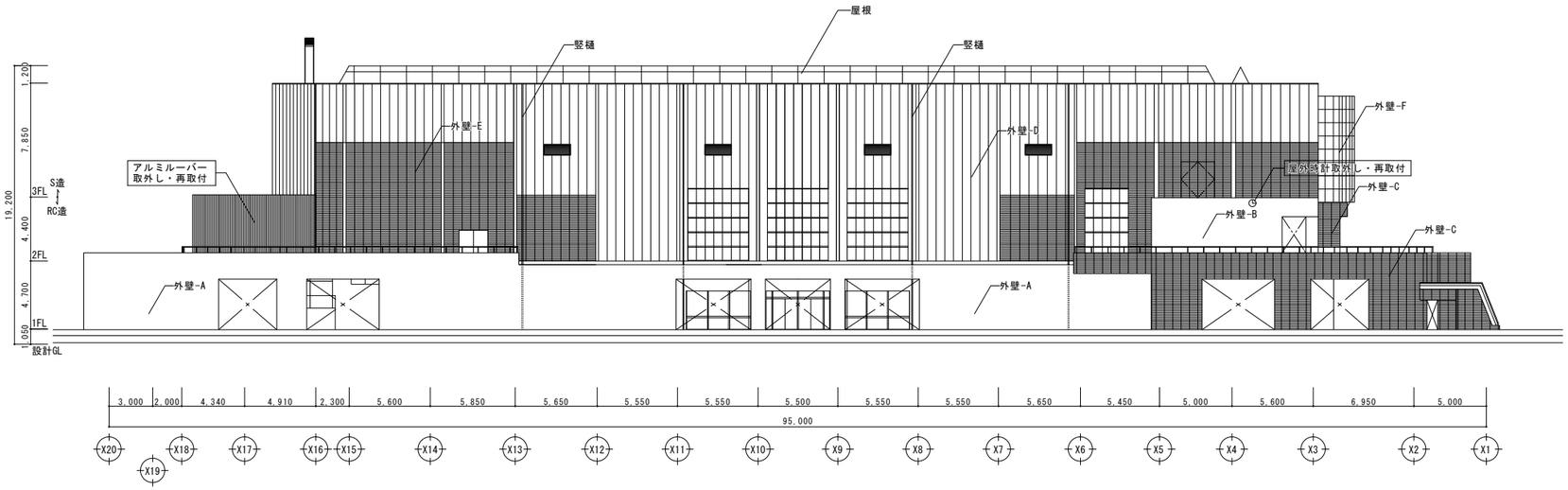
改修範囲外を示す

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118(代)

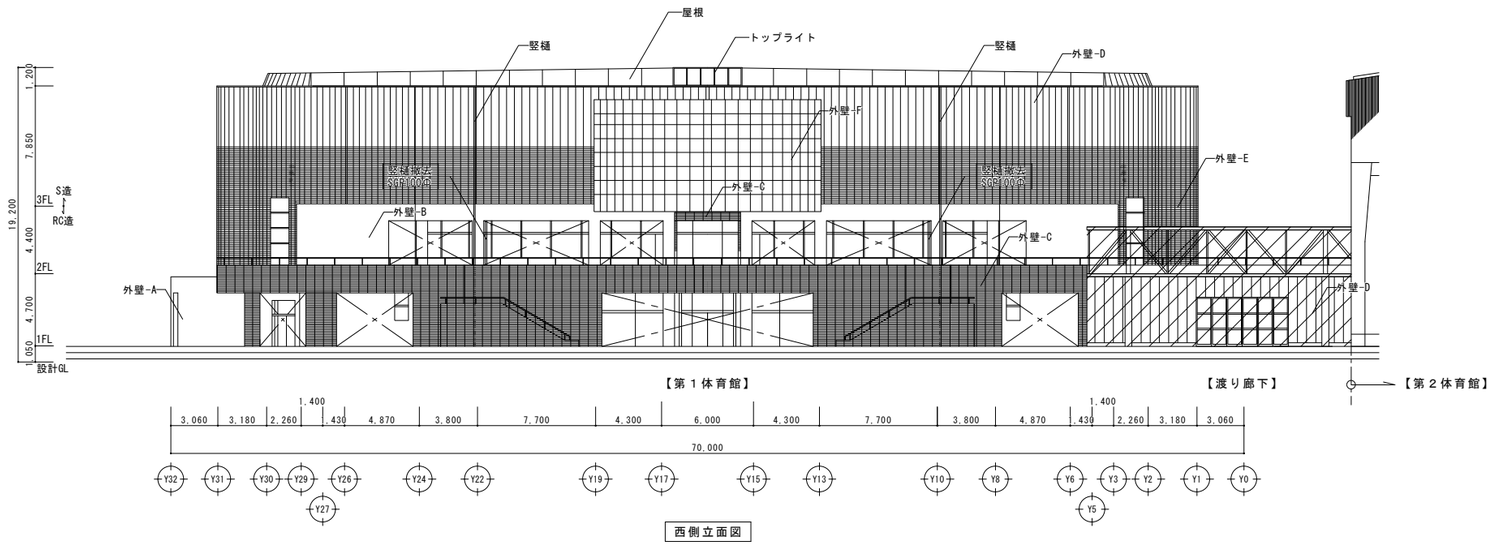
設計	一級建築士登録第261836号	酒井　武志
担当	一級建築士登録第362594号	江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日	R8.3
図面名称	第１体育館改修後２階平面図（外壁仕様）	縮尺	A1:1/200 A3:1/400
図面番号	Ａ－２２		

外部仕上表（改修前）	
屋根	t0.4カラーSGL立平葺き
防水	塩ビシート防水
笠木	塩ビシート防水巻上げ
外壁-A	コンクリート打放し
外壁-B	コンクリート打放し+2-ASE
外壁-C	50角磁器質タイル貼
外壁-D	t60押出成型セメント板+2-ASE
外壁-E	t60押出成型セメント板+50角磁器質タイル貼
外壁-F	t2.0アルミパネル張り
竪樋	VP75φ SGP100φ
軒裏	FK6.0目透し張り+リシン吹付



北側立面図



西側立面図

○凡例

今回工事改修範囲を示す

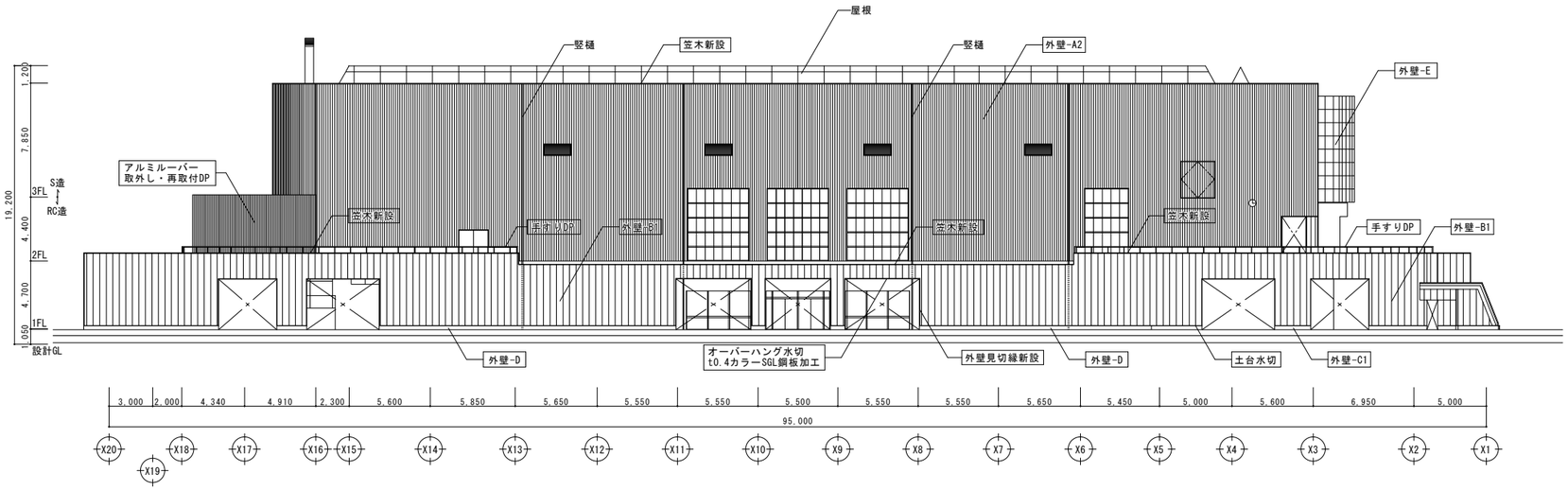
改修範囲外を示す

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118(代)

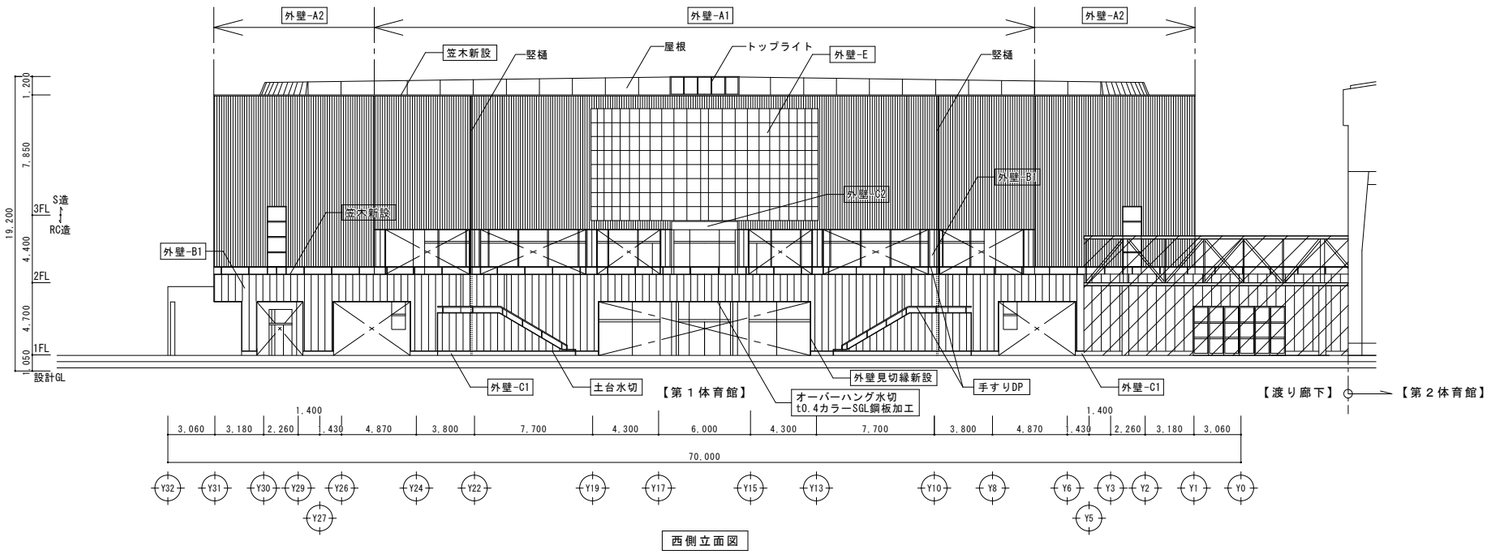
設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日 R8.3	図面番号
図面名称	第１体育館改修前立面図１	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	Ａ－２３

外部仕上表（改修後）	
屋根	既存のまま
防水	既存のまま、２階風除室上のみ改修　防水-1
笠木	既存立上りの上、t0.4カラーSGL鋼板笠木W250～600新設
外壁-A1	t0.4カラーSGL鋼板スパンドレル張り+透湿防水シート 樹脂胴縁18×45+下地調整
外壁-A2	t0.4カラーSGL鋼板スパンドレル張り+透湿防水シート 樹脂胴縁18×45+t30フェノールフォーム断熱材+下地調整
外壁-B1	t0.4カラーSGL鋼板立平張り+透湿防水シート 樹脂胴縁18×45+下地調整
外壁-C1	アクリルシリコン樹脂系仕上塗材+ピンネット工法 専用アンカー+ガラスメッシュ+下地調整［タイル面］
外壁-C2	アクリルシリコン樹脂系仕上塗材+ガラスメッシュ t70EPS+下地調整
外壁-D	ふっ素樹脂系仕上塗材+下地調整
外壁-E	t2.0アルミパネル張りDP+下地調整
竪樋	VP75φ：既存のまま SGP100φ：DP
軒裏-A	アルミスパンドレル
軒裏-B	硬質木片セメント板+浸透性撥水材塗布
軒裏-C	FK8.0+DP
軒裏-D	アクリルシリコン樹脂系仕上塗材
軒裏-E	ふっ素樹脂系仕上塗材



北側立面図



西側立面図

○凡例

今回工事改修範囲を示す

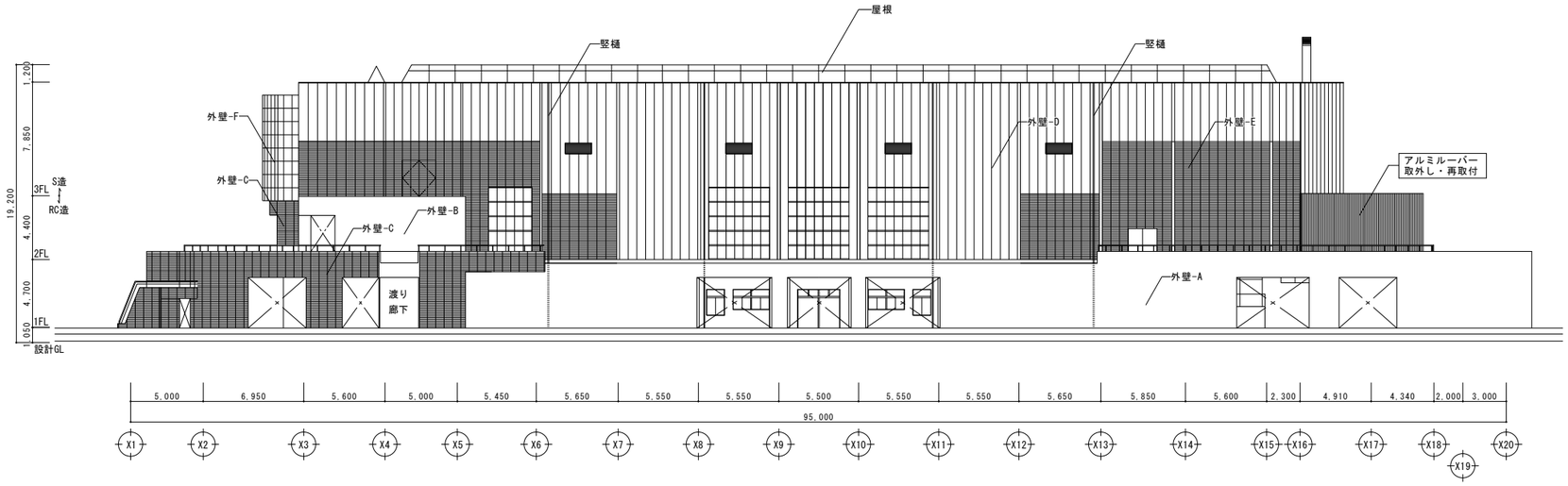
改修範囲外を示す

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118(代)

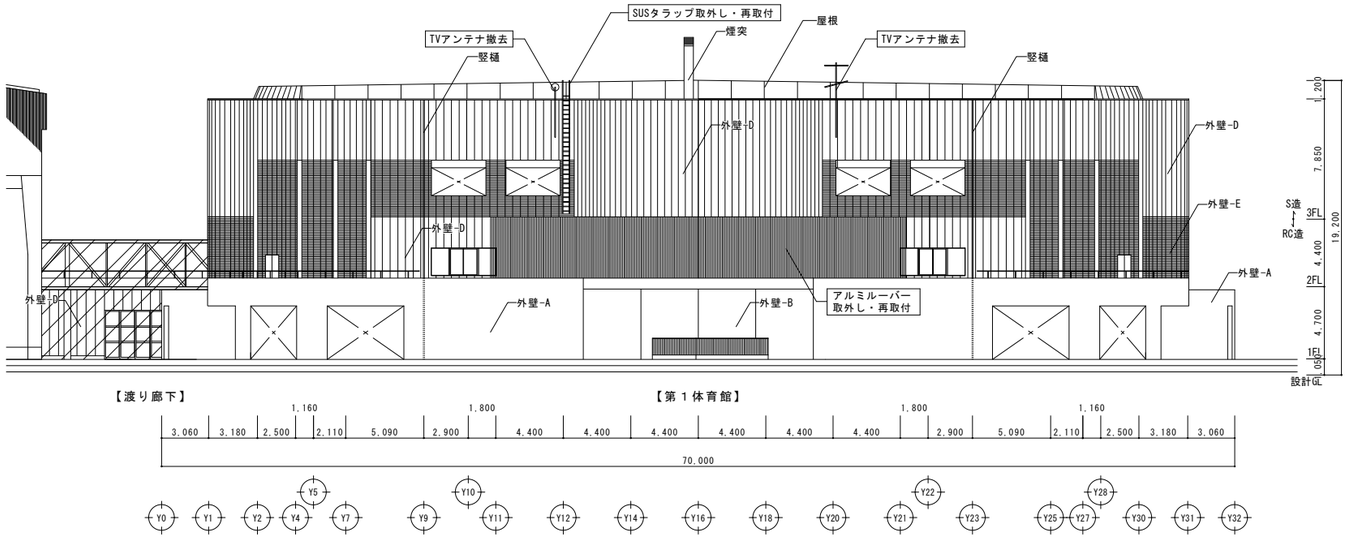
設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日	R8.3
図面名称	第１体育館改修後立面図１	縮尺	A1:1/200 A3:1/400
図面番号	Ａ－２４		

外部仕上表（改修前）	
屋根	t0.4カラーSGL立平葺き
防水	塩ビシート防水
笠木	塩ビシート防水巻上げ
外壁-A	コンクリート打放し
外壁-B	コンクリート打放し+2-ASE
外壁-C	50角磁器質タイル貼
外壁-D	t60押出成型セメント板+2-ASE
外壁-E	t60押出成型セメント板+50角磁器質タイル貼
外壁-F	t2.0アルミパネル張り
竪樋	VP75φ SGP100φ
軒裏	FK6.0目透し張り+リシン吹付



南側立面図



東側立面図

○凡例

今回工事改修範囲を示す

改修範囲外を示す

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－２１　電話（076）421-9118(代)

設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称　朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事

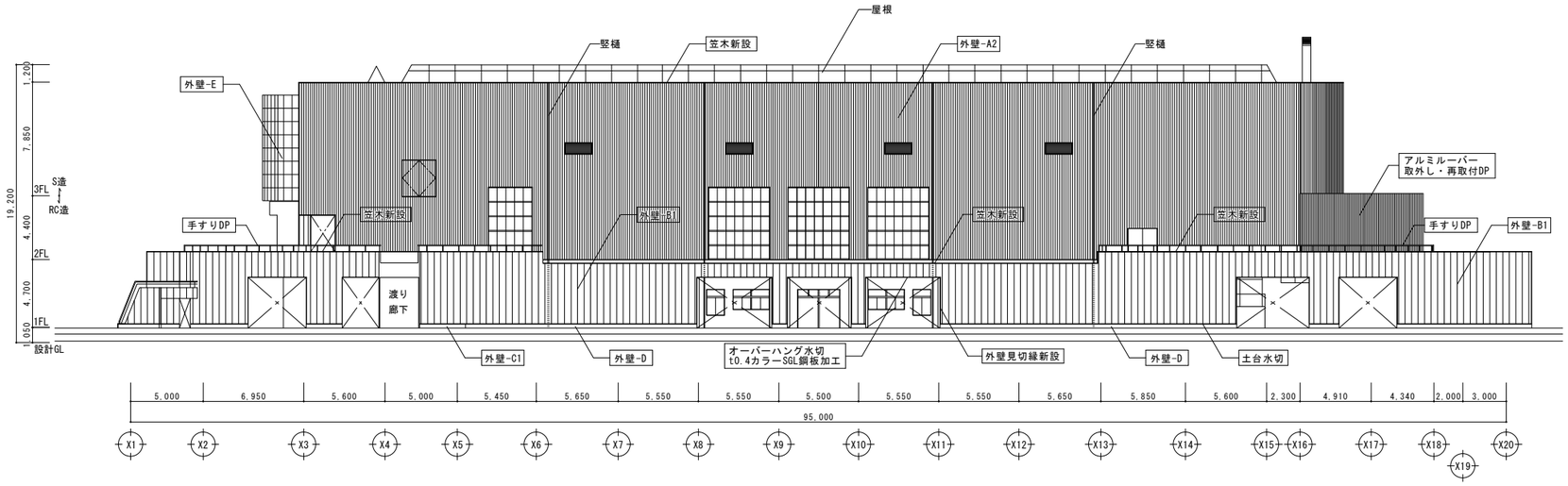
年月日　R8.3

図面名称　第１体育館改修前立面図２

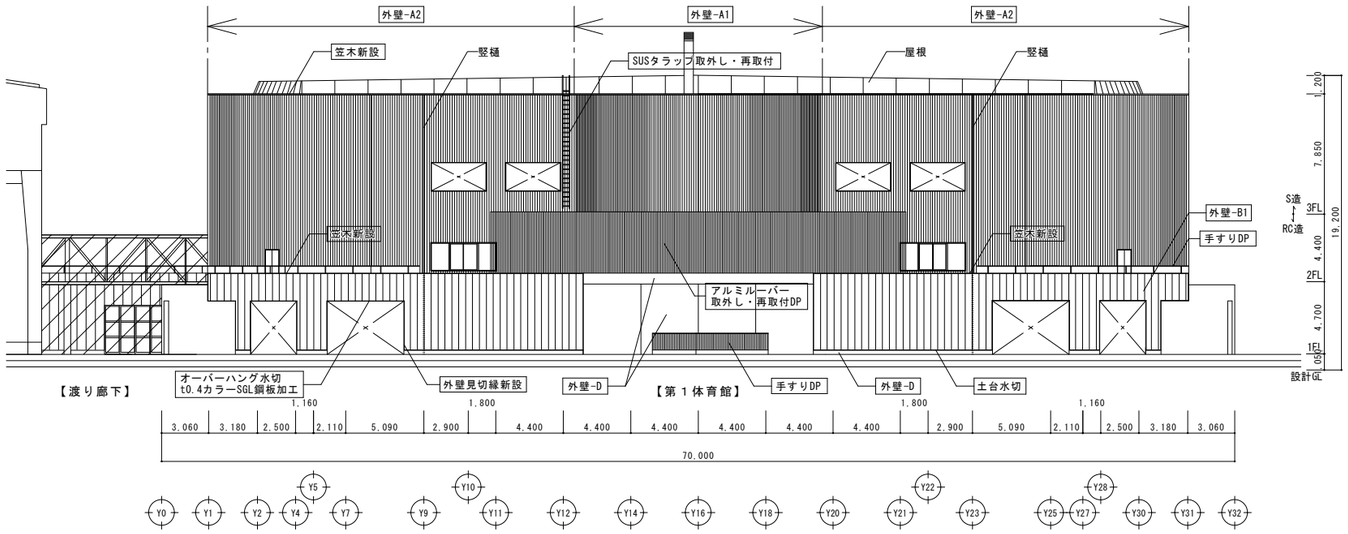
縮尺　A1:1/200　A3:1/400

図面番号　Ａ－２５

外部仕上表（改修後）	
屋根	既存のまま
防水	既存のまま、２階風除室上のみ改修　防水-1
笠木	既存立上りの上、t0.4カラーSGL鋼板笠木W250～600新設
外壁-A1	t0.4カラーSGL鋼板スパンドレル張り+透湿防水シート 樹脂胴縁18×45+下地調整
外壁-A2	t0.4カラーSGL鋼板スパンドレル張り+透湿防水シート 樹脂胴縁18×45+t30フェノールフォーム断熱材+下地調整
外壁-B1	t0.4カラーSGL鋼板立平張り+透湿防水シート 樹脂胴縁18×45+下地調整
外壁-C1	アクリルシリコン樹脂系仕上塗材+ピンネット工法 専用アンカー+ガラスメッシュ+下地調整［タイル面］
外壁-C2	アクリルシリコン樹脂系仕上塗材+ガラスメッシュ t70EPS+下地調整
外壁-D	ふっ素樹脂系仕上塗材+下地調整
外壁-E	t2.0アルミパネル張りDP+下地調整
竪樋	VP75φ：既存のまま SGP100φ：DP
軒裏-A	アルミスパンドレル
軒裏-B	硬質木片セメント板+浸透性撥水材塗布
軒裏-C	FK8.0+DP
軒裏-D	アクリルシリコン樹脂系仕上塗材
軒裏-E	ふっ素樹脂系仕上塗材



南側立面図



東側立面図

○凡例

今回工事改修範囲を示す

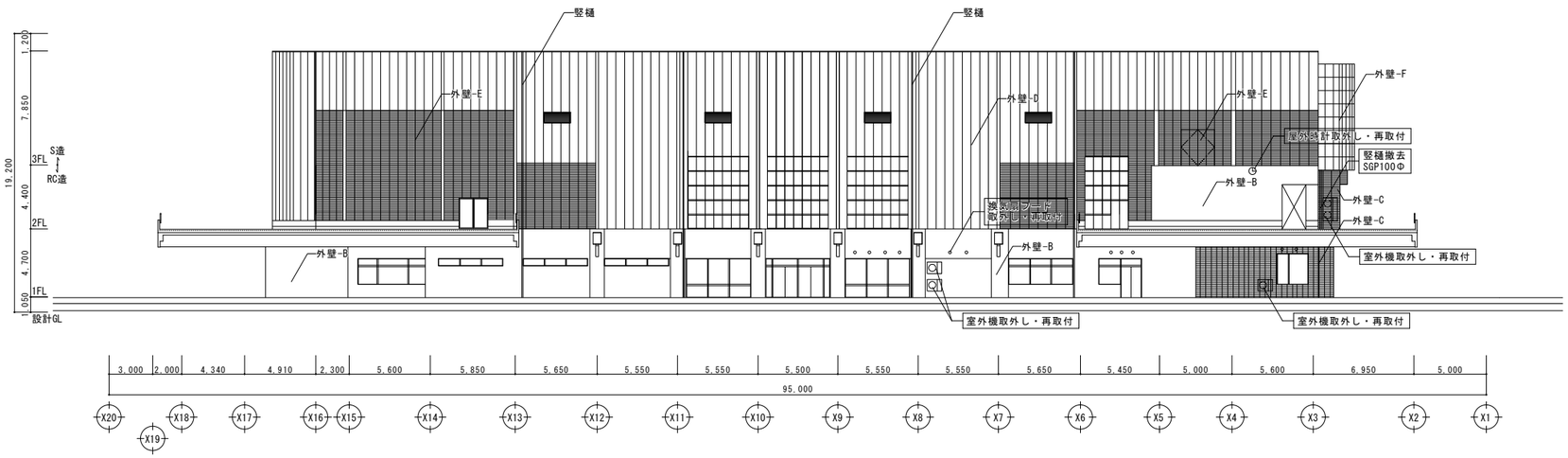
改修範囲外を示す

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－２１　電話（076）421-9118(代)

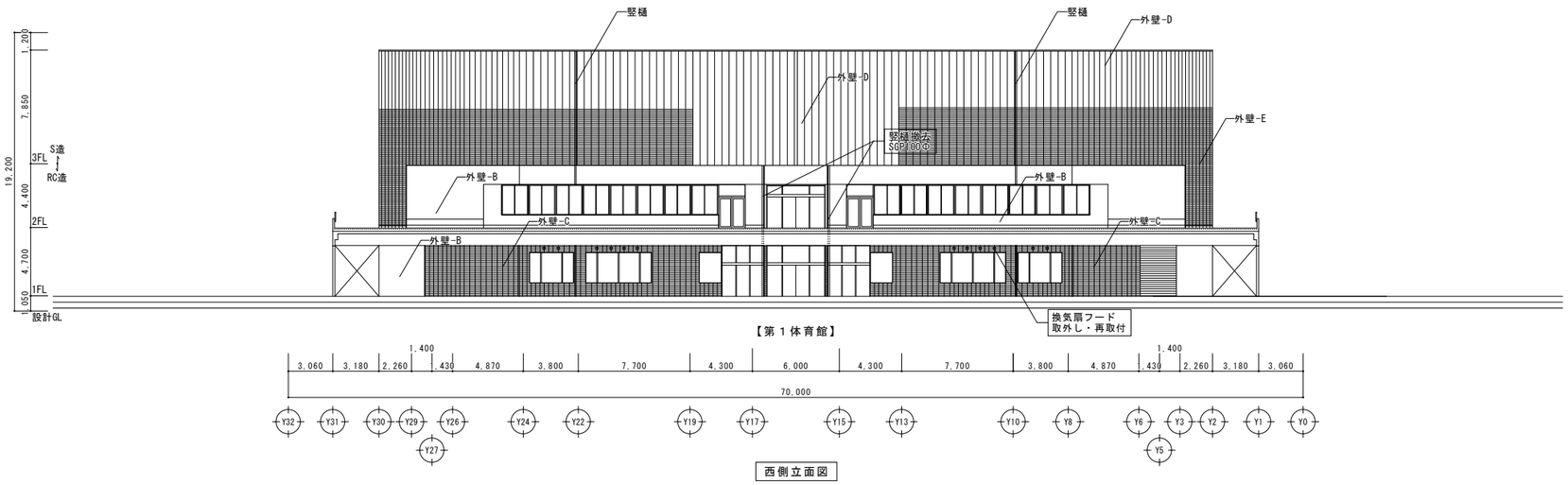
設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日 R8.3	図面番号
図面名称	第１体育館改修後立面図２	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	Ａ－２６

外部仕上表（改修前）	
屋根	t0.4カラーSGL立平葺き
防水	塩ビシート防水
笠木	塩ビシート防水巻上げ
外壁-A	コンクリート打放し
外壁-B	コンクリート打放し+2-ASE
外壁-C	50角磁器質タイル貼
外壁-D	t60押出成型セメント板+2-ASE
外壁-E	t60押出成型セメント板+50角磁器質タイル貼
外壁-F	t2.0アルミパネル張り
竪樋	VP75φ SGP100φ
軒裏	FK6.0目透し張り+リシン吹付



北側立面図



【第１体育館】

西側立面図

○凡例

今回工事改修範囲を示す

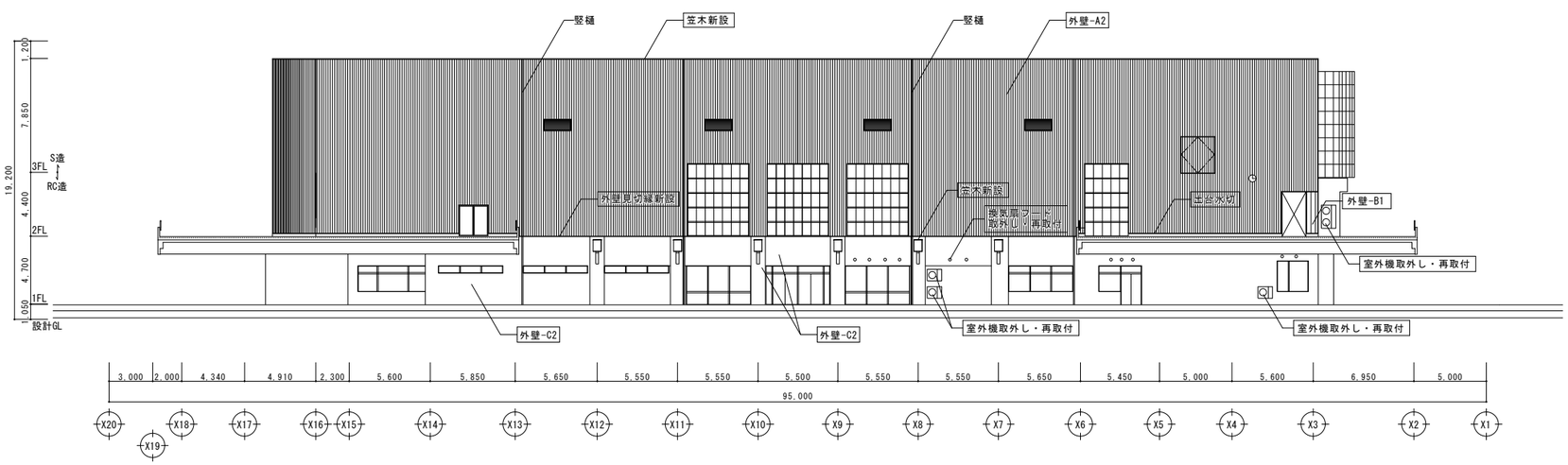
改修範囲外を示す

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118(代)

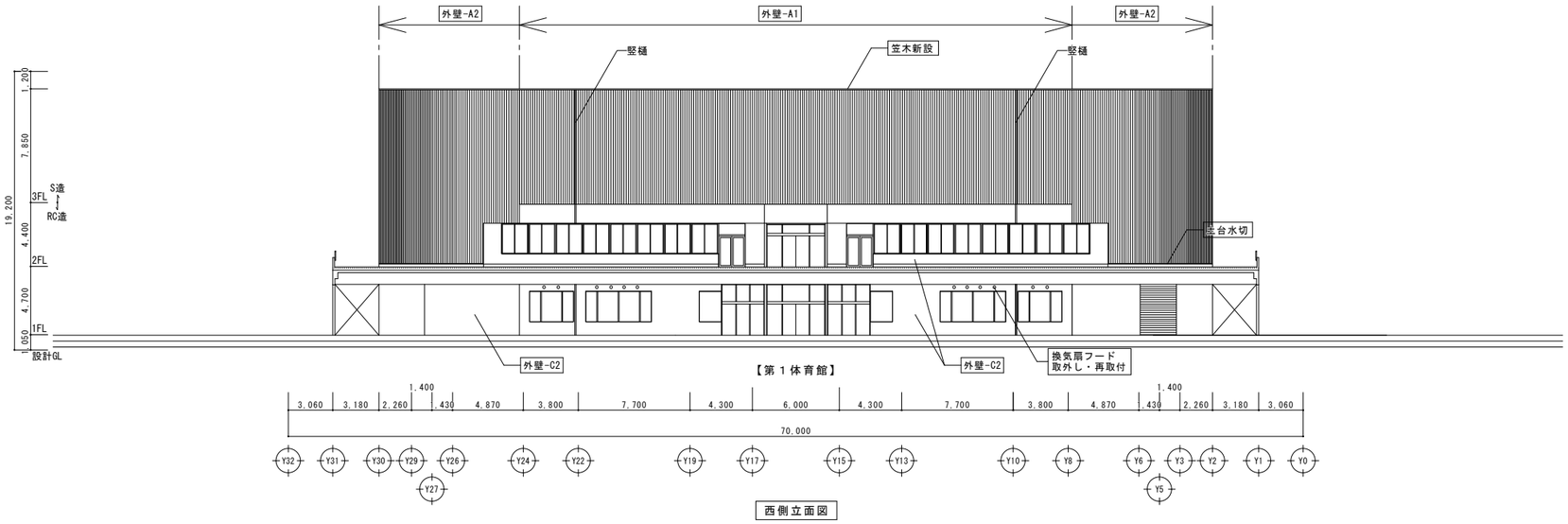
設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日 R8.3	図面番号
図面名称	第１体育館改修前立面図３	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	Ａ－２７

外部仕上表（改修後）	
屋根	既存のまま
防水	既存のまま、２階風除室上のみ改修　防水-1
笠木	既存立上りの上、t0.4カラーSGL鋼板笠木W250～600新設
外壁-A1	t0.4カラーSGL鋼板スパンドレル張り+透湿防水シート 樹脂胴縁18×45+下地調整
外壁-A2	t0.4カラーSGL鋼板スパンドレル張り+透湿防水シート 樹脂胴縁18×45+t30フェノールフォーム断熱材+下地調整
外壁-B1	t0.4カラーSGL鋼板立平張り+透湿防水シート 樹脂胴縁18×45+下地調整
外壁-C1	アクリルシリコン樹脂系仕上塗材+ピンネット工法 専用アンカー+ガラスメッシュ+下地調整［タイル面］
外壁-C2	アクリルシリコン樹脂系仕上塗材+ガラスメッシュ t70EPS+下地調整
外壁-D	ふっ素樹脂系仕上塗材+下地調整
外壁-E	t2.0アルミパネル張りDP+下地調整
竪樋	VP75φ：既存のまま SGP100φ：DP
軒裏-A	アルミスパンドレル
軒裏-B	硬質木片セメント板+浸透性撥水材塗布
軒裏-C	FK8.0+DP
軒裏-D	アクリルシリコン樹脂系仕上塗材
軒裏-E	ふっ素樹脂系仕上塗材



北側立面図



【第１体育館】

西側立面図

○凡例

今回工事改修範囲を示す

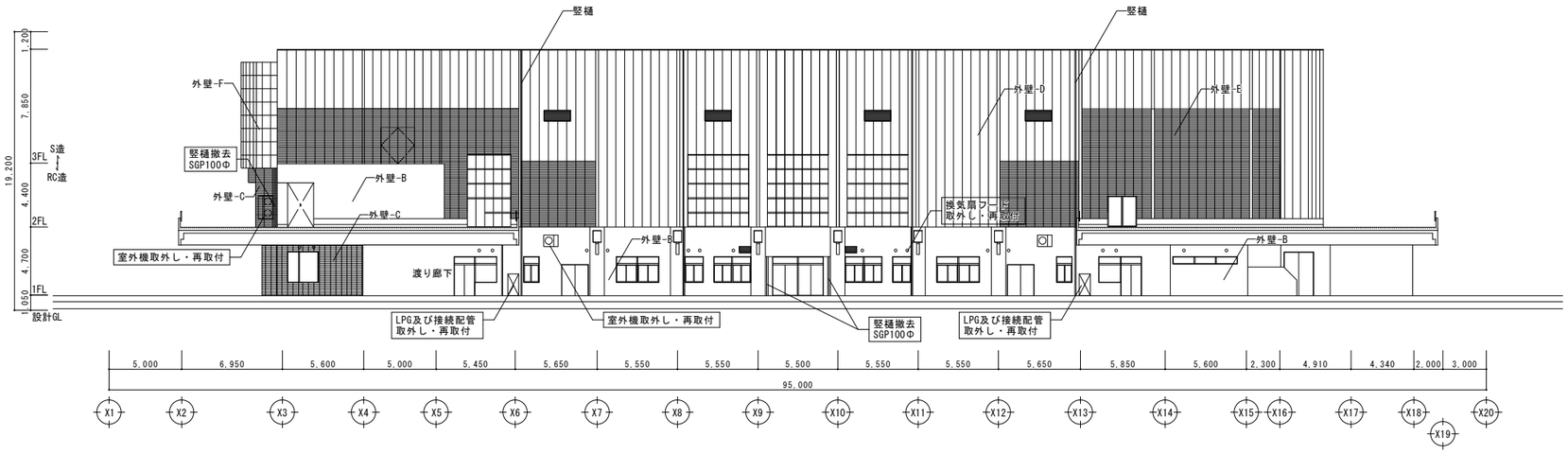
改修範囲外を示す

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118(代)

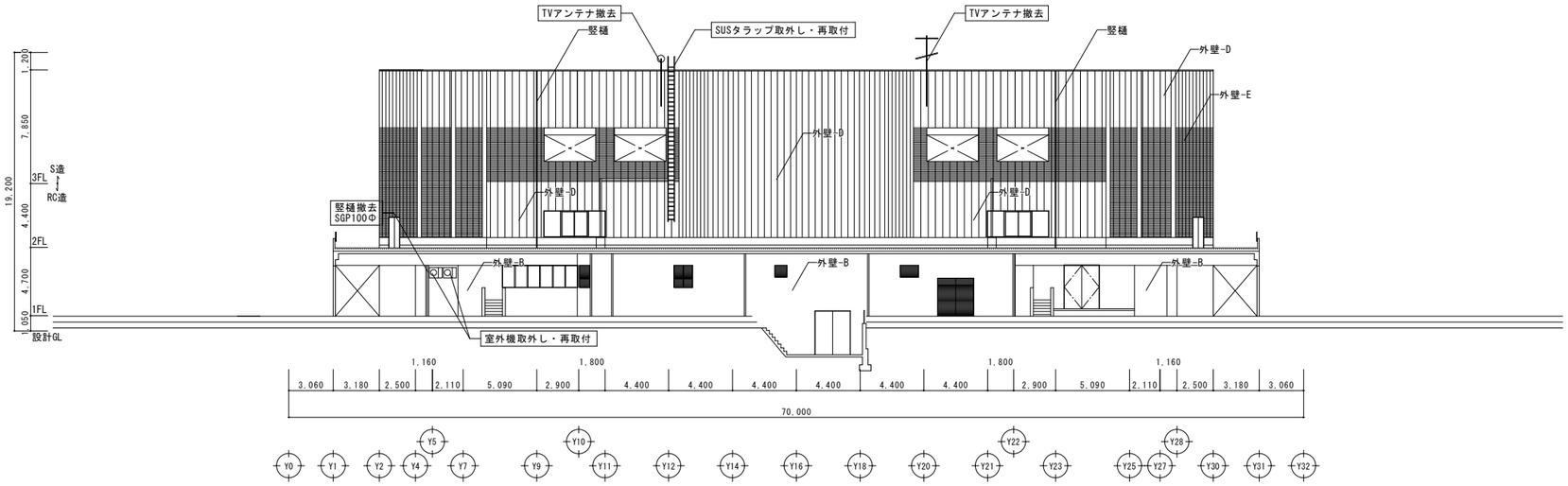
設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日 R8.3	図面番号
図面名称	第１体育館改修後立面図３	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	Ａ－２８

外部仕上表（改修前）	
屋根	t0.4カラーSGL立平葺き
防水	塩ビシート防水
笠木	塩ビシート防水巻上げ
外壁-A	コンクリート打放し
外壁-B	コンクリート打放し+2-ASE
外壁-C	50角磁器質タイル貼
外壁-D	t60押出成型セメント板+2-ASE
外壁-E	t60押出成型セメント板+50角磁器質タイル貼
外壁-F	t2.0アルミパネル張り
竪樋	VP75φ SGP100φ
軒裏	FK6.0目透し張り+リシン吹付



南側立面図



東側立面図

○凡例

今回工事改修範囲を示す

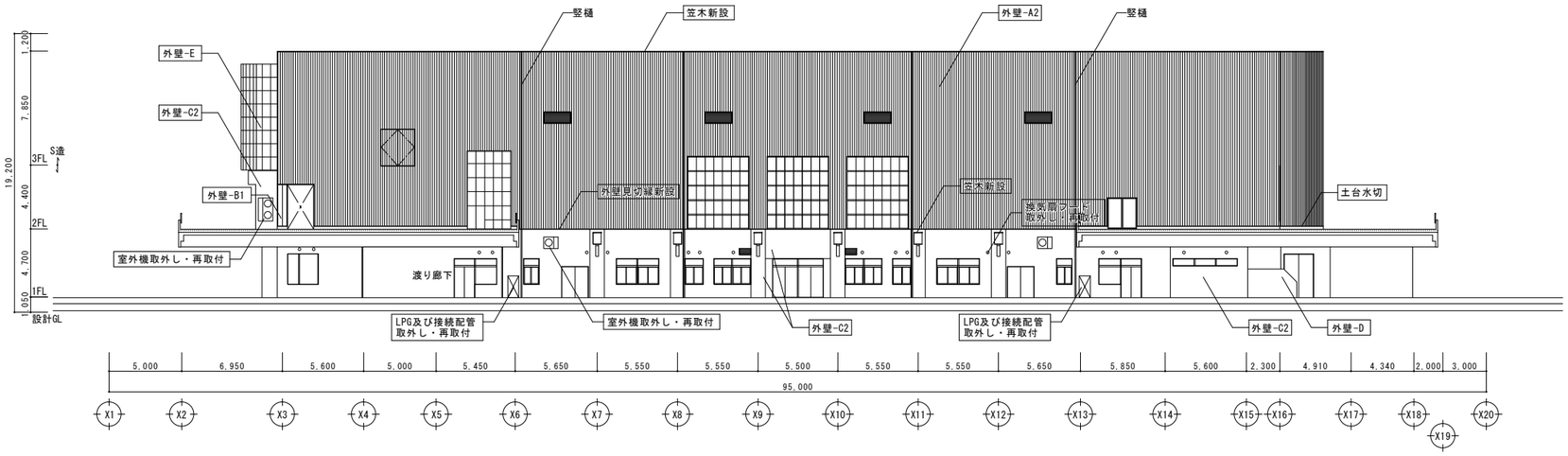
改修範囲外を示す

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118(代)

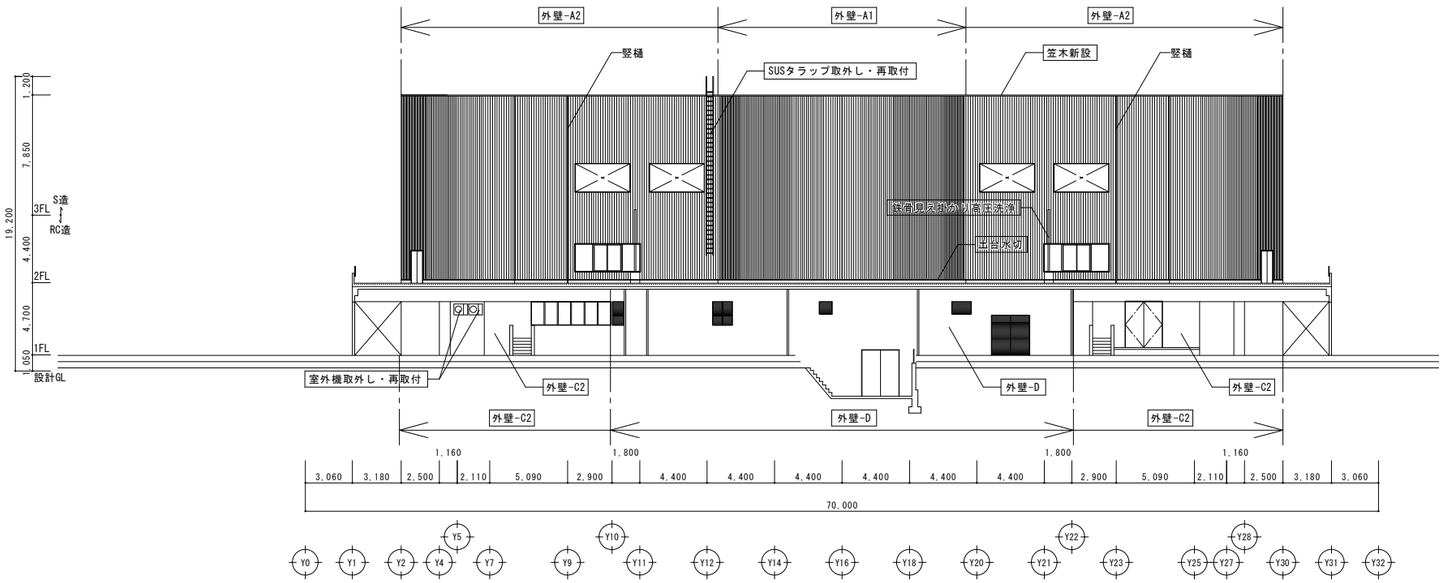
設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日	R8.3
図面名称	第１体育館改修前立面図４	縮尺	A1:1/200 A3:1/400
図面番号	Ａ－２９		

外部仕上表（改修後）	
屋根	既存のまま
防水	既存のまま、２階風除室上のみ改修　防水-1
笠木	既存立上りの上、t0.4カラーSGL鋼板笠木W250～600新設
外壁-A1	t0.4カラーSGL鋼板スパンドレル張り+透湿防水シート 樹脂胴縁18×45+下地調整
外壁-A2	t0.4カラーSGL鋼板スパンドレル張り+透湿防水シート 樹脂胴縁18×45+t30フェノールフォーム断熱材+下地調整
外壁-B1	t0.4カラーSGL鋼板立平張り+透湿防水シート 樹脂胴縁18×45+下地調整
外壁-C1	アクリルシリコン樹脂系仕上塗材+ピンネット工法 専用アンカー+ガラスメッシュ+下地調整［タイル面］
外壁-C2	アクリルシリコン樹脂系仕上塗材+ガラスメッシュ t70EPS+下地調整
外壁-D	ふっ素樹脂系仕上塗材+下地調整
外壁-E	t2.0アルミパネル張りDP+下地調整
竪樋	VP75φ：既存のまま SGP100φ：DP
軒裏-A	アルミスパンドレル
軒裏-B	硬質木片セメント板+浸透性撥水材塗布
軒裏-C	FK8.0+DP
軒裏-D	アクリルシリコン樹脂系仕上塗材
軒裏-E	ふっ素樹脂系仕上塗材



南側立面図



東側立面図

○凡例

今回工事改修範囲を示す

改修範囲外を示す

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118(代)

設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称　朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事

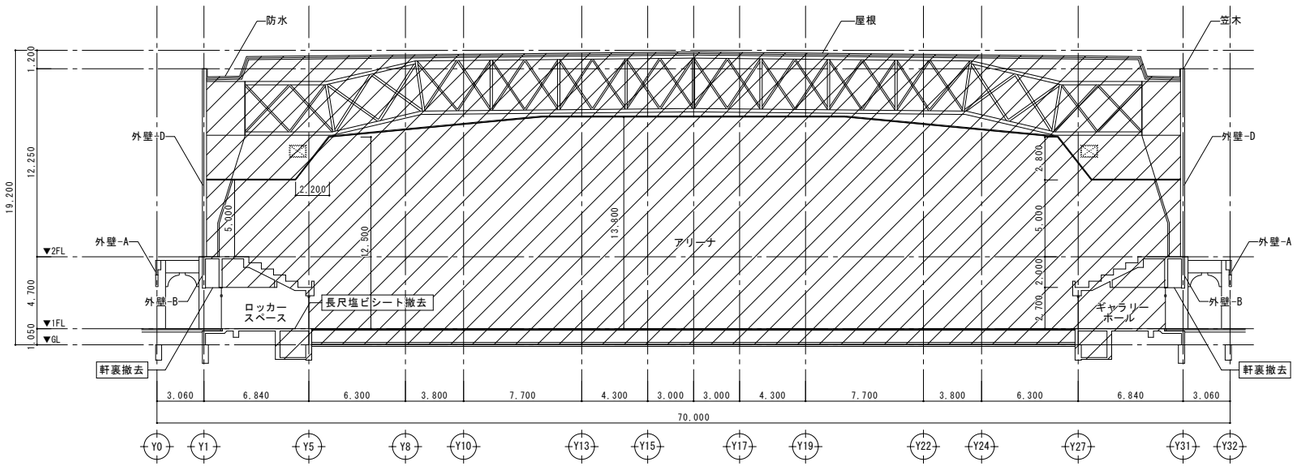
年月日　R8.3

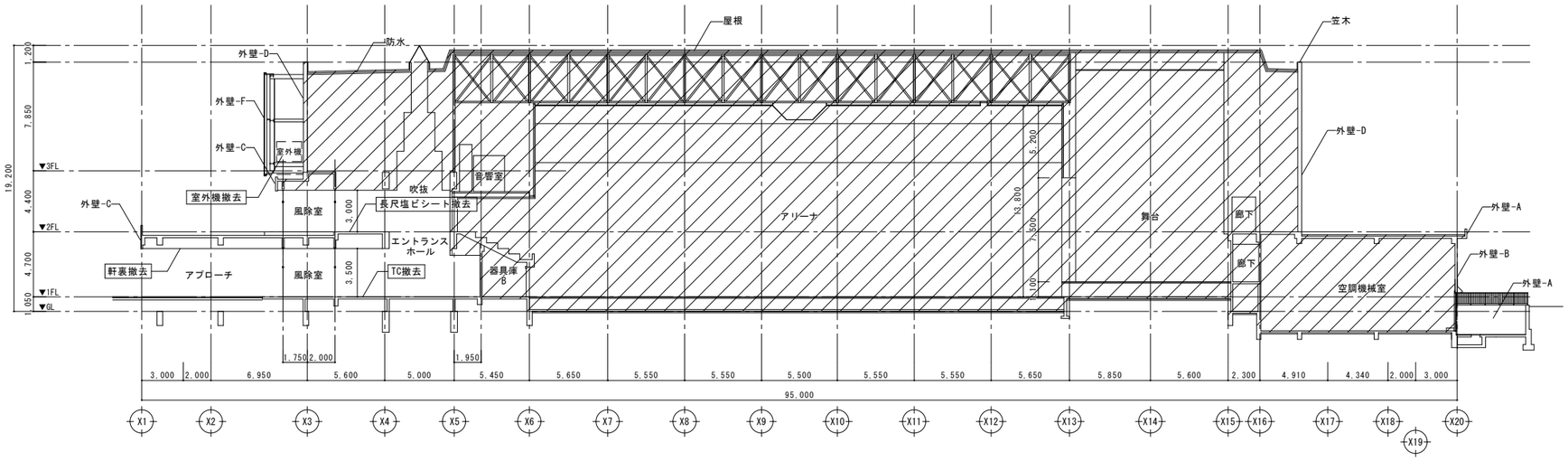
図面名称　第１体育館改修後立面図４

縮尺　A1:1/200　A3:1/400

図面番号　Ａ－３０

外部仕上表（改修前）	
屋根	t0.4カラーSGL立平葺き
防水	塩ビシート防水
笠木	塩ビシート防水巻上げ
外壁-A	コンクリート打放し
外壁-B	コンクリート打放し+2-ASE
外壁-C	50角磁器質タイル貼
外壁-D	t60押出成型セメント板+2-ASE
外壁-E	t60押出成型セメント板+50角磁器質タイル貼
外壁-F	t2.0アルミパネル張り
竪樋	VP75φ SGP100φ
軒裏	FK6.0目透し張り+リシン吹付





○凡例

今回工事改修範囲を示す

改修範囲外を示す

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118(代)

設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称　朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事

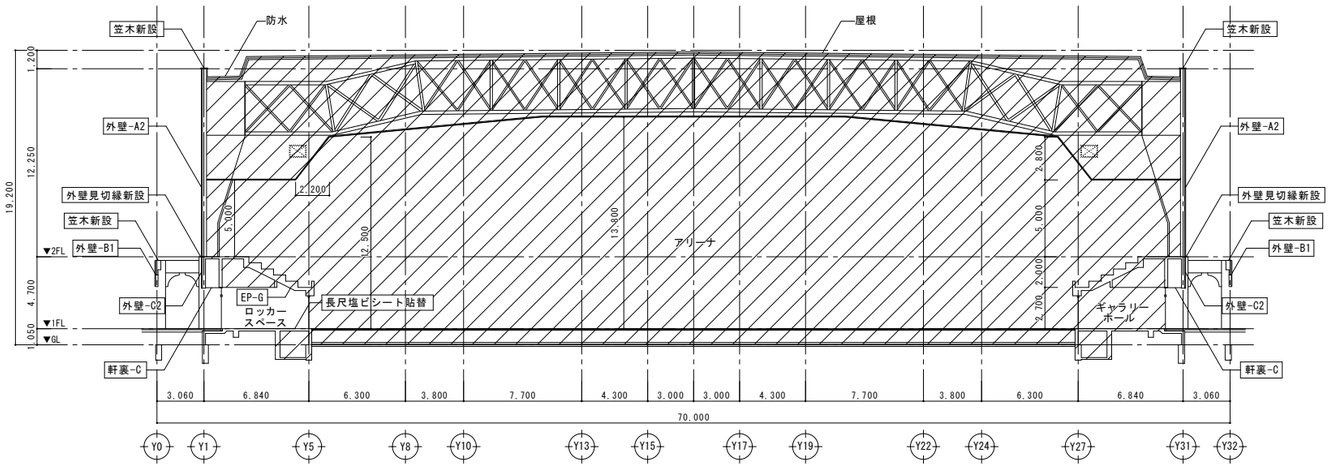
年月日　R8.3

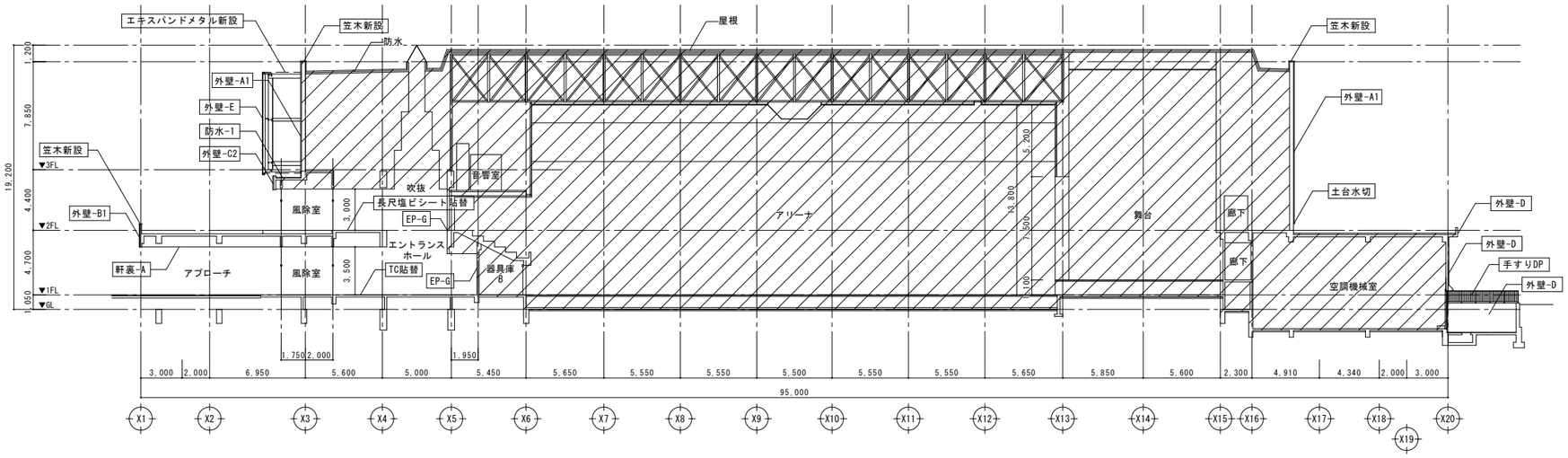
図面名称　第１体育館改修前断面図

縮尺　A1:1/200　A3:1/400

図面番号　Ａ－３１

外部仕上表（改修後）	
屋根	既存のまま
防水	既存のまま、２階風除室上のみ改修　防水-1
笠木	既存立上りの上、t0.4カラーSGL鋼板笠木W250～600新設
外壁-A1	t0.4カラーSGL鋼板スパンドレル張り+透湿防水シート 樹脂胴縁18×45+下地調整
外壁-A2	t0.4カラーSGL鋼板スパンドレル張り+透湿防水シート 樹脂胴縁18×45+t30フェノールフォーム断熱材+下地調整
外壁-B1	t0.4カラーSGL鋼板立平張り+透湿防水シート 樹脂胴縁18×45+下地調整
外壁-C1	アクリルシリコン樹脂系仕上塗材+ピンネット工法 専用アンカー+ガラスメッシュ+下地調整［タイル面］
外壁-C2	アクリルシリコン樹脂系仕上塗材+ガラスメッシュ t70EPS+下地調整
外壁-D	ふっ素樹脂系仕上塗材+下地調整
外壁-E	t2.0アルミパネル張りDP+下地調整
竪樋	VP75φ：既存のまま SGP100φ：DP
軒裏-A	アルミスパンドレル
軒裏-B	硬質木片セメント板+浸透性撥水材塗布
軒裏-C	FK8.0+DP
軒裏-D	アクリルシリコン樹脂系仕上塗材
軒裏-E	ふっ素樹脂系仕上塗材





○凡例

今回工事改修範囲を示す

改修範囲外を示す

株式会社 鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118(代)

設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

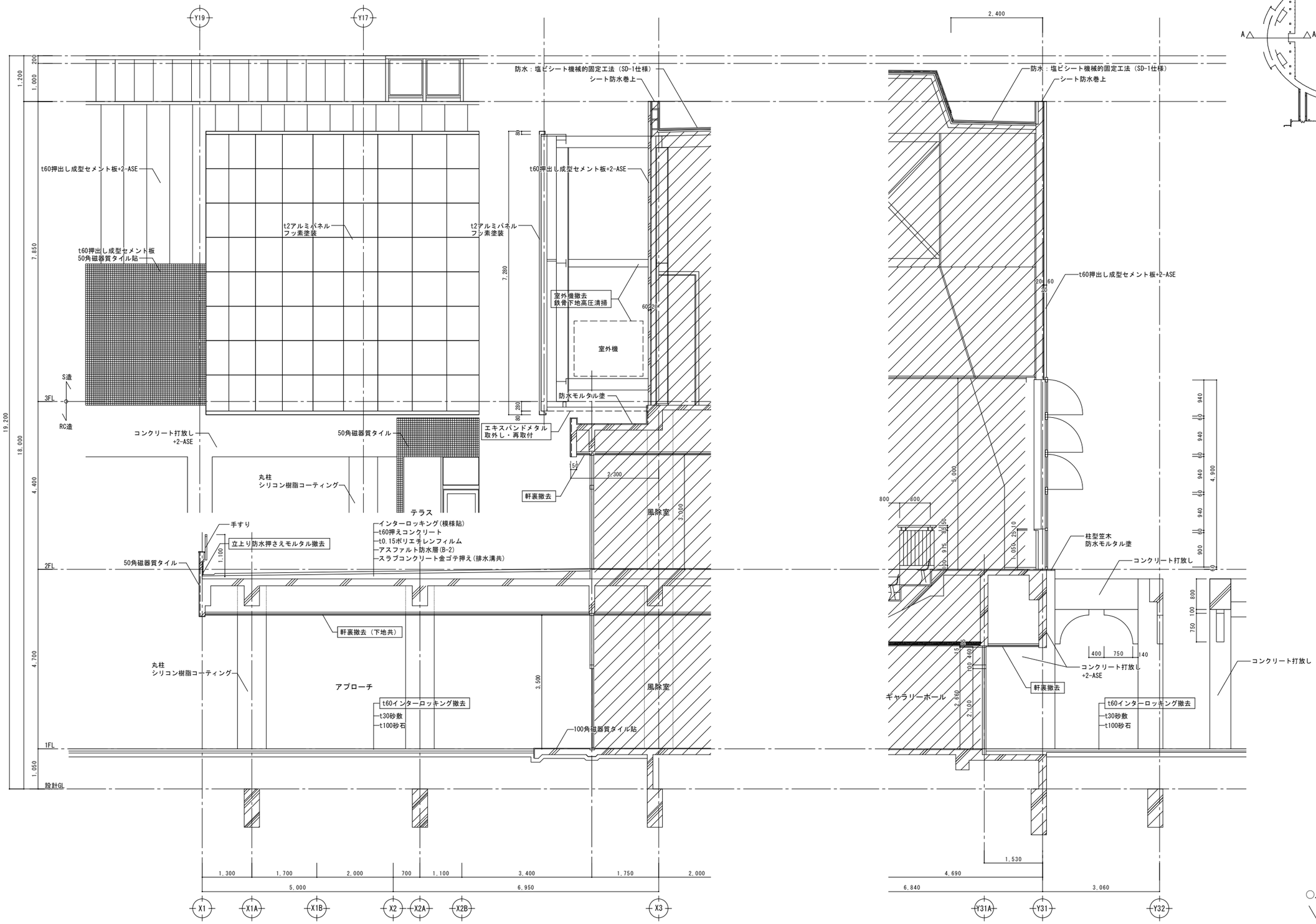
工事名称　朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事

年月日　R8.3

図面名称　第１体育館改修後断面図

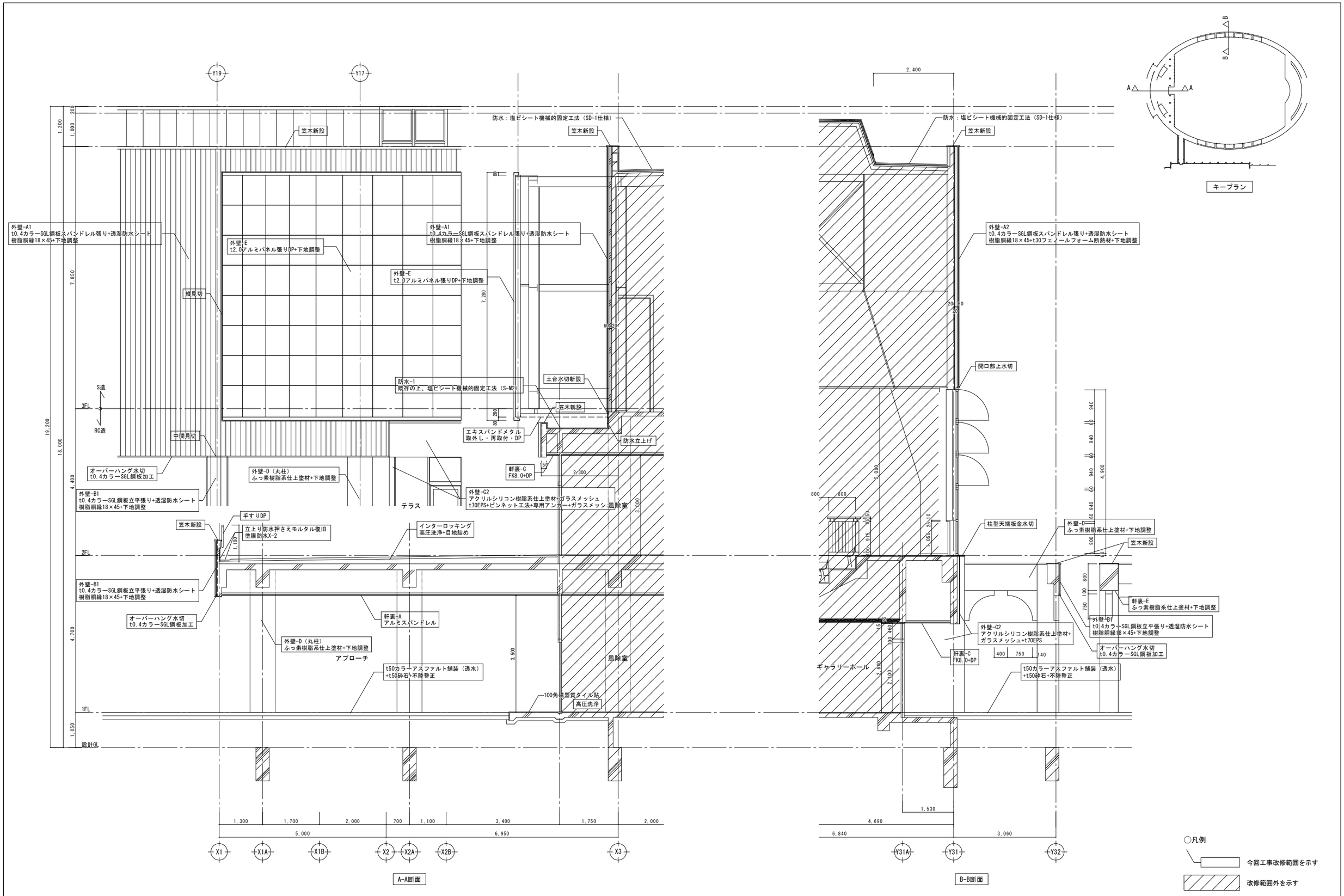
縮尺　A1:1/200　A3:1/400

図面番号　Ａ－３２



株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118(代)

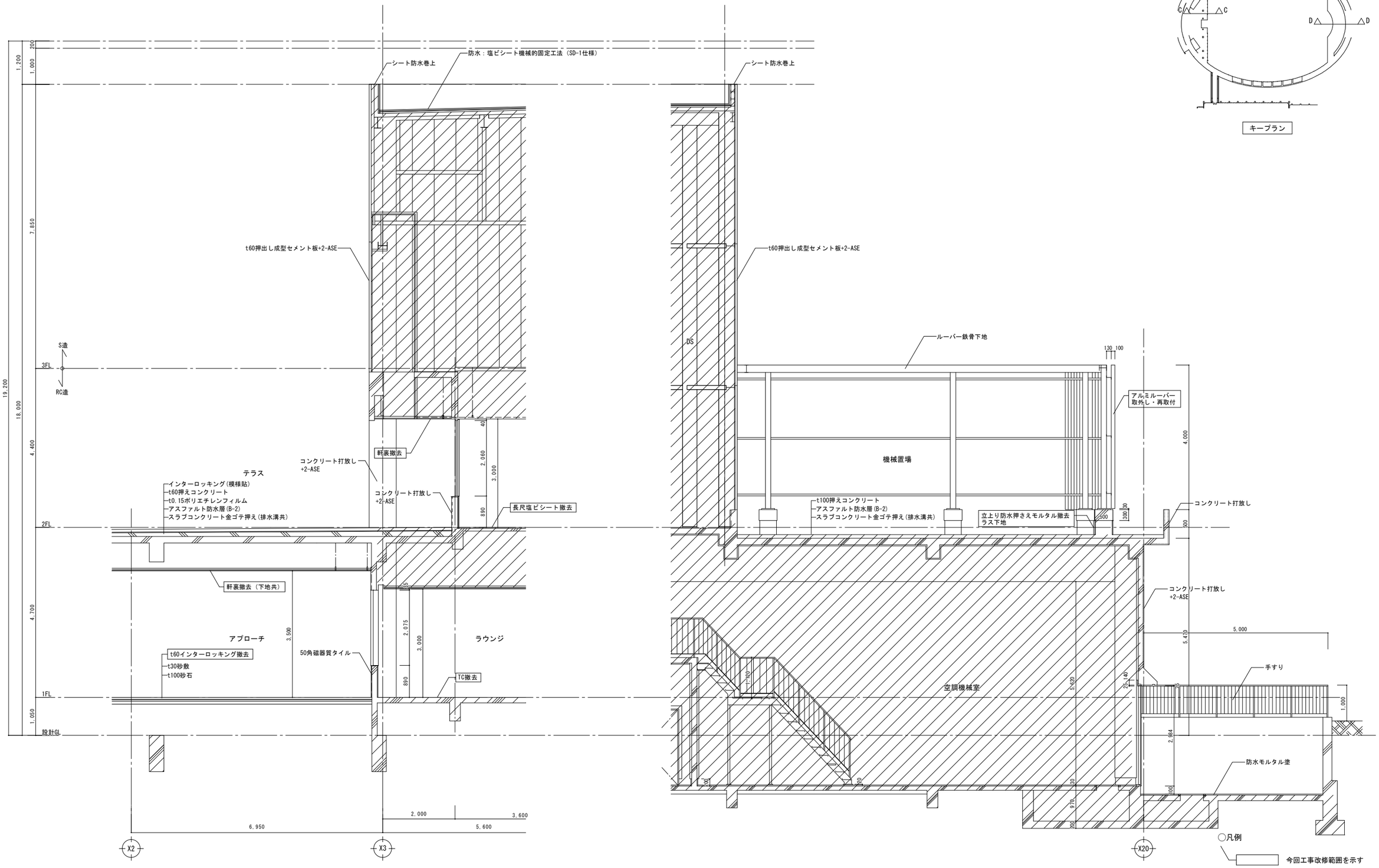
設計	一級建築士登録第261836号　酒井　武志	工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事
担当	一級建築士登録第362594号　江端　雄也	図面名称	第１体育館改修前断面詳細図１
年月日	R8.3	縮尺	A1:1/ 50 A3:1/100
図面番号	Ａ－３３		



株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118(代)

設計	一級建築士登録第261836号	酒井　武志	
担当	一級建築士登録第362594号	江端　雄也	

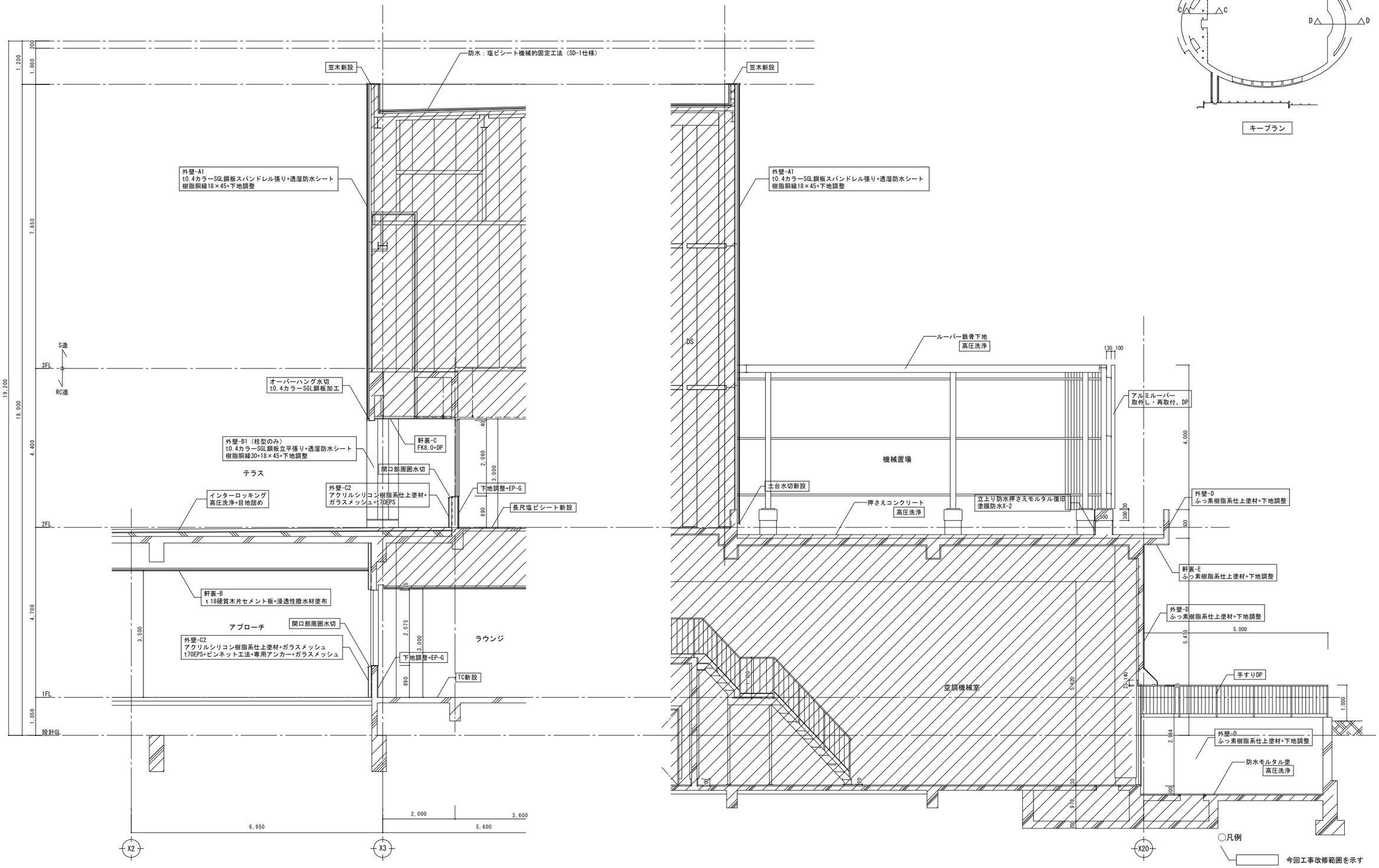
工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日	R8.3
図面名称	第１体育館改修後断面詳細図１	縮尺	A1:1/ 50 A3:1/100
図面番号	Ａ－３４		



株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118（代）

設計	一級建築士登録第261836号	酒井　武志	
担当	一級建築士登録第362594号	江端　雄也	

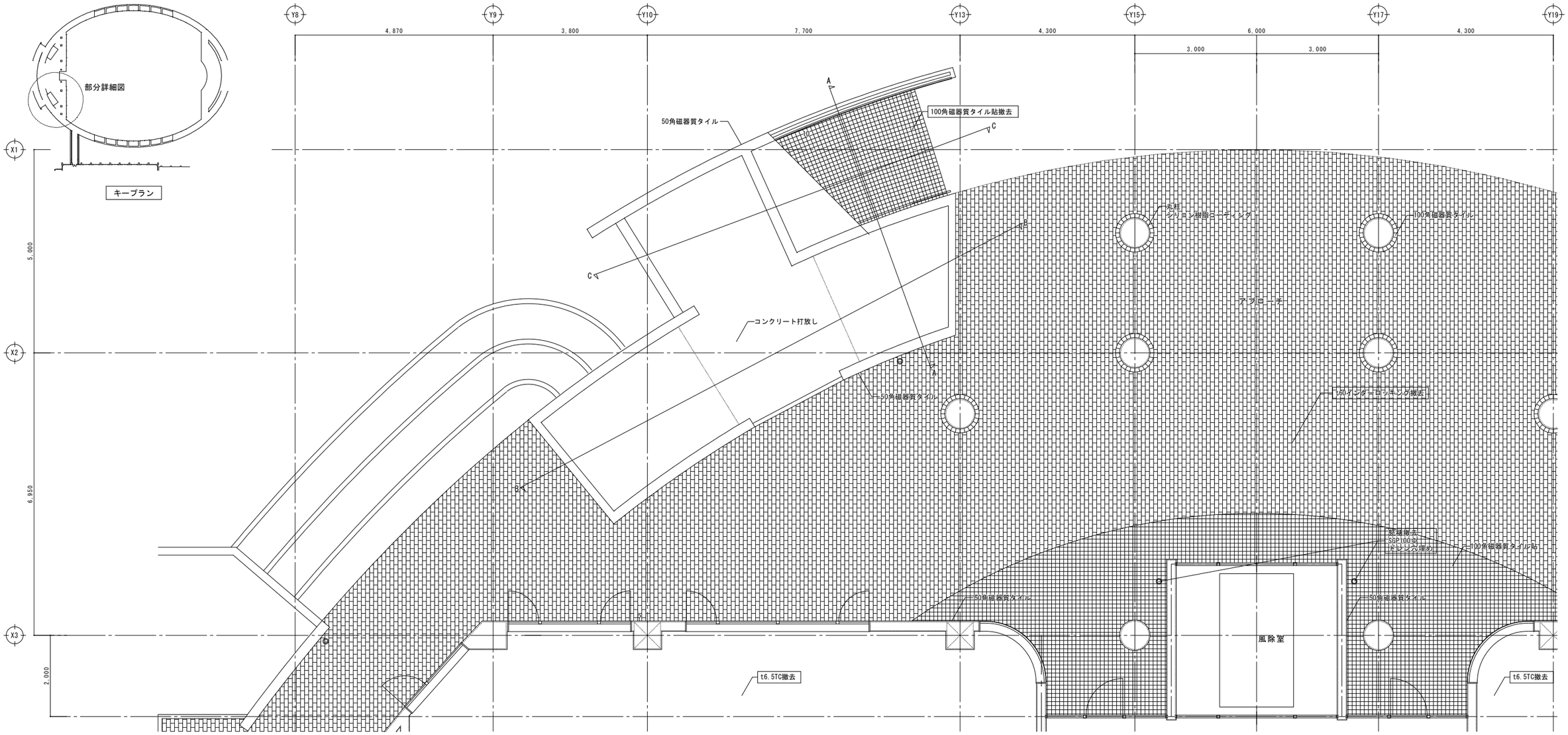
工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日	R8.3
図面名称	第１体育館改修前断面詳細図２	縮尺	A1:1/ 50 A3:1/100
図面番号	Ａ－３５		

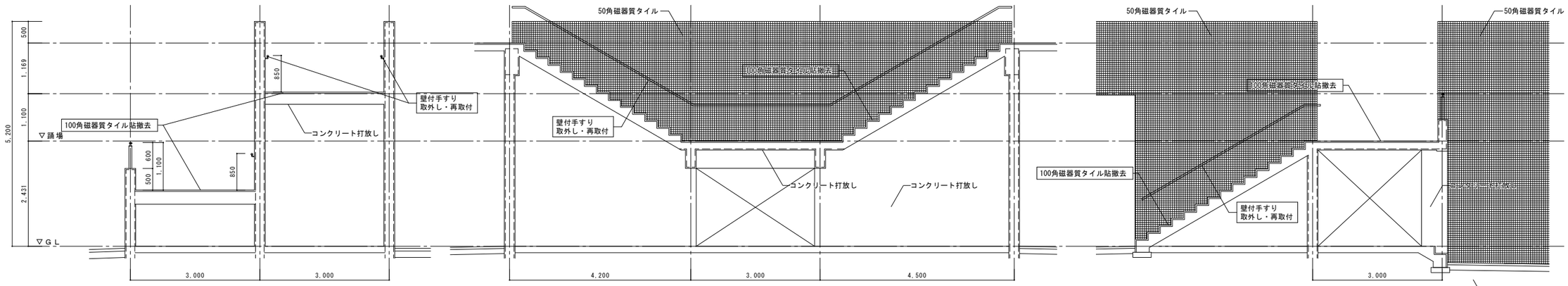


株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118（代）

設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事
年月日	R8.3
図面名称	第１体育館改修後断面詳細図２
縮尺	A1:1/ 50 A3:1/100
図面番号	Ａ－３６





A-A断面

B-B断面

C-C断面

○凡例

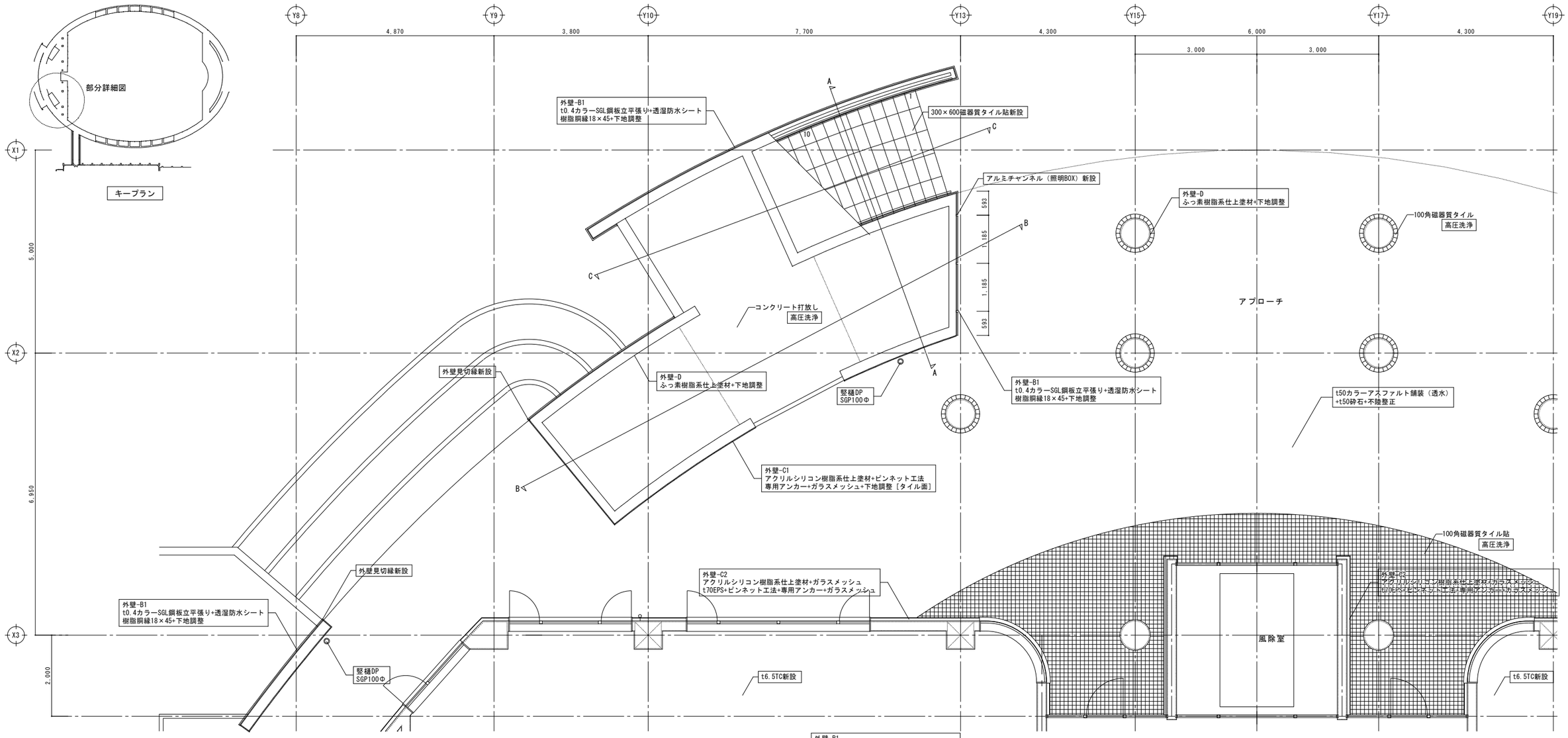
今回工事改修範囲を示す

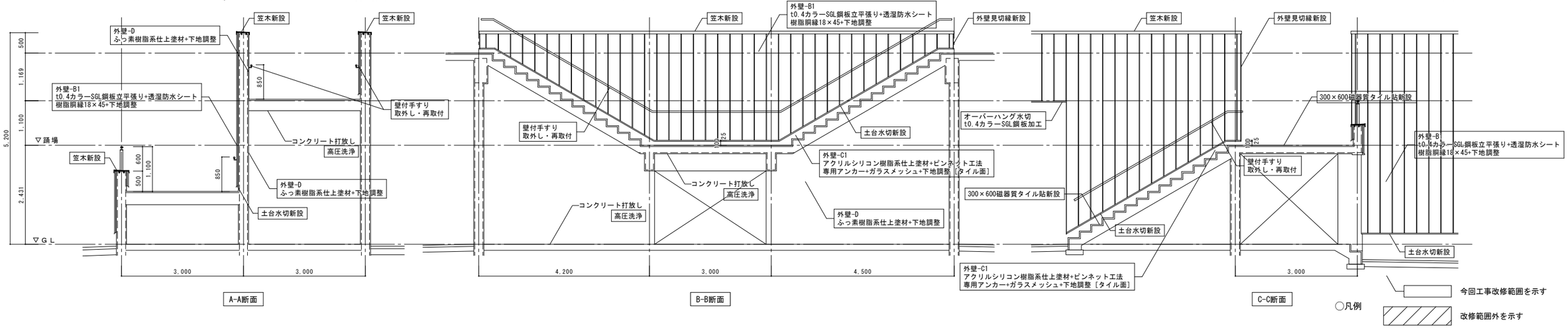
改修範囲外を示す

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118(代)

設計	一級建築士登録第261836号	酒井　武志
担当	一級建築士登録第362594号	江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日	R8.3
図面名称	第１体育館改修前部分詳細図（ポーチ・屋外階段）	縮尺	A1:1/ 50 A3:1/100
図面番号	Ａ－３７		

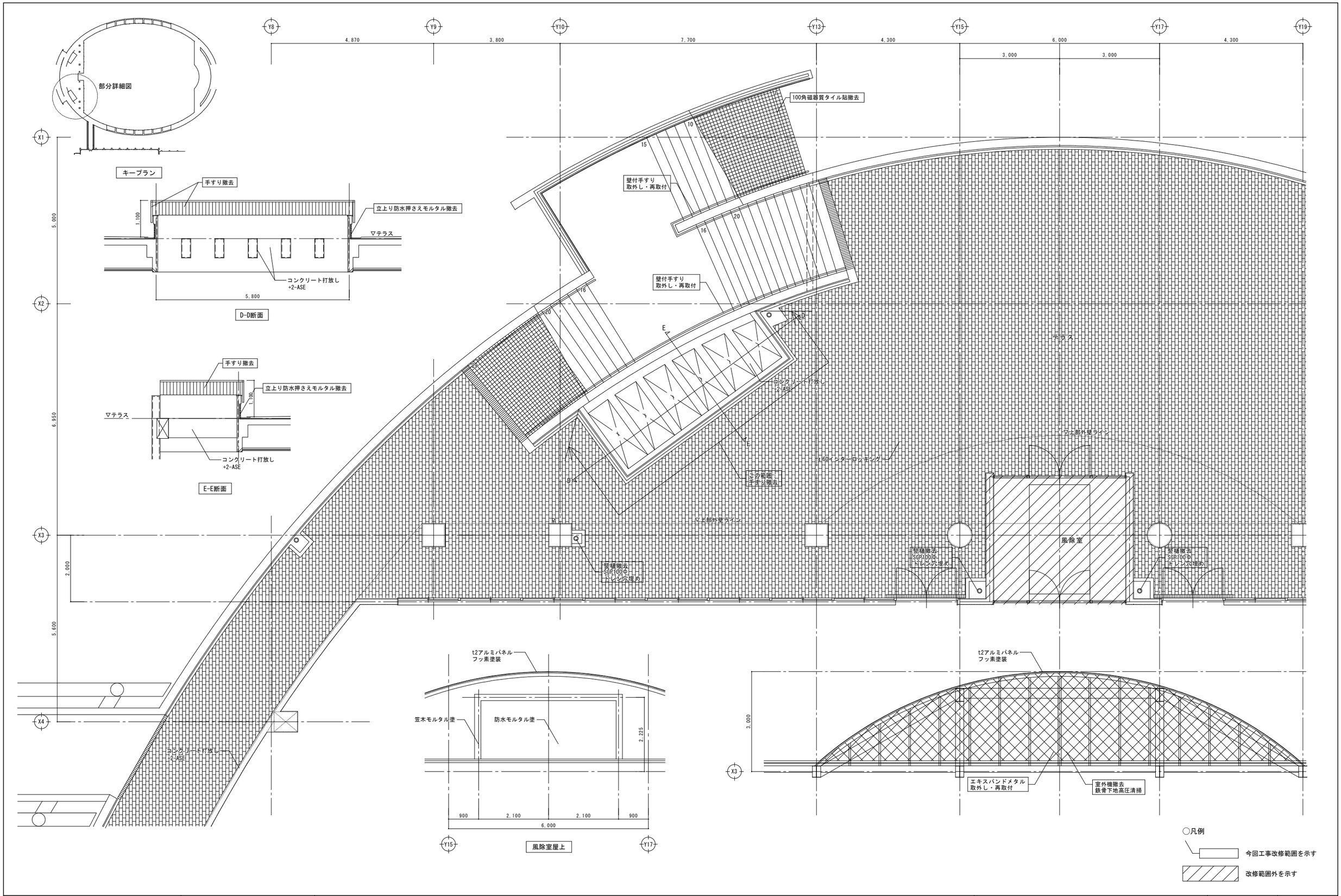




株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118（代）

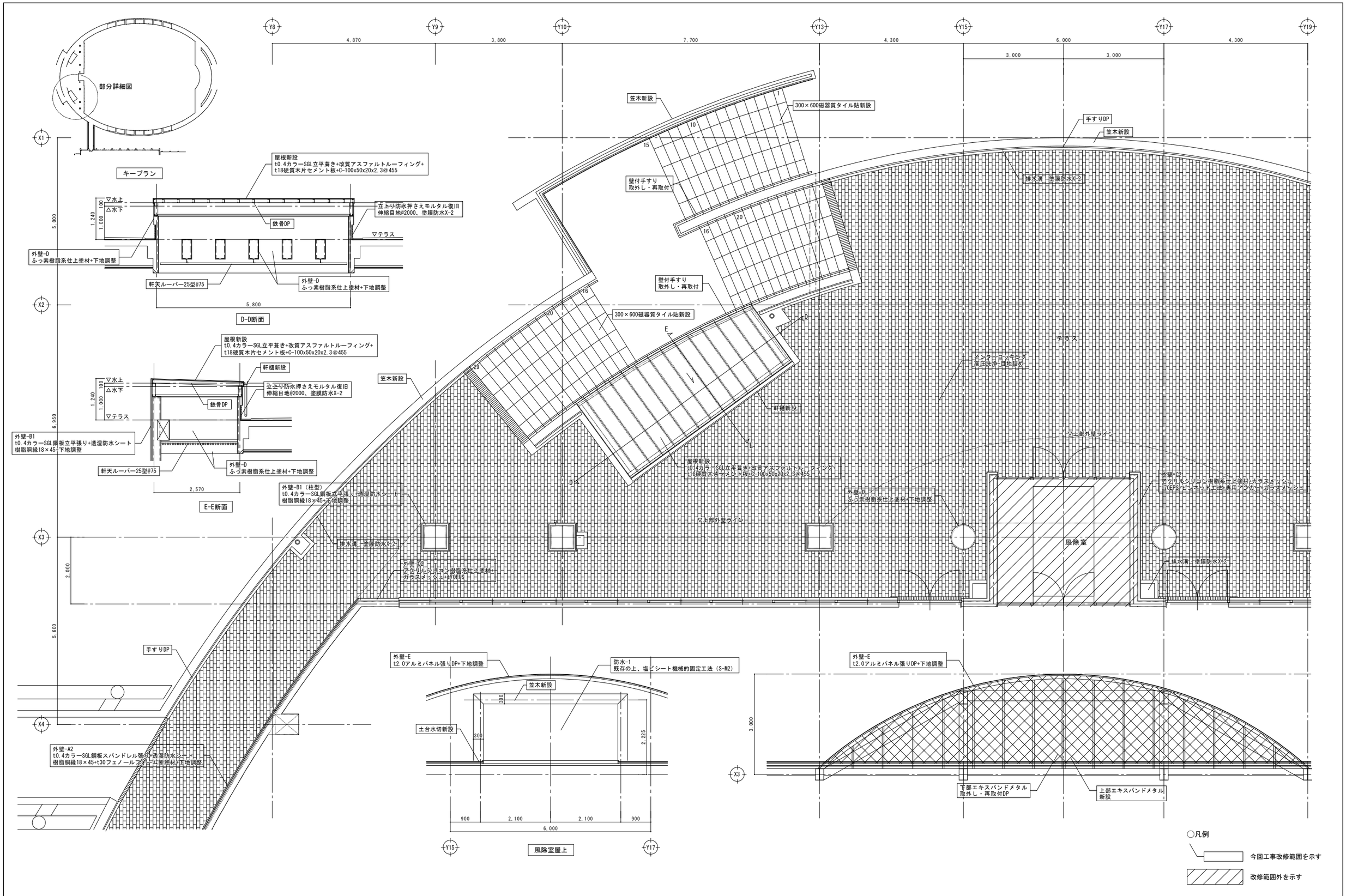
設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日	R8.3
図面名称	第１体育館改修後部分詳細図（ポーチ・屋外階段）	縮尺	A1:1/ 50 A3:1/100
図面番号	A－38		



株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118（代）

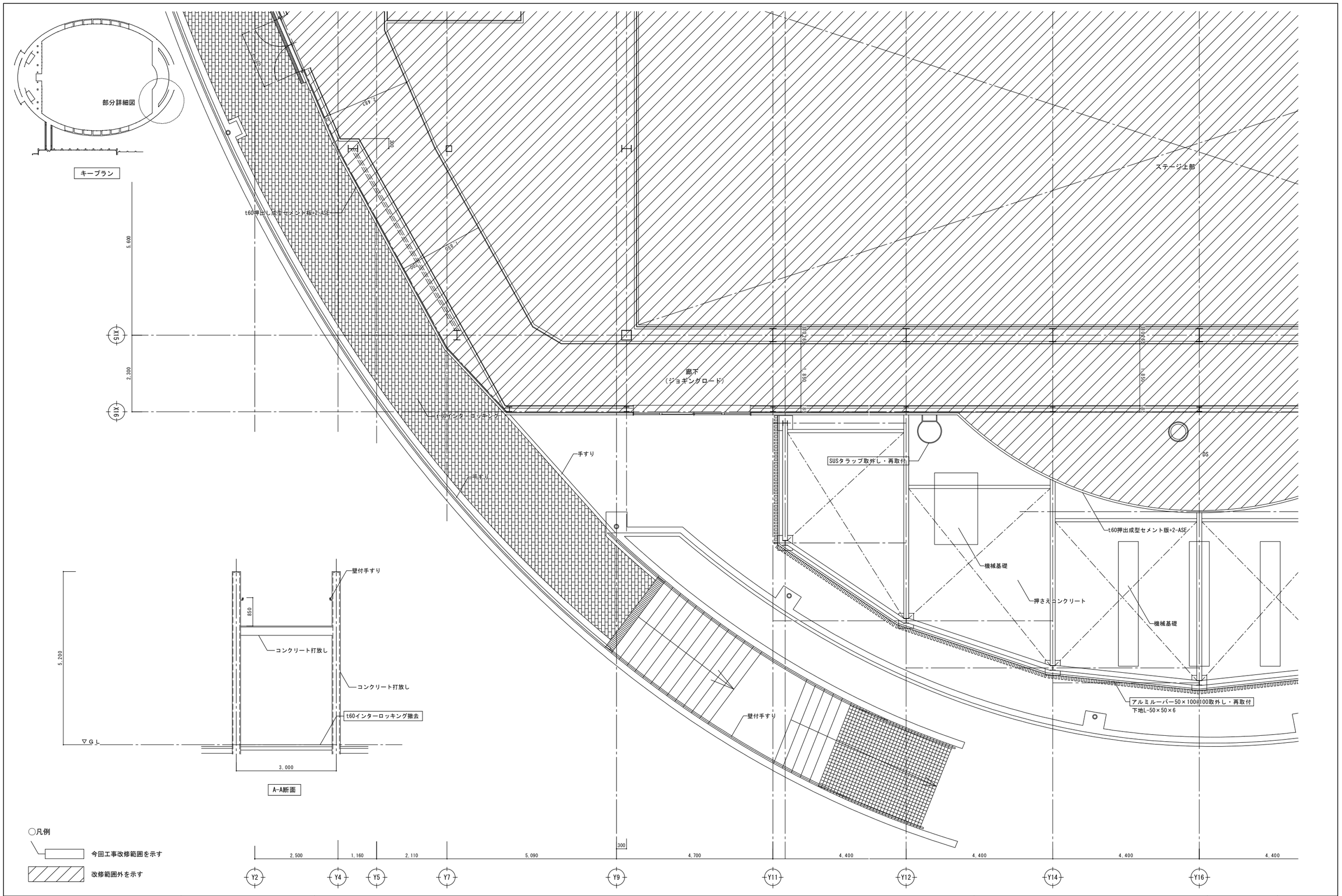
設計 一級建築士登録第261836号 酒井 武志	工事名称 朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日 R8.3	図面番号
担当 一級建築士登録第362594号 江端 雄也	図面名称 第１体育館改修前部分詳細図(ポーチ・屋外階段)	縮尺 A1:1/ 50 A3:1/100	A－39



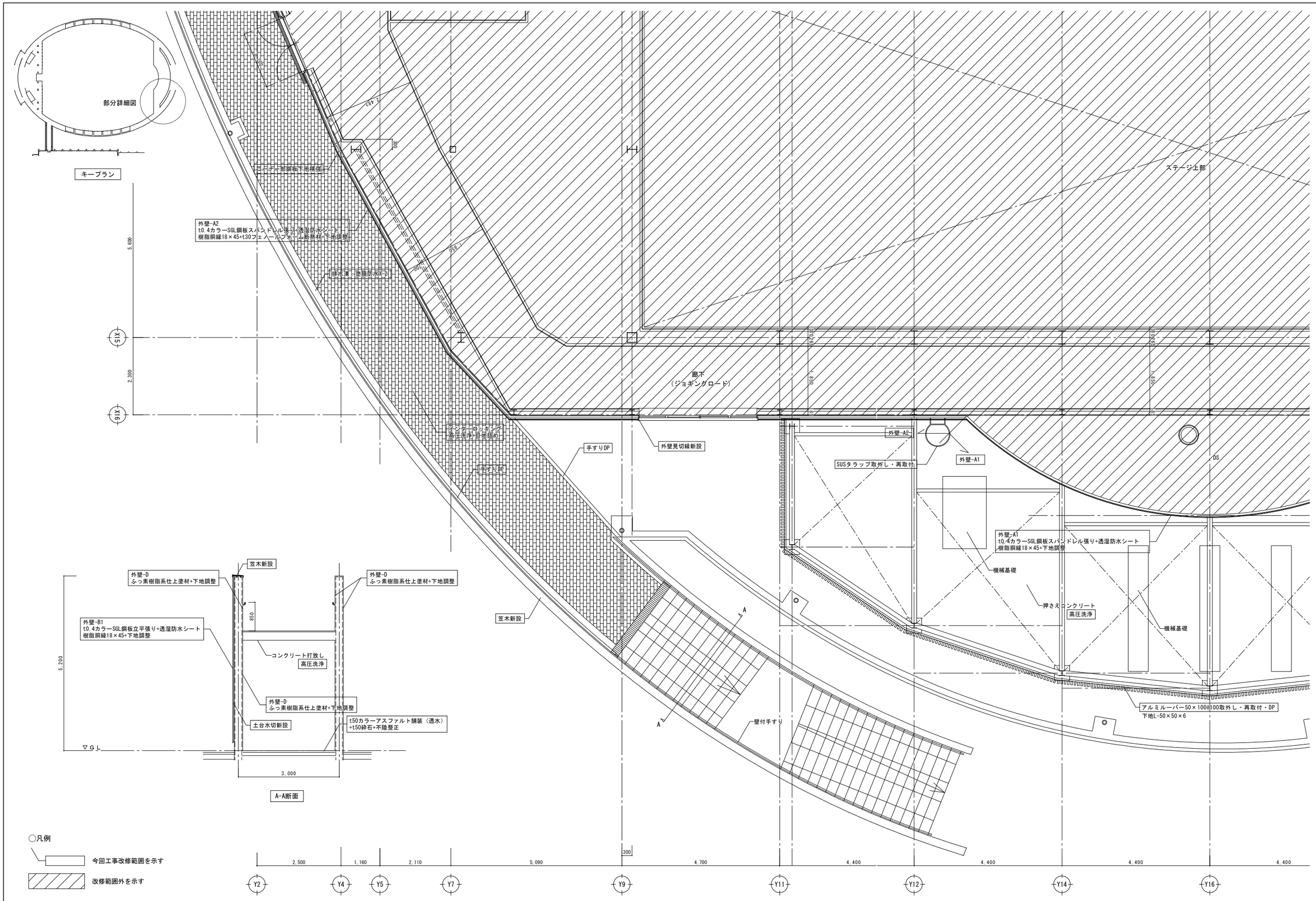
株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－２１　電話（０７６）４２１－９１１８（代）

設計	一級建築士登録第261836号	酒井　武志	
担当	一級建築士登録第362594号	江端　雄也	

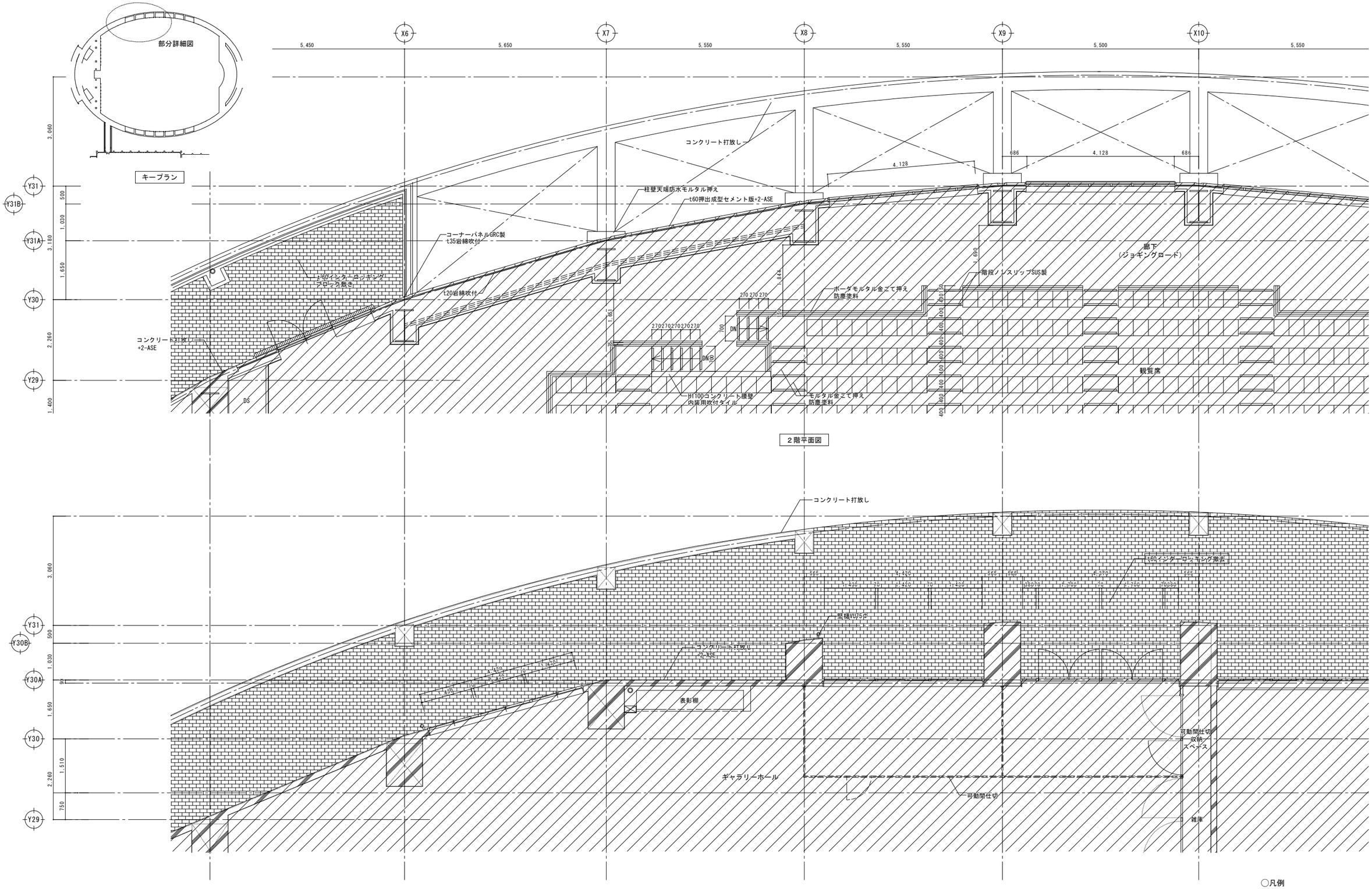
工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日	R8.3
図面名称	第１体育館改修後部分詳細図（テラス・屋外階段）	縮尺	A1:1/ 50 A3:1/100
図面番号	Ａ－４０		



株式会社 鈴木一級建築士事務所 SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC. 富山市長柄町2丁目1－21 電話（076）421-9118（代）	設計 一級建築士登録第261836号 酒井 武志	工事名称 朝日町文化体育センター第1体育館外壁改修工事	年月日 R8.3
	担当 一級建築士登録第362594号 江端 雄也	図面名称 第1体育館改修前部分詳細図(機械置場・屋外階段)	縮尺 A1:1/ 50 A3:1/100
			図面番号 A－41



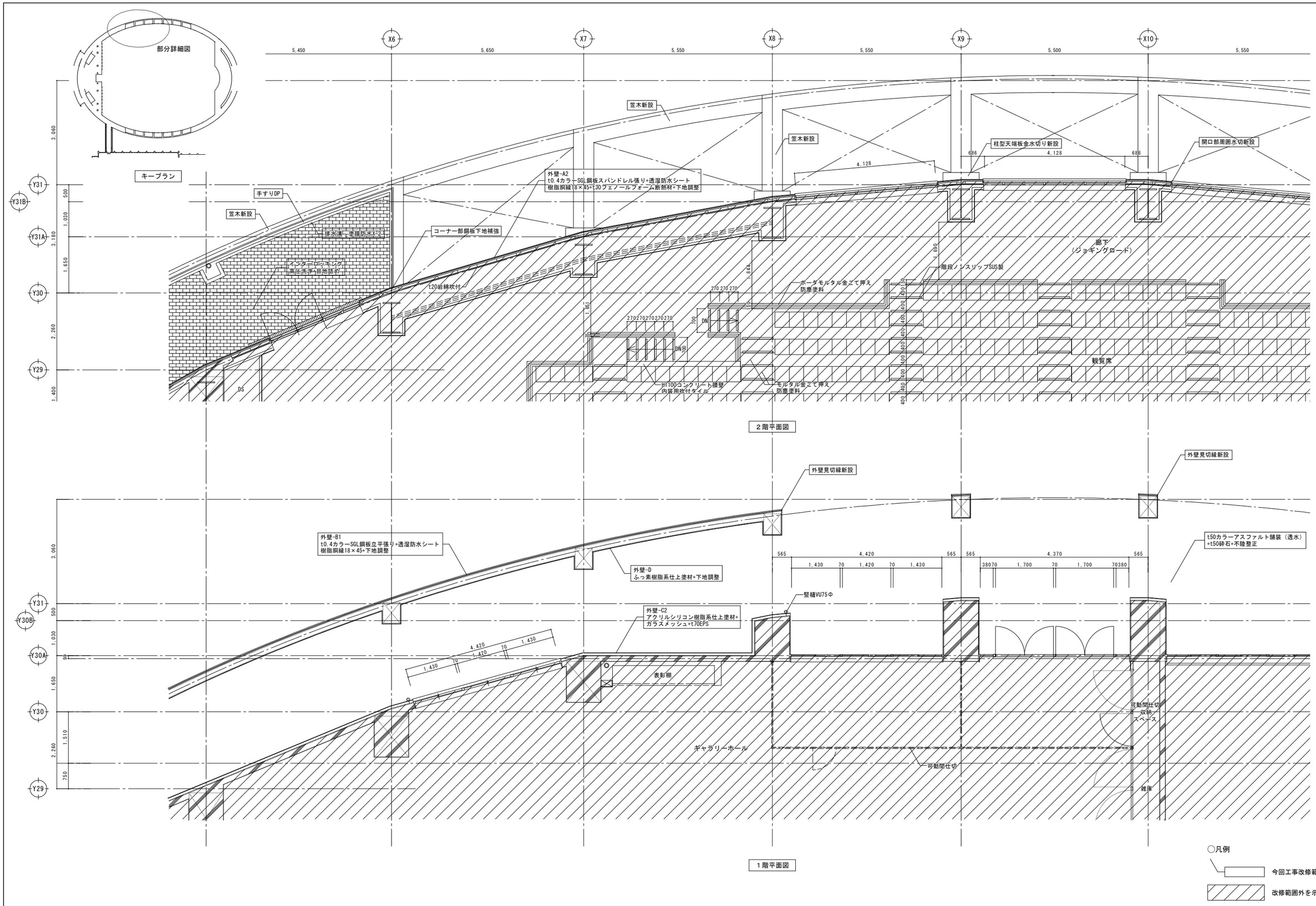
株式会社 鈴木一級建築士事務所 SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC. 富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118（代）	設計 一級建築士登録第261836号 酒井 武志 担当 一級建築士登録第362594号 江端 雄也	工事名称 朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事 図面名称 第１体育館改修後部分詳細図（機械置場・屋外階段）	年月日 R8.3 縮尺 A1:1/ 50 A3:1/100	図面番号 A－42



株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076)421-9118(代)

設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

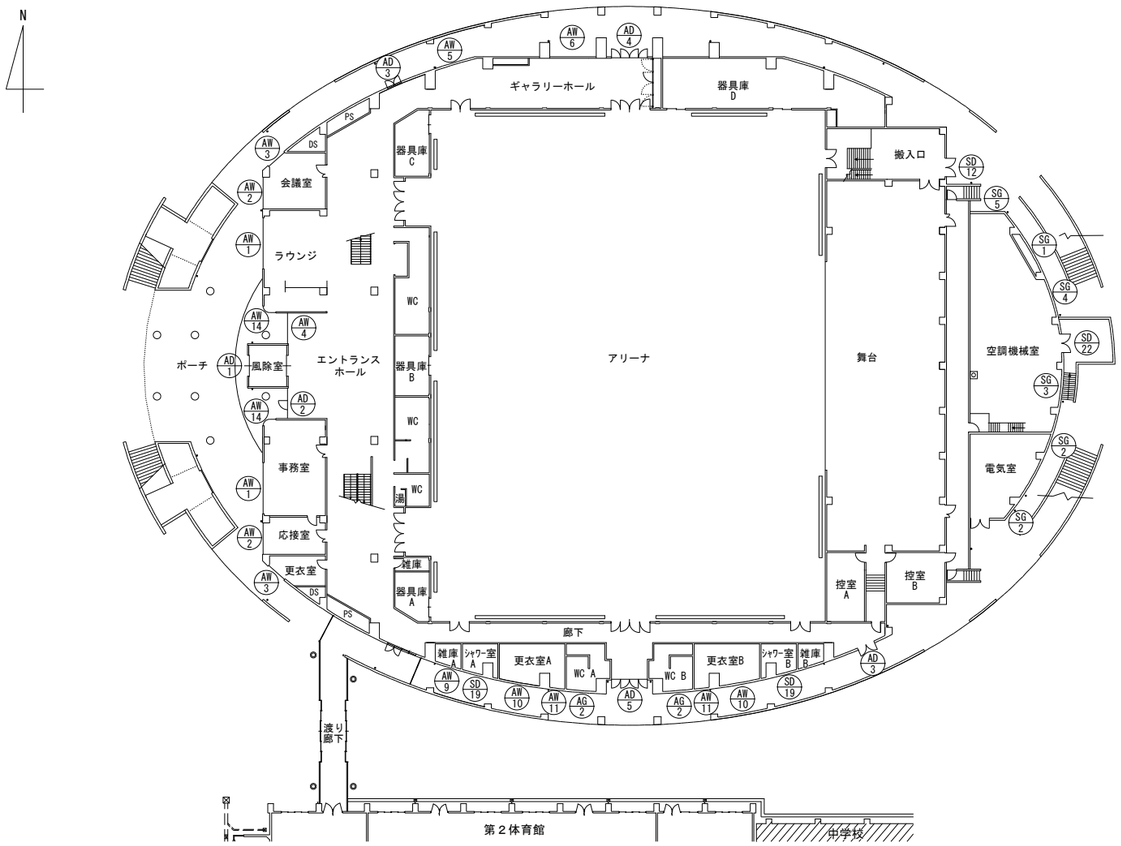
工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日	R8.3
図面名称	第１体育館改修前部分詳細図（ギャラリーホール・客席）	縮尺	A1:1/ 50 A3:1/100
図面番号	Ａ－４３		



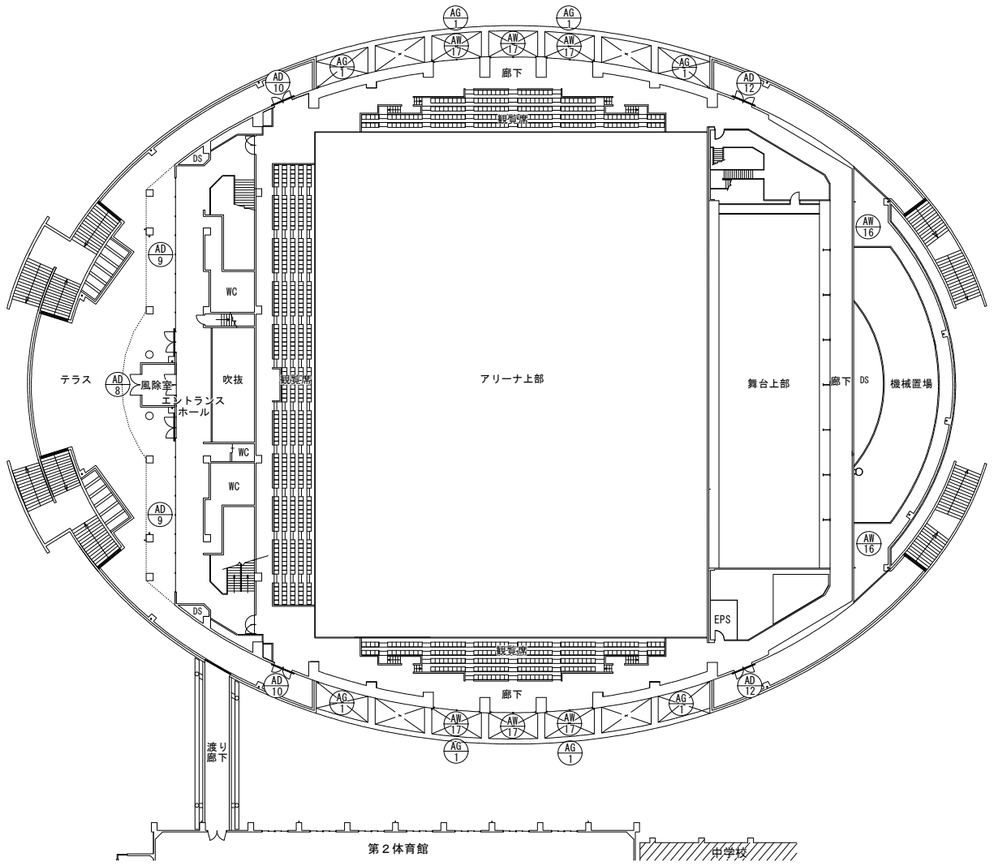
株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076)421-9118(代)

設計	一級建築士登録第261836号	酒井　武志	
担当	一級建築士登録第362594号	江端　雄也	

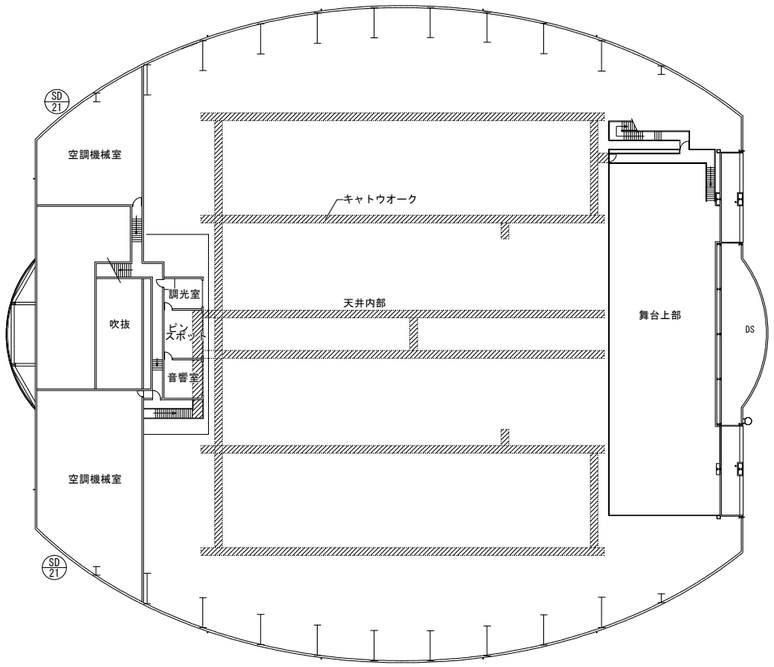
工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日	R8.3
図面名称	第１体育館改修後部分詳細図（ギャラリーホール・客席）	縮尺	A1:1/ 50 A3:1/100
図面番号	Ａ－４４		



1階建具符号図



2階建具符号図



3階建具符号図

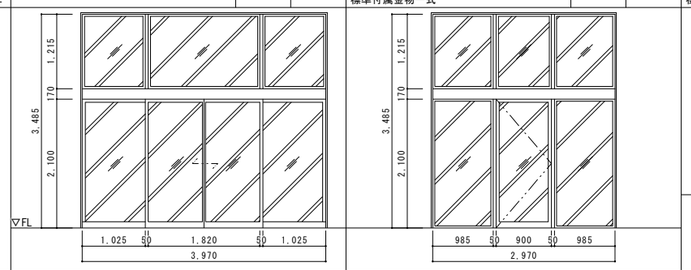
株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118(代)

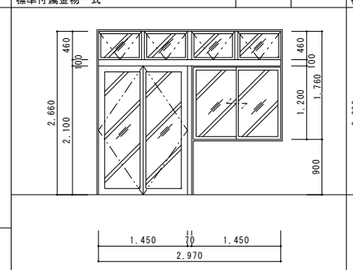
設計 一級建築士登録第261836号	酒井　武志	工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事
担当 一級建築士登録第362594号	江端　雄也	図面名称	第１体育館建具符号図

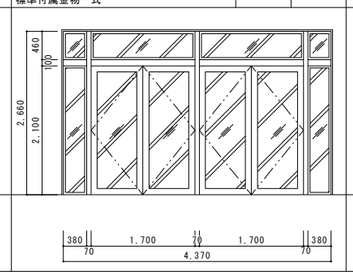
年月日	R8.3	図面番号
縮尺	A1:1/300 A3:1/600	Ａ－４５

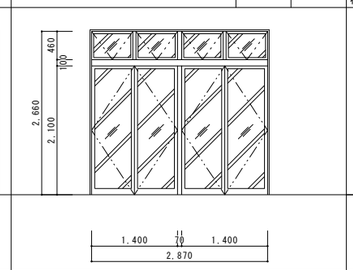
記号	様式	数量	AD 1	AD 2	AD 3	AD 4	AD 5	AD 7	AD 10
			アルミ自動ドア・FIX窓 フィルム改修	アルミ片開きドア・FIX窓 フィルム改修	アルミ両開きドア・引違い窓・横滑り出し窓 フィルム改修	アルミ両開きドア・FIX窓 フィルム改修	アルミ両開きドア・横滑り出し窓 フィルム改修	アルミ片開きドア・縦滑り出し窓・FIX窓 フィルム改修	アルミ両開きドア・カーテンウォール フィルム改修
			1	1	2	1	1	1	2
場所	材質 塗装	見込	1階風除室 / アルミ / 100	1階エントランスホール / アルミ / 100	1階エントランスホール 1階南側廊下 / アルミ / 70	1階ギャラリーホール / アルミ / 70	1階南側出口 / アルミ / 70	1階東側廊下 / アルミ / 70	2階北側・南側廊下 / アルミ / 70
硝子	サッシ下端 高さ	備考	欄間：FL5 ﾄﾞｱ：TP8 袖：FL8 / FL ±0 / マグネットセンサー 断熱フィルム	欄間：FL5 ﾄﾞｱ・袖：FL8 / FL ±0 / マグネットセンサー 断熱フィルム	欄間：FL3 ﾄﾞｱ・引違い：FL8 / FL ±0 / マグネットセンサー 断熱フィルム	欄間：FL3 ﾄﾞｱ・袖：FL8 / FL ±0 / マグネットセンサー 断熱フィルム	欄間：FL3 ﾄﾞｱ・袖：FL8 / FL ±0 / マグネットセンサー 断熱フィルム	FL ±0 / マグネットセンサー 断熱フィルム	FIX：FL5 ﾄﾞｱ：FL8 / FL ±0 / マグネットセンサー 断熱フィルム
金物	防火戸 指定		ドアエンジン 標準付属金物一式 / 特防 / 防火設備	ドアハンドル フロアヒンジ 標準付属金物一式 / 特防 / 防火設備	ドアハンドル 3方アルミ額縁 標準付属金物一式 / 特防 / 防火設備	ドアハンドル、フロアヒンジ 3方アルミ額縁 標準付属金物一式 / 特防 / 防火設備	3方アルミ額縁 標準付属金物一式 / 特防 / 防火設備	ドアハンドル 3方アルミ額縁 標準付属金物一式 / 特防 / 防火設備	ドアハンドル 3方アルミ額縁 標準付属金物一式 / 特防 / 防火設備

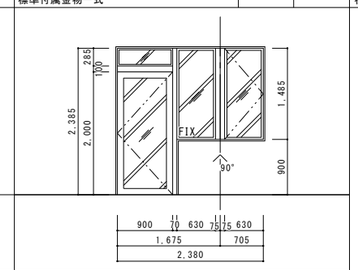
姿図

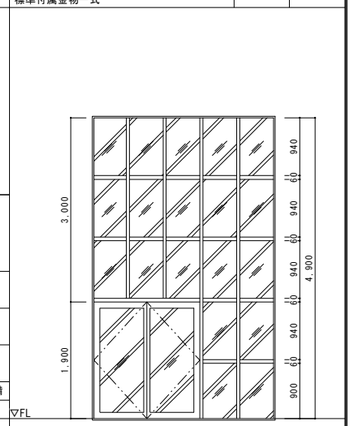






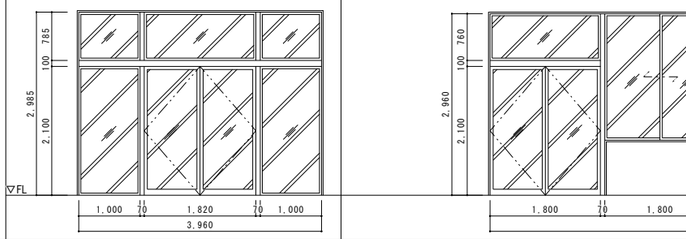


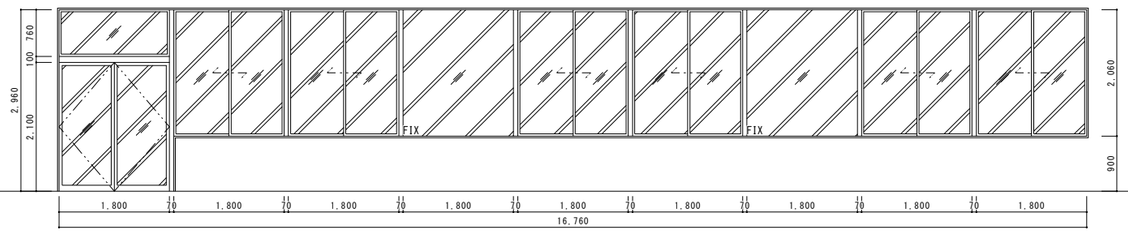


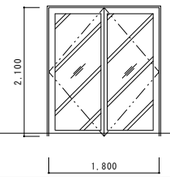


記号	様式	数量	AD 8	AD 9	AD 12
			アルミ両開きドア・FIX窓 フィルム改修	アルミ両開きドア・引違い窓・FIX窓 フィルム改修	アルミ両開きドア フィルム改修
			1	2	2
場所	材質 塗装	見込	2階風除室 / アルミ / 100	2階エントランスホール / アルミ / 70	2階北側・南側廊下 / アルミ / 70
硝子	サッシ下端 高さ	備考	欄間：FL3 ﾄﾞｱ・袖：FL8 / FL ±0 / マグネットセンサー 断熱フィルム	欄間：FL3 FIX、引違い：FL5 ﾄﾞｱ：FL8 / FL ±0 / マグネットセンサー 断熱フィルム	FW6.8 / FL ±0 / マグネットセンサー 断熱フィルム
金物	防火戸 指定		ドアハンドル 標準付属金物一式 / 特防 / 防火設備	ドアハンドル 3方アルミ額縁 標準付属金物一式 / 特防 / 防火設備	ドアハンドル 3方アルミ額縁 標準付属金物一式 / 特防 / 防火設備

姿図

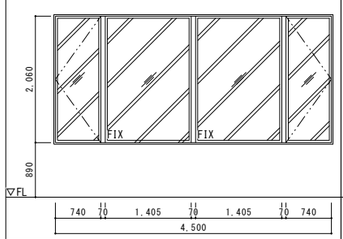


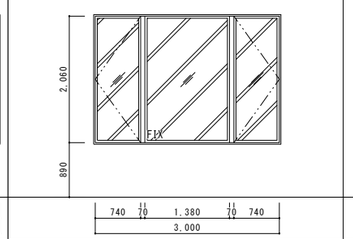


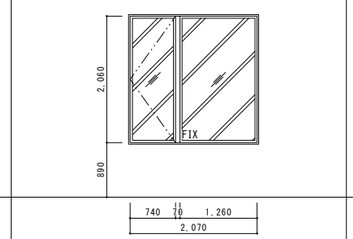


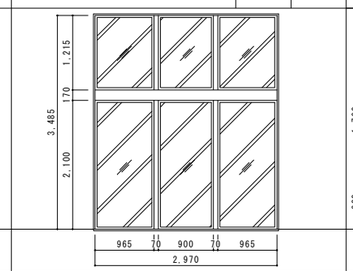
記号	様式	数量	AW 1	AW 2	AW 3	AW 4	AW 5	AW 6	AW 17
			アルミ縦滑り出し窓・FIX窓 フィルム改修	アルミ縦滑り出し窓・FIX窓 フィルム改修	アルミ縦滑り出し窓・FIX窓 フィルム改修	アルミFIX窓 フィルム改修	アルミ引違い窓・FIX窓 フィルム改修	アルミ引違い窓・FIX窓 フィルム改修	アルミカーテンウォール フィルム改修
			2	2	2	1	1	1	6
場所	材質 塗装	見込	1階事務室 1階ラウンジ / アルミ / 70	1階応接室 1階会議室 / アルミ / 70	1階更衣室 1階会議室 / アルミ / 70	1階エントランスホール / アルミ / 70	1階ギャラリーホール / アルミ / 70	1階ギャラリーホール / アルミ / 70	2階北側・南側廊下 / アルミ / 150
硝子	サッシ下端 高さ	備考	FL6 / FL +890 / 断熱フィルム	FL6 / FL +890 / 断熱フィルム	FL6 / FL +890 / 断熱フィルム	欄間：FL3 FIX：FL6 / FL ±0 / 断熱フィルム	欄間：FL3 引違い：FL5 / FL +900 / 断熱フィルム	腰部：PW6.8 引違い：F4 / FL ±0 / 断熱フィルム	FL5 / FL ±0 / 排煙オペレーター 断熱フィルム
金物	防火戸 指定		4方アルミ額縁 標準付属金物一式 / 特防 / 防火設備	4方アルミ額縁 標準付属金物一式 / 特防 / 防火設備	4方アルミ額縁 標準付属金物一式 / 特防 / 防火設備	標準付属金物一式 / 特防 / 防火設備	4方アルミ額縁 標準付属金物一式 / 特防 / 防火設備	3方アルミ額縁 標準付属金物一式 / 特防 / 防火設備	3方アルミ額縁、ﾖｺアルミアングル アルミ水切 標準付属金物一式 / 特防 / 防火設備

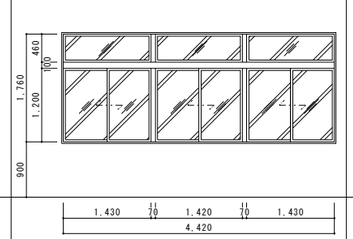
姿図

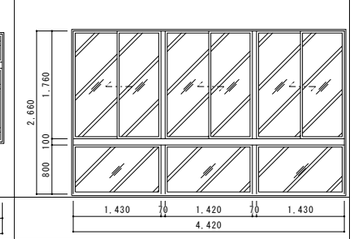


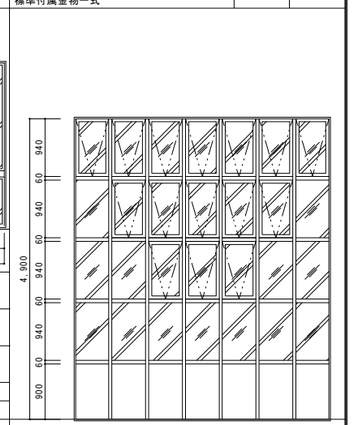






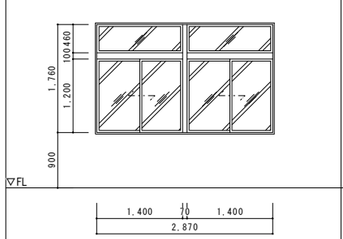


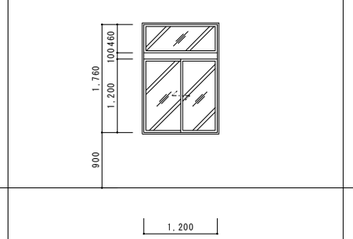


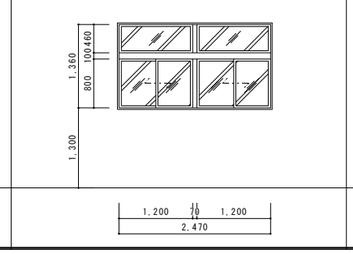


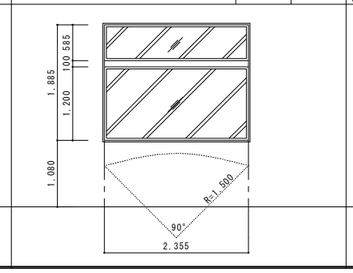
記号	様式	数量	AW 10	AW 11	AW 12	AW 14	AW 16
			アルミ引違い窓・FIX窓 フィルム改修	アルミ引違い窓・FIX窓 フィルム改修	アルミ引違い窓・FIX窓 フィルム改修	アルミFIX窓 フィルム改修	アルミ引違い窓・FIX窓 フィルム改修
			2	2	2	2	2
場所	材質 塗装	見込	1階更衣室A・B / アルミ / 70	1階更衣室A・B / アルミ / 70	1階WC A・B / アルミ / 70	1階事務室 1階ラウンジ / アルミ / 70	2階東側廊下 / アルミ / 70
硝子	サッシ下端 高さ	備考	欄間：FL3 引違い：F4 / FL +900 / 断熱フィルム	欄間：FL3 引違い：F4 / FL +900 / 断熱フィルム	欄間：FL3 引違い：F4 / FL +1,300 / 断熱フィルム	FL5 / FL +1,080 / 断熱フィルム	F4 / FL +700 / 断熱フィルム
金物	防火戸 指定		4方アルミ額縁 アルミ水切 標準付属金物一式 / 特防 / 防火設備	4方アルミ額縁 アルミ水切 標準付属金物一式 / 特防 / 防火設備	3方アルミ額縁 アルミ水切 標準付属金物一式 / 特防 / 防火設備	4方アルミ額縁 標準付属金物一式 / 特防 / 防火設備	4方アルミ額縁 アルミ水切 標準付属金物一式 / 特防 / 防火設備

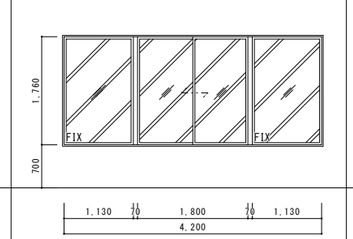
姿図









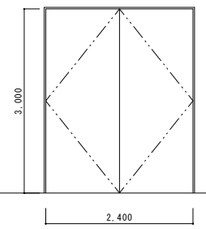


株式会社 鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118（代）

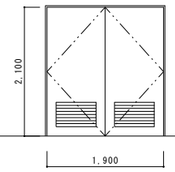
設計 一級建築士登録第261836号 酒井 武志
担当 一級建築士登録第362594号 江端 雄也

工事名称：朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事
年月日：R8.3
図面名称：第１体育館建具表１
縮尺：A1:1/50 A3:1/100
図面番号：A－46

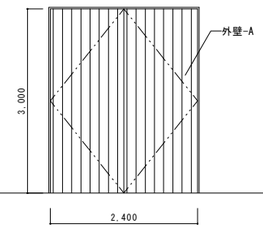
記号	様式	数量	SD 12	鋼製両開きドア	塗装改修	1
場所	材質 塗装	見込	1階搬入口	スチール DP	枠100 扉40	
硝子	ｻｯｼ下端 高さ	備考		FL ±0		
金物	防火戸 指定		標準付属金物一式	特防	防火設備	



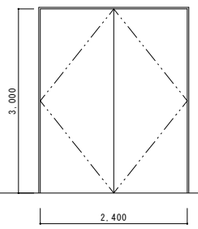
記号	様式	数量	SD 19	鋼製両開きドア	塗装改修	2
場所	材質 塗装	見込	1階シャワー室A・B	スチール DP	枠100 扉40	
硝子	ｻｯｼ下端 高さ	備考		FL ±0	ガラリ付	
金物	防火戸 指定		標準付属金物一式	特防	防火設備	



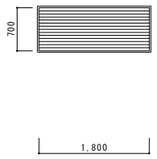
記号	様式	数量	SD 21	鋼製両開きドア	仕上改修	2
場所	材質 塗装	見込	3階空調機械室	スチール	枠135 扉40	
硝子	ｻｯｼ下端 高さ	備考		FL ±0	外壁同材張り	
金物	防火戸 指定		標準付属金物一式	特防	防火設備	



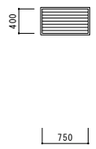
記号	様式	数量	SD 22	鋼製両開きドア	塗装改修	1
場所	材質 塗装	見込	1階空調機械室	スチール DP	枠100 扉40	
硝子	ｻｯｼ下端 高さ	備考		FL ±0		
金物	防火戸 指定		標準付属金物一式	特防	防火設備	



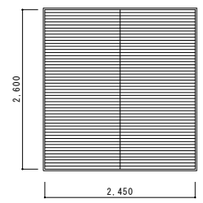
記号	様式	数量	AG 1	アルミガラリ	塗装改修	6
場所	材質 塗装	見込	2階北側・南側廊下	アルミ DP	70	
硝子	ｻｯｼ下端 高さ	備考		FL	開口率35%	
金物	防火戸 指定		アルミ水切 網戸 標準付属金物一式	特防	防火設備	



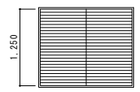
記号	様式	数量	AG 2	アルミガラリ	塗装改修	2
場所	材質 塗装	見込	1階WC A・B	アルミ DP	70	
硝子	ｻｯｼ下端 高さ	備考		FL	開口率35%	
金物	防火戸 指定		アルミ水切 網戸 標準付属金物一式	特防	防火設備	



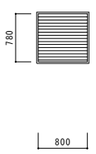
記号	様式	数量	SG 1	スチールガラリ	塗装改修	1
場所	材質 塗装	見込	1階空調機械室	スチール DP	100	
硝子	ｻｯｼ下端 高さ	備考		FL	開口率40%	
金物	防火戸 指定		水切 網戸 標準付属金物一式	特防	防火設備	



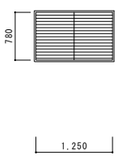
記号	様式	数量	SG 2	スチールガラリ	塗装改修	2
場所	材質 塗装	見込	1階電気室	スチール DP	100	
硝子	ｻｯｼ下端 高さ	備考		FL	開口率40%	
金物	防火戸 指定		水切 網戸 標準付属金物一式	特防	防火設備	



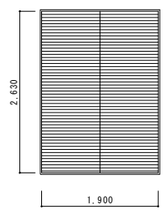
記号	様式	数量	SG 3	スチールガラリ	塗装改修	1
場所	材質 塗装	見込	1階空調機械室	スチール DP	100	
硝子	ｻｯｼ下端 高さ	備考		FL	開口率40%	
金物	防火戸 指定		水切 網戸 標準付属金物一式	特防	防火設備	



記号	様式	数量	SG 4	スチールガラリ	塗装改修	1
場所	材質 塗装	見込	1階空調機械室	スチール DP	100	
硝子	ｻｯｼ下端 高さ	備考		FL	開口率40%	
金物	防火戸 指定		水切 網戸 標準付属金物一式	特防	防火設備	



記号	様式	数量	SG 5	スチールガラリ	塗装改修	1
場所	材質 塗装	見込	1階空調機械室	スチール DP	100	
硝子	ｻｯｼ下端 高さ	備考		FL	開口率40%	
金物	防火戸 指定		水切 網戸 標準付属金物一式	特防	防火設備	



記号	様式	数量
場所	材質 塗装	見込
硝子	ｻｯｼ下端 高さ	備考
金物	防火戸 指定	

姿図

アルミ、鋼製建具一般共通事項

【参考：断熱フィルム　サンゲツ　エコリム70】

：断熱フィルム改修範囲を示す

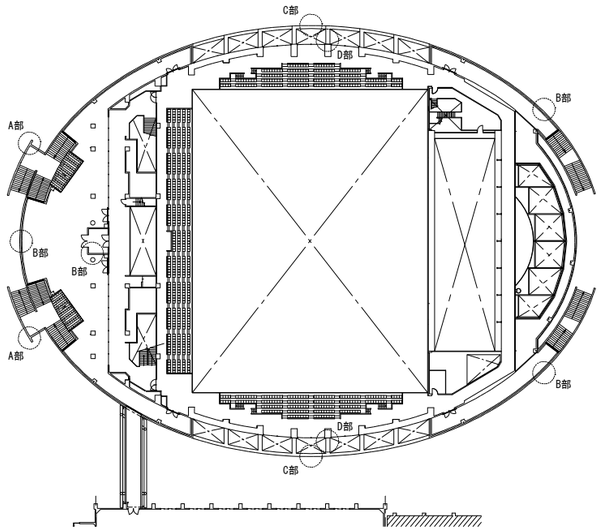
略号	ガラス種別
FL	フロート板ガラス
F	型板ガラス
ST	学校用強化ガラス
FST	学校用強化型板ガラス
PW	網入り板ガラス
FW	網入り型板ガラス
TP	強化ガラス
Low-E	低放射ガラス

株式会社 鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118（代）

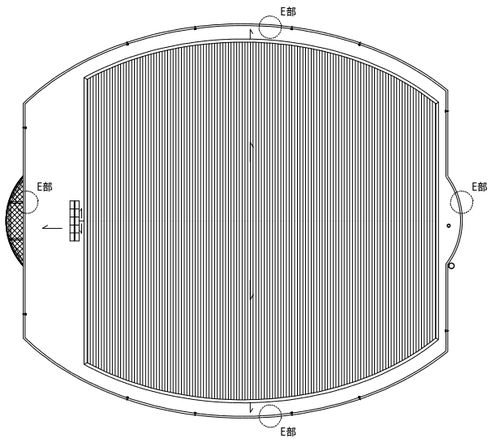
設計 一級建築士登録第261836号 酒井 武志
担当 一級建築士登録第362594号 江端 雄也

工事名称：朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事
年月日：R8.3
図面名称：第１体育館建具表２
縮尺：A1:1/50 A3:1/100
図面番号：A－47

配置平面図　S＝1/500

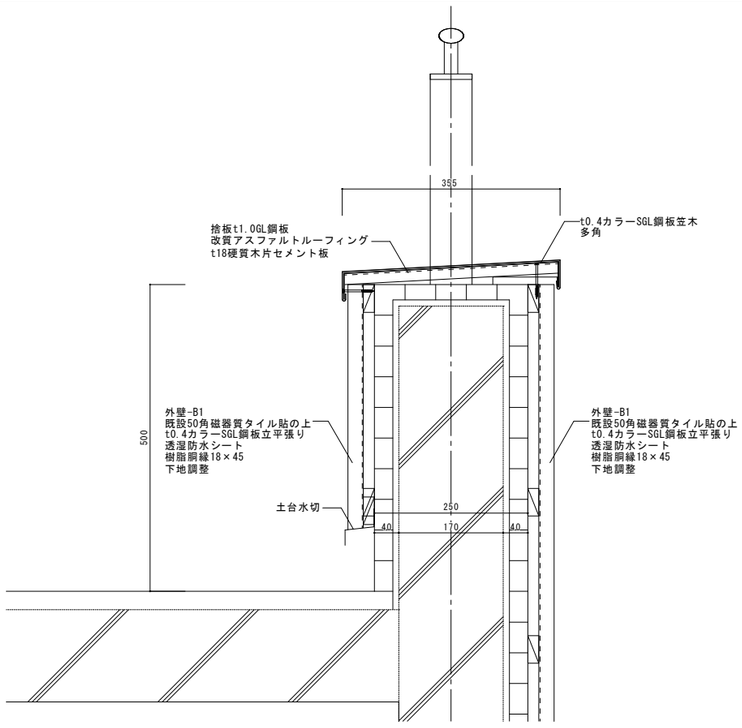


２階平面図

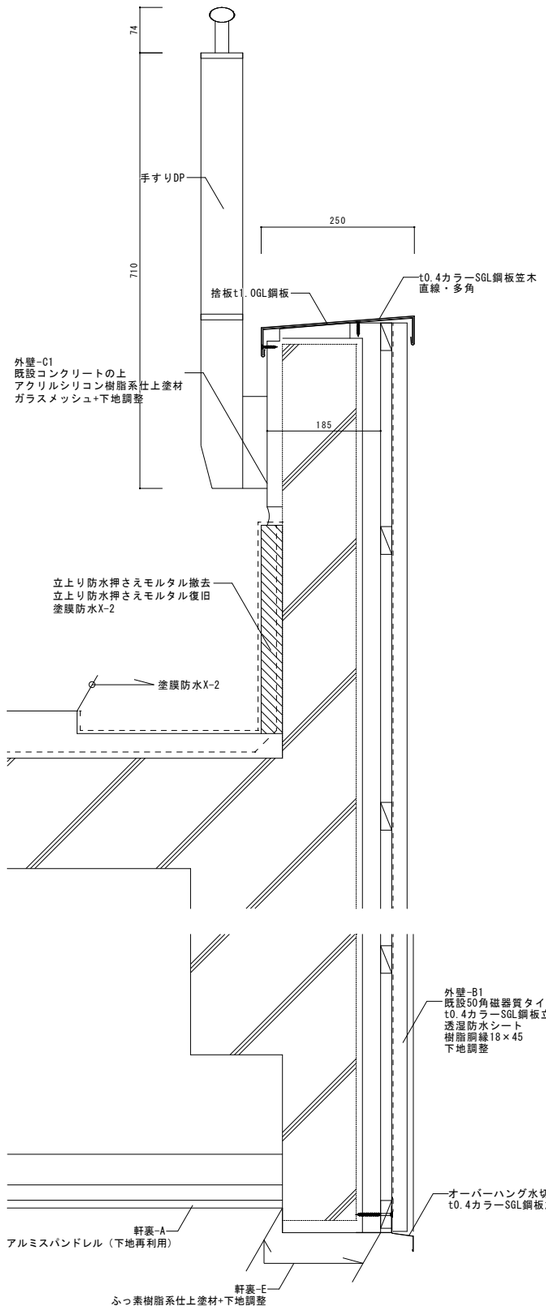


屋根伏図

A部詳細図　S＝1/5



B部詳細図　S＝1/5



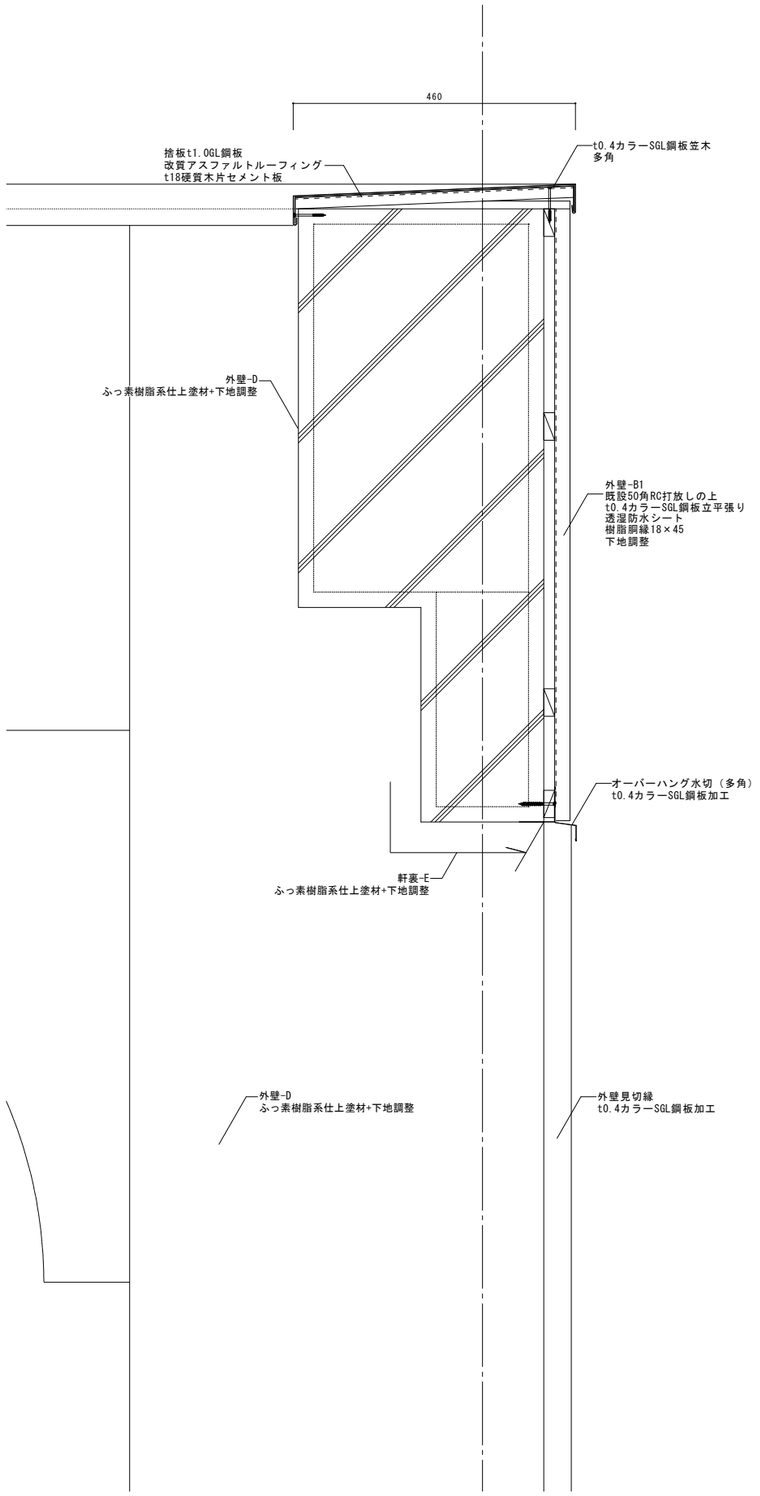
B部詳細図
（２階テラス立上り）
（２階風除室上立上り）

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118（代）

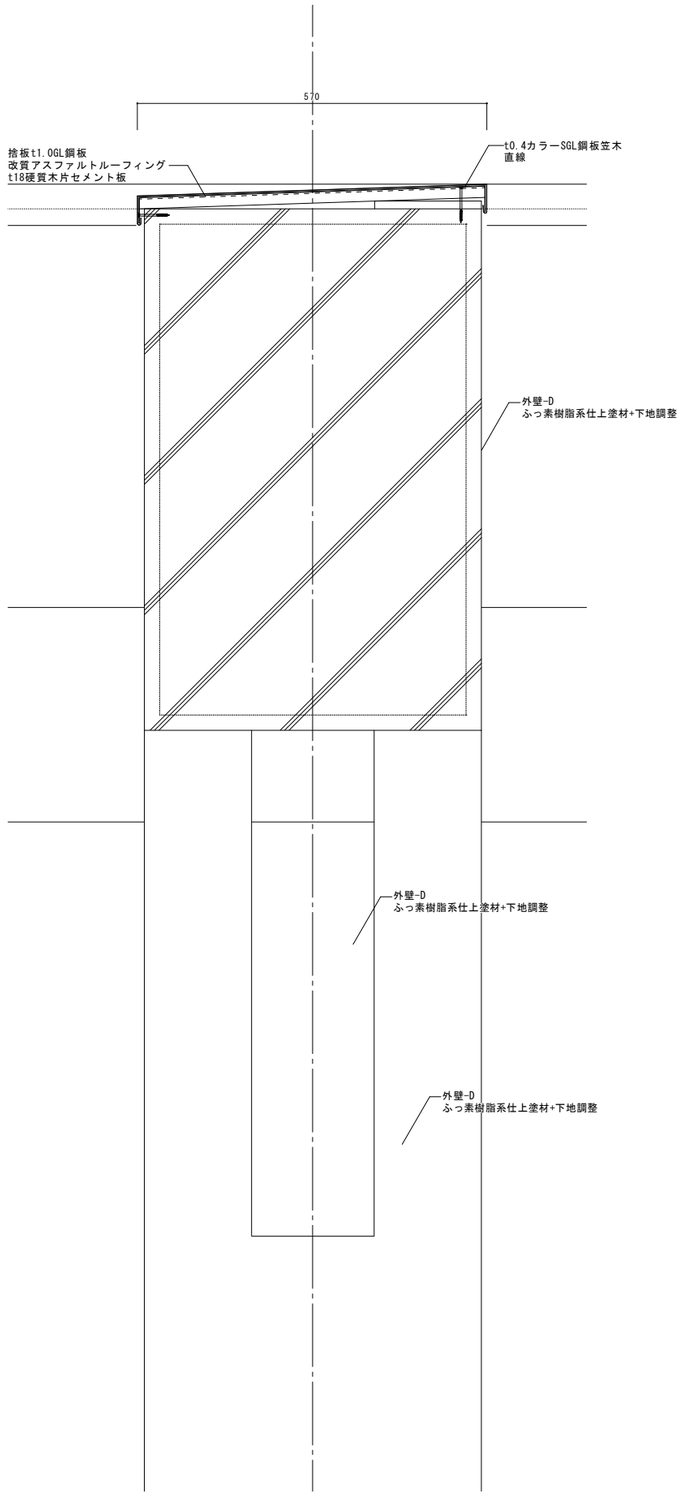
設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事
年月日	R8.3
図面名称	第１体育館笠木詳細図１
縮尺	A1:1/ 5 A3:1/10
図面番号	Ａ－４８

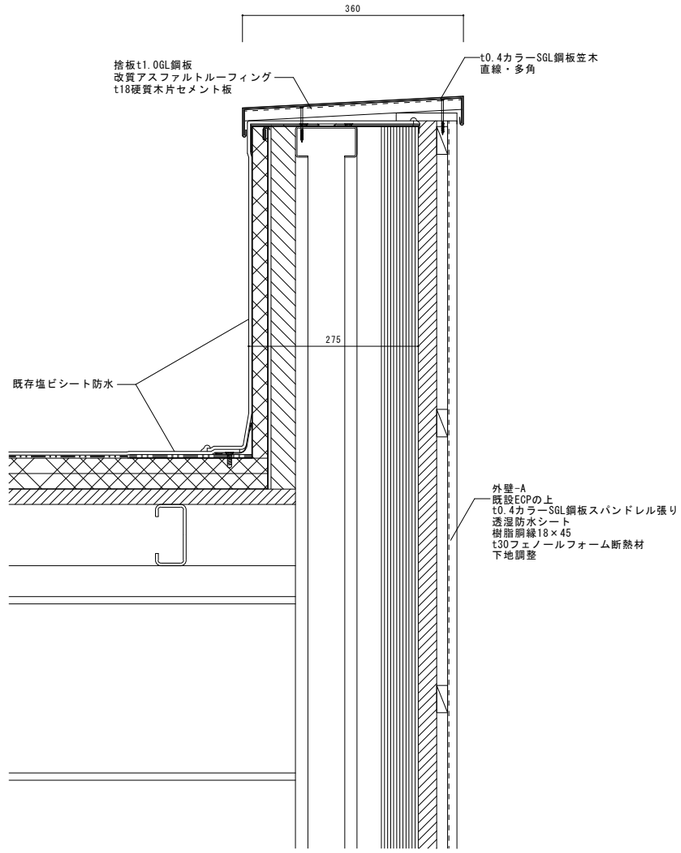
C部詳細図　S=1/5



D部詳細図　S=1/5



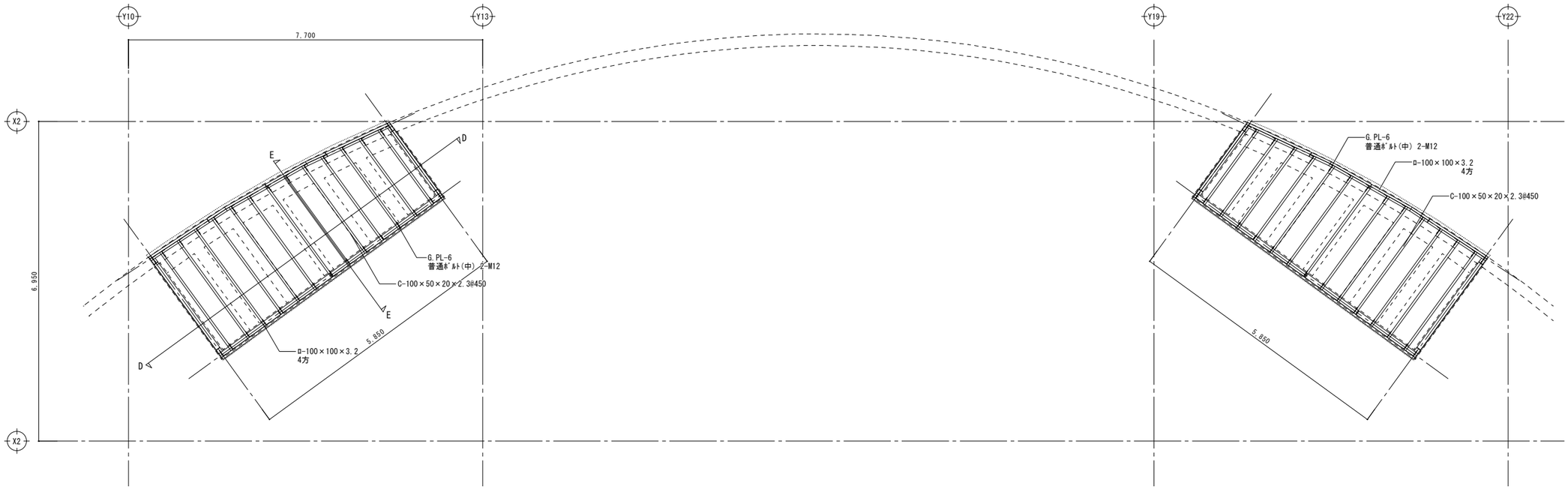
E部詳細図　S=1/5



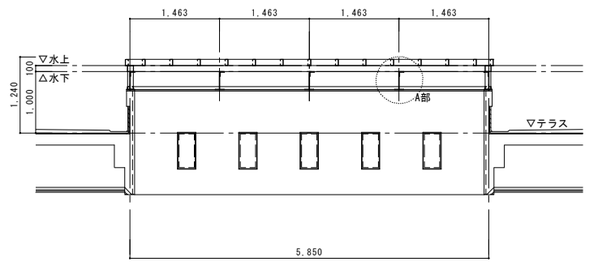
株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118（代）

設計	一級建築士登録第261836号	酒井　武志
担当	一級建築士登録第362594号	江端　雄也

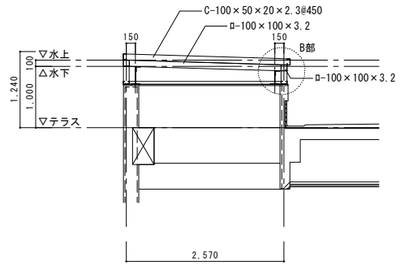
工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日	R8.3
図面名称	第１体育館笠木詳細図２	縮尺	A1:1/ 5 A3:1/10
図面番号	Ａ－４９		



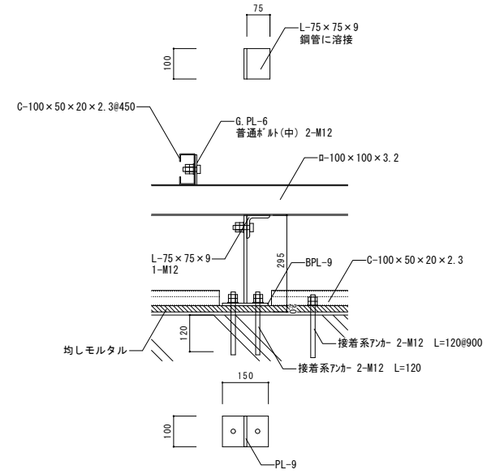
屋根伏図



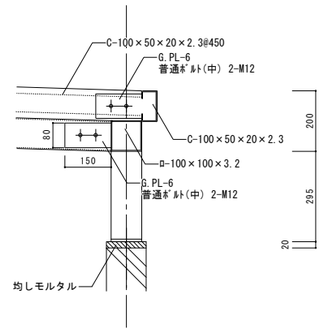
D-D断面



E-E断面



A部詳細図
S=1/10



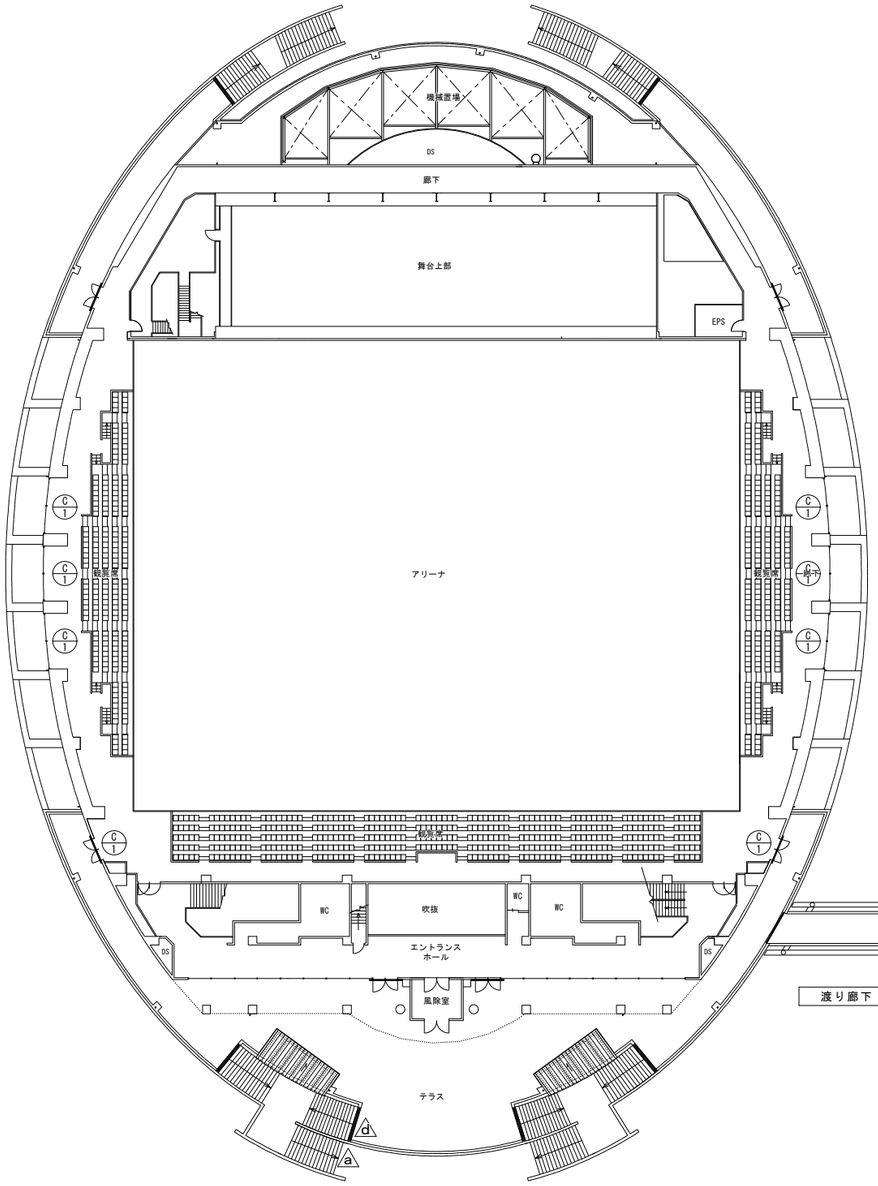
B部詳細図
S=1/10

仕　様	鉄骨材種　SS400　溶融亜鉛メッキ仕様（亜鉛ﾒｯｷどぶ付け）

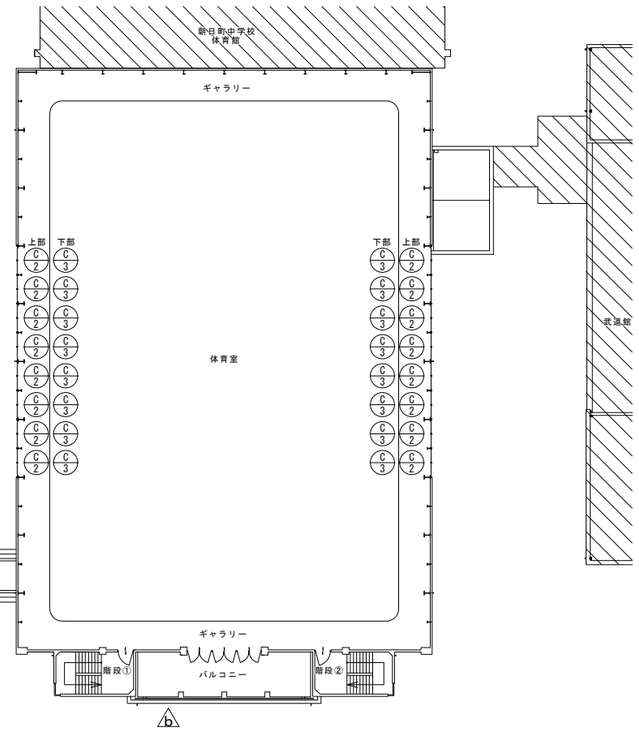
株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118（代）

設　計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担　当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日	R8.3
図面名称	第１体育館２階テラス屋根鉄骨詳細図	縮　尺	A1:1/ 50 A3:1/100
図面番号	Ａ－５０		



第１体育館



渡り廊下

第２体育館
（別途工事）

△c ：２ヶ所
△e ：４０ヶ所（建物内部）

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－２１　電話（076）421-9118(代)

設計
一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当
一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日	R8.3
図面名称	サイン・カーテン符号図	縮尺	A1:1/250 A3:1/500
図面番号	Ａ－５１		

サインリスト・詳細図

記　号	種　別	数　量	表示内容	W	H	仕　様	備　考
a	館名サイン	1	１１文字程度 １０文字程度	――	文字 H=150 文字 H=250	ｔ３SUS　HL仕上 浮かし	スタットボルト+接着固定
b	館名サイン	1	１１文字程度 １０文字程度	――	文字 H=150 文字 H=250	t=3 SUS―HL仕上―浮かし	スタットボルト+接着固定
c	外部独立サイン	2	文字、ピクト	600	1800	本体：アルミBOX加工t4.5アクリル樹脂焼付塗装 表示方法：塗装文字	基礎共
d	表示サイン	1	インターホン説明	250	250	表示板：アルミt3.0アクリル樹脂焼付塗装 表示方法：塗装文字	
e	室名・ピクトサイン	４０	文字、ピクト	150	150	本体：t3アクリル板塗装+t3裏板　シート切り文字	
	衝突防止シール	４７		20	40	カッティングシート　１色（両面同色）	

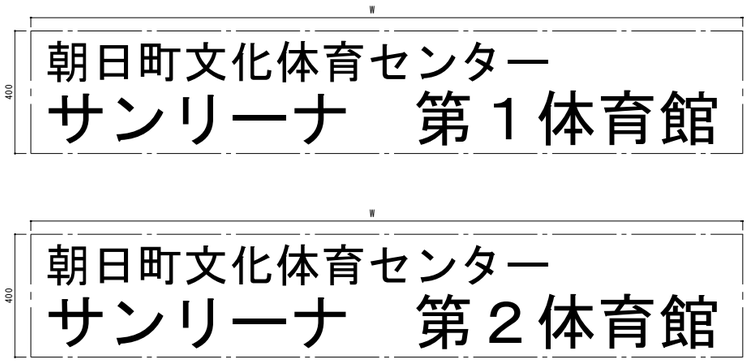
共通事項　（表、図中に特記が無ければ下記に従う）
・文字：平成角ゴシックW５　英数字：Frutiger roman
・素材・金物については、サンプルを提出し、監督員の承認を得ること。
・ロゴ・色彩・配置バランスについては、カラープレゼンテーションを提出し、監督員の承認を得ること。

インクジェット印刷：デザインから印刷までは、コンピューターを用いたデジタル処理にて行う。
出力紙はUVカット　マットラミネート塩ビフィルムを用いること。
印刷出力解像度は720dpi以上とする。
校正は、カラー出力された校正図にて行う。

カーテンリスト

記号	名称	場所	数量	仕様	寸法	備考
c 1	コントラクトカーテン （片引き）	第１体育館 アリーナ	8	電動カーテンレール、信号増幅器（電源タイプ） 複数ゾーンスイッチ、リモコン（4グループ） 防炎、ウォッシャブル、遮光 タッセル、タッセル掛け	W　　H 4,700 × 4,050	1.５倍ヒダ 【サンゲツ　ミュンヘンS（高耐光）】 電動カーテンレール、信号増幅器 【タチカワ　ホームタコス ティエルモ、バッファⅡ】
c 2	コントラクトカーテン （片引き）	第２体育館 体育室 （上部）	１６	電動カーテンレール、信号増幅器（電源タイプ） 複数ゾーンスイッチ、リモコン（4グループ） 防炎、ウォッシャブル、遮光 タッセル、タッセル掛け	W　　H 2,150 × 1,850	1.５倍ヒダ 【サンゲツ　ミュンヘンS（高耐光）】 電動カーテンレール、信号増幅器 【タチカワ　ホームタコス ティエルモ、バッファⅡ】
c 3	コントラクトカーテン （片引き）	第２体育館 体育室 （下部）	１６	電動カーテンレール、信号増幅器（電源タイプ） 複数ゾーンスイッチ、リモコン（4グループ） 防炎、ウォッシャブル、遮光 タッセル、タッセル掛け	W　　H 2,150 × 3,750	1.５倍ヒダ 【サンゲツ　ミュンヘンS（高耐光）】 電動カーテンレール、信号増幅器 【タチカワ　ホームタコス ティエルモ、バッファⅡ】

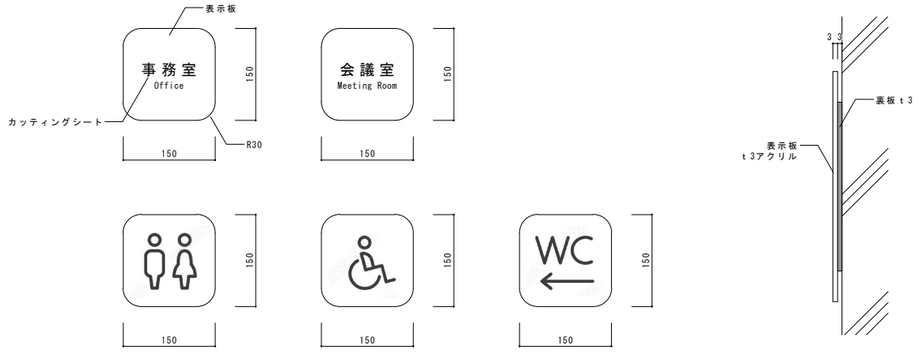
a b 館名サイン詳細図　1/10



（別途工事）

材質・塗装	本体：t3 SUS　HL仕上　切文字 取付方法：スタッドボルト+接着剤固定
備　考	※H・W寸法、書体、塗装色等は打合せによる。

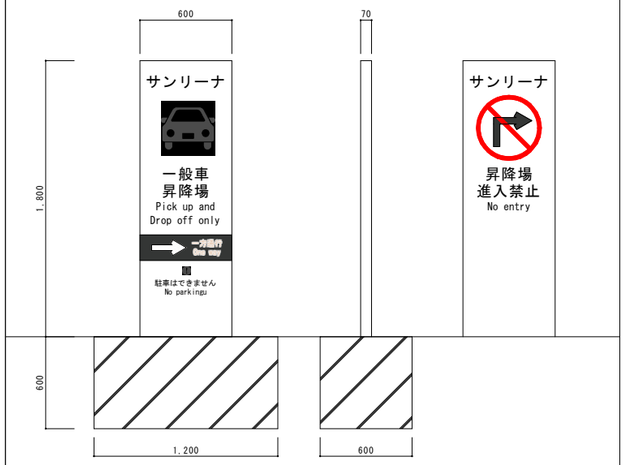
e 室名・ピクトサイン詳細図　1/5



断面詳細図　1/2

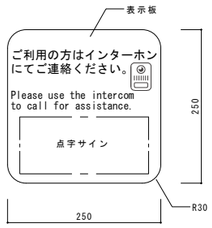
材質・塗装	本体：t3アクリル板塗装+t3裏板　シート切り文字 取付方法：ビス+接着剤固定
備　考	※H・W寸法、書体、塗装色等は打合せによる。

c 外部独立サイン詳細図　1/20



材質・塗装	本体：アルミBOX加工t4.5アクリル樹脂焼付塗装　表示方法：塗装文字
備　考	基礎コンクリート：W1200×D600×H600　配筋ｸﾗﾃｺ共D10@150、砕石t100、捨てコンt50

d 表示サイン詳細図　1/5



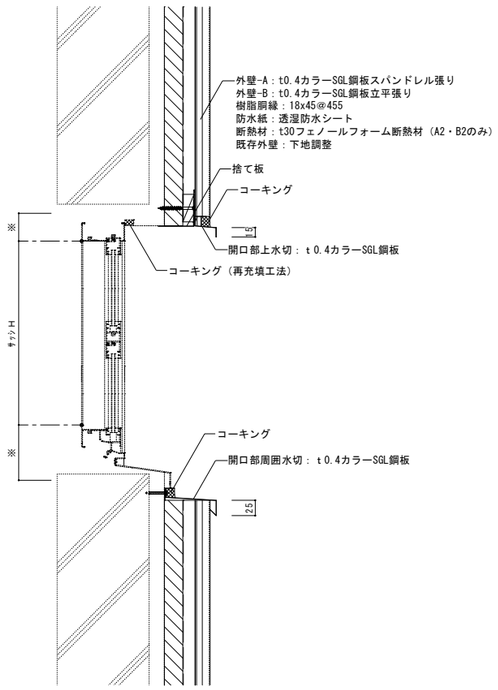
材質・塗装	表示板：アルミt3.0アクリル樹脂焼付塗装　　表示方法：塗装文字
備　考	

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　　電話（076）421-9118(代)

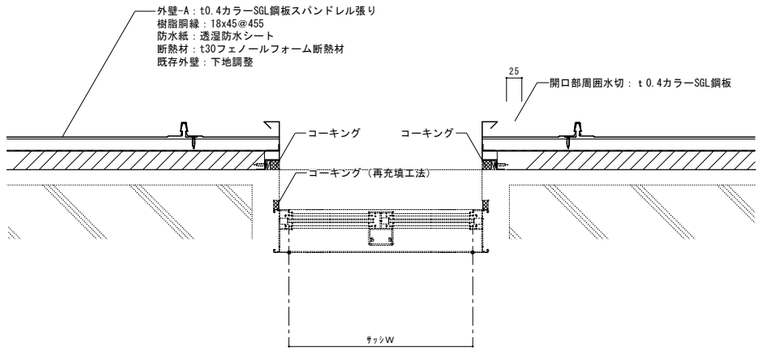
設　計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担　当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日	R8.3
図面名称	サイン詳細図・カーテンリスト	縮　尺	図示
図面番号	Ａ－５２		

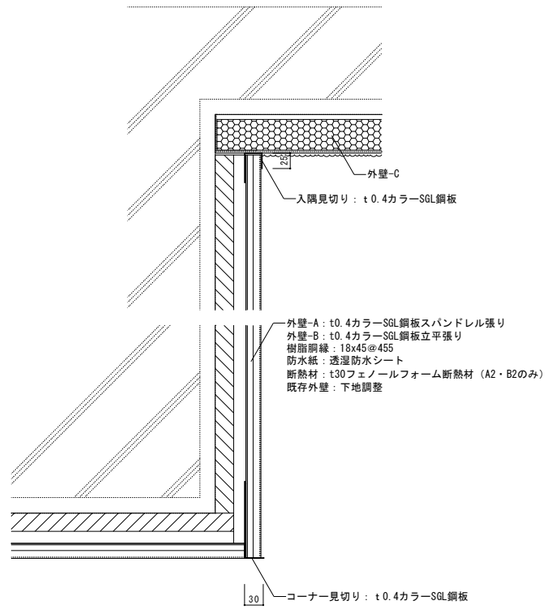
開口部取合い納め断面詳細図



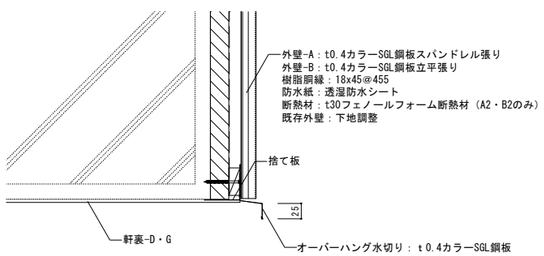
開口部取合い納め平面詳細図



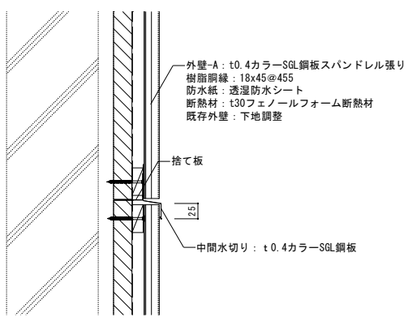
出隅・入隅取合い納め平面詳細図



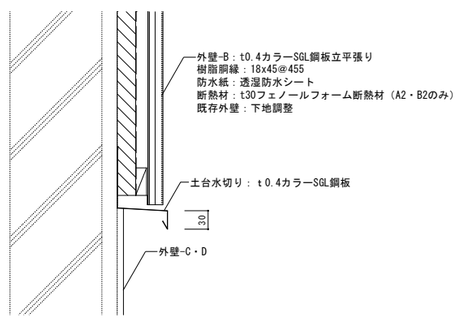
オーバーハング取合い納め断面詳細図



中間取合い納め断面詳細図



土台取合い納め断面詳細図

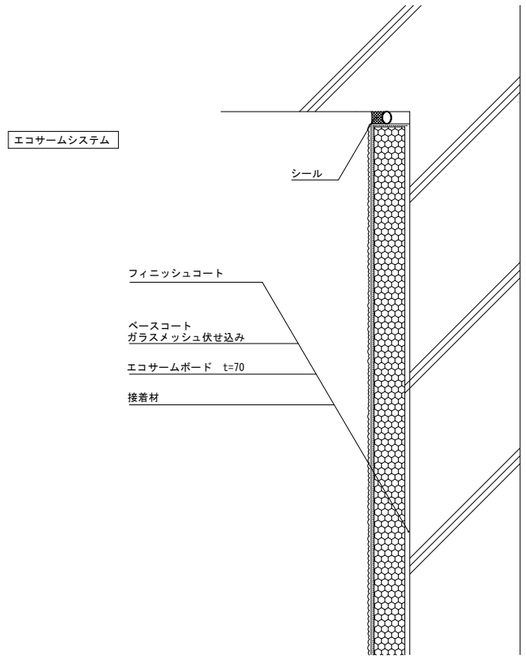


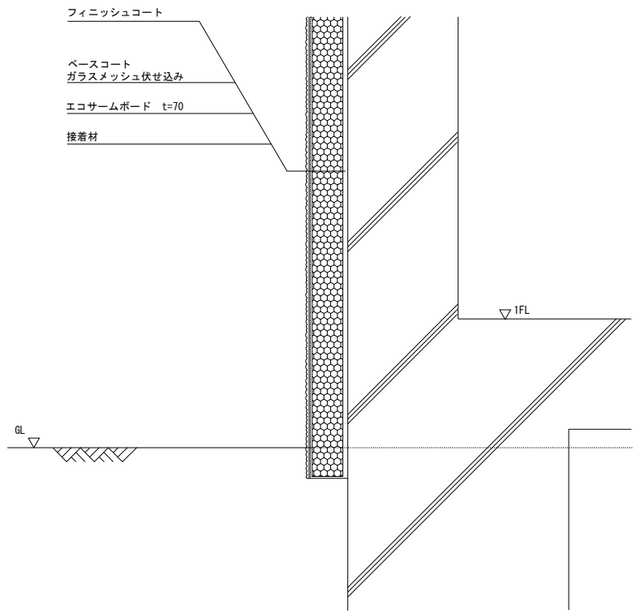
株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118(代)

設計
一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当
一級建築士登録第362594号　江端　雄也

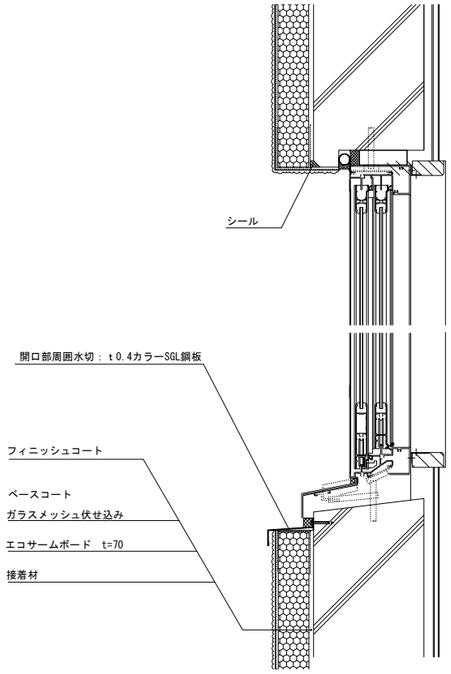
工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日	R8.3
図面名称	外壁詳細図１（外壁-A・B）　【参考図】	縮尺	A1:1/5 A3:1/10
図面番号	Ａ－５３		

上部・下部取合い納め　断面

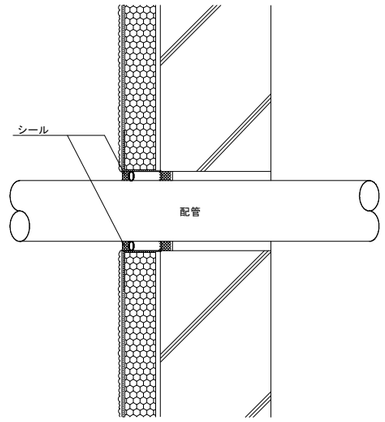




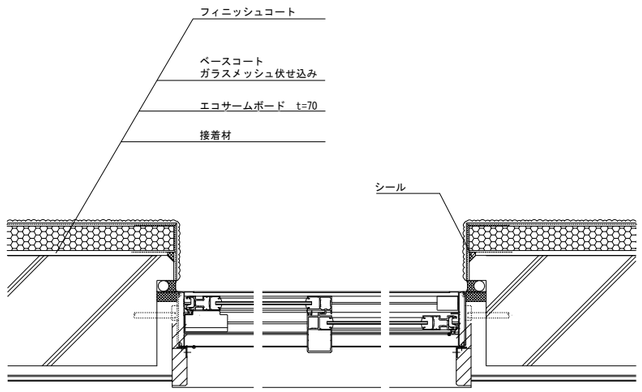
開口部廻り改修　断面



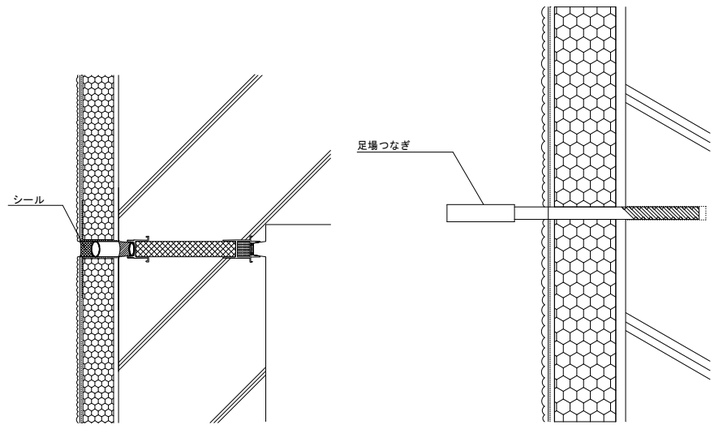
設備開口廻り



開口部廻り改修　平面



構造スリット・足場つなぎ



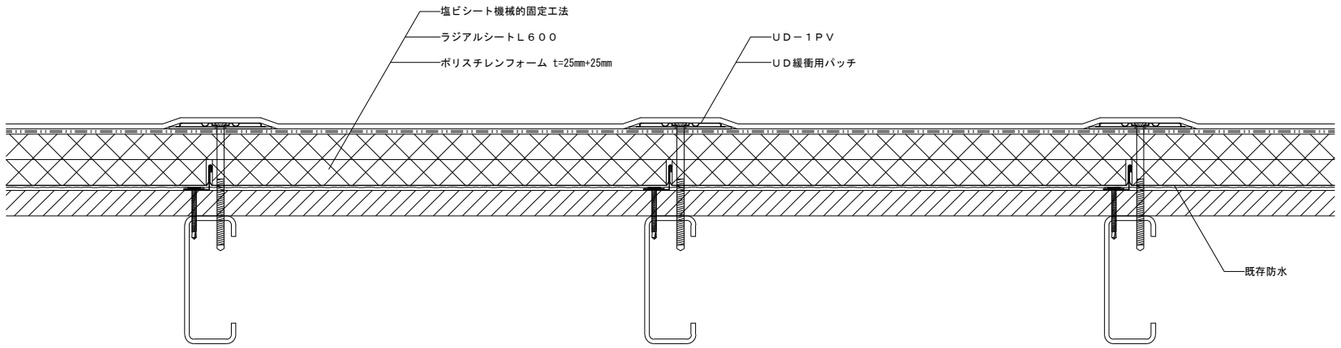
※補修要領
取り外し後、EPSを詰め表面を削り、
フィニッシュコートでタッチアップする。

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118(代)

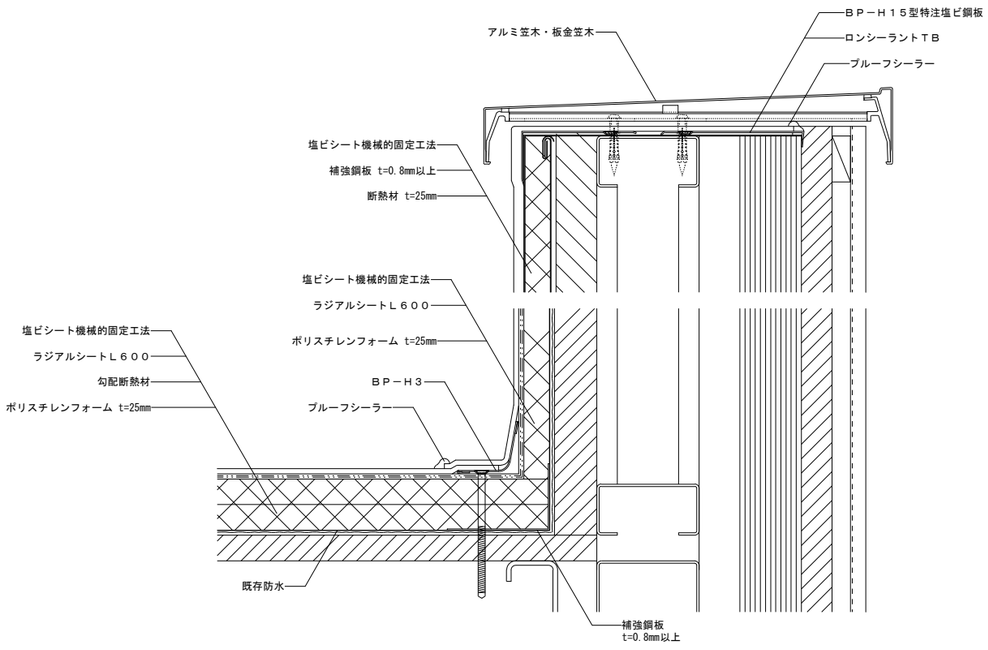
設計
一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当
一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事
年月日	R8.3
図面名称	外壁詳細図２（外壁-C）　【参考図】
縮尺	A1:1/5 A3:1/10
図面番号	Ａ－５４

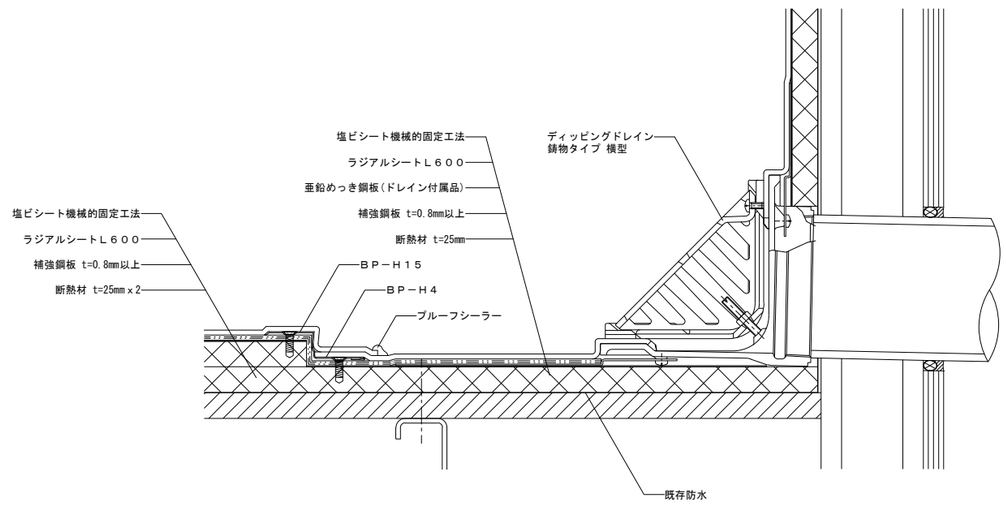
平場部　防水納まり断面詳細図



立上り部　防水納まり断面詳細図



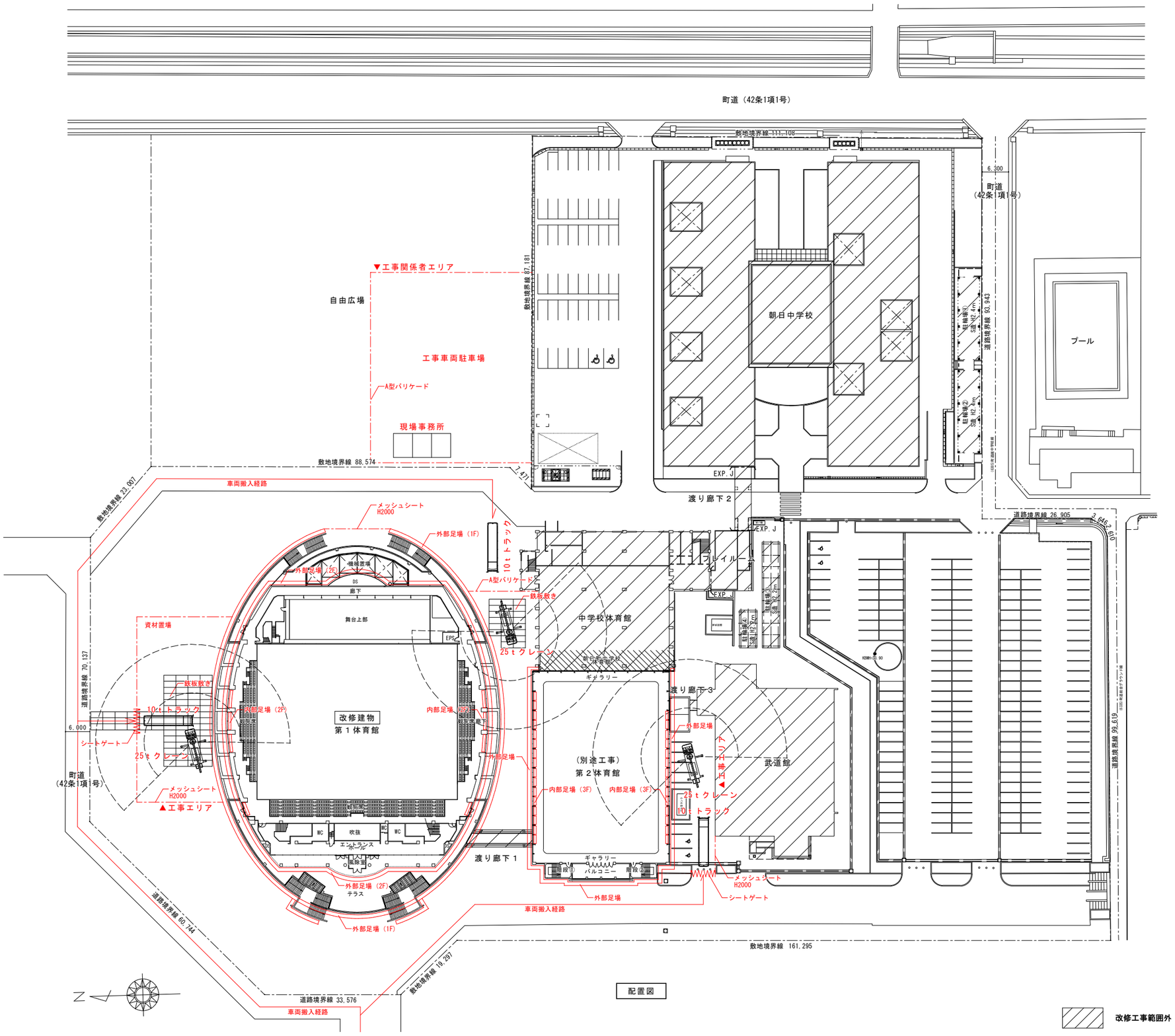
ドレイン廻り 防水納まり断面詳細図



株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118（代）

設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事
年月日	R8.3
図面名称	防水詳細図　【参考図】
縮尺	A1:1/3 A3:1/6
図面番号	Ａ－５５



配置図

改修工事範囲外

株式会社 鈴木一級建築士事務所 SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC. 富山市長柄町２丁目１－21 電話（076）421-9118（代）	設計 一級建築士登録第261836号 酒井 武志 担当 一級建築士登録第362594号 江端 雄也	工事名称 朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事 図面名称 仮設計画図	年月日 R8.3 縮尺 A1:1/500 A3:1/1000 図面番号 A－56

Ⅰ．工 事 概 要

1　工 事 場 所　富山県　下新川郡　朝日町　越　地内

2　建 物 概 要

建 物 名 称	構　造	階　数	延 面 積 (㎡)	消防法施行令 別 表 第 一	耐震安全性の分類	備　考
第１体育館	ＲＣ	３	4,876.10㎡	１項イ		耐火構造
第２体育館	ＲＣ	３	1,668.42㎡	１５項		準耐火構造

Ⅱ．工 事 仕 様

1　共 通 仕 様

・電気設備工事

(1)　図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和４年版」、「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)令和４年版」及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)令和４年版」による。

(2)　建築工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの仕様書を適用する。

・機械設備工事

(3)　図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和４年版」、「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)令和４年版」及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)令和４年版」による。

(4)　建築工事及び電気設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの仕様書を適用する。

2.　特 記 仕 様

(1)　章及び項目は番号に○印の付いたものを適用する。

(2)　特記事項において選択する事項は、○印の付いたものを適用する。⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

章	項　目	特 記 事 項

⊙ 一般共通事項1

一般共通事項の適用

・ 本仕様書の一般共通事項１を適用する。

・ 建築特記仕様書の一般共通事項１を適用する。

① 工事実績情報の登録

⊙ 適用する。

② 下請関係の適正化

本工事を下請けに付す場合は、「建設工事の下請関係の適正化に関する留意事項」を遵守すること。

③ 請負代金内訳書の提出

※受注者は、請負代金内訳書を作成し、工事請負締結後7日以内に発注者に提出すること。

④ 個人情報の取扱いについて

「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-47個人情報の取扱い特記事項による。

⑤ 環境への配慮

1 使用する機材等に「富山県グリーン購入調達方針」で定めるものがある場合には、それに適合するものとする。

2 建物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の(1)から(4)を満たすものとする。

(1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗剤は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。

(2) 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

(3) 接着剤は、可塑性(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。

(4) (1)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

⑥ 材料・機材の品質等

1 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

2 下記に示す材料・機材等の製造業者等は次の(1)から(6)すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。

(1) 品質及び性能に関する試験データを整備していること。

(2) 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。

(3) 安定的な供給が可能であること。

(4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。

(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

(6) 販売、保守等の営業体制を整えていること。

対象機材等　（ ・　　　　　・　　　　　・　　　　　）

3 使用する機材が、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」による場合は、標準仕様書第1編1.4.2の品質及び性能を有することを証明できる資料の提出を省略することができる。

⑦ 地場産品の優先使用等

1 地場産品の優先使用

受注者は、工事に使用する資材等について、品質が水準以上であり、かつ価格が適正である場合には県内地場産品（建設資材又は製品等で、県内で最終製造工程が施されたもの又は県内に本社・本店を置く取扱業者から調達したものをいう）を優先使用するものとする。

2 県内企業の優先選定等

受注者は、工事に係る下請契約又は資材等納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は富山県内に本社・本店を置くものの中から選定するよう努めなければならない。

⑧ 発生材の処理等

発生材は構外搬出処分とし、その費用も含め受注者自らの責任において適正に処理するものとする。

※舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収し、適正に処理する。

・ 建設リサイクル法対象工事（ 契約額１億円以上(税込) ）

・ 再資源利用計画書等の作成及び提出

⊙ 運搬、処分委託契約書写し及び許可証写しの提出

⊙ マニフェスト管理一覧表の提出

⑨ 電気保安技術者

電気保安技術者を工事現場に　・ おく　・ おかない

⑩ 監督職員事務所

⊙ 設けない　　・ 設ける

⑪ 工事用電力・水その他

本工事に必要な工事用電力、水、燃料及び諸手続き等の費用は受注者の負担とする。

⑫ 工事用仮設物

構内につくることが　⊙ できる　　・ できない

⑬ 施 工 機 械

「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-33環境対策に記載の排出ガス対策型建設機械及び低騒音型・低振動型建設機械を使用するものとする。

⑭ 現場代理人の工事現場における常駐を要しない期間

次のいずれかに該当し、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認めた場合には、工事現場における常駐を要しない期間として取り扱う。

(1)契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間

(2)工事の全部の施工を一時中止している期間

(3)上記に掲げる期間のほか、工事現場において作業等が行われていない期間

⑮ 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間

次のいずれかに該当し、かつ、その期間が書面により明確となっている場合については、専任を要しない。

(1)請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間

(2)自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間

(3)工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

(4)(1)又は(2)に類した理由で、工事が不稼働である期間

(5)橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間

⑯ 安全教育・訓練の実施

労働安全衛生法等に基づき行う日々の安全教育のほか、すべての作業員を対象に、工事現場に即した安全教育・訓練等を、月当たり4時間以上の頻度で実施するものとする。（「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-29 工事中の安全確保）

⑰ 調査・試験に対する協力

公共工事労務費調査等の対象工事となった場合は、監督職員の指示により必要な協力をしなければならない。（「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-13）

・本工事は、工事費積算のより一層の適正化を図ることを目的とした「共通費実態調査」の対象工事である。作成した調査票は監督職員へ提出すること。

⑱ 工事特性・創意工夫・社会性等の実施

受注者は、工事施工において、施工条件等への対応や自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完成までに「富山県請負工事成績評定要領」第4第7項に定める様式により提出することができる。

⑲ 暴力団関係者から不当な介入を受けた場合の措置

受注者は、本工事を施工するに当たり、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否し、不当な介入があった時点で速やかにその旨を監督職員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。また、下請業者に対しては、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合には、速やかにその旨を報告するよう指導し、下請業者から報告を受けた受注者は、速やかにその旨を監督職員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。

20 低入札となった場合における技術者の増員等

1 工事に係る入札の結果、調査基準価格に満たない価格をもって入札をした者が受注者となった場合における技術者の配置については、次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ次に定めることによる。

(1) 建設業法の規定により技術者の専任配置が義務付けられる工事の場合

専任配置が義務付けられている技術者とは別に、同法の規定により監理技術者の配置が義務付けられる工事にあっては監理技術者の資格を有する者を、それ以外の工事にあっては主任技術者になり得る資格を有する者を１人、専任にて配置するものとする。この場合において、これらの工事に配置する技術者は、受注者と３ヶ月以上の雇用関係がある者に限る。

(2) 建設業法の規定による技術者の専任配置が義務づけられていない工事の場合

同法の規定により配置が義務付けられている技術者を、専任にて配置するものとする。

2　1の(1)により別に配置される技術者は、監理技術者等を補助し、監理技術者等と同様の職務を行うものとする。

3 工事の品質を確保するため、特記仕様書に示される施工に関する試験基準を２倍の頻度をもって実施し、品質管理を行うものとする。

21 間接工事費等の調整について

本工事は、富山県が先行発注した下の工事（以下、「現工事」という。）と当該追加工事の設計金額の合計額より定まる率によって算定した諸経費から、現工事にかかる諸経費等を控除した額で調整した金額とする。

工事番号：　　　　　工事名：

22 総合評価方式

1 受注者は、実際の施工に際しては、事前に提出し適正とされた技術資料（技術提案書又は簡易な施工計画）の内容を履行すること。

2 受注者は、事前に提出した総合評価方式に係る技術資料に記載した配置予定技術者を配置しなければならない。

3 なお、上記１、２を履行できない場合及び、受注者が事前に提出した総合評価方式に係る技術資料に記載した内容に虚偽の報告があった場合においては、富山県公共工事総合評価方式施行要領に基づき工事成績の減点（標準型においては、工事成績の減点及び違約金の徴収）をすることがある。

・ 本工事は「登録基幹技能者の配置」を活用した試行工事であり、受注者は、下記工種において登録基幹技能者を配置する場合は、あらかじめ施工計画書により、登録者情報や配置予定期間、作業内容等を発注者に報告することとし、配置予定期間及び完成検査時において、発注者による履行の確認を行うこととする。なお、履行が確認できない場合、富山県公共工事総合評価方式試行要領に基づき工事成績の減点をすることがある。

対象工種　　・〇〇工　・□□工　　・△△工

・ この工事は「下請負契約における県内企業の活用」を評価の対象とした試行工事である。施工時及び完成検査時において、発注者による履行の確認を行うこととする。なお、受注者の責に帰すべき理由により、入札時の申請に反して、施工時に県内企業の活用ができなかった場合には、工事成績評定点を３点減点する。

23 快適な仮設トイレの設置工事

本工事は、建設現場をより働きやすい環境に改善するため、受注者が希望すれば、快適に使用できる仮設トイレ（洋式トイレ・快適トイレ）を設置することができる工事である。

快適な仮設トイレの設置工事の実施にあたっては、「快適な仮設トイレの設置工事」についてのお知らせによるものとする。このお知らせは、下記富山県のホームページから入手できる。

(https://www.pref.toyama.jp/1510/sangyou/nyuusatsu/koukyoukouji/kj00017588.html)

24 週休2日制モデル工事

週休２日制モデル工事の実施にあたっては、「週休２日制モデル工事（営繕工事）試行要領」（令和４年７月富山県土木部）に基づくものとする。この試行要領は、富山県土木部営繕課のホームページから入手できる。

(https://www.pref.toyama.jp/1508/kendodukuri/toshikeikaku/kenchiku/kj00021742.html)

※週休２日制モデル工事【発注者指定型】

本工事は、発注者が週休２日の実施を受注の条件とするものである。

・週休２日制モデル事業【受注者希望型】

本工事は、受注者が工事着手日前に、発注者に対して、工事打合せ簿にて週休２日に取り組む旨を協議したうえで取り組むものである。

・週休２日制モデル事業ではない

ただし、受注者から希望があり、発注者と協議が整った場合は、週休２日制モデル事業【受注者希望型】と同様の取扱いができる。

25 余裕期間制度

・フレックス方式対象工事

1　本工事は、円滑な工事施工体制の確保を図るため、全体工期の範囲内で受注者が工事の始期及び終期を設定することができる工事であり、富山県土木部所管建設工事に係る余裕期間制度（ﾌﾚｯｸｽ方式）試行要領に基づき実施するものとする。

2　工事の始期は、契約締結日の翌日から〇年〇月〇日まで、工事の終期は、〇年〇月〇日までとする。

3　受注者は、工事の始期後14日以内に施工計画書を発注者に提出するものとする。

4　受注者は、受注時のｺﾘﾝｽﾞ(COMRINS)への登録については、工事の始期後10日（休日を除く。）以内に登録するものとする。

5　受注者は、工事の始期後に速やかに、退職金制度届出書を発注者に提出するものとする。

6　余裕期間内に行う資機材の準備及び、技能労働者の手配などの準備等に必要な現地への立入り（工事着手以外の行為とする）については、発注者に了解を得るとともに関係法令等に基づく必要な手続きを行うものとする。

7　その他この特記仕様書に記載のないことについては、富山県土木部所管建設工事に係る余裕期間制度（ﾌﾚｯｸｽ方式）実施要領によるものとする。

・発注者指定方式対象工事

1　本工事は、出水期や厳冬期などにより工事期間や工事の始期が限定されるという施工条件のもとで、円滑な工事施工体制の確保し、発注業務の計画的な履行と平準化を図るため、全体工期内で発注者が余裕期間と実工期を指定する富山県土木部所管建設工事に係る余裕期間制度（発注者指定方式）試行要領に基づき実施するものとする。

2　工事の始期は、〇年〇月〇日とする。

3　受注者は、工事の始期後14日以内に施工計画書を発注者に提出するものとする。

4　受注者は、受注時のｺﾘﾝｽﾞ(COMRINS)への登録については、工事の始期後10日（休日を除く。）以内に登録するものとする。

5　受注者は、工事の始期後に速やかに、退職金制度届出書を発注者に提出するものとする。

6　余裕期間内に行う資機材の準備及び、技能労働者の手配などの準備等に必要な現地への立入り（工事着手以外の行為とする）については、発注者に了解を得るとともに関係法令等に基づく必要な手続きを行うものとする。

7　低入札価格調査等により、発注者が指定する工事の始期以降に契約を締結することとなった場合には、余裕期間を適用しないものとする。

8　その他この特記仕様書に記載のないことについては、富山県土木部所管建設工事に係る余裕期間制度（発注者指定方式）実施要領によるものとする。

26 特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置

※ 本工事において、建設業法第26条第３項ただし書きの適用を受ける監理技術者（以下、「特例監理技術者」という。）の配置を行う場合は、以下の(1)から(9)の要件を全て満たさなければならない。

(1)　建設業法第26条第３項ただし書きによる監理技術者の職務を補佐する者（以下、「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。

(2)　監理技術者補佐は、１級建築施工管理技士補及び１級建築施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定種目は、特例監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。

(3)　監理技術者補佐は、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。

(4)　同一の特例監理技術者を配置できる工事は、同時に２件までとする。ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるもの（当初の請負契約以外の請負契約が随意契約により締結される場合に限る。）については、これら複数の工事を一つの工事とみなす。

(5)　兼務する工事が特例監理技術者としての職務を適正に遂行できる範囲内にあること。なお、範囲については、工事現場が同一の土木センター、事務所管内にあること。

(6)　特例監理技術者が兼務できる工事は、24時間体制での応急処理工や緊急巡回等が必要な工事以外の工事でなければならない。

(7)　特例監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行しなければならない。

(8)　特例監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。

(9)　監理技術者補佐が担う業務について、明らかにすること。

※　本工事の監理技術者が特例監理技術者として兼務することとなる場合、上記(1)から(9)の事項について、確認できる書類を提出すること。

※　本工事において、特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は、適切にコリンズ(CORINS)への登録を行うこと。

㉗ 提 出 図 書 等

標準仕様書によるほか次による。

(1) 設計図の製本

着工時 ⊙ 原図版　1 部　⊙ 縮小版　6 部

(2) 工事写真

写 真 種 別	撮影個所数	提出規格	拡張子	構成	備考
着工前写真	適正数	L版程度 (3枚/頁)	ＰＤＦ	※着工前と完成写真を対比したもの	デジタルカメラは、130万～300万画素にて撮影
完 成 写 真	適正数			・完成写真のみ（新築の場合）	
施工中写真	適正数	―	JPEG	―	

(3) 機材の仕様

主要な機材については、発注前に納入仕様書等を提出し、監督職員の確認を受ける。

(4) その他

監督職員の指示する書類。

(5) 完成時の図書

⊙ 完成図（設計図及び施工図を黒表紙に製本したもの） ⊙ 原図版　1 部　⊙ 縮小版　2 部

⊙ 完成図CADデータ（　CD-R　1枚×2部　）

⊙ 保全に関する資料

㉘ 電 子 納 品

⊙ 電子納品対象工事（以下に記す書類を電子納品する。）

⊙ 工事写真　　・ 施工計画書　⊙ 完成図(CADデータ)　　・ 参考図(ラスターデータ)

29 建設現場の遠隔臨場に関する試行工事

本工事は、受発注者の移動時間の削減のため、「建設現場の遠隔臨場に関する施行要領（令和５年４月富山県土木部）」の内容に従い、実施することができる。

⊙ 一般共通事項2

① 適 用 基 準 等

⊙ 国土交通大臣官房官庁営繕部「営繕工事写真撮影要領(平成28年版)による工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編　平成30年版」

⊙ 国土交通大臣官房官庁営繕部「営繕工事写真撮影要領(平成28年版)による工事写真撮影ガイドブック機械設備工事編　平成30年版」

⊙ 富山県電子納品運用ガイドライン(案)〔建築工事編〕（令和５年４月）

② 施 工 条 件

施工時間、工程、安全対策、工事用道路、仮設設備等は監督職員と協議する。

3 技能士の適用

・ 配管技能士（ ・ １級　・ ２級 ）　　・ 熱絶縁施工技能士（ ・ １級　・ ２級 ）

・ 建築板金技能士（ ・ １級　・ ２級 ）　・ 冷凍空気調和機器施工技能士（ ・ １級　・ ２級 ）

4 施 工 従 事 者

一般用電気工作物及び自家用電気工作物においては、法令で定める電気工事士とする。なお、需要設備500kW以上の自家用電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行うものとする。

5 仮　設　備

仮設備期間（ ・ 図示　　　・　　　　　　）

仮設備項目（ ・ 受変電設備　・ 発電設備　・　　　　）

6 認定リサイクル製品の使用

・ 下記の品目については、「公共工事における富山県認定リサイクル製品利用方針」において優先利用グループに区分されている製品を使用する。

工　種	品　目	規　格

※ただし、その製品の入手が困難な場合は、監督職員と協議し、通常製品(新材で製造された製品)へ変更できるものとする。

・ 「公共工事における富山県認定リサイクル製品利用方針」に基づき、パイロット工事として下記の製品を使用する。

工　種	品　目	規　格	製品名

7 建築工事との取合

工事区分表によるほか、次による。

(1) 開口部補強筋

補強を要する鉄筋コンクリート駆体(梁、壁、床)の貫通スリーブ補強筋は（・別途　・本工事)とする。

壁、床貫通の仮枠(盤類、ダクト、吹出口、大便器、換気扇等)の補強筋は（・別途　・本工事)とする。

(2) 機器の基礎

屋上基礎（・別途　・本工事）　屋内基礎（・別途　・本工事）　屋外基礎（・別途　・本工事）

⑧ 足場、さん橋類

⊙ 関連工事の関係受注者が定置したものは、無償で使用できる。

・ 本工事で設置とする。（改修標準仕様書第1編2.2.1によるほか下記による。）

・ 内部足場（脚立、足場板等）　・ 外部足場（・枠組足場　・くさび緊結式足場　・単管本足場）

※足場の設置においては、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。

9 建築物又は工作物の解体等の作業

石綿等が使用されている場合、石綿障害予防規則に基づき、作業を行うこと。また、解体等の作業における保護具の装着・湿潤を保つ費用、石綿の使用の有無を分析によって調査した場合に要する費用等及びそれらに費やす工期については、監督職員と協議を行うこと。

10 土　工　事

(1) 残土処理

・ 構内敷きならし　　・ 構内の指定場所に堆積

・ 構外搬出適切処理（受入れ場所：公共残土置き場　　　　）

※構外搬出の場合は関係法令に従い適切に処理するとともに、建設発生土情報交換システム及び公共工事土量調査システムを活用し、建設発生土の需給調整に努めること。

(2) 埋め戻し及び盛土

・ 根切り土の中の良質土　　・ 山砂

(3) 地業工事

砂利事業（ ・ 切り込み砂利　　・ 切り込み砕石　・ 再生クラッシャラン ）

11 管の地中埋設深さ

(電気設備)　原則として、管の上端より一般敷地では600mm以上、車両通路では800mm以上とする。

(機械設備)　埋設深さ（管の上端深さ）は原則として、車両通行部分は（ ・ 600mm　・　　　　）、その他の部分は（ ・ 450mm　・　　　　）以上とする。

12 地中埋設標等

1 地中埋設標　　　・ 要（図示による）　・ 不要

2 埋設表示テープ　・ 要　　　　　　　　・ 不要

13 埋設管の防食処理

標準仕様書の2編2.7.1、2.7.2及び2.7.3による。

14 ビニル管の布設

砕石100mm、山砂管上100mmとする。

15 マンホール蓋

MHA形、MHB形及びMHD形は富山県章入り（鋳出し）とする。

16 配　　管

1 建物導入部の変位吸収方法は標準図(建築物導入部の変位吸収配管要領)による。

・ (a)　　・ (b)　　・ (c)

2 溶接部の非破壊検査　　・ 要（抜取率　・標準仕様書による　・　　%）

17 コンクリート工事

(1) 普通コンクリート

・ レディミクストコンクリート(・ Ⅰ類　・ Ⅱ類)　　・ 現場練りコンクリート

コンクリート設計基準強度(・ 18N/mm2-15-25(捨てコン)　・ 21N/mm2-15-25　・ 24N/mm2-15-25)

構造体コンクリートの強度補正値

打設日	3/10～7/13	7/14～9/2	9/3～11/19	11/20～3/9
補正値	3 N/mm2	6 N/mm2	3 N/mm2	6 N/mm2

コンクリート強度試験(・ 実施する　・ 省略する)

(2) 鉄　　筋

・ 異形鉄筋(・ SD295A　・ SD345)

⑱ 耐震安全性の分類と耐震施工

設備機器の固定は、施設の分類に並びに機器の種別、重要度及び設置階に応じて、次の設計用水平地震力及び設計用鉛直地震力に対し、移動、転倒、破損等が生じないようにする。

1) 設計用水平地震力

機器の重量[kgf]に、設計用水平震度を乗じたものとする。なお特記なき場合、設計用水平震度は次による。水槽類は満水時の液体重量を含む総重量とする。

設計用水平震度

設置場所	機器種別	特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上層階,屋上及び塔屋	機　　器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水　槽　類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機　　器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水　槽　類	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・１階	機　　器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水　槽　類	1.5	1.0	1.0	0.6

重要機器　・ 配電盤　　　・ 受変電設備　　・ 発電設備

(電気設備)・ 直流電源装置　・ 交流無停電電源装置　・ 交換機

・ 火災報知受信機　・ 中央監視装置　・

重要機器　・ 水槽類（ ・　　・　　・　　）

(給排水衛生設備)・ 消火設備機器　・

重要機器　・ ボイラー　・ 冷凍機　・ 冷温水機　・ 冷却塔

(空調設備)・ 中央監視装置　・ 空気調和機（ ・ ﾕﾆｯﾄ形　・ ｺﾝﾊﾟｸﾄ形　・ ﾊﾟｯｹｰｼﾞ形）

・ 水槽類（ ・　　・　　・　　）　・ 排煙設備機器

注1) 上層階の定義は次による。

２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、10～12階建の場合は上層３階、13階建以上の場合は上層４層とする。

注2) 水槽類にはオイルタンク等を含むものとする。

2) 設計用鉛直地震力

設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

3) あと施工アンカー

施工後確認試験　　・ 要（引張試験機による引張試験）　・ 不要

※機器据付にかかるものは事前に鉄筋探査を実施する。

19 運転操作説明板

系統図、機器等の取り扱い方法及び重要な定期点検項目を書いたアクリル樹脂製の運転操作説明板を機械室に設ける。説明板の大きさは約　㎡とする。

20 総　合　調　整

・ 本工事　　・ 別途

調整項目（測定箇所等は監督職員の指示による。）

(給排水衛生設備)

・ 水量調節　　・ 騒音の測定

・ 飲料水の水質の測定

（・ 水質基準に関する省令(平成15年厚生労働省令)に基づく50項目及び消毒の残留効果

・ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則第4条第3項ｲで定められた16項目 ）

(空調設備)

・ 風量調節　・ 水量調節　・ 室内外空気の温湿度の測定

・ 室内気流及びじんあいの測定　・ 騒音の測定

21 容量等の表示

1 機器類の能力、容量等(電動機出力を除く)は原則として表示された数値以上とする。

2 電動機の出力は原則として表示された出力以下の容量とする。

22 保　　温

1 材料・施工順序及び厚さは特記がなければ標準仕様書第2編第3章の表2.3.1～2.3.7による。

なお、保温材は原則としてグラスウール保温材を使用するものとし、温水・蒸気・給湯以外の暗渠内（ピット内を含む）及び屋外多湿箇所はポリスチレンフォーム保温材を使用するものとする。また、排煙ダクト及び煙道はロックウール保温材を使用するものとする。

2 合成樹脂製カバーは、（ ・ シートタイプ　・ ジャケットタイプ ）を使用するものとする。

3 井水管の保温種別については冷水管の保温種別によるものとする。

23 弁類の保護カバー

給水、井水用の配管で呼び径65以上の弁、ストレーナ等は、ビス等により容易に着脱できる金属製の力給水、井水用の配管で呼び径65以上の弁、ストレーナ等は、ビス等により容易に着脱できる(・ ステンレス鋼板　・　　　)とする。

24 塗装及び防錆工事

1 適用の基準は以下の通りとする。

・機械設備：標準仕様書第２編第３章第２節による。

・電気設備：標準仕様書第１編第２章第７節による。

2 屋外及び多湿箇所の支持架台等は溶融亜鉛めっき鋼材(HDZ35以上)またはステンレス鋼材を使用する。

3 次の箇所の保温しない配管及びダクトは塗装不要とする(ただし、SGP-黒管及びSTGP370-黒管は除く)。・ 機械室内　・（　　　）

㉕ は　つ　り

① 既存コンクリート床及び壁の配管用貫通部の穴あけは、ダイヤモンドカッターによる。

② 事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行う。

26 ス リ ー ブ

・ 紙製（一般床、壁）・ 鋼製（梁、水密を要する地中等）・ 塩ビ製（水密を要しない地中等）

27 試　　験

1 各種配管の試験は、新設配管に適用する。

2 新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う。

28 電 気 工 事

1 機器付属の制御盤及び操作盤以降の電気配管、配線は(・ 本工事　・ 別途工事)とする。

2 制御盤及び操作盤に付属する機器の接地は(・ 本工事　・ 別途工事)とする。

29 吊り及び支持金物

（ ・ 地中、槽内、ピット内　・　　）の吊り金物・支持金物類はステンレス鋼製(SUS304)とする。

⊙ 撤去工事

① 撤 去 内 容

図示による。

2 アスベスト含有調査等

施工調査

※石綿含有建材の事前調査

工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹き付け材、成形板及び建築材料等の使用の有無について調査する。

調査範囲（・　　　・図示　　）貸与資料（　　　　　　）

・分析による石綿含有建材の調査

※ 分析方法：定性分析はJIS A1481-1又はJIS A1481-2、定量分析はJIS A1481-3又はJIS A1481-4による。分析結果については、監督職員に報告すること。

・施工は大気汚染防止法、廃棄物処理法、労働安全衛生法、石綿障害予防規則（H17年厚生労働省令第21号。以下「石綿則」という。）その他石綿処理に関する諸法令等に基づき、施工を行う。

3 冷媒（フロン類）の回収

1 冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、平成19年10月1日改正の「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」による。

ただし、冷媒の回収等の費用は（ ・ 本工事　・ 別途 ）とする。

2 冷媒の回収にあたっては、監督職員に次の書類を提出する。

（ア）第一種フロン類回収業者登録通知書の写し

（イ）フロン類引取証明書

（ウ）特定家庭用機器廃棄物管理表（家電リサイクル券）の写し（家庭用エアコン等の場合）

4 発生材の処理等

・ 引渡しを要するもの（ ・ 図示による　・　　　）

・ 特別管理産業廃棄物（　　　　）

同上の処理方法　（　　　　）

・ 再資源化を図るもの（　　　　）

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118（代）

設 計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志

担 当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日	R8.3	図面番号
図面名称	電気設備　特記仕様書１	縮 尺	――	E-01

・電気設備　工事種目（〇印をつけたものを適用する。）

⊙ 電灯設備　・動力設備　・雷保護設備　・受変電設備
・電力貯蔵設備　・発電設備　⊙ 構内交換設備　⊙ 情報通信網設備
・映像音響設備　⊙ 拡声設備　⊙ 誘導支援設備　⊙ テレビ共同受信設備
⊙ 監視カメラ設備　・防犯・入退室管理設備　・火災報知設備　・構内配電・通信線路

・電気設備

1 呼び線及び予備配管
長さ1m以上の入線しない管路には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を入線する。埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合(25)を1本、5個の場合(25)を2本、天井まで立上げる。

② 電線本数、管路等ケーブルの種類
分電盤、制御盤及び端子盤等の二次側以降の配管・配線は、経路、電線太さ、電線本数及び管径等は監督職員の承諾を受けて変更しても差し支えない。
また、機械室等の床配線は図面上PF管で記載している場合であっても、立上部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は全長にわたって接地線を設ける。

③ 金属管の塗装仕上げ
次の箇所の露出配管は塗装を行う。
⊙ 屋外　⊙ 屋内（　　　）
⊙ 塗装を行わない厚鋼電線管は、溶融亜鉛めっき仕上げ付着量300g/m2以上のものとする。

4 フラッシュプレート
・新金属製　・ステンレス製　・樹脂製

⑤ 再使用機器
取外し再使用機器は清掃、絶縁測定のうえ取付ける。

6 保温、結露防止
外気に面する壁・天井で、内断熱施工される構造体のコンクリートに埋込むボックス等には、断熱材等を取り付ける。

7 高圧交流遮断器
操作方式（・電気操作方式　・手動ばね操作方式　）

8 消火器
適用範囲（・受変電設備　・発電設備　）
・ABC粉末消火器　　号　　本
・消火器収納箱　　本入　　個　（・鋼板製　・SUS製）
・表示板　（・鋼板製　・SUS製　・アルミ製）

9 電話機への配線
・内線電話機1台につき、EM-TIEF0.65-2Cを2mを見込む。
・ボタン電話機1台につき、電子ボタン電話用ケーブルEM-EBT0.4-4Cを2mを見込む。

10 火災報知設備用総合盤
・消火栓箱(別途)に組込　・専用

11 ガス漏火災警報装置
ガス種類　・都市ガス　・LPガス
監視方式　・個別式　・集中監視式
・受信機(　型　級　回線)　・火報盤と一体　・単独

⑫ ハンドホール
・標準図による(蓋は富山県章入りとする)

⑬ 地中埋設標等
(1)地中埋設標　・要（図示による）　・不要
(2)埋設表示テープ　⊙ 要　・不要

⑭ 取付高さ
壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。

名　称	測　点	取付高[mm]
ブラケット（一般）	床上～中心	2,100
〃　（踊場）	〃	2,500
〃　（鏡上）	鏡上端～中心	150
スイッチ（一般）	床上～中心	1,200
〃　（多機能便所用）	〃	1,200
ｺﾝｾﾝﾄ,電話用ｱｳﾄﾚｯﾄ,ﾃﾚﾋﾞ端子（一般）	〃	400
〃　（和室）	〃	150
〃　（台上）	台上～中心	150
ｺﾝｾﾝﾄ（土間）	床上～中心	800～1,300
引込開閉器箱（定圧）	床上～上端	1,500
分電盤,制御盤,実験盤	床上～中心	1,500(上端1,900以下)
開閉器箱	〃	1,500
電磁開閉器用押しボタン	〃	1,200
接地用端子箱	地上,床上～中心	500
試験用接続端子箱	床上～下端	800
接地極埋設標	地上～中心	600
給油ボックス	地上～給油口	1,000
室内端子盤（廊下・室内）	床上～下端	300
中間端子盤（EPS・電気室）	床上～中心	1,500
壁付電話機	〃	1,300
親時計	〃	1,500(上端1,900以下)
子時計,スピーカ	天井下～上端	100
アッテネータ	床上～中心	1,200
表示盤	天井下～上端	100
発信器（出退表示用）	床上～中心	1,200
外部受付用インターホン（子機）	〃	標準図による
壁付インターホン（上記以外）	〃	1,100
呼出ボタン（多機能便所用）	〃	900(400)
復帰ボタン（　〃　）	〃	1,300
廊下表示灯（　〃　）	〃	2,000
テレビ機器収容箱	天井下～上端	200
火報受信機（複合盤）	床上～操作部	800～1,500
副受信機	床上～中心	1,500
自動通報機器収容箱	〃	800～1,500
発信機	〃	800～1,500
警報ベル	〃	(天井高)×0.9
表示灯	〃	(天井高)×0.8
連動制御器（自動閉鎖）	〃	1,500
ガス漏れ検知器（重ガス）	〃	300
〃　（軽ガス）	天井面～中心	(天井面)-200

（備考）天井面を基準とする取付高は、天井高さが2,500mmから3,000mmの場合に適用する。
天井高が3,000mm以上の場合及び機器の使用に支障が生じる場合は、監督員と協議する。
壁付呼出押ボタン（多機能トイレ）の取付高さ(400)は床に転倒した時を考慮した高さを示す。

15 電線類
二重床内に配線するEM-UTPケーブルは、用途に応じ色分けすること。

16 二重床内器具
二重床内に設置する器具の位置表示としてマーキングを、直上の天井面につけること。また、用途に応じ色分けすること。

・給排水衛生設備　工事種目（〇印をつけたものを適用する。）

・衛生器具設備　・給水設備　・排水設備　・給湯設備
・消火設備　・消火器設備　・厨房設備　・ガス設備
・さく井設備　・融雪設備　・浄化槽設備

・衛生器具設備

1 衛生器具付属水栓：水抜栓を使用する場合、水栓は固定こま式とする。
2 洗面器：手洗器は止水栓付とする。
3 衛生器具ユニット：別図による。（ユニット内配管材料共）
4 浴室・シャワーユニット：別図による。
5 和風大便器耐火カバー：・設ける（ピット内は除く）　・設けない

・給水設備

1 給水方式
・上水（・水道直結　・高置水槽　・圧力水槽　・加圧給水）
・井水（・高置水槽　・圧力水槽　・加圧給水）

2 配管材料
給水引込管は水道事業者の指定によるものとし、材質は（・図示　・　　　）とする。
屋内配管　・ポリ粉体鋼管（SGP-PB）　・塩ビライニング鋼管（SGP-VB）
地中埋設配管　・ポリ粉体鋼管（SGP-PD）　・塩ビライニング鋼管（SGP-VD）
・耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP）
給水管の最小口径は20mmとする。
井水管の吊りバンド等の支持部は、合成樹脂製の支持受けを使用する。

3 量水器
・親メーター（・貸与品　・　　）　・子メーター（・買取り　・　　）

4 量水器桝
・水道業者指定品（・貸与品　・買取り）　・標準図MC型

5 弁類
・逆止弁の衝撃吸収式はライニング不要とする。
・ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。
図面に記載のない場合の耐圧は下記による。
水道直結部分　JIS又はJV（・5K　・10K）
その他の部分　JIS又はJV（・5K　・10K）

6 弁桝：・標準図による。
7 絶縁継手：図示の位置に取り付ける。
8 水栓
・台所流し用の水栓は泡沫式とする。
・水抜栓を使用する場合、水栓は固定こま式とする。（・ただし屋外に設ける場合は耐寒水栓とする）
9 水栓柱：・合成樹脂製　・
10 引込納付金等：・要（・別途　・本工事）　・不要

・排水設備

1 排水方式
汚水放流先（・公共下水　・浄化槽　・　　）
雑排水放流先（・公共下水　・合併処理浄化槽　・側溝等　）
化学排水（　　）

2 配管材料
雑排水　・配管用炭素鋼鋼管（SGP-白）
・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管（DVLP）
・硬質塩化ビニル管（VP）　・耐火二層管（VP）
汚水　・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管（DVLP）
・硬質塩化ビニル管（VP）　・耐火二層管（VP）
通気　・配管用炭素鋼鋼管（SGP-白）　・硬質塩化ビニル管（VP）　・耐火二層管（VP）
屋外排水　・硬質塩化ビニル管（VU）　・硬質塩化ビニル管（VP）
・遠心力鉄筋コンクリート管(B型)

3 洗面器等の排水管
・洗面器及び洗面器に直結する排水管寸法は、器具トラップより1サイズアップとする。
・流し台等の床上露出部の配管は、蛇腹管の使用は禁止とする。

4 満水試験継手：図示の位置に取り付ける。
5 放流納付金等：・要（・別途　・本工事）　・不要

・給湯設備

1 配管材料：・一般配管用ステンレス鋼鋼管（呼び径60Su以下は拡管式）　・銅管（硬質(M)）
2 絶縁継手：取り付ける（鋼製ボイラ、熱交換器などに異種金属管を接続する場合）
3 弁類
図面に記載のない場合の耐圧は、JIS又はJV 5Kとする。
・ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
4 ガス湯沸器：使用するガス（・都市ガス　・液化石油ガス）
5 ガス湯沸器の接続：給湯管及び給水管の接続は、ステンレス製フレキシブルチューブを使用してよい。
6 保温：湯沸器の給排気筒（二重管）の隠ぺい箇所は保温を行う。なお、保温の種別は標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5のh･(ｲ)･Ⅸとする。

・消火設備

1 消火設備の種類
・屋内消火栓　・連結送水管　・屋外消火栓　・スプリンクラー
・不活性ガス消火　・泡消火　・粉末消火　・連結散水
・フード等用簡易自動消火

2 配管材料
・配管用炭素鋼鋼管（SGP-白）
・圧力配管用炭素鋼鋼管（STPG 370 白管 Sch80）（不活性ガス消火）
・消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（SGP-VS）（地中配管用）

3 保温
原則として保温は行わない。ただし、屋外露出配管（弁類含む）は防凍保温を行うものとし、仕様は給水管の項による。

4 地中埋設標等
1 地中埋設標　・要（図示による）　・不要
2 埋設表示テープ　・要　・不要

・消火器設備

1 機械室
・ABC粉末消火器　　号　　本
・消火器収納箱　　本入　　個　（・鋼板製　・SUS製）
・表示板　（・鋼板製　・SUS製　・アルミ製）

2 貯油槽施設
・ABC粉末消火器　　号　　本
・消火器収納箱　　本入　　個　（・鋼板製　・SUS製）
・表示板　（・鋼板製　・SUS製　・アルミ製）

・厨房設備

1 システム：・ドライシステム　・
2 機器の寸法：概略寸法とする。
3 機器機能等：図示による。

・ガス設備

1 使用ガス：・都市ガス（発熱量：　　MJ/Nm3）　・液化石油ガス
2 配管材料
・配管用炭素鋼鋼管（SGP-白）　・圧力配管用炭素鋼鋼管（STPG）
・ポリエチレン被覆鋼管（PLS）（地中配管用）
・ガス用ポリエチレン管（PE）（地中配管用・ロケーティングワイヤー共）
3 ガス集合装置
・本工事（　本組）　・別途工事
・標準図「液化石油ガス容器廻り配管要領」による　・設計図による
4 ガスメーター：・本工事　・貸与
5 充てん容量：別途（・50kg　・　　）×　　本
6 転倒防止等：標準図「液化石油ガス容器転倒防止施工要領」の（・(a)　・(b)）による。
7 地中埋設標：設置する（埋設シート共）
8 漏洩検知装置：・要　・不要
9 電気防食：・要　・不要
10 引込負担金：・要（・別途　・本工事）　・不要

・融雪設備

1 配管材料
送水管　・
散水管　・
2 ノズル・ドレン：材質は　　　とし、形式は図示による。
3 弁類：・図示による　・図面に特記のない場合の耐圧は、JIS又はJV 5Kとする。

・浄化槽設備

1 対象人員及び型式等：図示による。
2 消毒剤：1ヶ月相当分以上を納入する。
3 試験運転調整：浄化槽使用開始3ヶ月後、1回放流水質の測定結果を報告する。

・空調設備　工事種目（〇印をつけたものを適用する。）

・空気調和機設備　・空調ダクト設備　・ボイラー及び付属機器設備　・冷熱機設備
・換気設備　・換気ダクト設備　・排煙設備　・排煙ダクト設備
・自動制御設備

・空気調和設備

1 設計温湿度

	外気		室内 一般系統			
	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏季	35.1 ℃	60.4 %	℃	%	℃	%
冬季	-1.4 ℃	78.1 %	℃	%	℃	%

2 煙道
(1) 付属物：伸縮継手、掃除口の取付位置は図示による。
(2) ばいじん濃度計：ばいじん濃度計を（・設ける　・設けない）
ばいじん量測定口は口径80mmとし、取付け位置は煙道の直線部分とする。

3 ダクト
・低圧ダクト（・ｱﾝｸﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞ工法　・ｺｰﾅｰﾎﾞﾙﾄ工法（・共板ﾌﾗﾝｼﾞ　・ｽﾗｲﾄﾞｵﾝﾌﾗﾝｼﾞ））
・高圧１ダクト（適用範囲は図示による）
・ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。

4 風量測定口
・取付位置は図示による。
・次の位置に取付ける。（・外気ダクト　・還気ダクト　・空調機の吐出、吸込ダクト　・分岐ダクト）

5 チャンバー
1 内貼を施すチャンバーの表示寸法は外寸法を示す。
2 空気調和機に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバー及びダクト系で消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設ける。点検口の大きさは図示による。
3 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーには排水管(呼び径20)を取付け、屋外又は間接排水口に導く。

6 ダンパー
1 防煙ダンパー　復帰方式（・遠隔　・　　）
煙感知器、連動制御器及び配管配線は（・別途　・本工事）とする。
2 ピストンダンパー　復帰方式（・遠隔　・　　）

7 配管材料
冷温水管　・配管用炭素鋼鋼管（SGP-白）
冷却水管　・SGP-VA　・SGP-PA　・SGP-白
油管　・配管用炭素鋼鋼管（SGP-黒　屋内配管）
・合成樹脂外面被覆配管用炭素鋼鋼管（PLP　地中埋設）
蒸気往管　・配管用炭素鋼鋼管（SGP-黒）
蒸気還管　・圧力配管用炭素鋼鋼管（STGP370　黒管　Sch40）　・ステンレス鋼管（SUS304）
膨張管　・配管用炭素鋼鋼管（SGP-白）
冷媒管　・断熱材被覆銅管　・銅管
ドレン管　・VP管　・耐火二層管　・配管用炭素鋼鋼管（SGP-白）

8 弁類
・図示による　・図面に特記なき場合の耐圧は、JIS又はJV 5Kとする。
・鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。
・ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。

9 温度計
次の位置に取り付ける。なお、温度計は円形指示計とする。
・冷凍機の冷水管（送り、返り）及び冷却水管（送り、返り）
・吸収冷温水機の冷温水管（送り、返り）及び冷却水管（送り、返り）
・ボイラーの温水管（返り）
・空気調和機の冷温水管（送り、返り）及び三方弁装置後の冷温水管（返り）
・熱交換器の温水管（送り、返り）
・冷温水ヘッダー(往)冷温水ヘッダーの各返り管
・空気調和機(パッケージ型を含む)のサプライチャンバー、レタンダクト、外気取り入れダクト及びレタンチャンバー

10 圧力計
次の位置に取り付ける。
・冷凍機の冷水管（送り、返り）及び冷却水管（送り、返り）
・空気調和機の冷温水管（送り、返り）
・吸収冷温水機の冷温水管（送り、返り）及び冷却水管（送り、返り）
・熱交換器の温水管（送り、返り）

11 瞬間流量計又は瞬間流量計取付用タッピング
次の管に取り付ける。なお、瞬間流量計はピトー管方式によるもので止水コック付とする。
・冷凍機の冷水管及び冷却水管（送り又は返り）に（・流量計　・タッピング）を設ける。
・吸収冷温水発生機の冷温水管及び冷却水管（送り又は返り）に（・流量計　・タッピング）を設ける。
・空気調和機の冷温水管（送り又は返り）に（・流量計　・タッピング）を設ける。
・冷温水ヘッダーの（・各送り管　・各返り管）に（・流量計　・タッピング）を設ける。

12 遠隔油量指示計：図示の位置に取り付ける。
13 絶縁継手：図示の位置に取り付ける。

14 保温及び遮音
1 材料・施工順序及び厚さは特記がなければ標準仕様書第2編第3章の表2.3.1～2.3.7による。なお、保温材は原則としてグラスウール保温材を使用するものとし、温水・蒸気・給湯以外の暗渠内（ピット内を含む）及び屋外多湿箇所はポリスチレンフォーム保温材を使用するものとする。また、排煙ダクト及び煙道はロックウール保温材を使用するものとする。
2 合成樹脂製カバーは、（・シートタイプ　・ジャケットタイプ）を使用するものとする。
3 井水管の保温種別については冷水管の保温種別によるものとする。
4 標準仕様書第2編3.1.4によるほか、下記による。
・外気取入ダクトの保温要（・全て　・　　）
・排気ダクトの保温要（・外壁から1m　・　　）
・返りダクトの保温要
・隠蔽ダクトのフランジ部(補強を含む)は厚さ25mmの保温を重ね巻きを行うか、保温厚さをフランジ高さ+10mm以上とする。
・チャンバー及びダクトの消音内貼り(図示個所)を施した部分は外部の保温を不要とする。
・暖房する室(天井内含む)の蒸気立管及び分岐管は保温を施す。
・建物内の空気抜き弁までの配管の保温は、(2.3.1.4)の温水管の項による。
・空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、(2.3.1.5)の排水管の項による。
・露出部の冷媒管の外装は（・図示　・保温化粧ケース　・SUSラッキング）とする。
屋外に保温化粧ケースを使用する場合は、ケース内に水が侵入しないよう必要に応じてシールする。
SUSラッキング内部はポリスチレンフォーム保温筒で保護する。

15 弁類の保護カバー
温水、蒸気、冷水、冷温水用の配管で呼び径65以上の弁、ストレーナ等は、ビス等により容易に着脱できる金属製のカバーによる外装を施す。なお、屋内用は（・カラー亜鉛鉄板　・　　）、屋外及び多湿箇所は（・ステンレス鋼板　・　　）とする。

・換気設備

1 ダクト
・低圧ダクト（・ｱﾝｸﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞ工法　・ｺｰﾅｰﾎﾞﾙﾄ工法（・共板ﾌﾗﾝｼﾞ　・ｽﾗｲﾄﾞｵﾝﾌﾗﾝｼﾞ））
・厨房系統の排気用ダクトは、標準仕様書第3.2.2のダクトの板厚の項より1番手厚いものを使用する。
2 風量測定口：図示した位置に取り付ける。
3 ダンパー：空気調和設備の当該項目による。
4 シールする排気ダクトの系統：・厨房系統　・浴室（シャワー室、脱衣室を含む）系統
5 チャンバー：空気調和設備の当該項目による。
6 保温
次のダクトは保温を行う。
・外気ダクト（図示なき場合は全て。全熱交換ユニットの二次側含む。）
・多湿箇所のダクト（範囲は図示による。）
・排気ダクトの保温要（範囲は（・外壁から1m　・図示による。））
7 24時間換気：各居室において、換気量を測定し、必要換気回数以上であることを確認し、監督職員に報告すること。

・排煙設備

1 ダクト：・亜鉛鉄板　・普通鋼板(厚1.6m)
2 排煙口の形式：図示による。
3 排煙口開放及び復帰方式：・電気式（遠隔操作　・要　・不要）　・ワイヤー式
4 排煙風量測定：建築設備定期検査業務基準書（2016年版）（(一財)日本建築設備・昇降機センター)の排煙風量の検査方法に準じる。

・自動制御設備

1 システム構成その他：図示による。
2 電気計装用機材
1 使用する電線類はEM電線とし、規格は標準仕様書第4編表4.1.11による。（機器、盤類を除く。）
2 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記がなければ金属管配線とする。
3 天井内隠ぺいの配線は、図面に特記がなければケーブル配線とする。

・消火器設備

1 機械室
・ABC粉末消火器　　号　　本
・消火器収納箱　　本入　　個　（・鋼板製　・SUS製）
・表示板　（・鋼板製　・SUS製　・アルミ製）

2 貯油槽施設
・ABC粉末消火器　　号　　本
・消火器収納箱　　本入　　個　（・鋼板製　・SUS製）
・表示板　（・鋼板製　・SUS製　・アルミ製）

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118（代）

設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称：朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事
図面名称：電気設備　特記仕様書２
年月日：R8.3
縮尺：——
図面番号：E-02

PL−1A

AC, 1φ3W200/100V

ELCB3P 225AF／200AT

分岐	回路番号	電圧(V) 200	電圧(V) 100	種別	開閉器容量 P	開閉器容量 AF	開閉器容量 AT	その他付属品	容量(VA) L	容量(VA) C	容量(VA) M	容量(VA) 予備	負荷名称
	1	○		MCCB	2	50	20		50				PS内照明
	○	○		MCCB	2	50	20						予　備
	1		○	MCCB	1	50	20			300			自動ドア
	2		○	MCCB	1	50	20			800			ホールコンセント
	3		○	MCCB	1	50	20			700			ラウンジコンセント
	4		○	MCCB	1	50	20			600			ギャラリーコンセント
	5		○	MCCB	1	50	20			1500			自販機コンセント（1）
	6		○	MCCB	1	50	20			1500			自販機コンセント（2）
	7		○	MCCB	1	50	20			1500			自販機コンセント（3）
	8		○	ELCB	2	50	20			1000			ウォシュレット（男子）
	9		○	MCCB	1	50	20			400			公衆電話コンセント
	10		○	ELCB	2	50	20						屋外コンセント【名称変更】
	11		○	MCCB	1	50	20			800			会議室コンセント
	12		○	MCCB	1	50	20			800			ギャラリーホールコンセント（床）
	13		○	MCCB	1	50	20			1200			アリーナ内コンセント
	14		○	MCCB	1	50	20			100			得点表示盤電源
【新設】	2	○		ELCB	2	50	20						屋外コンセント キッチンカーイベント用
			○	MCCB	1	50	20		100				誘導灯
			○	MCCB	1	50	20		100				非常灯
△x2	○	○		MCCB	2	50	20						予　備
△x2	Ⓐ	○		MCCB	2	50	20		3168				ギャラリーホール照明
△x2	Ⓑ	○		MCCB	2	50	20		2592				エントランスホール照明
△x1	Ⓒ	○		MCCB	2	50	20		2528				会議室、ラウンジ照明
	Ⓓ	○		MCCB	2	50	20		200				器具庫C照明
	a		○	MCCB	1	50	20			280			ピット照明
△x2	b		○	MCCB	1	50	20			399			アリーナ入口 ラウンジ、下足コーナー照明
△x1	c		○	MCCB	1	50	20			320			エントランスホール照明
△x2	d		○	MCCB	1	50	20			857			男子便所、ギャラリースポット照明
△x1	e		○	MCCB	1	50	20	T		162			外部ブラケット照明
△x3	F1		○	MCCB	1	50	20			300			換気扇、ギャラリーホール、ロスナイ
△x2	F2		○	MCCB	1	50	20			300			換気扇、ギャラリー、ロスナイ
			○	MCCB	1	50	20						リモコントランス

Y/U 2P x2
Y/U 1P x3

【年間式プログラムタイマー追加】

PL−1B

AC, 1φ3W200/100V

ELCB3P 400AF／300AT

分岐	回路番号	電圧(V) 200	電圧(V) 100	種別	開閉器容量 P	開閉器容量 AF	開閉器容量 AT	その他付属品	容量(VA) L	容量(VA) C	容量(VA) M	容量(VA) 予備	負荷名称
	△1		○	MCCB	2	50	20			300			空調中央監視盤
	△2		○	MCCB	2	50	20			300			防犯監視盤
	△3		○	MCCB	2	50	20			100			電話主装置電源
	△4		○	MCCB	2	50	20			500			非常放送電源
	△5		○	MCCB	2	50	20			500			火災受信機電源
	△6		○	MCCB	2	50	20			300			コンピューターコンセント
	△7		○	MCCB	2	50	20			300			コンピューターコンセント
	△8		○	MCCB	2	50	20			300			コンピューターコンセント
	1	○		MCCB	2	50	20						予　備
	2	○		MCCB	2	50	20						予　備
	3	○		ELCB	2	50	20			2000			電気湯沸器
	4	○		MCCB	2	50	20			3500			電気コンロ（保健室）
	5	○		MCCB	2	50	20			3500			電気コンロ
	6	○		ELCB	2	50	20			2000			電気湯沸器
	○	○		MCCB	2	50	20			50			PS内照明
	○	○		MCCB	2	50	20						予　備
	1		○	ELCB	2	50	20			750			コイン用湯沸器電源
	2		○	MCCB	1	50	20			800			ホールコンセント
	3		○	MCCB	1	50	20			800			廊下コンセント
	4		○	MCCB	1	50	20			600			更衣室Aコンセント
	5		○	ELCB	2	50	20			250			湯沸室コンセント
	6		○	MCCB	1	50	20			200			便所コンセント
	7		○	MCCB	1	50	20			200			T−1Bコンセント
	8		○	MCCB	1	50	20			200			計装コンセント
	9		○	ELCB	2	50	20						屋外コンセント【名称変更】
	10		○	ELCB	2	50	20			550			更衣室ロスナイ
【新設】	7	○		ELCB	2	50	20						屋外コンセント キッチンカー用
	12		○	ELCB	2	50	20						予　備
	13		○	ELCB	2	50	20			1000			ウォシュレット
	14		○	MCCB	1	50	20			600			保健室コンセント
	15		○	MCCB	1	50	20			600			応接室コンセント
	16		○	MCCB	1	50	20			800			事務室コンセント
	17		○	MCCB	1	50	20						電動カーテン増幅器【名称変更】
	18		○	ELCB	2	50	20			600			身障者便所コンセント
	19		○	ELCB	2	50	20			400			女子便所コンセント
	20		○	ELCB	2	50	20			1000			ウォシュレット（女子）
	21		○	MCCB	1	50	20			1200			アリーナ内コンセント
	22		○	MCCB	1	50	20						予　備
	23		○	MCCB	1	50	20			100			エアータオル（女子）
	24		○	MCCB	1	50	20			100			エアータオル
	25		○	MCCB	1	50	20			100			誘導灯
	26		○	MCCB	1	50	20			100			非常灯
△x2	○	○		MCCB	2	50	20						予　備
△x2	Ⓐ	○		MCCB	2	50	20		2592				エントランスホール照明
	Ⓑ	○		MCCB	2	50	20		2024				保健室・事務室・応接室照明
	Ⓒ	○		MCCB	2	50	20		160				器具庫A照明
△x1	Ⓓ	○		MCCB	2	50	20		340				通路照明
△x1	Ⓔ	○		MCCB	2	50	20						予　備
	Ⓕ	○		MCCB	2	50	20		200				器具庫B照明

※1 ── ※1

分岐	回路番号	電圧(V) 200	電圧(V) 100	種別	開閉器容量 P	開閉器容量 AF	開閉器容量 AT	その他付属品	容量(VA) L	容量(VA) C	容量(VA) M	容量(VA) 予備	負荷名称
※1 ── ※1													
	a		○	MCCB	1	50	20		280				ピット照明
	b		○	MCCB	1	50	20		901				女子便所、身障者便所照明
	c		○	MCCB	1	50	20						予　備
	d		○	MCCB	1	50	20						予　備
	e		○	MCCB	1	50	20						予　備
	f		○	ELCB	2	50	20						予　備
	g		○	MCCB	1	50	20		930				更衣室等照明
△x1	h		○	MCCB	1	50	20	T	162				外部照明
△x2	F1		○	MCCB	1	50	20		200				エントランスホールロスナイ
△x3	F2		○	MCCB	1	50	20		300				更衣室、シャワー室照明
	f1		○	MCCB	1	50	20			300			保健室コンセント
△x2			○	MCCB	1	50	20						屋除室、勝後照明【名称変更】
	f2		○	MCCB	1	50	20						リモコントランス

Y/U 2P x2
Y/U 1P x3

【年間式プログラムタイマー追加】

注記）1．図中、…… 細線かつ点線は既設流用を表す。
2．図中、／／／ は改修箇所を表す。

株式会社 鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町2丁目1－21　電話（076）421-9118（代）

設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第1体育館外壁改修工事	年月日	R8.3
図面名称	第1体育館　分電盤結線図1（改修後）	縮尺	——
図面番号	E-03		

PL−1C

AC.1φ3W200/100V

ELCB3P 225AF／200AT

回路番号	電圧(V) 200	電圧(V) 100	分岐回路 種別	開閉器容量 P	開閉器容量 AF	開閉器容量 AT	その他付属品	容量(VA) L	容量(VA) C	容量(VA) M	容量(VA) 予備	負荷名称
1	○		MCCB	2	50	20						予　備
◯	○		MCCB	2	50	20						予　備
1		○	MCCB	1	50	20			200			得点表示盤電源
2		○	MCCB	1	50	20			800			アリーナ内コンセント
3		○	MCCB	1	50	20			800			控室Ａコンセント
4		○	MCCB	1	50	20			200			控室Ａ洗面コンセント
5		○	MCCB	1	50	20			200			化粧室前廊下コンセント
6		○	ELCB	2	50	20						予　備
7		○	ELCB	2	50	20						予　備
8		○	ELCB	2	50	20						予　備
9		○	MCCB	1	50	20			800			控室Ｂコンセント
10		○	MCCB	1	50	20			200			控室Ｂ洗面コンセント
11		○	MCCB	1	50	20						予　備
12		○	MCCB	1	50	20			200			舞台裏廊下コンセント
13		○	MCCB	1	50	20						予　備
14		○	ELCB	2	50	20						屋外コンセント 【名称変更】
15		○	ELCB	2	50	20						予　備
16		○	ELCB	2	50	20						予　備
17		○	ELCB	2	50	20						予　備
18		○	ELCB	2	50	20						予　備
19		○	MCCB	1	50	20			400			舞台コンセント
20		○	MCCB	1	50	20			800			舞台コンセント
21		○	MCCB	1	50	20						予　備
22		○	MCCB	1	50	20						予　備
23		○	ELCB	2	50	20			750			コイン用湯沸器、湯沸室
24		○	MCCB	1	50	20						予　備
25		○	MCCB	1	50	20			100			端子盤コンセント
26		○	MCCB	1	50	20			200			コインタイマーコンセント
27		○	ELCB	2	50	20			550			更衣室、ＷＣコンセント
28		○	ELCB	2	50	20						予　備
29		○	ELCB	2	50	20						予　備
30		○	ELCB	2	50	20						予　備
31		○	ELCB	2	50	20			1000			ウォシュレット
32		○	ELCB	2	50	20			250			便所エアータオル
33		○	MCCB	1	50	20			600			ウォシュレット
34		○	MCCB	1	50	20		100				非常灯
35		○	MCCB	1	50	20			800			電気室コンセント
36		○	MCCB	1	50	20			800			機械室コンセント
37		○	MCCB	1	50	20			600			機械室コンセント
△x2 □		○	MCCB	1	50	20						予　備
△x2 □		○	MCCB	1	50	20						予　備
□		○	MCCB	1	50	20			100			誘導灯
△x1 Ⓐ	○		MCCB	2	50	20		240				照明
△x1 Ⓑ	○		MCCB	2	50	20		1056				控室照明
Ⓒ	○		MCCB	2	50	20		600				電気室照明
△x1 a		○	MCCB	1	50	20		440				ピット照明
△x1 b		○	MCCB	1	50	20		930				更衣室、シャワー室照明
△x3 F1		○	MCCB	1	50	20		300				更衣室ファン
△x3 F2		○	MCCB	1	50	20		200				控室ファン
		○	MCCB	1	50	20						リモコントランス

T/U 2P x1
T/U 1P x3

PL−1D

AC.1φ3W200/100V

ELCB3P 100AF／100AT

回路番号	電圧(V) 200	電圧(V) 100	分岐回路 種別	開閉器容量 P	開閉器容量 AF	開閉器容量 AT	その他付属品	容量(VA) L	容量(VA) C	容量(VA) M	容量(VA) 予備	負荷名称
1	○		MCCB	2	50	20		50				ＰＳ内照明
◯	○		MCCB	2	50	20		200				搬入口照明
1		○	MCCB	1	50	20						予　備
2		○	MCCB	1	50	20			800			アリーナ内コンセント
3		○	MCCB	1	50	20			600			器具庫Ｄコンセント
4		○	MCCB	1	50	20			600			道具搬入口コンセント
5		○	MCCB	1	50	20			400			舞台コンセント
6		○	MCCB	1	50	20			600			舞台コンセント
7		○	MCCB	1	50	20						予　備
□		○	MCCB	1	50	20						予　備
【新設】 8		○	ELCB	2	50	20						屋外コンセント
□		○	MCCB	1	50	20						予　備
Ⓐ	○		MCCB	2	50	20		1400				器具庫Ｄ照明
Ⓑ	○		MCCB	2	50	20		580				大道具搬入口、通路照明
Ⓒ	○		MCCB	2	50	20		1600				空調機械室照明
a		○	MCCB	1	50	20		480				ピット照明
		○	MCCB	1	50	20						リモコントランス
	○	○	MCCB	3	50	20			5440			Ｌ−２Ｄへ

注記）１．図中、…… 細線かつ点線は既設流用を表す。
　　２．図中、／／／ は改修箇所を表す。

株式会社 鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118(代)

設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事
図面名称	第１体育館　分電盤結線図２（改修後）
年月日	R8.3
縮尺	——
図面番号	E-04

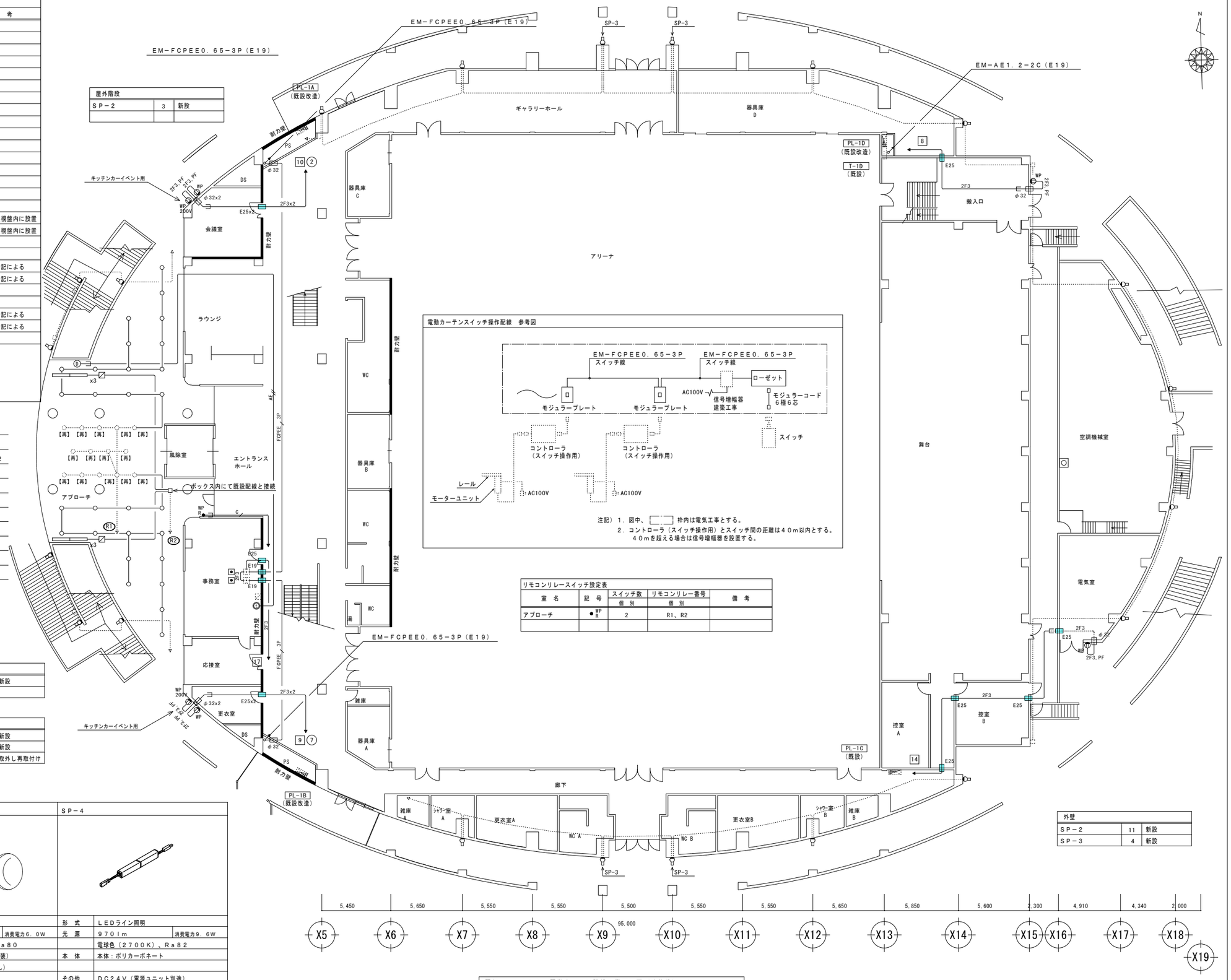
凡　例

記　号	名　称	規格・仕様	備　考
	電灯分電盤	盤結線図参照	既設
	照明器具	ダウンライト	既設
	照明器具	ダウンライト	
	照明器具	ブラケットライト　壁付	
	照明器具	ライン照明	
	ライン照明電源ユニット	入力ＡＣ１００Ｖ、出力ＤＣ２４Ｖ	
WP R	リモコンスイッチ	多重伝送２線式、防滴プレート共	
WP	防水コンセント	２Ｐ１５Ａ×１．接地極、接地端子付	
WP 200V	防水コンセント	２Ｐ２０Ａ×１．接地極付引掛けＡＣ２５０Ｖ	
	端子盤		既設
WP	監視カメラ	屋外型　壁付	既設
WP	子時計	屋外型　壁付	既設
	ドアホン親機	カラーモニター付	
	ドアホン子機	カメラ付	
WP	スピーカー	屋外ホーン型、１５Ｗ	
	モジュラープレート	６極６芯モジュラー、金属プレート	
	ローゼット	６極６芯露出モジュラー	既設総合監視盤内に設置
	信号増幅器	ＡＣ１００Ｖ	既設総合監視盤内に設置
			建築工事
	電動カーテンスイッチ		建築工事
	ブルボックス	屋内鋼板製	サイズは傍記による
SUS	ブルボックス	屋外ＳＵＳ製	サイズは傍記による
	天井内隠ぺい配線		
	露出配管配線		
φ	壁貫通補修	機械はつり　※事前に鉄筋探査を行う事	サイズは傍記による
E	防火区画貫通処理材	PS060　WL-0269 同等品　　機械はつり共	サイズは傍記による

注記）
1．図中、…… 細線かつ点線は既設を表す。
2．図中、【再】　印は既設器具の取外し再取付けを表す。
3．図中、No は１００Ｖコンセント回路　No は２００Ｖコンセント回路を表す。
4．図中、Rn はリモコンリレー番号を表す。

特記なき配線は、下記による

――――	ＥＭ－ＥＥＦ１．６－３Ｃ	天井ころがし配線	
2F3	ＥＭ－ＥＥＦ２．０－３Ｃ	天井ころがし配線	立下り保護管Ｅ２５
2F3x2	ＥＭ－ＥＥＦ２．０－３Ｃ×２	天井ころがし配線	立下り保護管Ｅ２５×２
2F3,PF	ＥＭ－ＥＥＦ２．０－３Ｃ	外壁内隠蔽配管配線	保護管ＰＦ２２
2F3	ＥＭ－ＥＥＦ２．０－３Ｃ	露出配管配線	保護管Ｅ２５
AE	ＥＭ－ＡＥ１．２－２Ｃ	天井ころがし配線	
AE PF	ＥＭ－ＡＥ１．２－２Ｃ	外壁内隠蔽配管配線	保護管ＰＦ１６
AE	ＥＭ－ＡＥ１．２－２Ｃ	露出配管配線	保護管Ｅ１９
C	ＥＭ－ＦＣＰＥＥ０．９－１Ｐ	天井ころがし配線	保護管ＰＦ１６
FCPEE 3P	ＥＭ－ＦＣＰＥＥ０．６５－３Ｐ	天井ころがし配線	
FCPEE 3P	ＥＭ－ＦＣＰＥＥ０．６５－３Ｐ	露出配管配線	保護管Ｅ１９



電灯・コンセント・電動カーテン設備１階平面図（改修後）　Ｓ＝１／１５０

屋外階段		
ＳＰ－２	3	新設

屋外階段		
ＳＰ－２	3	新設

アプローチ		
ＳＰ－１	28	新設
ＳＰ－４	12	新設
ダウンライト	14	取外し再取付け

電動カーテンスイッチ操作配線　参考図

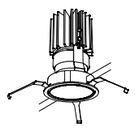
注記）１．図中、［　］枠内は電気工事とする。
２．コントローラ（スイッチ操作用）とスイッチ間の距離は４０ｍ以内とする。
４０ｍを超える場合は信号増幅器を設置する。

リモコンリレースイッチ設定表

室　名	記　号	スイッチ数 個　別	リモコンリレー番号 個　別	備　考
アプローチ	WP R	2	R1、R2	

外壁		
ＳＰ－２	11	新設
ＳＰ－３	4	新設

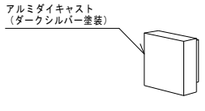
ＳＰ－１



電源ユニット１００／２００Ｖ（非調光）共

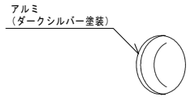
形　式	ＬＥＤダウンライト	
光　源	１４３３ｌｍ	消費電力１９．８Ｗ
	電球色（３０００Ｋ）、Ｒａ８３	
本　体	トリム：アルミダイキャスト（白色塗装）	
	コーン：アルミ（銀色鏡面仕上）	
その他	配光：ワイド　44°、グレアカット：55°	
	防雨・軒下対応	

ＳＰ－２



形　式	ＬＥＤブラケットライト	
光　源	１５０ｌｍ	消費電力３．９Ｗ
	電球色（３０００Ｋ）、Ｒａ８０	
本　体	アルミダイキャスト（ダークシルバー塗装）	
	アクリル(クリア片面マット)	
その他	電源電圧　100～240V	
	防雨型	

ＳＰ－３



形　式	ＬＥＤブラケットライト	
光　源	２０２ｌｍ	消費電力６．０Ｗ
	電球色（３０００Ｋ）、Ｒａ８０	
本　体	アルミ（ダークシルバー塗装）	
	アクリル(クリア・一部消し)	
その他	電源電圧　100V専用	
	防雨型	

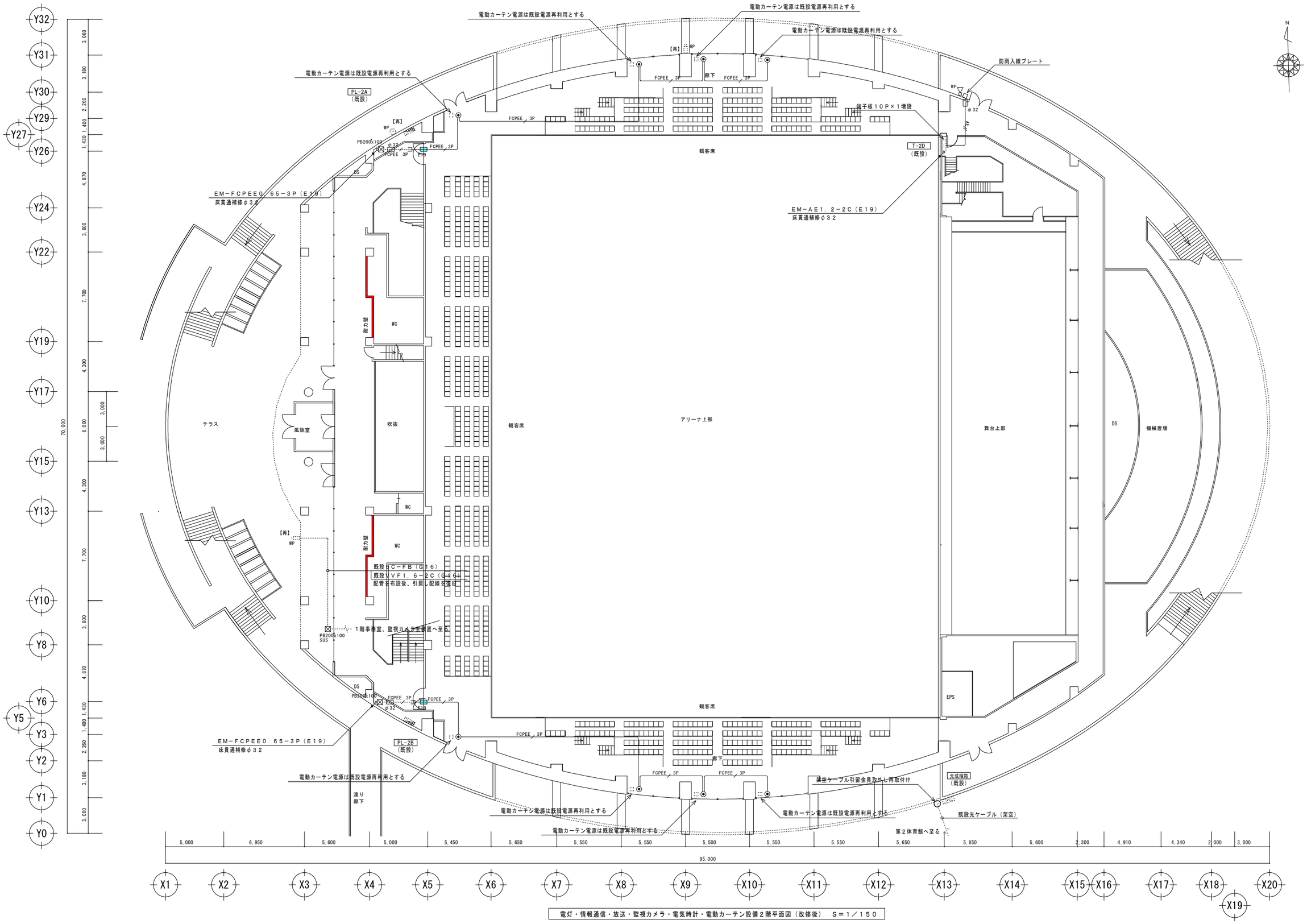
ＳＰ－４

形　式	ＬＥＤライン照明	
光　源	９７０ｌｍ	消費電力９．６Ｗ
	電球色（２７００Ｋ）、Ｒａ８２	
本　体	本体：ポリカーボネート	
その他	ＤＣ２４Ｖ（電源ユニット別途）	
	幅：１３．２、長：１２２３	

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－２１　　電話（076）421-9118(代)

設　計	一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担　当	一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日	R8.3
図面名称	第１体育館 電灯・コンセント・電動カーテン設備１階平面図（改修後）	縮　尺	A1:1/150 A3:1/300
図面番号	E-05		



電灯・情報通信・放送・監視カメラ・電気時計・電動カーテン設備２階平面図（改修後）　Ｓ＝１／１５０

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－２１　電話（０７６）４２１－９１１８（代）

設計	一級建築士登録第261836号　酒井　武志	工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事
担当	一級建築士登録第362594号　江端　雄也	図面名称	第１体育館　電灯・情報通信・放送・監視カメラ・電気時計・電動カーテン設備２階平面図（改修後）
年月日	R8.3	縮尺	A1:1/150　A3:1/300
図面番号	E-06		

PL−1A

AC.1φ3W200/100V

ELCB3P 225AF／200AT

分岐	回路番号	電圧(V) 200	電圧(V) 100	種別	開閉器容量 P	開閉器容量 AF	開閉器容量 AT	その他付属品	容量(VA) L	容量(VA) C	容量(VA) M	容量(VA) 予備	負荷名称
	1	○		MCCB	2	50	20		50				PS内照明
	○	○		MCCB	2	50	20						予　備
	1		○	MCCB	1	50	20			300			自動ドア
	2		○	MCCB	1	50	20			800			ホールコンセント
	3		○	MCCB	1	50	20			700			ラウンジコンセント
	4		○	MCCB	1	50	20			600			ギャラリーコンセント
	5		○	MCCB	1	50	20			1500			自販機コンセント（1）
	6		○	MCCB	1	50	20			1500			自販機コンセント（2）
	7		○	MCCB	1	50	20			1500			自販機コンセント（3）
	8		○	ELCB	2	50	20			1000			ウォシュレット（男子）
	9		○	MCCB	1	50	20			400			公衆電話コンセント
	10		○	ELCB	2	50	20						予　備
	11		○	MCCB	1	50	20			800			会議室コンセント
	12		○	MCCB	1	50	20			800			ギャラリーホールコンセント（床）
	13		○	MCCB	1	50	20			1200			アリーナ内コンセント
	14		○	MCCB	1	50	20			100			得点表示盤電源
【撤去】			○	MCCB	1	50	20						予　備
			○	MCCB	1	50	20		100				誘導灯
			○	MCCB	1	50	20		100				非常灯
	⚠x2 ○	○		MCCB	2	50	20						予　備
	⚠x2 Ⓐ	○		MCCB	2	50	20		3168				ギャラリーホール照明
	⚠x2 Ⓑ	○		MCCB	2	50	20		2592				エントランスホール照明
	⚠x1 Ⓒ	○		MCCB	2	50	20		2528				会議室、ラウンジ照明
	Ⓓ	○		MCCB	2	50	20		200				器具庫C照明
	a		○	MCCB	1	50	20			280			ピット照明
	⚠x2 b		○	MCCB	1	50	20			399			アリーナ入口 ラウンジ、下足コーナー照明
	⚠x1 c		○	MCCB	1	50	20			320			エントランスホール照明
	⚠x2 d		○	MCCB	1	50	20			857			男子便所、 ギャラリースポット照明
	⚠x1 e		○	MCCB	1	50	20			162			外部ブラケット照明
	⚠x3 F1		○	MCCB	1	50	20			300			換気扇、ギャラリーホール、ロスナイ
	⚠x2 F2		○	MCCB	1	50	20			300			換気扇、ギャラリー、ロスナイ
			○	MCCB	1	50	20						リモコントランス
T/U 2P x2													
T/U 1P x3													

PL−1B

AC.1φ3W200/100V

ELCB3P 400AF／300AT

分岐	回路番号	電圧(V) 200	電圧(V) 100	種別	開閉器容量 P	開閉器容量 AF	開閉器容量 AT	その他付属品	容量(VA) L	容量(VA) C	容量(VA) M	容量(VA) 予備	負荷名称
	⚠1		○	MCCB	2	50	20			300			空調中央監視盤
	⚠2		○	MCCB	2	50	20			300			防犯監視盤
	⚠3		○	MCCB	2	50	20			100			電話主装置電源
	⚠4		○	MCCB	2	50	20			500			非常放送電源
	⚠5		○	MCCB	2	50	20			500			火災受信機電源
	⚠6		○	MCCB	2	50	20			300			コンピューターコンセント
	⚠7		○	MCCB	2	50	20			300			コンピューターコンセント
	⚠8		○	MCCB	2	50	20			300			コンピューターコンセント
	1	○		MCCB	2	50	20						予　備
	2	○		MCCB	2	50	20						予　備
	3	○		ELCB	2	50	20			2000			電気湯沸器
	4	○		MCCB	2	50	20			3500			電気コンロ（保健室）
	5	○		MCCB	2	50	20			3500			電気コンロ
	6	○		ELCB	2	50	20			2000			電気湯沸器
	○	○		MCCB	2	50	20			50			PS内照明
	○	○		MCCB	2	50	20						予　備
	1		○	ELCB	2	50	20			750			コイン用湯沸器電源
	2		○	MCCB	1	50	20			800			ホールコンセント
	3		○	MCCB	1	50	20			800			廊下コンセント
	4		○	MCCB	1	50	20			600			更衣室Aコンセント
	5		○	ELCB	2	50	20			250			湯沸室コンセント
	6		○	MCCB	1	50	20			200			便所コンセント
	7		○	MCCB	1	50	20			200			T−1Bコンセント
	8		○	MCCB	1	50	20			200			計装コンセント
	9		○	ELCB	2	50	20						予　備
	10		○	ELCB	2	50	20			550			更衣室ロスナイ
【撤去】	11		○	ELCB	2	50	20						予　備
	12		○	ELCB	2	50	20						予　備
	13		○	ELCB	2	50	20			1000			ウォシュレット
	14		○	MCCB	1	50	20			600			保健室コンセント
	15		○	MCCB	1	50	20			600			応接室コンセント
	16		○	MCCB	1	50	20			800			事務室コンセント
	17		○	MCCB	1	50	20						予　備
	18		○	ELCB	2	50	20			600			身障者便所コンセント
	19		○	ELCB	2	50	20			400			女子便所コンセント
	20		○	ELCB	2	50	20			1000			ウォシュレット（女子）
	21		○	MCCB	1	50	20			1200			アリーナ内コンセント
	22		○	MCCB	1	50	20						予　備
	23		○	MCCB	1	50	20			100			エアータオル（女子）
	24		○	MCCB	1	50	20			100			エアータオル
	25		○	MCCB	1	50	20			100			誘導灯
	26		○	MCCB	1	50	20			100			非常灯
	⚠x2 ○	○		MCCB	2	50	20						予　備
	⚠x2 Ⓐ	○		MCCB	2	50	20		2592				エントランスホール照明
	Ⓑ	○		MCCB	2	50	20		2024				保健室・事務室・応接室照明
	Ⓒ	○		MCCB	2	50	20		160				器具庫A照明
	⚠x1 Ⓓ	○		MCCB	2	50	20		340				通路照明
	⚠x1 Ⓔ	○		MCCB	2	50	20						予　備
	Ⓕ	○		MCCB	2	50	20		200				器具庫B照明

※1 ── ※1

分岐	回路番号	電圧(V) 200	電圧(V) 100	種別	開閉器容量 P	開閉器容量 AF	開閉器容量 AT	その他付属品	容量(VA) L	容量(VA) C	容量(VA) M	容量(VA) 予備	負荷名称
※1 ── ※1													
	a		○	MCCB	1	50	20		280				ピット照明
	b		○	MCCB	1	50	20		901				女子便所、身障者便所照明
	c		○	MCCB	1	50	20						予　備
	d		○	MCCB	1	50	20						予　備
	e		○	MCCB	1	50	20						予　備
	f		○	ELCB	2	50	20						予　備
	g		○	MCCB	1	50	20		930				更衣室等照明
	⚠x1 h		○	MCCB	1	50	20		162				外部階段照明
	⚠x2 F1		○	MCCB	1	50	20		200				エントランスホールロスナイ
	⚠x3 F2		○	MCCB	1	50	20		300				更衣室、シャワー室照明
	f1		○	MCCB	1	50	20			300			保健室コンセント
	⚠x2 ☐		○	MCCB	1	50	20						風除室照明
	f2		○	MCCB	1	50	20						リモコントランス
T/U 2P x2													
T/U 1P x3													

注記）1．図中、…… 細線かつ点線は既設流用を表す。
2．図中、／／／ は改修箇所を表す。

株式会社 鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町2丁目1－21　電話（076）421-9118(代)

設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第1体育館外壁改修工事
年月日	R8.3
図面番号	E-07
図面名称	第1体育館　分電盤結線図1（改修前）
縮尺	——

PL−1C

AC.1φ3W200/100V

ELCB3P 225AF／200AT

回路番号	電圧(V) 200	電圧(V) 100	分岐回路 種別	開閉器容量 P	開閉器容量 AF	開閉器容量 AT	その他付属品	容量(VA) L	容量(VA) C	容量(VA) M	容量(VA) 予備	負荷名称
1	○		MCCB	2	50	20						予　備
◯	○		MCCB	2	50	20						予　備
1		○	MCCB	1	50	20			200			得点表示盤電源
2		○	MCCB	1	50	20			800			アリーナ内コンセント
3		○	MCCB	1	50	20			800			控室Ａコンセント
4		○	MCCB	1	50	20			200			控室Ａ洗面コンセント
5		○	MCCB	1	50	20			200			化粧室前廊下コンセント
6		○	ELCB	2	50	20						予　備
7		○	ELCB	2	50	20						予　備
8		○	ELCB	2	50	20						予　備
9		○	MCCB	1	50	20			800			控室Ｂコンセント
10		○	MCCB	1	50	20			200			控室Ｂ洗面コンセント
11		○	MCCB	1	50	20						予　備
12		○	MCCB	1	50	20			200			舞台裏廊下コンセント
13		○	MCCB	1	50	20						予　備
14		○	ELCB	2	50	20						予　備
15		○	ELCB	2	50	20						予　備
16		○	ELCB	2	50	20						予　備
17		○	ELCB	2	50	20						予　備
18		○	ELCB	2	50	20						予　備
19		○	MCCB	1	50	20			400			脇舞台コンセント
20		○	MCCB	1	50	20			800			舞台コンセント
21		○	MCCB	1	50	20						予　備
22		○	MCCB	1	50	20						予　備
23		○	ELCB	2	50	20			750			コイン用湯沸器、湯沸室
24		○	MCCB	1	50	20						予　備
25		○	MCCB	1	50	20			100			端子盤コンセント
26		○	MCCB	1	50	20			200			コインタイマーコンセント
27		○	ELCB	2	50	20			550			更衣室、ＷＣコンセント
28		○	ELCB	2	50	20						予　備
29		○	ELCB	2	50	20						予　備
30		○	ELCB	2	50	20						予　備
31		○	ELCB	2	50	20			1000			ウォシュレット
32		○	ELCB	2	50	20			250			便所エアータオル
33		○	MCCB	1	50	20			600			ウォシュレット
34		○	MCCB	1	50	20		100				非常灯
35		○	MCCB	1	50	20			800			電気室コンセント
36		○	MCCB	1	50	20			800			機械室コンセント
37		○	MCCB	1	50	20			600			機械室コンセント
△x2 □		○	MCCB	1	50	20						予　備
△x2 □		○	MCCB	1	50	20						予　備
□		○	MCCB	1	50	20			100			誘導灯
△x1 Ⓐ	○		MCCB	2	50	20		240				照明
△x1 Ⓑ	○		MCCB	2	50	20		1056				控室照明
Ⓒ	○		MCCB	2	50	20		600				電気室照明
△x1 a		○	MCCB	1	50	20		440				ピット照明
△x1 b		○	MCCB	1	50	20		930				更衣室、シャワー室照明
△x3 F1		○	MCCB	1	50	20		300				更衣室ファン
△x3 F2		○	MCCB	1	50	20		200				控室ファン
		○	MCCB	1	50	20						リモコントランス

T/U 2P x1
T/U 1P x3

PL−1D

AC.1φ3W200/100V

ELCB3P 100AF／100AT

回路番号	電圧(V) 200	電圧(V) 100	分岐回路 種別	開閉器容量 P	開閉器容量 AF	開閉器容量 AT	その他付属品	容量(VA) L	容量(VA) C	容量(VA) M	容量(VA) 予備	負荷名称
1	○		MCCB	2	50	20		50				ＰＳ内照明
◯	○		MCCB	2	50	20		200				搬入口照明
1		○	MCCB	1	50	20						予　備
2		○	MCCB	1	50	20			800			アリーナ内コンセント
3		○	MCCB	1	50	20			600			器具庫Ｄコンセント
4		○	MCCB	1	50	20			600			道具搬入口コンセント
5		○	MCCB	1	50	20			400			脇舞台コンセント
6		○	MCCB	1	50	20			600			舞台コンセント
7		○	MCCB	1	50	20						予　備
□		○	MCCB	1	50	20						予　備
【撤去】 ~~□~~		~~○~~	~~MCCB~~	~~1~~	~~50~~	~~20~~						~~予　備~~
□		○	MCCB	1	50	20						予　備
Ⓐ	○		MCCB	2	50	20		1400				器具庫Ｄ照明
Ⓑ	○		MCCB	2	50	20		580				大道具搬入口、通路照明
Ⓒ	○		MCCB	2	50	20		1600				空調機械室照明
a		○	MCCB	1	50	20		480				ピット照明
		○	MCCB	1	50	20						リモコントランス
	○	○	MCCB	3	50	20			5440			Ｌ−２Ｄへ

注記）１．図中、…… 細線かつ点線は既設流用を表す。
　　２．図中、／／／ は改修箇所を表す。

株式会社 鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118(代)

設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日	R8.3
図面名称	第１体育館　分電盤結線図２（改修前）	縮尺	——
図面番号	E-08		

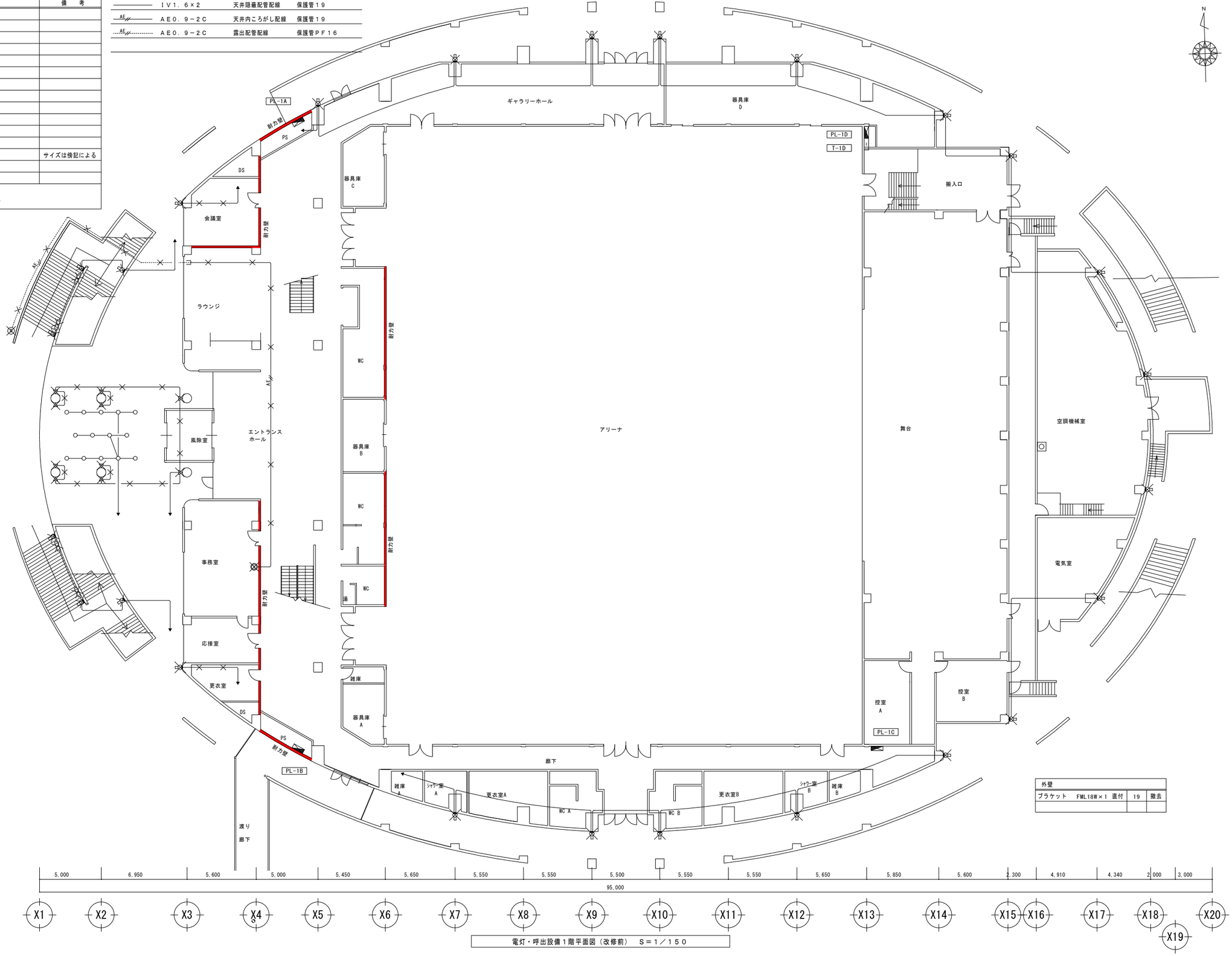
凡　例

記　号	名　　称	規格・仕様	備　　考
	電灯分電盤	盤結線図参照	
○	照明器具	ダウンライト	
	照明器具	ブラケットライト　壁付	
▷	照明器具	スポットライト　壁付	
▭	照明器具	フットライト　壁付	
	端子盤		
WP	監視カメラ	屋外型　壁付	
WP	子時計	屋外型　壁付	
	ＵＨＦ、ＦＭアンテナ	アンテナマスト５０Ａ	
	ＢＳアンテナ	アンテナマスト４０Ａ	
	ドアホン親機	モニター付き	
	ドアホン子機	カメラ付き	
⊠	プルボックス		サイズは傍記による
――――	天井内隠ぺい配線		
･････････	露出配管配線		

注記）
1．図中、╳ 印は撤去を表す。但し、撤去が困難な物は残置とする。

特記なき配線は、下記による

――――	ＩＶ１．６×２	天井隠蔽配管配線	保護管１９
AE	ＡＥ０．９－２Ｃ	天井内ころがし配線	保護管１９
AE	ＡＥ０．９－２Ｃ	露出配管配線	保護管ＰＦ１６



屋外階段

フットライト FPL6W×1　埋込	2	撤去
ブラケット　FML18W×1　直付	3	撤去

屋外階段

フットライト FPL6W×1　埋込	2	撤去
ブラケット　FML18W×1　直付	3	撤去

アプローチ

スポット　FML27W×1　直付	10	撤去

外壁

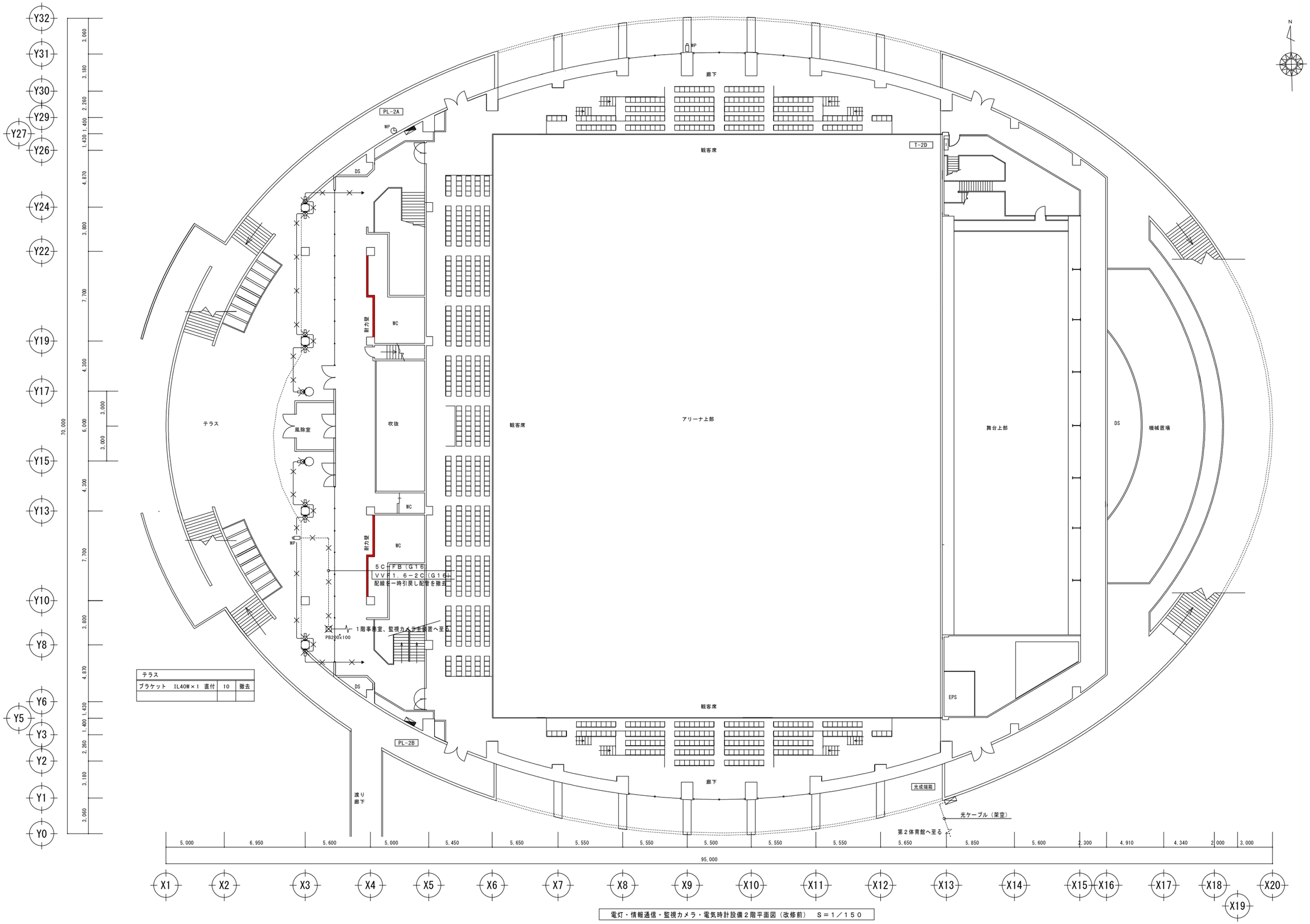
ブラケット　FML18W×1　直付	19	撤去

電灯・呼出設備１階平面図（改修前）　Ｓ＝１／１５０

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－２１　電話（０７６）４２１－９１１８（代）

設　計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担　当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称　朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事
年月日　R8.3
図面名称　第１体育館　電灯・呼出設備１階平面図（改修前）
縮　尺　A1:1/150　A3:1/300
図面番号　E-09



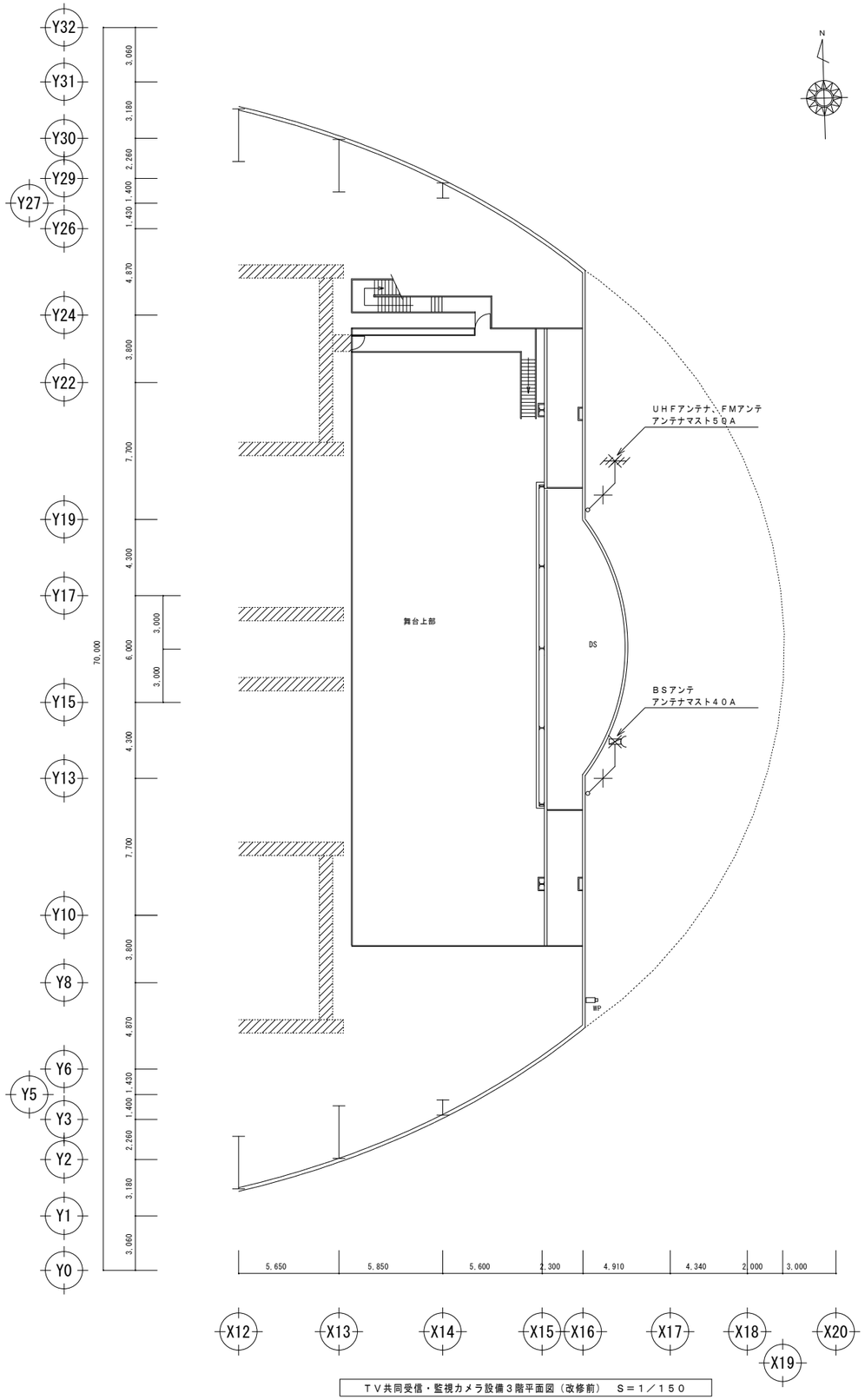
テラス			
ブラケット　IL40W×1　直付	10	撤去

電灯・情報通信・監視カメラ・電気時計設備２階平面図（改修前）　Ｓ＝１／１５０

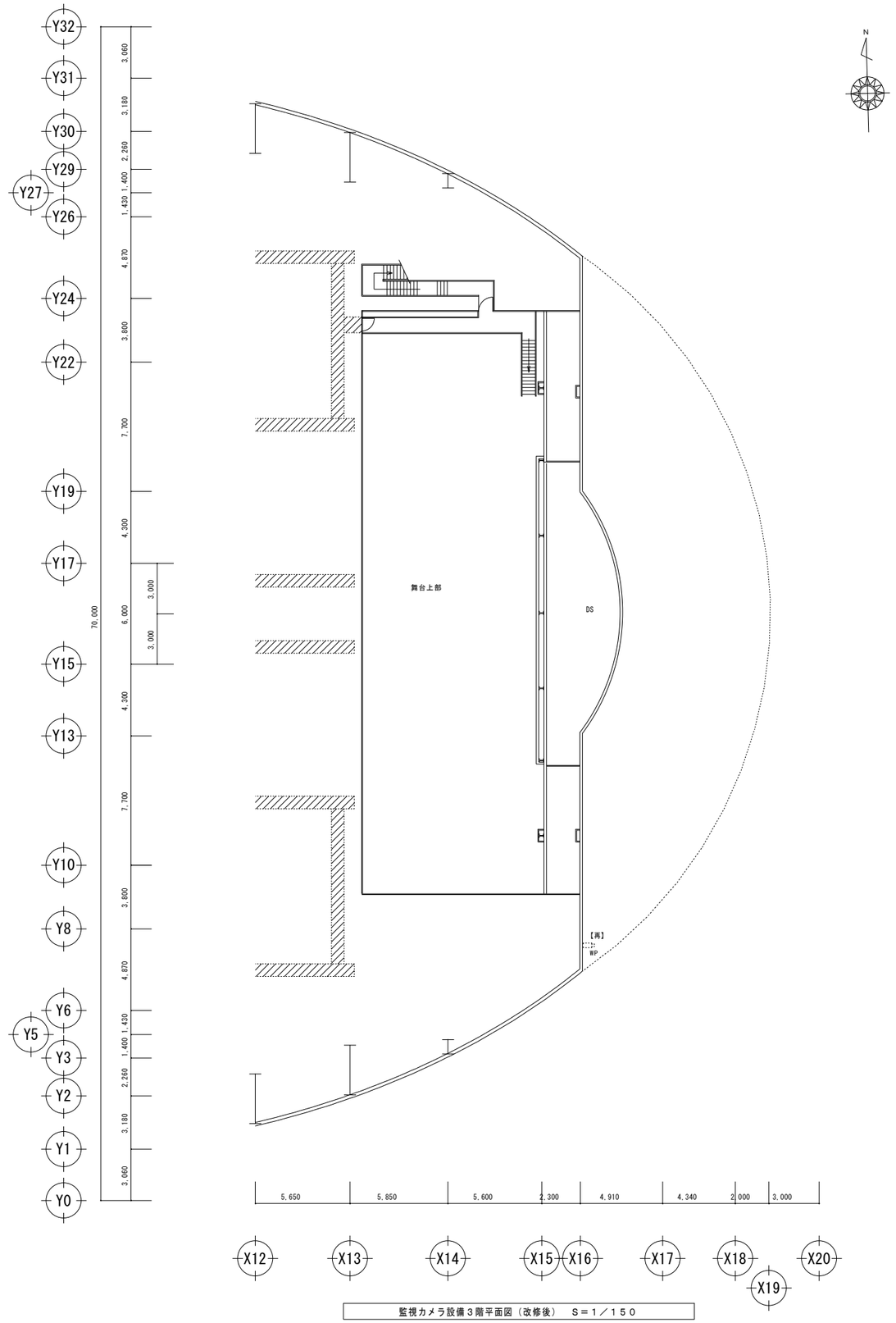
株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118（代）

設計　一級建築士登録第261836号　酒井　武志
担当　一級建築士登録第362594号　江端　雄也

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日	R8.3
図面名称	第１体育館　電灯・情報通信・監視カメラ・電気時計設備 ２階平面図（改修前）	縮尺	A1:1/150 A3:1/300
図面番号	E-10		



ＴＶ共同受信・監視カメラ設備３階平面図（改修前）　Ｓ＝１／１５０



監視カメラ設備３階平面図（改修後）　Ｓ＝１／１５０

株式会社
鈴木一級建築士事務所
SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.
富山市長柄町２丁目１－21　電話（076）421-9118(代)

設計	一級建築士登録第261836号	酒井　武志	
担当	一級建築士登録第362594号	江端　雄也	

工事名称	朝日町文化体育センター第１体育館外壁改修工事	年月日	R8.3
図面名称	第１体育館 ＴＶ共同受信・監視カメラ設備３階平面図（改修前、改修後）	縮尺	A1:1/150 A3:1/300
図面番号	E-11		